

科目名	宗教学的人間論			講義コード	B110971019	担当教員	福島 寅太郎
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>①本学の建学精神を理解するために必要な教養的知識を習得させる。</p> <p>②教養のある現代人として宗教に関する必要な知識を身につけさせる。</p> <p>〔授業の概要〕</p> <p>本講義は本学の建学精神に基づいた全学科・専攻の必修科目である。</p> <p>宗教は人間生活のあるところ、どの時代にもどの場所にも影響を及ぼしており、現在の私たちもまた日常生活の中で常にそれらと関わっている。グローバル化が進み、異文化間の相互理解が求められる現代において、宗教は果たしてどのような役割を果たすことができるのであろうか。</p> <p>本講義は、諸宗教の思想や信仰、特に現代日本およびアジアの諸宗教におけるさまざまな事例を取り上げ、宗教学的観点から探ることを目的とする。授業への理解を深めるために、アニメなどの映像を数多く取り扱う予定である。ちなみに「トトロはオスですか、それともメスですか」。素朴な疑問が学問への重要な一歩である。</p> <p>本年度は、本学の学問の特徴である「生活学」に焦点を当てて、宗教と生活との関わりを考えてみたい。具体的には、当該問題に関連した最新の研究書を教科書として用い、当該教科書の読解を通じて理解を深めていきたいと考えている。</p> <p>〔到達目標〕</p> <p>①宗教学的“ものの見方”を理解する。</p> <p>②宗教が身近な存在であることを再確認し、「宗教」に対する偏りのない理解ができることを目指す。</p> <p>③紹介された諸事例を通じて、「宗教」と「宗教的なもの」との異同を理解する。</p>						
受講資格	特になし			成績評価方法	試験成績(60点以上)、出席状況(60%以上)、授業態度、提出物等。理解度8割で、合とする。		
教科書	『生活禅のすすめ』（浄慧著、東京・山喜房佛書林、2012年）。						
参考書							
学生への要望	ノートをこまめにとること。						
ワキタム	昼休みの時(12時～12時40分)。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンス	授業の進み方、建学精神との関連について述べるとともに、テストや成績評価などについて紹介する。教科書についても案内する予定である。
2	生活と宗教（1）～アップル製品は何故シンプルか～	具体的には禅を取り上げる。禅の歴史や基本的な教えについて、教科書に沿って述べる。アップルの創始者・ジョブズ氏は敬虔な禅の実践者である。シンプルさを追求したアップル製品を話題にしなが、生活における禅の役割を考える。
3	生活と宗教（2）～今どうして禅なのか～	前回の続き。教科書に沿って、禅とは何かを、身近な話題を通して考える。
4	生活と宗教（3）～今はどうして生活禅なのか～	「生活禅」とは何か。教科書を通して学びながら、一緒に考えてみる。
5	生活と宗教（4）～ダルマとは誰か～	「達磨さんが転んだ」という鬼ごっこをみんなは一度ぐらい遊んだことがある。ここに出てくる達磨さんとは誰のことであろうか。歴史上の達磨さんと民間信仰のそれとの異同を明らかにしてみたい。
6	生活と宗教（5）～般若心経とはどんな教えを説いているのか～	『般若心経』と生活禅について述べる。日常生活の中で、『般若心経』に触れる場面があると思う。ここでは教科書を用いながら『般若心経』とはどんなお経なのかを学ぶと共に、生活禅との関係を理解する。
7	生活と宗教（6）～心の三次元～	心とは何か。宗教は人間の不可視的なものを可視的にする文化的装置である。ここでは宗教から見た人間の心とは何かを、禅における心のとらえ方を通して理解する。
8	生活と宗教（7）～心の成長物語～	前回の続き。具体的には『十牛図』という最古のマンガを通して理解を深める。
9	生活と宗教（8）～悩みはどこから来るのか～	悩みとは何か。禅における悩みの対処法を、教科書を通して理解する。

10	生活と宗教（9）～特別授業～	気分転換のために、アニメにおける宗教的要素について考察する。具体的には『となりのトトロ』を取り上げる。ちなみに、トトロの性別はオスか、それともメスか。素朴な疑問が学問への重要な第一歩である。
11	生活と宗教（10）～特別授業～	前回の続き。
12	生活と宗教（11）～生活と宗教との関わり～その一	再び教科書に戻る。「生活の中で修行し、修行の中で生活する」という教科書の著者の言葉を理解しながら、生活と宗教との関わりを考える。
13	生活と宗教（12）～生活と宗教との関わり～その二	前回の続き。
14	生活と宗教（13）～まとめ～	これまでの授業の全体についてまとめると共に、期末テストについて説明する。
15	最終回（試験）	

科目名	哲学的人間論			講義コード	B110971012	担当教員	小阪 康治
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>この講義の目的は、人間のあり方について、人間のいちばん本質的なところから、自分で考えてみることにあります。哲学の長い歴史の過程で、なにが善なのか、なにが本当のことなのか、なにが理想なのか、などの問題が出てきました。それで講義は、具体的な事例を説明することを中心とします。理屈ばかりの話は、哲学本来のものではありません。実際の生活に基づいて、それと理論との関係は話しますが、一番重要なのは、受講者が自分自身で、人間や人間社会について考えることなので、この練習もします。</p> <p>【履修カルテの評価項目】</p> <p>① 哲学的な知識は身についたか。 ② 哲学的な考え方についてどの程度理解できたか。 ③ 哲学的に考えを書くことがどの程度理解できたか。</p>						
受講資格				成績評価方法	試験 30%。講義時間内の発言 30%。小論文 40%。		
教科書	受講者と相談して決める。						
参考書	受講者と相談して決める。						
学生への要望	<p>現在の社会は、積極性のある人材を望んでいるので、なによりも積極的に発言し、ときどき課す小論文などでも、前向きな思考法身につけるつもりで講義に臨んで欲しい。</p> <p>講義への反応、学生諸君の興味、関心などを考え合わせ、また社会状況におうじて、講義のテーマや内容は、変えることもありますので、シラバス通りにはならないこともあります。</p> <p>講義は、分かりやすく、面白く、ためになるようにやります。なので、ノートをきちんと取る、自分の頭で考えることを要望します。</p> <p>従って、講義のテーマについて事前に考え、講義後にもう一度自分の考えをまとめることが、講義をよく理解するために必要です。それは小論文や試験の際に役に立ちます。</p>						
ワイルド	いつでもいいが、アポイントメントを取ってから来る。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	講義の内容、目的、方法の説明	<p>学問としての哲学的人間学を概観します。哲学的人間学という、ものものしいのですが、ようするに人間が生きていくときに遭遇するいろいろな問題を、きちんと考えようとする学問です。</p> <p>そこで15回分の講義の内容を概略説明します。</p> <p>それから講義の進め方、ノートの取り方、講義中の積極性、小論文練習の役割、出欠、これらの評価にもとづいて成績をつけるときの基準などを説明します。</p>
2	どうしたら幸せになれるか	<p>おそらくすべての学問は、人間が幸せになることをひとつの目標としています。この回では、哲学的に考えて幸せになるとはどういうことかを、考えてみます。</p> <p>私はチョコレートパフェが好きで、チョコレートパフェをおなか一杯食べると幸せだろうとおもうが、そんなことはできない。ダイエットばかり気にしてるのもストレスがたまって、これまた幸せじゃない。</p> <p>なにが、どういう行為が、どういう精神状態が幸せなのか、これについても哲学は長い時代にわたって、いろいろ考えてきました。</p>
3	赤い花は赤いか	<p>思想や哲学というのは、数学のようにきちんと回答が出るものではありません。しかしそれではただの評論になるので、確実な知識を求めていくと、こういう問題も出てきました。</p> <p>ひとつの赤い花をおおぜいが見ると、座ってる角度や距離によって、おなじ赤でもすこしずつちがって見えている。どうやったらおなじ赤を全員が見ることが出来るのか。赤とはどういう色なのか、などの問題が出てくるわけです。</p> <p>これは屁理屈ではなく、ものごとをきちんと考えようとする、こういう方向に深まっていくというひとつの例なのです。</p>

4	福祉と正義について	<p>社会福祉に財源が必要なのはどうなんなのですか、ほかにもお金がいる分野はある。医療、防衛、経済対策、地震からの復興にもたくさんのお金が必要です。どこにお金を振り分けるべきなのか。電力供給のための発電所の建設か、それとも復興支援が優先するのか、防波堤がいちばん先ではないのか。などの議論です。そういう大きな問題だけでなく、たとえば、この間の地震でも、透析の機械が不足していました。機械がひとつで危篤の患者さんが3人いるときに、どの患者さんに透析するのか。幼い子どもが3人もいる夫のいない母親と、有名な科学者と、働き盛りのおとうさんについて、優先順位の基準はなんなのか。</p> <p>正義とはなにか、こういう問題を考えてみます。</p>
5	論文練習	<p>3～4回に1回くらい、これまでの時間の内容について、論文練習をします。この練習の目的は、学生の側からは、①これまでの講義をどれだけ理解できているかを自分で振り返ってみる。②論文練習をすることで、学期末の試験の練習になる。③採用試験時の筆記試験の対策にもなる。</p> <p>教える側からすると、①なによりだいじな、自分の頭で物事を考えさせる訓練になる、②みんなで答案を検討するので、論文の書き方を具体的に理解させることができる、③教えたことをどれだけ理解しているかを点検できる、などです。</p>
6	哲について	<p>哲学はむずかしいとよく言われます。いろいろ原因はありますが、そのひとつに「哲」という漢字の意味が分からないことがあるようです。この字は、哲夫君とか哲太郎君というように、固有名詞では使いますが、それ以外ではほとんど見ない。女性で哲子さんという名だと、付き合いたくないなあ、というイメージにもなりません。</p> <p>哲学は明治になって西洋から来た学問なので、英語のPhilosophyなどの外国語を訳したのですが、それ以前にも哲学的な考えが日本になかったわけではありません。それで漢字の「哲」の字を当てはめて訳語としたのです。</p> <p>この回は、哲学とはどういうものかという、哲学の一番本質の意味について講義します。</p>
7	ビッグ・アイはなぜあるか	<p>子どものころ、なぜなぞというのか、とんち話というのがありました。大阪城はだれがつくったか。「豊田秀吉」と答えると間違いで、「大工さん」が正解でした。</p> <p>郡山の駅を降りるとビッグ・アイがあります。ビッグ・アイはだれがつくったのか？「大工さん」だけではできない。これに似たことを、紀元前300年も前に、アリストテレスという人が言ってる。この話は、ものがあるのはいったいなぜなのか、どうしてもものがあると言えるのか、など哲学の本格的な課題につながっていきます。</p>
8	人間の尊厳と自己決定権	<p>人間が人間であることの根拠とはどういうことでしょうか。自分の生き方は自分で決めたいのがふつうです。自由という言葉でもいいのですが、これが人間の尊厳の重要な根拠であることは、みんな認めています。</p> <p>でもそう考えない人もいます。自分が末期の癌などと聞きたくない、という患者さんはすくなくありません。また、安楽死は本人が望みさえすれば許されるのでしょうか。家族の気持ちはどうなるのでしょうか。</p> <p>状況がよく分かっていない人、たとえば認知症の老人が言ったことにも、自己決定権を認めるのか。それから、幼児が駄々をこねて言う言葉も自己決定になるのか、などについて考えてみます。</p>
9	論文練習	<p>これまでの3回分について、前回述べた目的で、小論文の練習をします。</p>
10	私は誰か	<p>さまざまなことを考えたり、行動したり、他人と付き合ったりするのは自分です。ここには自分がいるという前提がある。しかし仏教思想では、自分というものさえ本当はないのだ、と語られています。わざわざ仏教思想を持ち出さなくても、諸行無常という言葉に代表される考えは、おおくの日本人が共有しています。</p> <p>この講義は、ほとんどが西洋思想を基礎にしたものですが、今回は東洋思想を中心に自分はだれか、自分はどのようにあるのか、そもそも本当にあるのかなど、自分自身についての問題を考えてみます。</p>

11	最近の社会問題についての哲学・倫理学の見解	<p>栄養学と教育学系の学生がおおいので、その関連のテーマとして、食品問題についての事件と仮想社会を分析してみましょう。食品偽装は一時ほどマスコミは取り上げませんが、あいかわらず起こっていますし、この先もおなじような問題が起こるでしょう。それぞれの事件について車内の指示系統の整備やマニュアルの完備がなされています。それはいいとして、哲学的にはこの問題はどうか考えればいいのでしょうか。</p> <p>またゲームに見られる仮想空間・社会の危険性もしばしば指摘されています。さらに幼児の教育のさいの仮想、たとえば仮想の人から園児に手紙が来るなどの倫理性が、教育学者の間でも議論になることがあります。</p> <p>食品偽装と仮想社会というふたつの問題群は、本質的におなじだと私は考えています。このテーマについて、話してみます。</p>
12	永遠の愛は可能か	<p>むずかしい問題を考えるばかりが哲学ではありません。哲学は、われわれが日常疑問におもっていることを、きちんと考えようとして、だんだん深くなっていっただけです。「永遠の愛は可能か」というテーマは、おそらく古今東西、若者にとって最大の問題のひとつです。ギリシャの哲学者たちもこういう問題を考えた。</p> <p>この問題について、友達と一晩中議論してもなかなか結論は出ない。疲れて寝てしまって、また次の週に同じような議論をしても、やっぱり結論には行きつかない。</p> <p>どうしてそんなことになるのか。それは問題自体を分析してから考えを進めていくことに慣れていないからです。この回は、問題と同時に、哲学的に考える方法について話してみます。</p>
13	家庭とは何か	<p>本学の教育理念は、ドイツの哲学者であり教育学者であるオットー・フリードリッヒ・ボルノー先生の思想の影響を強く受け、先生の思想を受け継いでいます。</p> <p>これにもとづいて、本学の教授陣が執筆した『家政哲学』が刊行されています。今回はこの思想を、分かりやすく説明します。</p> <p>個人だけでは人間は生きていけません。それで社会をつくった。社会のなかで生活することで人間は豊かに安心して生きていける。ところが社会では、おたがいの利益が相反する場合があります。社会人としてお互いの利益を守るために、互いの人間性を尊重し、協力し、愛し合うことを、どこで学ぶのか。</p> <p>個人と社会の間にある家庭が、それらの育成のための場所ではないのか。家庭を中心に個人と社会を調和させるところに、本学建学の精神の特徴があります。</p>
14	論文練習	<p>これまでの4回分について、前回述べた目的で、小論文の練習をします。次回が試験なので、試験の対策も考えながら書くことにします。</p>
15	試験	<p>最初の30分で、採点の基準、論文の書き方、参考書の使い方などを説明してから、試験を60分間で実施します。</p>

科目名	倫理学的人間論			講義コード	B110971011	担当教員	小阪 康治
対象	1 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>この講義の目的は、われわれが日常生活で「変だなあ」とか、「間違っているんじゃないかなあ」と思っていることが、正しいかどうかを考えてみることにあります。友達との何気ない会話、家族との議論、恋人との話の中でも、「納得できないなあ」と疑問を持つことはしょっちゅうあるでしょう。個人的な課題だけでなく、国際的問題、地球環境についても、何が正しい解決法で、答えはどのようなか、実例に即して講義します。</p> <p>【履修カルテの評価項目】</p> <p>①倫理的な知識は身についたか。</p> <p>②倫理的な考え方が、どの程度身についたか。</p> <p>③倫理的文章を書くことがどの程度出来るようになったか。</p>						
受講資格				成績評価方法	試験 30%。講義時間内の発言 30%。小論文 40%。		
教科書	教室で指示する。						
参考書	教室で指示する。						
学生への要望	受講者自身が考えることが大切です。講義の内容については、受講者と話し合ったり、受講者の反応を見たり、重要な時事問題を取り入れたりするので、いくらか変わることもあります。従って、講義のテーマについて事前に考え、講義後にもう一度自分の考えをまとめることが、講義をよく理解するために必要です。それは小論文や試験の際に役に立ちます。						
オフィス	いつでもいいが、メールでアポイントメントを取ってから来る。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	倫理学について	倫理学という領域を概観します。それから15回分の講義の内容を概略説明します。講義の進め方、ノートを取り方、講義中の積極性、小論文練習の役割、出欠、これらの評価にもとづいて成績を付けるときの基準などを説明します。
2	なぜ嘘をついてはいけないのか	<p>なぜ嘘をついてはいけないのか、なぜ他人のものを盗ってはいけないのか、なぜ人を殺してはいけないのか、こういう当たり前のことも、なぜなのか、とその根拠を訊ねられるとかんたんに答えは出ません。</p> <p>当たり前でしょ、決まってることだから、と言っても、答えにはなっていません。あなたも嘘をつかれたくないでしょ、だから他人にも嘘をついてはいけない、というのは一応の倫理的な回答なのですが、嘘をつかれてもいい、という人もいます。たとえば、末期の癌患者さんのなかには、事実を知りたくないと言う人はすくなくありません。</p> <p>この時間では、こういう倫理問題の基本になる問題群を、分析してみます</p>
3	電車やバスのなかで、お年寄りに席を譲らない若者は悪人か	<p>新聞の読者の声欄には、半年に1度くらいはかならず、近頃の若者はお年寄りに席を譲らなくなった、こんな若者ばかりになったら日本もおしまいだ、という論調の記事が出ます。若者の立場からは、譲らないのは若い者ばかりじゃないとか、こっちは疲れてるんだからという反論もあります。</p> <p>この講義ではふたつの問題を検討します。第1に、なぜ席を譲るのは善いことで、譲らないのは悪いことなのか。その理由はなにか。第2に、人間は本来、善い者なのか、悪い者なのかという問題です。</p>

4 高レベル放射性廃棄物と倫理問題

前任の大学で、この問題について講義をしていたときは、まったく客観的な立場でした。しかし東北・関東大震災による福島原子力発電所の事故に遭遇した後では、この問題は他人事ではなくなりました。

原子力発電の問題は、現代人が快適な生活を送ることとそれによる危険性をどう比較するか、さらに数百万年の後でも有害な物質を後の世代の人類に廃棄することとどう比較するか、という問題になります。

また、関東で使う電力をなぜ福島県で発電するのかも、今回の事故であらためて議論されるでしょう。しかし現実には、原子力発電を止めると、電力の30%以上が使えなくなります。それで人々は納得するのか。

この問題の根本には、われわれ自身が、自分たちの生活の豊かさ、快適さをどの程度まで求めるかという課題があります。とくに若い人たちが自分たちの社会をどうつくっていくかということなのです。

5 論文練習

3～4回に1回くらい、これまでの時間の内容について、論文練習をします。とくにこの講義は、自分の頭で考えることが最終目的ですから、講義を聞いて理解するだけでは、講義の目的には到達しません。

この練習の目的は、学生の側からは、①これまでの講義をどれだけ理解できているかを自分で振り返ってみる。②論文練習をすることで、学期末の試験の練習になる。③採用試験時の筆記試験の対策にもなる。

教える側からすると、①なによりだいじなのは、自分の頭で物事を考える訓練になる、②みんなで答案を検討するので、論文の書き方を具体的に理解させることができる、③教えたことをどれだけ理解しているかを点検できる、などです。

6 捕鯨について、どうして日本人は外国人から非難されるのか

日本の捕鯨は、外国からはたいへん評判が悪い。鯨を食べていけないのなら、豚や牛も食べてはいけないはずだ、と日本人はおもっている。豚や牛だけでなく羊や鶏などを、日本人以上に大量に食べている西欧人から、捕鯨について批判されるいわれはない。これが日本人一般の気もちでしょう。

ところが外国人は、豚や牛を食べるのは構わないけど、鯨はいけないと考えているようだ。変じゃないか、と考えるのは日本人で、外国人は当たり前だとおもっているわけです。

このちがいは、お互いの文化のなかの無意識の倫理観が異なっているからだと考えられます。昨年、ポーランドのワルシャワ大学でこの問題について講演しました。その反応や質疑なども含めて講義します。

7 電車の中の化粧をどう考えるか

電車の中の化粧が、社会問題になっています。都会だけでなく地方都市のローカル線のなかでも見かけました。アンケートなどを見ると、年上の人たちが批判的で、若い女性は車内化粧しない女性でも、肯定的な人がかなりいます。

みっともない、電車のなかは公共の場であって、化粧する場所じゃない。忙しいから電車のなかの時間も有効に使いたい、だって誰にも迷惑かけてないじゃない。

中年の女性でもしてる人を見かけるけれども、この問題にはふたつの面がある。まず世代による倫理意識のちがいでしょう。時代が変化するにつれて、倫理基準も変化します。それを上の世代はどこまで許容するか、否定できるか。もうひとつは、他人への迷惑とは、具体的にどういうことか。どこまでが迷惑で、どこからは黙認されるべきか。そのための基準はあるのか。

8 企業の責任

現在、企業の社会的責任（CSR）が、しばしば問題にされます。これは他人事ではなりません。卒業したら勤めるのは企業体です。自営の人も企業の活動することは本質的には同じです。公共の仕事につき場合でも、組織の利益と社会のあり方が矛盾することはしばしばあります。倫理というのは個人の規範だけでなく、会社やその他の組織体もその社会・経済活動のさいに、倫理的であることを求められるのはとうぜんです。

たとえば、環境問題についてのスタッフを置くことができない中小企業が、環境破壊的な事件を起こした場合、この企業は環境に配慮している大企業にくらべて、悪い企業なのか。

有害な恐れがある物質でも、法律の基準に触れなければ、排出することは許されるか。

この講義では、会社や公共団体も含めて、組織の運営と社会倫理の関係を考えます。

9	われわれは子孫に対してどういう責任があるのか	<p>未来の子どもたちや人類にたいして、現在のひとびとは当然責任があります。しかし現在の生活水準も守りたい。そこで両方を満足させるべきだ、という方針を打ち出すのはかんたんです。これを「持続可能な発展」というのですが、この理想を具体的にひとつひとつの実例のなかで考えると、結論を出すのは容易ではありません。</p> <p>たとえば、石油や石炭などの資源はいずれなくなってしまいます。それでは使わないことにするのか、しかし取っておいて誰が使うのか。</p> <p>いい風景は誰もが愛しているものです。ところでそこに工場をつくると地域の発展になる。工場をつくれれば、既得権になるから、将来の世代には、景観の破壊が残る。</p> <p>こんなふうのひとつひとつ考えていくと、今の世代も将来の世代も満足するような解決法や、自然と人間の共生などの標語は、実行がむづかしい。</p> <p>いくつかの例でこの課題を考えてみます。</p>
10	論文練習	<p>これまでの4回のテーマについて、先に述べた目的で、小論文の練習をします。</p>
11	バービーちゃんとりかちゃんが教えていること	<p>アメリカではバービーちゃん、日本ではりかちゃんが一番売れています。アメリカの保守的な大人の男性は、女兒がバービーちゃんを遊ぶのを嫌っています。日本の大人は、子どもにりかちゃんを買ってあげるかどうか、悩みはしません。ここにはどういう問題があるのでしょうか。</p> <p>これは単に好き好きによるものではありません。ここには両国社会の文化的、倫理的価値観の現われが見られるのです。本学は教育系の学生もおおくいるので、このテーマで、子どもとおもちゃ、おもちゃと社会の関係について考えてみます。</p>
12	科学と倫理	<p>科学的な判断は正しいということになっている。しかし倫理的に見て疑問であることもたくさんあります。</p> <p>福島の原子力発電所をつくるとき、たくさんの人が反対運動をした。しかし最後には、科学的な判断や社会の電力需要を勘案して、同意しました。だから原子力発電所は科学的に見て正確で、何の間違いもなくつくられていたはずだった。しかし、今ではおおくの人とその科学的判断を信用できなくなっている。</p> <p>われわれは現在でも、科学者の良心を信用しています。しかしそれを超えて、もう一度根本から考えて、社会が共通の認識をもっておかなければならない状況にあります。これは若い世代の問題になるでしょう。</p> <p>先年あった病気の腎臓移植の問題なども、結局はおなじです。医学的には、病気の腎臓を移植するのは危険が高いという医学者の判断が出ました。しかし透析している患者さんたちは、移植して欲しいと言っている。これも科学と倫理の矛盾をどう考えるかを、われわれに突きつけています。</p>
13	説明はなぜ必要か	<p>最近、テレビなどで、説明責任を果たしていない、という議論をときどき聞きます。ところが非難しているほうも、なぜ説明しなければいけないのか、どう説明すればいいのかなど、どこまで説明すれば納得できるのかなど、はっきりしないままに非難ばかりしている。守秘義務というものもあるから、なんでも全部説明すればいいというわけでもありません。</p> <p>これはわれわれ人間の本質的な在り方に関係してくるのです。なんのために説明するのか。われわれ人間の尊厳を守るためです。これはきわめて倫理的に根本的な問題なのです。なぜ東京電力が原子力発電所の事故についてはっきり説明しなければならないのか、政府が震災被害の人びとに原状をきちんと説明すべきなのか、大学の先生はなぜ成績の付け方について学生に説明しなければならないのか、友達同士の説明など、いくつかの事例によってこの問題を考えてみます。</p>
14	論文練習	<p>これまでの3回のテーマについて、小論文の練習をします。</p>
15	試験	<p>最初の30分で、採点の基準、論文の書き方、参考書の使い方などを説明してから、試験を60分間で実施します。</p>

科目名	心理学的人間論			講義コード	B110971013	担当教員	折笠 国康
対象	1年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	本講義では、「人間」がどのような存在であるか心理学の知見をもとに概説する。「社会心理学」「発達心理学」「人格心理学」などの知見を踏まえ、人間についての心理学的な視点から人間を理解することを目標とする。 【履修カルテの評価項目】 ①「自己」に関する心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。 ②認知や感情などの「心の発達」に関する心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。 ③自己と他者のかかわりに関する事柄の心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。						
受講資格				成績評価方法	内容の「60%」以上の理解で合格とするが、「80%程度」の理解を求める。理解度の評価は小レポート30%、定期試験70%で行う。		
教科書	特にしてはいはしない。授業中に資料を配布することがある。						
参考書	必要に応じて紹介する。						
学生への要望	講義への協力的な参加を要望する。 専用のノートを準備すること。						
ウイスタム	授業終了後に確認						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	オリエンテーション、意識と無意識について	この授業の目的と授業方針を理解する。フロイト、ユングの意識と無意識についての考え方を理解する。
2	人間の発達(1) ー発達心理学ー	人間の発達や成長に関して、心理的な知見や理論を学び理解する。
3	自己とは(1) 認知について	認知心理学の基礎を学び、自己に対する認識について理解する。
4	自己とは(2) 認知について	ピアジェの認知の発達に関する理論を学び理解する。
5	自己とは(3) 自我同一性	自我同一性を中心に心理学的な枠組みで自己とは何かを理解する。
6	自己とは(4) 自己概念	心理学的な構成概念としての自己概念の理論的枠組みを理解する。
7	自己とは(5) 自尊感情と自己評価	自尊感情や自己評価に関する心理学的知見を概観し理解する。
8	自己とは(6)	「本当の自分」に関して、心理学的知見から理解する。
9	自己とは(7) 自己受容	ロジャースの理論を用いて、自己受容について理解する。
10	自己とは(8) 防衛機制	A. フロイトによる防衛機制の概念を学び、自己についての理解を深める。
11	自己とは(9) 交流分析	自己についてエゴグラムを用いた交流分析によって理解する。
12	動機づけの理論	内発的動機づけに関する自己決定理論の概略を理解する。
13	人間と社会(1) アドラー心理学	アドラー心理学を概観し、人間の行動に関しての目的について理解する。
14	人間と社会(2) アドラー心理学	アドラー心理学を概観し、人間の行動に関しての目的について理解する。
15	本講義のまとめ	本講義の振り返りを通して、心理学的な人間論を復習する。

科目名	人間論ゼミナール			講義コード	B310971028	担当教員	笹田 琴美
対象	3年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	4
授業目標	本講では、女性の生き方と性の自己決定を大きなテーマとして掲げ、女性が健康で安全に暮らすための「意思と選択」について、いまどきの問題を取り上げながら学ぶ。例えば、男女間の関係性（親密性と支配欲）、結婚・育児・仕事への意識、子育て支援と虐待問題など。これらのトピックスについて、個人やグループで資料を集め、背景や現象を分析し、レポート作成や発表、討論などを行う。						
受講資格	人間生活学科、食物栄養学科、3、4年生			成績評価方法	①レポートもしくは期末試験（75%）、②授業態度もしくはグループ議論時の積極性（25%）、欠席による減点あり。		
教科書	とくになし						
参考書	講義中に提示						
学生への要望	時事的なトピックスを取り上げていきますが、そのほかにも関心のあるニュースや話題の書籍などがありましたら提案してください。授業では積極的な発言をして、みなさんのいきいきとした感性を発表・レポートに反映させてください。						
ワキタム	水曜日、金曜日の午前中						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	オリエンテーション	授業のテーマ、目標、授業計画、授業の進め方とポリシー、成績評価方法などについて。
2	女性の生き方Ⅰ ～結婚式の約束事～	あなたはパートナー（恋人や夫）との関係をどのようにイメージしますか。対等ですか、ついガマンをしてしまいますか。若者の恋愛観、家族観、男女観に関する社会情勢を眺めながら、ライフサイクルにおける女性たちの選択肢を俯瞰し、「私ならこんな選択をする」というのを考えます。
3	女性の生き方Ⅱ ～母の生き方、祖母の生き方～	おばあちゃんの時代は専業主婦がひとつのステータスだった。お母さんの時代には女性の職場進出が謳われた。では、今の若者はどんな時代を望んでいるのでしょうか。雇用均等法やガラスシールド、高度経済成長時代と性別役割分業などをキーワードに議論していきます。
4	男女間の関係Ⅰ ～なぜ愛する人を殴るのか～	DVについての基本的な知識を習得し、DVは身近な問題であることに気づいてもらう授業です。なぜDVと気づかないのか。どうして暴力を振るうのか。ひどいDVなのに別れないのはなぜか、など「DVの不思議」を取り上げ、被害者・加害者の心理を考えます。
5	男女間の関係Ⅱ ～不安と距離感～	ケータイ時代の監視と束縛について考えます。あなたは恋人のケータイを見ますか、見せませんか、見せたくないですか。見せてくれなかったら怒りますか、浮気を疑いますか。束縛は愛の証ですか。不安がもたらす対人関係の距離感、支配と依存について考えます。
6	リサーチと討論Ⅰ	これまで学んだことに関連する時事ニュースや資料をみなさんで持ち寄って、情報交換やグループ討論を行います。そのプロセスや結果を発表したり、レポートにまとめてみましょう。
7	性の知識と安全Ⅰ ～若者の性と意識の変化～	近年、性行動の低年齢化が進んだ一方で、性や恋愛に消極的な若者も増加していると言われていいます。そして同時に、性に関する基本的な知識を持たない学生も増えています。正しい知識を習得すると同時に、それを活用するための意識の在り様について考えます。
8	性の知識と安全Ⅱ ～妊娠に関するケース・スタディ～	「ニンシンのニンシキが変化している?」。妊娠にまつわる時事問題をとりあげます。でき婚、若年出産、ニンシンと恋愛の心理学、基礎体温の話など。
9	性の知識と安全Ⅲ ～性教育とは何か～	性の安全と健康についての優れた教育プログラムに触れるたびに、性の教育とは「生きることの意味を考える教育である」と実感します。子どもに教える「プライベートゾーン」、相手の意志尊重、言語コミュニケーションの重要性、性愛行動と暴力との区別などを取り上げて学修します。

10	リサーチと討論Ⅱ	性の知識、性の安全、性の教育、若者の性行動と意識などに関連する時事ニュースや書籍、資料を持ち寄り、グループで意見をまとめてレポート作成に入ります。
11	レポート発表	個々の小論文や、グループでまとめたレポート（プレゼン資料等）を発表して、全体討論を行います。
12	子どもの貧困 ～こんなにかかる教育費～	入学時にこんなにかかる教育費、クラブ活動にも経済格差、学校で見えてくる貧困問題、子どもの無保険、給食のない夏休み体重のへる子どもたち、見えにくい問題・・・など。
13	子どもの貧困 ～貧困の多面的様相～	重なり合う困難、貧困と健康と医療、学びからさって行く遺児の問題、大学進学率、奨学金制度、中卒・高卒・大卒それぞれの「就職困難」、世代間連鎖・・・など。
14	子どもの貧困 ～貧困と暴力の世代間連鎖～	貧困の中で生まれ、貧困の中で育ち、子ども時代には虐待を受け、結婚後はDVの被害を受け、そしてまた貧困の中で子どもを産み、育て、貧困が原因で虐待が再生産されていくという事例を取り上げ、ケーススタディを行います。
15	リサーチと討論Ⅲ	これまで学んだことに関連する時事ニュースや資料を持ち寄って討論し、レポート作成の方法を学修します。

科目名	生活学的政治論			講義コード	B110971015	担当教員	影山 彌
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	今日、わが国の政治は、社会の急激な進展によって生じた、次のような課題に対する政策的対応が求められている。生活優先、高齢化、情報化、国際化、自然環境保全、などである。そこで、本講義では、現代政治を理解するために必要なポイントについて学ぶとともに、最近、政治の中心に登場してきた「生活」をめぐるわが国の生活政策について検討する。						
受講資格	人間生活学科（生活総合コース・福祉コース・建築デザインコース）・食物栄養学科			成績評価方法	受講態度（20%）、テスト結果（80%）		
教科書	特になし。 毎時間授業内容のレジュメを配布する。						
参考書	前田繁一編著『現代と政治学』法律文化社						
学生への要望	授業目標を毎回確認すること。						
オフィス	金曜日を除くお昼休み（12:00～12:50）						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	政治化の時代	今日、政治が生活のあらゆる面に深くかかわっていることを事例をとおして理解する。同時に、その結果、生活の管理化が進行していることにも注目する。
2	政治的無関心の問題	政治化の時代でありながら、広く存在している政治的無関心について、H. D. ラスウェルの諸説をとおして考える。
3	政治とは何か	研究者の諸説をとおして、政治は権力、言い換えれば、決定作成にかかわる現象であることを理解する。
4	政治と決定作成	政治の中心である決定作成が、国民に対する諸価値の権威的配分を意味する、政策や法律の作成であることを理解する。
5	立法過程（1）	決定の中心である法律の作成が、個人、圧力団体、政党とどのようにかわりながらなされるかをみる。
6	立法過程（2）	わが国の場合、法律が、立法過程の第2段階である国会審議において、どのような過程をへて成立するかを、委員会制度などを軸に学ぶ。
7	統治過程	法律の執行過程としての行政と司法の現状について、わが国の場合を例としてみることにする。
8	行政の優位	立法と司法に対する行政の優位について、事例をとおしてその現状と背景をとらえ、L. ギューリックの現代行政作用論についてもみる。
9	政治と権力	政治学の中心テーマでありつづける権力について、人間と権力の関係、権力という力の性質、権力の実体的あるいは関係的概念などを理解する。
10	権力構造	権力を誰がどのような形で所有しているか、この政治学の伝統テーマについて、研究者の所説に依って日本とアメリカについてみる。
11	権力の正当性の根拠	「権力が正当である」と承認する場合の、その根拠を問う、という政治学の伝統的テーマについて、M. ウェーバーの所説を端緒として考え、「生活優先」が有効な回答の一つであることを考える。
12	生活と政策（1）	国民の食生活に関わるわが国の農業政策について、低下しつづける食糧自給率、単作経営などに焦点をあてながら、その近代化路線を検討する。

13	生活と政策（2）	今日、家庭や地域で福祉を考える「生活福祉」の観念が強調されているが、この観点から、わが国における老人の在宅福祉対策の現状と問題点を考える。
14	生活と政策（3）	今日、家庭や地域で福祉を考える「生活福祉」の観念が強調されているが、この観点から、わが国における老人の在宅福祉対策の現状と問題点を考える。
15	総まとめ	総まとめを行い総合評価を行う。

科目名	生活学的社会論			講義コード	B110971002	担当教員	橋爪 敏
対象	1 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	社会学的な見方、考え方の基礎を学ぶ。社会学は人間関係を中心として、様々な社会現象を考察する学問／科学であり、生活学の基礎としての意味を持つ。 社会学的思考法を身に着ける。						
受講資格	特に無し			成績評価方法	学期末のペーパーテスト(100%)で評価する。		
教科書	高尾公矢・橋爪 敏編 『社会学の基礎』 犀書房						
参考書	適宜紹介する。						
学生への要望	私語厳禁、学習意欲を持って参加されたい。						
ワイルド	月曜～水曜まで、朝から夕方まで、授業の無いときはいつでも対応します。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	授業の方法の説明、社会学とは何か	授業の方法、内容についての若干の説明および注意 社会学はいかなる学問／科学か。
2	社会学の対象-1	社会学の対象としての人間関係、中根千枝のタテ社会論を例として、全体社会レベルの問題を説明する。
3	社会学の対象-2	制度、集団、組織レベルの問題。マックス・ウエーバーの『プロテスタンティズムと資本主義の精神』を例として。
4	社会学の対象-3	直接的な人間関係の問題。L. vonウィーゼの2人関係、3人関係の問題を例として
5	社会学の方法-1	科学としての社会学、社会科学の特質。 SeinとSollenの問題。
6	社会学の方法-2	客観的知識としての科学。科学の視点、視座。グンナー・ミュルダールの見解に触れて。準拋枠について。
7	社会的人間(論)-1	社会的人間、社会的存在としての人間—人間と社会との密接不可分な関連性について考える。社会名目／唯名論と社会実在論。
8	社会的人間(論)-2	人間(個人)とその行動様式—1) 先天的行動様式。
9	社会的人間(論)-3	2) 後天的行動様式、野生児の問題。社会における成長—C. H. クーリーの第1次集団について。
10	社会的人間(論)-4	第2次集団。社会化概念、3つの社会化概念について。
11	行為論-1	マックス・ウエーバーの行為の概念。
12	行為論-2	T. パーソンズの行為の4要素／条件。AGIL図式について。
13	社会的性格論-1	エーリッヒ・フロムの「社会的性格論」—『自由からの逃走』の問題に触れて。
14	社会的性格論-2	デビット・リースマンの「社会的性格論」—『孤独な群集』の問題に触れて。
15	まとめ	全15回の授業のまとめ。

科目名	生活学的経済論			講義コード	B110971014	担当教員	石田 智宏
対象	1 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>①経済を中心とした社会現象を理論的に解き明かす ②アクティブラーニング：質問される正解の無い問いに対し、自らの解答を探し発言すること ③ディープラーニング：授業で提供される論理と、自分がすでにもっている知識を関連づけること</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕</p> <p>①経済を中心とした現代の社会現象を、意見交換を中心としながら理論的に解き明かしていく ②大きな社会現象：ニュースを中心として、その背後にどんな人間の心理活動が見えるか ③小さな社会現象：商品、企業活動を中心として、その背後にどんな現代社会が見えるか</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕</p> <p>①現代社会の諸問題に関心がもてる ②社会現象の背後関係に自分なりの興味ももてる ③自分の意見を簡潔にまとめそれを表現した。</p>						
受講資格	とくになし			成績評価方法	コメント50点、レポート50点、合計100点		
教科書	教員がプリントを配布する						
参考書	参考書：『生活経済論』（2002）、馬場紀子他、有斐閣アルマ、等						
学生への要望	積極的に発言して下さい						
ワイルドタイム	月・火・木・金の13:00～16:30に経営研究室に来て下さい						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	資源と経済	現代の社会を、自分自身を通して吟味することの意味はなにか。 社会科学を学ぶことで得られるものはなにか。 経済現象とモノの背後に人を見ることについて考える。
2	モラルと経済	社会的事件の背後にはなにがあるのか。 モラルと社会、モラルと経済について考える。 ウチとソトの関係性は、経済現象とどうかかわりがあるのか。
3	支援と経済	経済における利益と厚生バランスについて考える。 他者に敬意を払う、経済行為としての支援を学ぶ。 共感が支える、アダム・スミスの上等な社会について考える。
4	交換と経済	交換は、経済行為の本質のひとつである。 交換と幸せ（厚生・効用）との関係性について考える。 自給自足の経済と交換経済の差異、経済主体の利己心と利他心について考える。
5	信頼と経済	貨幣は、人間が持つ相互信頼から発生している。 また、相互信頼は、職業の分化と経済の拡大を促した。 モノの向こう側にある、人間の信頼・想像力・互酬等の習性について考える。
6	ソーシャル経済	自己の効用（幸せ）を、経済手段を通じて他者の効用にリンクさせる。 同じモノに関して、見方を変えると価値眼が変わる。 企業・消費者の社会的価値志向とソーシャル・ビジネス、フェアトレード等について考える。
7	振り返り	これまでの論点を整理する。 経済は人々の厚生水準を向上させ、貴重な資源を生かすことを目的とした人間の相互依存行為である。 社会を知るとは、人間を知ることである。
8	経済学の思考と論理（2回シリーズ）	経済を中心とした社会現象を理論的に説明することが、経済学の本質である。 この点に関心をもつために、ジョン・ナッシュの思考を紹介する。 経済学と論理、アルゴリズム、数学と経済学

9	経済学の思考と論理（2回シリーズ）	経済を中心とした社会現象を理論的に説明することが、経済学の本質である。 この点に関心をもつために、ジョン・ナッシュの思考を紹介する。 経済学と論理、アルゴリズム、数学と経済学
10	社会現象を解く①くまモンと地域おこし	経済効果、商品のブランディング、地域おこしについて考える キャラクター、マーク、ネーミング、差別化について
11	社会現象を解く②コンビニスイーツと社会トレンド	社会環境の変化とヒット商品の関係性について考える 健康の商品化・娯楽化、ボーダレス化
12	社会現象を解く③女子力消費	男女平等社会下での女子力消費について考える カスタマイズ、シェア、PEST
13	社会現象を解く④	競争社会下での企業の差別化について考える コストリーダーシップ、美味しさの源泉、ビジネスモデル
14	社会現象を解く⑤	変化するマーケットと社会の関係について考える マーケットの創造、時代的差別化
15	まとめと授業評価	講座のまとめをおこなう。 レポートと評価について説明する。 授業評価アンケートを実施する。

科目名	生活生物学			講義コード	B110971007	担当教員	源川 博久
対象	1年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	生活生物学は共通基礎科目として開講されるため、高校では生物や化学といった理系科目を選択しなかった人が、生化学、生理学、基礎栄養学などの専門基礎科目を理解できるように、理系科目の基礎を生物学的観点より理解することを授業の目的とする。そのため、生活生物学では「生物(生命)とは何か」を理解するために、主に「生物の分類」「細胞生理」「エネルギー代謝」「遺伝」について学ぶ。また、これらを理解する上では化学的な知識も必要となるため、生化学の基礎についても取上げる。						
受講資格	特になし			成績評価方法	期末試験(70%)と小テスト(30%)の結果より評価する。欠席は減点の対象とする。		
教科書	資料(パワーポイント)をWLRよりdownloadする。						
参考書	ホートン生化学 第4版、鈴木紘一ら訳、東京化学同人 視覚でとらえる フォトサイエンス 生物図録、鈴木孝仁監修、数研出版						
学生への要望	生活生物学と関係の深い科目と関連付けをして理解を深めることが望ましい。そのため、わからないことは生活生物学に関わらず質問すること						
ワキタム	主に水曜日の午前中、木曜日						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンス	授業の進め方、受講上の注意点、教科書、評価方法などについて理解する。また、生活生物学で取りあげる授業内容について説明する。
2	生命とは	生物学における「生命」の概念を学ぶことで、生物の共通性・多様性について確認する。
3	生命の起源	地球における生命の起源(主な仮説の確認)、生物の進化と大絶滅について確認する。
4	生化学の基礎 I	生物の生命活動を理解するために、糖質とタンパク質の基礎を確認する。
5	生化学の基礎 II	生物の生命活動を理解するために、脂質と核酸の基礎を確認する。
6	生物の分類	ウイルスと生物の比較、生物の分類を学ぶことで、生物の特徴を確認する。
7	原核生物	原核生物の特徴を真核生物との相違点から確認する。
8	真核生物	真核生物の特徴を原生動物、真菌類、動物、植物について確認する。
9	細胞の構成	細胞小器官や細胞膜の機能を学ぶことで細胞機能を理解する。
10	エネルギー代謝 I	代謝とエネルギー(ATP)の概念を学び、エネルギー代謝の流れを解説する。
11	エネルギー代謝 II	生物に共通する解糖系と好気呼吸について生化学的に解説する。
12	エネルギー代謝 III	植物のエネルギー代謝である光合成の発見過程と光合成を生化学的に確認する。
13	遺伝 I	セントラルドグマのうちDNAの半保存的複製について学び、遺伝の基礎を理解する。
14	遺伝 II	セントラルドグマのうちタンパク質合成について学び、遺伝の基礎を理解する。
15	遺伝 III	メンデルの法則から遺伝の概念を学び、ヒトの遺伝形質(アルコール耐性、血液型など)を確認する。

科目名	生活化学			講義コード	B110971021	担当教員	関口 晋
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>食物や栄養を理解するためには、どんな物質がどう人体と関係しているかを学ぶ必要があります。一方、化学とは物質及びその性質を理解する学問です。ですから、化学は食物栄養を学ぶにあたって土台となる学問であり、食物栄養学は化学の考え方を身に着けると大変よく理解できます。</p> <p>物質の構造や性質には規則性があり、この規則性を理解することが、化学を理解することにつながります。講義の計画は、化学の一般的な規則の学習を主眼にたてられています。また、化学的な事項が日常現象や生命現象と関連している例を講義内容に盛り込むことで、生活や応用的な学問との連続性を考慮しています。講義は、説明と練習問題で構成され、練習問題によって説明の理解度がある程度確かめられます。</p>						
受講資格	なし			成績評価方法	期末試験100点。(ただし欠席回数に応じて減点)		
教科書	授業ごとにプリントを配布します。						
参考書	「《基礎固め》化学」小島一光著、化学同人、※絶版 「カソウケンへようこそ」内田麻理香著、講談社 「Catch Up 大学の化学講義」杉森彰・富田功著、裳華房						
学生への要望	よく理解できないところは、参考書等を用いて積極的に復習してください。復習の方法としては、研究室まで質問にきたり、同級生などと一緒に勉強することも有効です。						
オフィス	放課後など研究室にいて急用がないときは、いつでも可。前もっての都合は、相談してください。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	原子の構造、周期表	<ul style="list-style-type: none"> ・原子とは ・元素とは ・周期表 ・元素の性質
2	電子殻、電子軌道、点電子則	<ul style="list-style-type: none"> ・電子殻 ・電子軌道 ・点電子式（オクテット則）
3	分子軌道	<ul style="list-style-type: none"> ・電子対反発則 ・メタンの分子軌道（sp³混成軌道） ・エチレンの分子軌道（sp²混成軌道）
4	化学結合	<ul style="list-style-type: none"> ・電気陰性度 ・イオン結合と共有結合 ・水素結合 ・双極子相互作用 ・疎水性相互作用
5	モル	<ul style="list-style-type: none"> ・原子の数え方 ・反応とモル
6	濃度	<ul style="list-style-type: none"> ・濃度の単位 ・重量モル濃度 ・モル濃度 ・沸点上昇、凝固点降下
7	化学反応	<ul style="list-style-type: none"> ・化学反応とは ・化学反応の分類 ・化学量論 ・熱化学方程式（発アルゴン反応、吸エルゴン反応） ・化学平衡 ・質量作用の法則 ・ルシャトリエの法則

8	酸・塩基	<ul style="list-style-type: none"> ・関連する語句 ・アレニウスの定義 ・ブレンステッド・ローリーの定義 ・ルイスの定義 ・酸の強さ ・塩基の強さ ・中和 ・酸の解離 ・水の解離 ・pH ・硬い酸、軟らかい酸 ・緩衝溶液
9	酸化・還元	<ul style="list-style-type: none"> ・定義 ・酸化数 ・酸化還元反応 ・イオン化傾向 ・酸化剤と還元剤 ・半反応 ・酸化還元滴定 ・電池 ・標準電極電位
10	有機化学基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・アルカン ・アルケン ・アルキン ・芳香族 ・複素環
11	命名法	<p>命名法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数詞 ・アルカン ・官能基 ・特別な置換基がある場合 ・多重結合がある場合
12	官能基	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコール ・フェノール ・アルデヒド ・ケトン ・カルボン酸 ・エステル ・アミド ・アミン ・チオール ・エーテル
13	異性体、気体、固体	<ul style="list-style-type: none"> ○異性体 <ul style="list-style-type: none"> ・語句の関係 ・アルカンの立体配座 ・シス・トランス異性 ・光学異性 ○気体 <ul style="list-style-type: none"> ・アボガドロの法則 ・ボイルの法則 ・シャルルの法則 ・気体の状態方程式 ・気体の溶解度 ○固体 <ul style="list-style-type: none"> ・結晶
14	細胞生理	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞内小器官 ・細胞膜 ・細胞周期
15	鉄の化学	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン化傾向と文明（鉄の還元とその反応） ・鉄原子の電子状態 ・鉄の酸化 ・ヘモグロビン ・鉄の体内における貯蔵、運搬等

科目名	運動健康論			講義コード	B110971016	担当教員	佐藤 浩明
対象	1 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>生活の基盤となる『健康なからだづくり』に欠かすことのできない運動の重要性を理解し、生涯にわたり自分の健康や体力に配慮ができ、それらを保持増進していくために必要となる知識や方法について実技、講義を通じて学びます。</p> <p>①運動と健康の関連を理解し、健康の在り方について学びます。 ②スポーツの意義を理解し、人間力について学びます。 ③運動を通して、協調性、コミュニケーション能力、フェアプレーの精神について学びます。 ④運動を通して、基礎体力の維持、向上する方法について学びます。</p> <p>【履修カルテの評価項目】 ①運動と健康の関連を理解し、健康について考え行動に移すことができたか。 ②スポーツの意義を理解し、人間力を高めることができたか。 ③集団の中でコミュニケーション能力を発揮し、互いに協力しながら活動することができたか。 ④基礎体力の維持、向上の方法を理解し、生涯運動を楽しみながら実施できるレベルに達しているか。</p>						
受講資格	家政学部 人間生活学科 (生活総合コース・福祉コース・建築デザ インコース 1年生) 家政学部 食物栄養学科 1年生 ※教職課程履修者は必修			成績評価方法	平常点40点(取組姿勢) 実技試験・レポート60点 ※本科目は実技を含むため、出席、積極的な取組みも重視します。 ※欠席により減点あり		
教科書	特になし(必要に応じて資料等を配布します)						
参考書	「健康・フィットネスと生涯スポーツ:大修館書店」「公認スポーツ指導者テキストⅠ・Ⅱ・Ⅲ:助日本体育協会」 「スポーツトレーニング理論:日本文芸社」「ストレッチメソッド:高橋書店」「メンタルトレーニング:ベース ボールマガジン社」「教養としてのスポーツ科学:大修館書店」						
学生への要望	※積極的に取組み、運動を楽しむこと。 ※実技の場合はタオル、水分は各自で必ず持参すること。 (体調管理・熱中症対策のため) ※自分の生活習慣に興味、関心を持ち、運動する習慣をつけてほしい。						
ワキタム	火、水、木、の16:00まで						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンス	①授業目的、内容、進め方、評価方法の説明 ②服装、準備物の確認(注意事項含む) ③グループ分け
2	縄跳び①/からだづくりの運動	<p>【テーマ:運動習慣をつける第一歩として、コミュニケーションゲームやレクリエーションで楽しくからだを動かす】</p> <p>【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ(準備運動・動的ストレッチ) ②コミュニケーションゲーム・体ほぐしの運動 ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び(個人およびグループ) ⑥クーリングダウン(静的ストレッチ・からだのケア) ⑦体育館清掃</p>
3	縄跳び②/からだづくりの運動	<p>【テーマ:楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】</p> <p>【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ(準備運動・動的ストレッチ) ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び(個人およびグループ) ⑥クーリングダウン(静的ストレッチ・からだのケア) ⑦体育館清掃</p>

4	ソフトバレーボール①／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
5	ソフトバレーボール②／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
6	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
7	ソフトバレーボール④／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
8	ソフトバレーボール⑤／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
9	フライングディスク①／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>

10	フライングディスク②／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】</p> <p>【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
11	フライングディスク③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】</p> <p>【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
12	ハンドボール①／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ハンドボールはスポーツの基本となる3つの要素（走る・投げる・跳ぶ）を含んだスポーツであり、ボールを使ったエクササイズで基礎体力の維持向上を図ることでスポーツを楽しめる能力を養う】</p> <p>【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ハンドボール（パス・キャッチ・シュート・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
13	ハンドボール②／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ハンドボールはスポーツの基本となる3つの要素（走る・投げる・跳ぶ）を含んだスポーツであり、ボールを使ったエクササイズで基礎体力の維持向上を図ることでスポーツを楽しめる能力を養う】</p> <p>【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ハンドボール（パス・キャッチ・シュート・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
14	ハンドボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ハンドボールはスポーツの基本となる3つの要素（走る・投げる・跳ぶ）を含んだスポーツであり、ボールを使ったエクササイズで基礎体力の維持向上を図ることでスポーツを楽しめる能力を養う】</p> <p>【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ハンドボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
15	実技のまとめ	<p>《まとめとして実技試験を行う》</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②レクリエーションゲーム ③実技試験 ④クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑤体育館清掃</p>

科目名	人間環境学			講義コード	B410202003	担当教員	諸岡 信久
対象	4 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>生命の維持には空気・水・食品の摂取が必須であることから、健康生活のためにはこれらの質が良好であることが重要である。この講義では生活環境である空気・水・土壌に着目し、生活環境を汚染している環境汚染物質が、食品や飲料水を介して、人間の健康にどのような問題を起こすのかについて考えていく。具体的な環境汚染例としては、ダイオキシン等の有機塩素系化合物や、水俣病の原因物質であるメチル水銀、そして発がん性マイコトキシンであるアフラトキシン、催奇形性でよく知られた医薬品のサリドマイドを事例として、毒性物質の作用機序について、栄養素の代謝などと比較して、学んでいく。</p>						
受講資格	特になし			成績評価方法	①レポート20点 ②期末試験80点		
教科書	印刷資料提供						
参考書	薬理学関係の書物						
学生への要望	健康生活に必須である生活環境と食品の問題点について学び、実生活中に生かしてもらいたい。						
オフィス	月曜から木曜のVコマ目 公衆衛生学研究室						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	金属元素	食品汚染が問題となった公害として、水俣病・新潟水俣病（メチル水銀）、イタイイタイ病（カドミウム）、ヒ素ミルク事件（ヒ素）がある。環境問題の原点である水俣病の記録映像をまじえて、公害問題について学ぶ。
2	食品と金属元素	栄養金属元素（K, Na, P, Cl）、毒性金属元素（Hg, As, Cd, Pb）、重金属の生体内挙動、食品に含まれる金属とその量、TDI（耐用一日摂取量）について学ぶ。
3	有機塩素系芳香族化合物	農薬の人体傷害である殺虫剤（DDT, BHC）、除草剤（PCP, 2, 4, 5-T, CNP）、殺菌剤（クロルフェノール）とPCB、ダイオキシンで知られている有機塩素系芳香族化合物による人体傷害について学び、問題点について考える。
4	食品と有機塩素系芳香族化合物	化学物質の特徴、塩素化による化学変化、有機塩素系芳香族化合物の生体内挙動、多様な毒性、食品中に含有する有機塩素系化学物質とその量について学ぶ。
5	大量使用による化合物汚染	人間生活で大量に使用されている化学物質の環境と人体への影響について、大気・水質・土壌汚染の具体的な事例から問題点を学ぶ。
6	免疫機構と食物アレルギー	免疫機構（免疫組織、T細胞、体液性免疫、細胞性免疫、樹状細胞）と食物アレルギーについて学ぶ。
7	食品への健康影響	食品の空気酸化（果物の褐変、魚肉の黒ずみ、高度不飽和脂肪酸の過酸化、小麦の酸化と食品添加物の酸化防止剤）と野菜と土壌肥料（野菜栽培上の要素欠乏と過剰）について学ぶ。
8	水と調理1	上水道の役割と問題点、原水浄化法、塩素消毒による発ガン性化合物トリハロメタンについて学ぶ。
9	水と調理2	水道水の製造、トリハロメタンの発生機構と除去方法、生活排水と下水処理について学ぶ。
10	サリドマイド1	サリドマイドベビーに関するスウェーデンの記録映像から、催奇形とその発現機構について詳細に学ぶ。
11	サリドマイド2	胎盤血管閉門に関する知識を身につけ、各種化学物質の催奇形性に関する資料を参考に妊娠と医薬品について考える。
12	内分泌攪乱化学物質	ペプチドホルモンと低分子ホルモン（甲状腺ホルモン・ステロイドホルモン）、それらのホルモンの情報伝達方法、低分子ホルモンの類似物質である内分泌攪乱化学物質について学ぶ。
13	遺伝子操作作物と狂牛病	遺伝子操作作物（GMO）の実態と食品表示、GMOが生産したタンパク質が問題となる理由について学ぶ。また、狂牛病の病原物質である病原物質プリオンについて学ぶ。

14	生体と化学物質1（毒素）	毒素の作用機構、受容体での結合、毒素の吸収・分布・代謝・排泄、停止する生命連鎖について学ぶ。
15	生体と化学物質2（栄養素）	栄養素の作用機構、受容体での結合、栄養素の吸収・分布・代謝・排泄、停止する生命連鎖について学ぶ。

科目名	公衆衛生学実習			講義コード	B310202105	担当教員	諸岡 信久, 善方 美千子, 影山 志保
対象	3年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	<p>公衆衛生学では地域環境がその地域に住む人々の健康に大きく関わっていることを学んだ。この実習授業では統計学を理解すること、そして室内環境を実際に測定し生活環境および地域環境を理解することを目的としている。統計学では、実習の1コマ目にデータの種類や性質、保健統計、疫学研究およびスクリーニングについて学び、2コマ目に小試験を行うかレポートを提出する。</p> <p>実験については、実際に室内環境などを各種機器を用いて測定し、PCをもちいてグラフなど理解しやすい工夫をした後、その特徴を基に、実習の前半で学んだ統計学的手法を生かし、特徴が証拠として活用できるか検討する。得られた結果は、班毎にパワーポイントを用いた画面を提示しながら10分間で口頭発表する。</p> <p>出席、小試験、レポートとプレゼンテーションが成績の評価となる。</p>						
受講資格	なし			成績評価方法	①小試験50点 ②レポート20点 ③プレゼンテーション30点		
教科書	公衆衛生学実験・実習（建帛社）						
参考書							
学生への要望	分析機器類や薬品、ガスの取り扱いなどや環境中の微生物や毒性物質を取り扱うため、白衣着用、静粛で機敏な行動をしてもらいたい。なお、実習には必ずPCを持参すること。実習室内には実習に使用しない物品などは持ち込まない。実習室での飲食は禁止する。実習終了後は実習室を清掃することをお願いします。						
オフィス	月曜から木曜のVコマ目 公衆衛生学研究室または臨床医学研究室						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンスと統計学の基礎-1（質と量）	ガイダンスでは実習に使用する教科書の紹介、持ち物について、成績評価方法について、授業内容の説明、グループ編成についての説明を行う。 データの種類には質的データと量的データがある。データを取り扱うにあたり、データの種類や性質を理解する必要がある。
2	統計学の基礎-2（度数分布と正規分布）	身長や体重など、国民健康栄養調査のデータを用いて、度数分布グラフを作成し、平均値、標準偏差など統計的理解を深める。
3	統計学の基礎-3（ χ^2 分布、t検定・X検定）	抽出された一部のデータから全体のデータ（母集団）を推定するために χ^2 分布を用い、データの分布を調べる。データに基づき立てた仮説が正しいかどうかをt検定、 χ^2 検定を用いて判断する。
4	保健統計（年齢調整死亡率）	死亡率には年齢が強く影響することから、年齢校正や年次推移の影響を取り除いた値である年齢調整死亡率を求める値を求める手法について学ぶ。
5	疫学研究-1（有病・罹患・致命・死亡・生存率）	集団における疾病発生頻度を計測する指標とされる疾病率・罹患率・致命率・死亡率・生存率について学ぶ。
6	疫学研究-2（曝露効果：相対危険、寄与危険、オッズ比）	曝露の生体への影響を測定し評価するための指標である相対危険、寄与危険、オッズ比を理解する。
7	スクリーニング（敏感度、特異度、適中度）	スクリーニングテストは特定の疾病を有する確率の高い人を選別する手法であり、検査の良否を判定するための指標とされる敏感度、特異度、適中度について理解を深める。
8	生活環境の測定と評価-1（実験計画と準備）	公衆衛生学をより深く理解するために、実際の生活環境の測定を行う。測定を実施するにあたり、生活環境についての解説、実験方法の説明、機器使用方法の説明、実験計画を立てる。次回から実験に使用するために必要な培地の準備などを行う。
9	生活環境の測定と評価-2（空中・土中微生物採取と培養、粉塵測定、放射線測定）	環境中には細菌、真菌、ウイルスなどの多種多様の微生物が存在しており、空気中浮遊粉じんの吸入では肺の病気や細菌感染症、ぜんそくや気管支炎、花粉症が生じることがあることから、私たちの生活環境中の粉塵の測定と、どんな微生物が生息しているのかについて調べる。併せて放射線量についても測定する。
10	生活環境の測定と評価-3（空中・土中微生物の観察）	前回培養した微生物数を計測し、微生物種の同定（グラム染色、顕微鏡観察）を行う。

11	生活環境の測定と評価-4（粉塵分析と土壤放射線の分析）	前回測定した生活環境中の粉塵量と空中・土壤放射線量について結果を解析し、その関連性について考える。
12	生活環境の測定と評価-5（空中や土壤中の粉塵・微生物・放射線の評価）	空中や土壤中の粉塵・微生物・放射線の結果を解析し、その関連性について考える。プレゼンテーション資料についてもまとめる。
13	生活環境の測定と評価-6（予備日）	追加実験やデータまとめ、次回実施するプレゼンテーション資料を作成する。
14	生活環境の測定と評価-7（プレゼンテーション）	班ごとに作成したプレゼンテーション資料を各班10分程度の持ち時間で発表する。発表後に、発表内容についての質疑応答を行う。
15	まとめ	生活環境と評価についての解説と考察を行う。

科目名	臨床医学 I			講義コード	B210202003	担当教員	藤原 建樹
対象	2 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>管理栄養士はチーム医療を担う重要な専門職である。</p> <p>管理栄養士に求められる基本的な医学知識を習得する。</p>						
受講資格				成績評価方法	筆記試験による（100%）。		
教科書	<p>疾病の成因・病態・診断・治療—人体の構造と機能および疾病の成り立ち。</p> <p>竹中 優（編集）、第2版、医歯薬出版株式会社</p>						
参考書	なし						
学生への要望	<p>臨床医学の範囲は膨大である。授業に集中し、主要疾患の概要はその授業時間内に習得すること。</p> <p>理解の一助として画像を用いるが、動画の内容を記憶する必要はない。教科書ないしプリントの内容を理解することが最も肝要である。学生の理解度などにより、適宜、スケジュールの変更もあり得る。</p>						
オフィス	火曜日、水曜日の午前中						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	飢餓と栄養障害	タンパク・エネルギー栄養障害 マラスムス型とクワシオルコル型との異同。
2	ビタミン欠乏症	主なビタミン欠病症 脚気 ペラグラ 壊血病 主なミネラル欠乏症 ウィルソン病 亜鉛欠乏症
3	糖尿病 1	糖尿病とは 糖尿病はなぜ怖い I型糖尿病とII型糖尿病（両者の異同）
4	糖尿病 2	糖尿病診断基準 （糖尿病学会ガイドラインに準じた各種の基準値）
5	糖尿病 3	糖尿病の主な合併症 糖尿病の経過 糖尿病治療の原則
6	資質異常症	脂質異常症 高尿酸血症
7	先天代謝異常	先天性代謝異常症
8	消化器 1	胃食道逆流症 胃・十二指腸潰瘍 胃がん ピロリ菌感染症の臨床的意義
9	消化器 2	クローン病と潰瘍性大腸炎との異同 大腸がん 過敏性腸管症候群

10	消化器	3	ウイルス性肝炎（感染経路、自然経過） 肝硬変 肝癌 脂肪肝
11	消化器	4	胆石・胆のう炎 急性膵炎 慢性膵炎
12	循環器	1	動脈血栓症 深部静脈血栓症 塞栓
13	循環器	2	動脈硬化 粥状硬化の機序 高血圧
14	循環器	3	急性冠症候群 狭心症と心筋梗塞の異同
15	循環器	4	心不全（左心不全とう心不全の特長）

科目名	生化学			講義コード	B110202002	担当教員	関口 晋
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>栄養を理解するための基本は、人体がどんな物質のどんな働きによって成り立っているかを知ることにあります。生化学は、生命に関連した化学反応を主体とした学問であり、人体が活動するために不可欠な機構を物質レベルで考えます。つまり、生化学の基礎を知ることなしには、栄養の本当の意味を理解することはできません。人体は、数多くの物質で構成されています。このため生化学を学ぶ際には、多くの単語、それも日常生活ではお目にかからない単語を覚える必要があります。これらの単語についてその意味をよりわかりやすく伝えるために、講義ではなるべく多くの絵や図を用います。また物質の働きについては、人体における役割と関連づけて説明します。基本的な説明をより多くするために、ノートをとる十分な時間がない場合がありますが、それを補うためにプリントが配布されます。</p>						
受講資格	なし			成績評価方法	期末試験90点、レポート点10点。 (ただし、欠席回数に応じて減点)		
教科書	授業ごとにプリントを配布します。						
参考書	「看護学生超入門シリーズ 生化学 栄養学」穂かり 茂、長谷川 正博、小山 岩雄 著、照林社						
学生への要望	<p>よく理解できないところは、参考書等を用いて積極的に復習してください。復習の方法としては、研究室まで質問にきたり、同級生などと一緒に勉強することも有効です。生化学は、理屈ぬきに覚えることが比較的多い学問です。ものを覚えるためには、手で書くという作業が非常に有効です。ノートを書き直して整理するなどの方法で、必要な知識を頭に入れてください。</p>						
ワイルド	放課後など研究室にいて急用がないときは、いつでも可。前もっての都合は、相談してください。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	生化学概観	<ul style="list-style-type: none"> ・ 糖 ・ アミノ酸、タンパク質 ・ 脂質 ・ 核酸 ・ CHONPS ・ エネルギー代謝
2	糖	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定義 ・ 光学異性体 ・ 単糖の環状ヘミアセタール構造 ・ 単糖の酸化・還元 ・ 天然の糖誘導体 ・ 二糖類 ・ 多糖類
3	アミノ酸・タンパク質 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ アミノ酸とは ・ 側鎖によるアミノ酸の分類 ・ 糖原性、ケト原性 ・ 必須アミノ酸、非必須アミノ酸 ・ アミノ酸のイオン構造 ・ 等電点 ・ ペプチド結合
4	アミノ酸・タンパク質 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一次構造 ・ 二次構造 ・ 三次構造 ・ 二次構造・三次構造を決める要因 ・ 四次構造 ・ アロステリック
5	油脂とリン脂質	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脂質に関する語句 ・ アングリセロール ・ 脂肪酸 ・ リン脂質
6	核酸	<ul style="list-style-type: none"> ・ 核酸とは ・ DNAの構造 ・ 複製 ・ 転写 ・ 翻訳

7	酵素	<ul style="list-style-type: none"> ・ 酵素とは ・ 酵素の性質 ・ 補助因子 ・ 酵素の分類 ・ 反応速度：ミカエリス・メンテンの式 ・ 酵素の阻害 ・ 酵素の調節
8	解糖	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代謝、エネルギー代謝、糖代謝 ・ 糖代謝とオルガネラ ・ 二糖類、グリセロール、グリコーゲンと解糖系 ・ 解糖系第一段階 ・ 解糖系第二段階 ・ 解糖系第三段階 ・ 解糖系第四段階 ・ 解糖系第五段階 ・ 解糖系第六段階 ・ NAD⁺、NADH ・ 解糖系第七段階 ・ 解糖系第八段階 ・ 解糖系第九段階 ・ 解糖系第十段階 ・ NAD⁺のリサイクル
9	クエン酸回路 (TCAサイクル)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意義 ・ アセチルCoAの供給 ・ 段階1：アセチルCoAの導入 ・ 段階2：クエン酸の異性化 ・ 段階3：二酸化炭素の脱離とNADHの合成 ・ 段階4：二酸化炭素の脱離とNADHの合成 ・ 段階5：GTPの合成 ・ 段階6：FADH₂の合成 ・ 段階7：フマル酸からリンゴ酸への変形 ・ 段階8：NADHの合成 ・ 収支
10	酸化的リン酸化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子伝達系と酸化的リン酸化 ・ インプットとアウトプット ・ 呼吸 ・ 複合体I ・ 複合体II ・ 複合体III ・ 複合体IV ・ 複合体V
11	糖新生	<ul style="list-style-type: none"> ・ グリコーゲンの分解 ・ 糖新生第一段階 ・ 糖新生第二段階 ・ リンゴ酸シャトル ・ 糖新生第三段階 ・ 糖新生第十段階 ・ 糖新生第十一段階 ・ 糖新生第十二段階
12	ペントースリン酸経路、グルクロン酸経路	<p>ペントースリン酸経路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意義・役割 ・ 経路の構成 ・ NADPとNADPH ・ 酸化反応の段階 ・ 非酸化反応の段階 ・ 収支 ・ グルコース6-リン酸デヒドロゲナーゼ欠損 ・ 還元的ペントースリン酸回路 <p>グルクロン酸経路</p>
13	アミノ酸代謝	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体内におけるアミノ酸の利用 ・ タンパク質の分解 ・ アミノ酸の分解 ・ 尿素回路 ・ 肝臓以外でのアンモニア処理 ・ アミノ酸の合成 ・ アミノ酸からの合成 ・ アミノ酸代謝関連の疾病
14	トリグリセリドの代謝、ケトン体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脂肪酸の合成 ・ トリアシルグリセロールの消化・吸収 ・ トリアシルグリセロールの再合成 ・ トリアシルグリセロールの運搬 ・ β酸化 ・ ケトン体の合成

15 コレステロール、リポタンパク質

- ・コレステロールとは
 - ・コレステロールの合成
 - ・胆汁酸、性ホルモン、副腎皮質ホルモン、ビタミンD
 - ・コレステロールのエステル化
 - ・コレステロールの吸収
 - ・リポタンパク質
-

科目名	微生物学			講義コード	B410202002	担当教員	諸岡 信久
対象	4年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>微生物の形態、生理、分類、人に対する病原性や発酵食品・抗生物質などに関する研究することが微生物学である。</p> <p>微生物の生息場所、人間生活との係わりがあいを通して、食物栄養学にとって重要な食品が感染経路となる感染症や食中毒菌による発病機構、防御対策などを学ぶ。</p> <p>この講義では、微生物として細菌、かびを主体として、ノロウイルスなど食品が媒介経路となるウイルスについても学ぶ。</p>						
受講資格	必修科目			成績評価方法	期末試験100点		
教科書	教科書：シンプル微生物学(南江堂) 印刷資料提供						
参考書							
学生への要望	管理栄養士国家試験を前に、食品が感染経路になる病原微生物を基礎から講義します。また、病原菌と免疫防御機構や免疫に関係する食物アレルギーについても基礎から学びましょう。食品の安全性を確保するために、微生物学の知識はリアルに重要です。						
ワキタム	月曜日から木曜日のVコマ目 公衆衛生学研究室						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	微生物の概要	<p>1. 細菌の形態では細胞構造と機能特性として、細胞壁とグラム染色、莢膜と病原性、鞭毛と運動性、繊毛と薬剤耐性など顕微鏡写真と細菌の特性を学ぶ。</p> <p>2. 細菌の増殖では、微生物の栄養素や増殖因子から、培地を用いた微生物の培養方法、分解代謝と合成代謝、DNAの複製、タンパク合成、細胞の分裂増殖</p> <p>3. 遺伝子では細菌の遺伝子発現や変異、形質の伝播</p>
2	細菌による感染症成立と化学療法	<p>1. 感染症成立条件、正常微生物叢による感染防御と内因感染や異所感染、人獣共通感染症、皮膚免疫と感染様式、感染の経過、局所感染から全身感染など感染症成立の要因を考える。付着定着因子、侵入因子、毒素、スーパー抗原</p> <p>2. 化学療法では、まず、病原菌の培地の理解、金の生化学的性状、免疫学的検査、分子生物学的検査。薬剤の選択毒性による抗菌スペクトル、作用機構や薬剤耐性機構についてMRSAやVREなどを事例に学ぶ。</p>
3	微生物に対する感染防御と免疫機構	免疫の概念、自己と非自己の識別、自己攻撃の排除、免疫応答の概要を捉える。
4	免疫学-1 自然免疫と獲得免疫	<p>1. 自然免疫：体液性因子として補体、レクチン経路、第二経路。細胞性因子として貪食細胞、NK細胞などT細胞レセプターのある細胞群について学ぶ。</p> <p>2. 獲得免疫：抗原レセプターによる抗原認識、すなわち、B細胞レセプターとT細胞レセプターの発現、クローン細胞の増殖、免疫グロブリンの構造と機能、IgM、IgD、IgG、IgA、IgEのアイソタイプと役割、MHCによる抗原提示、B細胞の分化と抗体生産と機能について学ぶ。また、腸管のバイエルン板のM細胞の役割は食物やこれと友に侵入する病原菌の防御や免疫寛容を考察する。</p>
5	免疫学-2 アレルギーと過敏症	<p>免疫系の病理：免疫寛容と自己免疫疾患（バセドウ、I型糖尿病等）</p> <p>過敏症：I型過敏症（即時型）、II型過敏症（細胞障害）、III型過敏症（免疫複合）、IV型過敏症（遅延型）</p> <p>食物アレルギー：アレルゲンの条件と難消化性物質、消化という免疫寛容の機能</p> <p>ワクチン：病原体の抗原の一部などを接種して抗体を生産させて、病原菌への抵抗性を増強する。</p>
6	細菌学各論-1 グラム陽性菌	<p>1. ブドウ球菌：黄色ブドウ球菌による化膿、食中毒、皮膚剥脱、毒素性ショック症候群、MRSA、VRSA</p> <p>2. 連鎖球菌：ストレプトコッカスによる化膿、咽頭炎、急性リュウマチ、急性糸球体炎、肺炎連鎖球菌</p>

7	細菌学各論-2 グラム陰性嫌気性菌	<ol style="list-style-type: none"> 1. エンテロкокカス：腸球菌による日和見感染、VRE(バンコマイシン耐性腸球菌)、大腸菌と腸管病原性大腸菌、毒素原性大腸菌、腸管組織侵入性大腸菌、腸管出血性大腸菌、腸管凝集付着性大腸菌とペロ毒素。 2. サルモネラ菌による腸チフス、食中毒。赤痢菌と腸管上皮細胞への侵入過程。 3. エルシニアによるベストや感染型食中毒。 4. ビブリオ：コレラ菌やNAGビブリオ、腸炎ビブリオによる食中毒。
8	細菌学各論-3 らせん菌	<ol style="list-style-type: none"> 1. カンピロバクター：人獣共通感染症の菌で細菌性食中毒では事例数で一番多い。カンピロバクター・ジェジュニとコリ 2. ヘリコバクター
9	細菌学各論-4 グラム陰性好気性菌	<ol style="list-style-type: none"> 1. シュードモナス：緑膿菌と多罪耐性 2. レジオネラ：プールや風呂に棲息して、飛沫で感染後肺炎を発症する。人のマクロファージで増殖する。 3. ナイセリア：淋菌で性感染症 4. アルカリゲネシス：百日咳 5. プルセラ：人獣共通感染症
10	細菌学各論-5 グラム陽性桿菌と偏性嫌気性菌	<ol style="list-style-type: none"> 1. グラム陽性桿菌：有芽胞菌で枯草菌、クロストリジウム菌で食中毒や破傷風の病原菌である。炭疽菌、セレウス菌、などが知られている。ジフテリア菌は致死率が高く、人獣共通感染症菌のリステリア菌は日和見感染症として敗血症を起す。 2. 偏性嫌気性菌：ビフィドバクテリウム、ラクトバシラスは食品醗酵や腸内の善玉菌。一方、クロストリジウムは破傷風菌、食中毒のボツリヌス菌として知られている。この中にはウエルツシュ菌による食中毒がある。
11	細菌学各論-6 その他細菌	<ol style="list-style-type: none"> 1. マイコバクテリウム：結核菌、らい菌 2. スピロヘーター：梅毒、歯周病菌、ライム菌、回帰熱、レプトスピラ(ワイル) 3. マイコプラズマ：0.45μm以下の細菌(変則的遺伝暗号)、ステロイド要求性、脂肪酸合成能も無い。 4. リケッチア：ダニが媒介して、生きた細胞の中のみで増殖する細菌。発疹チフス、ツツガムシ、Q熱、線熱 5. クラミジア：動物細胞の内部でのみ増殖(偏性細胞内寄生性)。性感染症菌、オウム病 6. 口腔内細菌：う蝕(ミュータンス連鎖球菌)、歯周病菌
12	ウイルスとプリオン	<p>ウイルス：概要、DNAウイルス、RNAウイルス、増殖様式、インフルエンザウイルスの細胞内増殖過程とタミフル、リレンザの作用機構。インターフェロンによる抗ウイルス作用。ウイルスによる免疫応答。ウイルスによる発がん。ウイルスの伝播経路と感染可能期間。抗ウイルス薬(DNA合成阻害、ノイラミダーゼ阻害、IFN、核酸類似体、逆転写酵素阻害剤、プロテアーゼ阻害剤)、各論(ノロウイルス、風疹ウイルス、コロナウイルス、肝炎ウイルス)</p> <p>プリオン：クロイツフェルト・ヤコブ病、異常プリオンタンパクの増殖</p>
13	真菌学とマイコトキシ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 真菌学：かびや酵母の概論。増殖条件や培地特性、菌糸と胞子の役割。無性胞子と有性胞子。真菌の病原性と発酵食品。真菌による疾病。アレルギー 2. マイコトキシ：かびの生産する動物や人に対する毒素。細菌毒との違いや発がん性。真菌症の治療薬。 3. 各論：カンジダ、アスペルギルス、ペニシリウム、フザリウム、クリプトコッカス、ムコール、スポロトリコーシス、白癬
14	消毒と滅菌	<ol style="list-style-type: none"> 1. 消毒の定義、滅菌の定義、静菌の定義、除菌の定義 2. 消毒薬の種類 3. 感染経路 4. 抗菌薬耐性への対策
15	感染症の予防と対策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一類感染症(7疾患)、二類感染症(5疾患)、三類感染症(5疾患)、四類感染症(42疾患)、五類感染症(全数把握16疾患、定点把握26疾患)、新型インフルエンザ等(新型、再興型)、指定感染症(政令で1年限定指定)、新感染症 2. 予防接種：定期予防接種(勧奨接種)、任意接種 3. 先天性感染症

科目名	解剖学実習			講義コード	B210212110	担当教員	西山 慶治, 中村 真智子
対象	2年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	1
授業目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕 人体を構成している種々の器官について理解を深めるために、様々な標本を用いて学ぶ。</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 人体の組織標本と解剖模型標本の観察・スケッチを行い、人体構造を実感として捉える。</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 人体の構造を自らの体に存在するものとし認識し、その位置を示して働きを概説できる。</p>						
受講資格	特になし			成績評価方法	レポート（スケッチ）50点、期末試験50点、合計100点 欠席は1回5点減点		
教科書	プリントを使用						
参考書	シンプル解剖生理学、他						
学生への要望	自らの体の構造を理解することに努める。						
ワイルド	木曜IV限の教務部非常勤控室など。不在時にはメモを残しておくこと。						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	実習授業の導入	授業計画、注意事項、準備するものなどの説明
2	組織標本の観察 I. 舌	舌乳頭（糸状乳頭、有郭乳頭、葉状乳頭）を光学顕微鏡で観察し、乳頭の構造の特徴と味蕾を確認してスケッチする。
3	II. 唾液腺	唾液腺（耳下腺、顎下腺、舌下腺）を観察して漿液細胞と粘液細胞を同定し、漿液腺と混合腺（半月が特徴）であることを確認する。
4	III. 食道、胃、腸	十二指腸で消化管の一般構造を理解して、食道と胃の特徴的構造を観察する。それらの特徴を機能的に説明できるようにする。
5	IV. 小腸、大腸	小腸（十二指腸、空腸、回腸）と大腸の構造を比較して、その特徴を機能的に説明できるようにする。
6	V. 肝臓、膵臓	肝臓は、機能単位である肝小葉の構造を観察して、門脈と胆道系の流れと肝機能を関連付けて説明できるようにする。膵臓は外分泌系と内分泌系に分けて観察する。
7	VI. 腎臓、甲状腺	腎臓は、尿生成の単位であるネフロン構造を観察し、その各部位の機能を理解する。 甲状腺は、小胞を観察してコロイド、小胞細胞、旁小胞細胞を同定する。
8	解剖模型の観察 I. 胸部、腹部	トルソの模型を用いて胸部及び腹部内臓を観察し、心臓、肺、胃、肝臓、小腸、大腸、腎臓、膀胱などの臓器を同定して、それら臓器の位置関係を把握する。
9	II. 心臓	心臓の模型を用いて、心臓の表面と内部構造を観察してスケッチする。心臓の冠状動脈、4つの部屋、弁膜、刺激伝導系を同定する。
10	III. 呼吸器	呼吸器の模型標本を観察してスケッチする。喉頭と発声の機構、気管、気管分岐部、気管支の分岐、肺葉、肺根を観察してスケッチする。
11	IV. 上部腹部内臓	胃、十二指腸、膵臓、脾臓の模型を観察して、これらの位置関係、並びに腹膜臓器と腹膜後器官を理解してスケッチする。
12	V. 泌尿器	腎臓、尿管、膀胱、尿道の模型を観察して、尿生成から排泄までの経路を理解する。 腎臓は、その断面構造を観察してネフロン構造を想定する。
13	VI. 頭蓋骨、脊柱	頭蓋骨、脊柱、肋骨の体軸を構成する骨格の標本を観察し、支柱の役割及び中枢神経系と呼吸器の保護の役割を理解する。

14	Ⅶ. 四肢骨	上肢帯から自由上肢骨、下肢帯から自由下肢骨までの各骨格を観察して、運動器としての役割を理解してスケッチする。
15	まとめ	観察した標本を復習し、スケッチを完成させて提出する。

科目名	解剖学実習			講義コード	B210222110	担当教員	西山 慶治, 中村 真智子
対象	2年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	1
授業目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕 人体を構成している種々の器官について理解を深めるために、様々な標本を用いて学ぶ。</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 人体の組織標本と解剖模型標本の観察・スケッチを行い、人体構造を実感として捉える。</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 人体の構造を自らの体に存在するものとし認識し、その位置を示して働きを概説できる。</p>						
受講資格	特になし			成績評価方法	レポート（スケッチ）50点、期末試験50点、合計100点 欠席は1回5点減点		
教科書	プリントを使用						
参考書	シンプル解剖生理学、他						
学生への要望	自らの体の構造を理解することに努める。						
ワイルド	木曜IV限の教務部非常勤控室など。不在時にはメモを残しておくこと。						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	実習授業の導入	授業計画、注意事項、準備するものなどの説明
2	組織標本の観察 I. 舌	舌乳頭（糸状乳頭、有郭乳頭、葉状乳頭）を光学顕微鏡で観察し、乳頭の構造の特徴と味蕾を確認してスケッチする。
3	II. 唾液腺	唾液腺（耳下腺、顎下腺、舌下腺）を観察して漿液細胞と粘液細胞を同定し、漿液腺と混合腺（半月が特徴）であることを確認する。
4	III. 食道、胃、腸	十二指腸で消化管の一般構造を理解して、食道と胃の特徴的構造を観察する。それらの特徴を機能的に説明できるようにする。
5	IV. 小腸、大腸	小腸（十二指腸、空腸、回腸）と大腸の構造を比較して、その特徴を機能的に説明できるようにする。
6	V. 肝臓、膵臓	肝臓は、機能単位である肝小葉の構造を観察して、門脈と胆道系の流れと肝機能を関連付けて説明できるようにする。膵臓は外分泌系と内分泌系に分けて観察する。
7	VI. 腎臓、甲状腺	腎臓は、尿生成の単位であるネフロン構造を観察し、その各部位の機能を理解する。 甲状腺は、小胞を観察してコロイド、小胞細胞、旁小胞細胞を同定する。
8	解剖模型の観察 I. 胸部、腹部	トルソの模型を用いて胸部及び腹部内臓を観察し、心臓、肺、胃、肝臓、小腸、大腸、腎臓、膀胱などの臓器を同定して、それら臓器の位置関係を把握する。
9	II. 心臓	心臓の模型を用いて、心臓の表面と内部構造を観察してスケッチする。心臓の冠状動脈、4つの部屋、弁膜、刺激伝導系を同定する。
10	III. 呼吸器	呼吸器の模型標本を観察してスケッチする。喉頭と発声の機構、気管、気管分岐部、気管支の分岐、肺葉、肺根を観察してスケッチする。
11	IV. 上部腹部内臓	胃、十二指腸、膵臓、脾臓の模型を観察して、これらの位置関係、並びに腹膜臓器と腹膜後器官を理解してスケッチする。
12	V. 泌尿器	腎臓、尿管、膀胱、尿道の模型を観察して、尿生成から排泄までの経路を理解する。 腎臓は、その断面構造を観察してネフロン構造を想定する。
13	VI. 頭蓋骨、脊柱	頭蓋骨、脊柱、肋骨の体軸を構成する骨格の標本を観察し、支柱の役割及び中枢神経系と呼吸器の保護の役割を理解する。

14	Ⅶ. 四肢骨	上肢帯から自由上肢骨、下肢帯から自由下肢骨までの各骨格を観察して、運動器としての役割を理解してスケッチする。
15	まとめ	観察した標本を復習し、スケッチを完成させて提出する。

科目名	食品学 I			講義コード	B210202002	担当教員	広井 勝, 郡司 尚子
対象	2 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	人が健康を維持するためには、身体にとり必要な各種食品をバランスよく摂取せねばならない。そのためには、各種食品の持つ性状についての知見を得る努力が必要である。食品学 I はこうした知見を与えることを目標としている。また、本講義は管理栄養士国家試験のガイドラインで示される「食物と健康」の一部を構成するものである。						
受講資格	特になし			成績評価方法	ペーパーテスト90%、レポート10%で評価する。		
教科書	食品学（共立出版）、新訂原色食品図鑑（建帛社）など						
参考書	食品成分表「改訂最新版」（女子栄養大学出版部）、雑誌「食生活研究」						
学生への要望	食品に関心を持つこと						
ワイルドタイム	講義終了時に対応、これ以外は日程を確認して対応。						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	食品の機能	食品の機能とはなにか、機能性成分、保健機能食品（特定保健用食品、栄養機能食品）などについて解説する。
2	穀類の成分	日本人にとって最も大事な食料である米について、その成分の特徴について学ぶ。
3	穀類の成分	穀類とくに小麦、大麦、トウモロコシ、雑穀などの成分の特徴を学び、米の成分との違いを理解する。
4	いも類の成分ならびに甘味料について	いも類（サツマイモ、ジャガイモ、サトイモ、ヤマノイモ）などの性状と成分の特徴を学ぶ。焼き芋のおいしさの秘密を探る。また、砂糖ならびに砂糖の代わりに開発された各種甘味料の性質を学ぶ。
5	豆類の成分	豆類の成分の特徴ならびに日本人がいかに大豆を上手に加工し食べてきたかを食形態の特徴から学ぶ。
6	豆類の成分	落花生、小豆その他の豆類の性状と成分の特徴を学び、これらの豆類と大豆との成分の違いを理解する。
7	種実類の成分	各種種実類（ごま、ギンナンなど）はナッツとして親しまれているがその成分は木の実の種類で大きく異なることを理解する。
8	野菜類の成分	野菜類はミネラル、ビタミン、食物繊維の給源として大事なものである。葉菜類の成分についてまず学ぶ。
9	野菜類の成分	根菜類（ダイコン、ニンジンなど）、果菜類（トマト、キュウリなど）、花菜類（ブロッコリー、ミョウガなど）の成分の特徴について学ぶ。
10	果実類の成分	果実類の成分と特徴と主要な果実類（リンゴ、ナシ、モモ、ミカンなど）の成分を学び、果物の機能性についても理解する。
11	きのこ類の成分	きのこ類には担子菌類（マツタケ、シイタケなど）と子のう菌類（トリュフ、アミガサタケなど）があることや成分の特徴と機能性について学ぶ。
12	藻類の成分	代表的な藻類であるアサクサノリ、コンブ、ワカメ、アオノリ等成分と特徴について学ぶ。
13	魚介類の成分	日本人は魚介類をよく食べています。これら魚介類の成分の特徴と主要な魚類について学び、魚の利用と健康とのかかわりを考える。
14	魚介類の成分	代表的な魚（マグロ、カツオ、サンマ、イワシ、サバ、タラ、タイなど）の成分の特徴を理解する。また、鮮度の低下しやすい魚とそうでない魚について知ることと、鮮度の判定法についても学ぶ。
15	魚介類の成分	イカ、タコ、貝類、エビ、カニなどの成分の特徴について学ぶ。また合わせて、今期に学んだ食品についてポイントを整理し、知識の確認を行う。

科目名	食品衛生学			講義コード	B310202006	担当教員	影山 志保
対象	3年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	食品衛生が目的とする食生活の安全確保は人の健康の保持・増進のために重要な要件である。食品の原料となる食物は旬の時期があり、穀類などでは次の旬まで保存しながら利用する場合がある。また、食品として加工保存する場合もある。長期保存や輸送過程において、酸化分解や微生物腐敗による毒成分の発生なども知られている。一方、食品加工過程で用いられる食品添加物に関する諸問題もある。食品衛生学ではこれらの問題点を明らかにし、食品が原因となる病気が発生しないようにする考え方や技術を学ぶことを目的としている。また、BSEや環境ホルモン、食品の残留農薬や食品の放射能汚染などの問題についても触れていく。						
受講資格	なし			成績評価方法	期末試験100点		
教科書	食安全の科学-食生活を脅かす化学物質の生体作用- (三共出版) 印刷資料						
参考書							
学生への要望	食品衛生学の中核となる概念はHACCPである。食品の危害分析と食品加工における重要管理点監視方式を理解できるようにしよう。						
オフィス	火曜1コマ目から4コマ目 臨床医学研究室						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	食品衛生学の概要	食品＝栄養素＋毒素（環境汚染物質、食品腐敗微生物生産毒素、残留農薬、食品添加物、天然毒素、食品成分分解物） 健康生活のための栄養素と毒素の接種の仕方が良好な健康生活に与えることから、毒素と栄養素の関係について学ぶ。栄養素は運動エネルギーとして異化作用をうけて、同時に体を維持するために同化作用にも必要である。栄養素を適量を摂取した場合に、その摂取物中に含まれる毒素が中毒量に達することがあれば、体が障害をこうむることになる。また毒素を解毒・排泄するためにエネルギーと栄養素を消耗する。
2	HACCP-1	食品の危害分析と食品加工時の重要管理点方式に関する考え方を学ぶ。特にHACCPは対象となるヒトの評価と食品の安全性の組み合わせによって構成されている面を知る。
3	HACCP-2	実際のHACCP管理方式のケーススタディから、家庭で実践できる食中毒予防についてHACCP的アプローチから考える。
4	天然有害物質と化学的食中毒	食中毒事件は少ないが死者が多い天然毒（ふぐ毒、貝毒、きのこ毒等）について資料を基に考える。本来、植物性の食物には毒性物質が多く存在し、ヒトが主食として改良した植物には苦みや渋みがない。例えば、野生の山菜やキノコ、豆やフグなどには毒性成分が多く存在する。また、植物の病原菌に対する防御機構の中で、感染した後新たに植物体内で生合成される殺菌物質ファイトアレキシンを含有する場合がある。
5	細菌性食中毒-1	黄色ブドウ球菌、サルモネラ菌、腸炎ビブリオ、病原性大腸菌、ボツリヌス菌、ウエルシュ菌、セレウス菌、エルニシア、エンテロコリチカ、カンピロバクター、ナグビブリオについて説明する。
6	細菌性食中毒-2	食品管理における細菌性食中毒対策について考える。
7	食品汚染物質-1	カビが生産する人畜毒性物質であるマイコトキシンの特徴と問題点について考える。マイコトキシンによる食中毒は食品の微生物汚染が原因となる食中毒ではあるが、細菌性食中毒とは異なる。カビ毒は私たちの主食となる穀類汚染で多く、60℃から100℃程度の加熱では菌は死滅しても毒素は分解変性しないばかりか、変異原性や発がん性を及ぼす。
8	食品汚染物質-2	食品残留性農薬、農薬の食品への移行・濃縮、ポストハーベスト農薬、無登録農薬、ポジティブ検査などについても学び、一日許容摂取量（ADI）についても知る。
9	食品汚染物質-3	内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）と食品包装や食器の問題について考えてみよう。

10	食品添加物-1	食品添加物の概要、食品保存に関する添加物（保存料・殺菌料・殺虫剤）と食品保存に重要な食品添加物について学ぶ。A D I やマーケットバスケット方式による食品添加物摂取量について考える。
11	食品添加物-2	食品加工に関する添加物（着色料・発色剤・漂白剤・甘味料）、食品の栄養価値を強化する添加物について学ぶ。これらの添加物は食品の劣化防止とは異なった観点から用いられている添加物ではあるが、毒物・発がん性の疑いがある物質が含まれている。
12	食品の加工・保存で生じる毒	脂質過酸化物質、N-ニトロソ化合物、燃焼生成物。食品の劣化に伴って食品中や体内で作られることが知られている食品成分について学ぶとともに、その制御方法についても考察する。
13	異物代謝	毒素が生体内でどのように吸収・分配・代謝・排泄を受けるのか、またどのように毒性を発現するかを考える。
14	突然変異原性と発がん	発がん二段階説、イニシエーター、プロモーターの役割について、食品にかかわる部分について説明する。
15	食生活と発がん	食品成分と発がん、発がんリスクアセスメントを考察する。

科目名	食品学実験 I			講義コード	B210212106	担当教員	広井 勝, 郡司 尚子
対象	2 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	食品に含まれる成分の性質を実験によって確かめる。特にこの実験では炭水化物、たん白質の性質ならびに食品の一般成分の分析を行ない、実験の基本技術を修得する。実験に対して興味を持ってもらうことを大きな目標にしている。						
受講資格	特になし			成績評価方法	授業内容をまとめたノート (70%)、ペーパーテスト (30%) で評価。ただし、授業1回欠席につき5点減点する。		
教科書	食品学実験 (光生館)、五訂増補日本食品成分表						
参考書	特になし						
学生への要望	予習をして実験に望むこと。						
ウェブサイト	講義終了後可能な限り対応する。						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	予定説明	食品学実験 I の目的ならびに実験を行なうに必要な知識の整理。実験の目的ならびに、半期の具体的内容について説明する。
2	ガラス細工	実験室でよく使うガラスの攪拌棒や毛细管などを自分達で作る。そのことによりガラス管やガラス棒を切ったり、曲げたり、伸ばしたりといった簡単な技術を学ぶ。
3	炭水化物の性質と甘味料、特定保健用食品について	次週の実験で使う炭水化物について復習する。また、市販されている各種甘味料の特性や特定保健用食品について実物を見ながら確認する。また、一部ビデオで特定保健用食品や甘味料について学習する。
4	炭水化物の検出	炭水化物に関する実験…単糖類、二糖類、多糖類の定性的な検出法について学んだ後、でん粉の加水分解による変化について酸ならびに酵素を使い比較し、その違いについて考察する。また、未知糖の検出を行なうことにより、糖類全般の化学的性質についてまとめを行なう。
5	デンプンの分解	デンプンを酵素(アミラーゼ)を使って加水分解した場合と、酸(塩酸)を使って加水分解した場合の反応の違いを理解する。
6	未知糖の検出	4 回目の実験で学んだことを整理し、未知の糖液が何であるかを実験により明らかにする。もっとも効率よく作業を行なう行程を図式化して見る。
7	たん白質の検出	たん白質に関する実験…たん白質の基本的性質を知るために組成元素の検出、呈色反応、凝固沈殿反応などを行なう。また、薄層クロマトグラフィーによりアミノ酸の検出、確認を行なう。
8	凝固沈殿反応およびアミノ酸の薄層クロマトグラフィー	たん白質の凝固、沈殿反応とたん白質の変性の関係を理解する。卵白は鉛や水銀の解毒剤として利用されることがあるのはどうしてか考えてみよう。アミノ酸混合物を薄層クロマトグラフィーを使って分離確認する技術を学ぶ。
9	食品分析の説明	食品の一般成分の分析…食品分析法の原理について学んだ後に実際の食品成分分析を行なう。分析試料には凍豆腐を用い、水分、たん白質、脂質、灰分の分析を行ない、炭水化物は差引計算で求める。これらの実験を通じて秤量概念、規定、モルなどの概念とそれぞれの溶液の作り方などを学ぶ。また、定量操作における反応の原理について、反応式より説明できるようにする。
10	水分の定量	105℃常圧乾燥法を利用し凍豆腐の水分を定量する。
11	脂質の定量	ソックスレーのエーテル抽出法により凍豆腐の脂質を定量する。
12	たん白質の定量	セミクロケルダール法によりたん白質を定量する。求めた窒素をたん白質に変換する窒素-たん白質変換係数について理解する。

13	灰分の定量と炭水化物の計算	550℃灰化法で灰分を定量し差引計算法で炭水化物を求める。
14	まとめ	凍豆腐の一般成分を各班で得られた結果を比較し検討する。各班のバラツキや食品成分表との比較を行ない考察する。
15	食品成分表の説明とテスト	食品成分表に載っている成分の分析方法や数値の取扱い方などについて説明し、献立作成に使う場合の留意点などについて述べる。合わせてテストを行ない授業内容の復習ならびに確認をする。

科目名	食品学実験 I			講義コード	B210222106	担当教員	広井 勝, 郡司 尚子
対象	2 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	食品に含まれる成分の性質を実験によって確かめる。特にこの実験では炭水化物、たん白質の性質ならびに食品の一般成分の分析を行ない、実験の基本技術を修得する。実験に対して興味を持ってもらうことを大きな目標にしている。						
受講資格	特になし			成績評価方法	授業内容をまとめたノート (70%)、ペーパーテスト (30%) で評価。ただし、授業1回欠席につき5点減点する。		
教科書	食品学実験 (光生館)、五訂増補日本食品成分表						
参考書	特になし						
学生への要望	予習をして実験に望むこと。						
ウェブサイト	講義終了後可能な限り対応する。						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	予定説明	食品学実験 I の目的ならびに実験を行なうに必要な知識の整理。実験の目的ならびに、半期の具体的内容について説明する。
2	ガラス細工	実験室でよく使うガラスの攪拌棒や毛细管などを自分達で作る。そのことによりガラス管やガラス棒を切ったり、曲げたり、伸ばしたりといった簡単な技術を学ぶ。
3	炭水化物の性質と甘味料、特定保健用食品について	次週の実験で使う炭水化物について復習する。また、市販されている各種甘味料の特性や特定保健用食品について実物を見ながら確認する。また、一部ビデオで特定保健用食品や甘味料について学習する。
4	炭水化物の検出	炭水化物に関する実験…単糖類、二糖類、多糖類の定性的な検出法について学んだ後、でん粉の加水分解による変化について酸ならびに酵素を使い比較し、その違いについて考察する。また、未知糖の検出を行なうことにより、糖類全般の化学的性質についてまとめを行なう。
5	デンプンの分解	デンプンを酵素(アミラーゼ)を使って加水分解した場合と、酸(塩酸)を使って加水分解した場合の反応の違いを理解する。
6	未知糖の検出	4 回目の実験で学んだことを整理し、未知の糖液が何であるかを実験により明らかにする。もっとも効率よく作業を行なう行程を図式化して見る。
7	たん白質の検出	たん白質に関する実験…たん白質の基本的性質を知るために組成元素の検出、呈色反応、凝固沈殿反応などを行なう。また、薄層クロマトグラフィーによりアミノ酸の検出、確認を行なう。
8	凝固沈殿反応およびアミノ酸の薄層クロマトグラフィー	たん白質の凝固、沈殿反応とたん白質の変性の関係を理解する。卵白は鉛や水銀の解毒剤として利用されることがあるのはどうしてか考えてみよう。アミノ酸混合物を薄層クロマトグラフィーを使って分離確認する技術を学ぶ。
9	食品分析の説明	食品の一般成分の分析…食品分析法の原理について学んだ後に実際の食品成分分析を行なう。分析試料には凍豆腐を用い、水分、たん白質、脂質、灰分の分析を行ない、炭水化物は差引計算で求める。これらの実験を通じて秤量の概念、規定、モルなどの概念とそれぞれの溶液の作り方などを学ぶ。また、定量操作における反応の原理について、反応式より説明できるようにする。
10	水分の定量	105℃常圧乾燥法を利用し凍豆腐の水分を定量する。
11	脂質の定量	ソックスレーのエーテル抽出法により凍豆腐の脂質を定量する。
12	たん白質の定量	セミクロケルダール法によりたん白質を定量する。求めた窒素をたん白質に変換する窒素-たん白質変換係数について理解する。

13	灰分の定量と炭水化物の計算	550℃灰化法で灰分を定量し差引計算法で炭水化物を求める。
14	まとめ	凍豆腐の一般成分を各班で得られた結果を比較し検討する。各班のバラツキや食品成分表との比較を行ない考察する。
15	食品成分表の説明とテスト	食品成分表に載っている成分の分析方法や数値の取扱い方などについて説明し、献立作成に使う場合の留意点などについて述べる。合わせてテストを行ない授業内容の復習ならびに確認をする。

科目名	基礎栄養学実習			講義コード	B210212109	担当教員	源川 博久, 善方 美千子
対象	2年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	基礎栄養学実習は、厚生労働省指定の管理栄養士養成課程で専門分野の教育内容として開講される。栄養素を適切に摂取して良好な栄養状態を保つための栄養管理は、ヒトの健康維持のみならず健康増進やQOL(人生の質)の向上のために大変重要である。栄養管理のためには個人の栄養状態がどのような状況にあるのかを評価し、栄養上の問題があれば問題の解決をはかる必要がある。この授業では個人の栄養状態を評価するための方法(栄養アセスメント法)について実習を通して学ぶ。身体計測、尿の生化学的検査を自分自身についておこない、これらの結果に基づいて各自の栄養状態を判定する。結果について生化学や栄養学の知見に基づいて解釈することにより、栄養素の代謝や必要量について理解することを目的とする。						
受講資格	特になし。			成績評価方法	実習ノート(50%)と期末試験(50%)の結果より評価する。また、欠席は減点の対象とする。		
教科書	授業で配布するプリント 日本人の食事摂取基準 2010年版、第一出版						
参考書	栄養学各論Ⅰ、生化学、基礎栄養学、生化学実験の教科書及びプリント						
学生への要望	実習のノートを作成し、実験目的・方法など必要事項を予習すること。 実習ノートの結果・考察はすみやかにおこない、ノートをためないようにする。 期末試験後に実習ノートを提出すること(採点后に返却)。 わからないことはどんなことでも質問すること。						
ウェブサイト	主に水曜日 午前中、木曜日						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンス	授業の進め方、受講上の注意点、教科書、評価方法などについて理解する。また、基礎栄養学実習で取りあげる授業内容について説明する。また、栄養マネジメント(管理)の重要性と管理栄養士の役割について確認する。
2	栄養スクリーニング	栄養スクリーニングについて確認し、自分自身について栄養スクリーニングをおこなう。栄養スクリーニングは病院と介護保険施設で用いられている方法についておこなう。
3	身体計測Ⅰ	栄養アセスメントにおける身体計測の意義と方法について確認し、身長と体重を測定する。また、体格指数(BMI)を算出し、BMIから体格について考察する。
4	身体計測Ⅱ	インピーダンス法により体脂肪率を測定し、自分の体脂肪率とBMIから、体格と栄養状態を確認する。
5	身体計測Ⅲ	キャリパーを用いた上腕三頭筋皮下脂肪厚ならびに肩甲骨下端部皮下脂肪厚を測定し、皮下脂肪厚から体脂肪率を確認する。
6	身体計測Ⅳ	メジャーを用いた上腕周囲長、下腿周囲長、腹囲を測定し、上腕周囲長と上腕三頭筋皮下脂肪厚から上腕筋周囲長と上腕筋面積を求め、筋肉量と脂肪量を確認する。
7	身体計測Ⅴ	立位身長測定が困難な場合の測定方法を学び、膝高より身長を推定する。
8	骨量評価	超音波式骨量計による骨量を測定し、骨量の状況について考察する。
9	生化学的検査Ⅰ	栄養アセスメントにおける尿の生化学的検査の意義について学び、24時間尿の採尿方法に関して理解し、準備をする。
10	生化学的検査Ⅱ	24時間尿を採尿し、尿量計測、分析準備をおこなう。
11	生化学的検査Ⅲ	栄養アセスメントにおける尿中クレアチニンについて説明し、24時間尿中クレアチニン濃度を測定する。その結果から、クレアチニンクリアランスや筋肉量について考察する。
12	生化学的検査Ⅳ	原子吸光法による24時間尿中ナトリウム量を測定し、食事摂取基準のナトリウム摂取基準と比較して考察する。
13	生化学的検査Ⅴ	原子吸光法による24時間尿中カリウム量を測定し、食事摂取基準のカリウム摂取基準と比較して考察する。

14	食事調査	カルシウムの摂取量について食事調査をおこない、カルシウム摂取の状態を考察する。
15	まとめと試験	これまでの実習の総括をおこない、試験にて理解度を確認する。

科目名	基礎栄養学実習			講義コード	B210222109	担当教員	源川 博久, 善方 美千子
対象	2年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	基礎栄養学実習は、厚生労働省指定の管理栄養士養成課程で専門分野の教育内容として開講される。栄養素を適切に摂取して良好な栄養状態を保つための栄養管理は、ヒトの健康維持のみならず健康増進やQOL(人生の質)の向上のために大変重要である。栄養管理のためには個人の栄養状態がどのような状況にあるのかを評価し、栄養上の問題があれば問題の解決をはかる必要がある。この授業では個人の栄養状態を評価するための方法(栄養アセスメント法)について実習を通して学ぶ。身体計測、尿の生化学的検査を自分自身についておこない、これらの結果に基づいて各自の栄養状態を判定する。結果について生化学や栄養学の知見に基づいて解釈することにより、栄養素の代謝や必要量について理解することを目的とする。						
受講資格	特になし。			成績評価方法	実習ノート(50%)と期末試験(50%)の結果より評価する。また、欠席は減点の対象とする。		
教科書	授業で配布するプリント 日本人の食事摂取基準 2010年版、第一出版						
参考書	栄養学各論Ⅰ、生化学、基礎栄養学、生化学実験の教科書及びプリント						
学生への要望	実習のノートを作成し、実験目的・方法など必要事項を予習すること。 実習ノートの結果・考察はすみやかにおこない、ノートをためないようにする。 期末試験後に実習ノートを提出すること(採点后に返却)。 わからないことはどんなことでも質問すること。						
ワキタム	主に水曜日 午前中、木曜日						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンス	授業の進め方、受講上の注意点、教科書、評価方法などについて理解する。また、基礎栄養学実習で取りあげる授業内容について説明する。また、栄養マネジメント(管理)の重要性と管理栄養士の役割について確認する。
2	栄養スクリーニング	栄養スクリーニングについて確認し、自分自身について栄養スクリーニングをおこなう。栄養スクリーニングは病院と介護保険施設で用いられている方法についておこなう。
3	身体計測Ⅰ	栄養アセスメントにおける身体計測の意義と方法について確認し、身長と体重を測定する。また、体格指数(BMI)を算出し、BMIから体格について考察する。
4	身体計測Ⅱ	インピーダンス法により体脂肪率を測定し、自分の体脂肪率とBMIから、体格と栄養状態を確認する。
5	身体計測Ⅲ	キャリパーを用いた上腕三頭筋皮下脂肪厚ならびに肩甲骨下端部皮下脂肪厚を測定し、皮下脂肪厚から体脂肪率を確認する。
6	身体計測Ⅳ	メジャーを用いた上腕周囲長、下腿周囲長、腹囲を測定し、上腕周囲長と上腕三頭筋皮下脂肪厚から上腕筋周囲長と上腕筋面積を求め、筋肉量と脂肪量を確認する。
7	身体計測Ⅴ	立位身長測定が困難な場合の測定方法を学び、膝高より身長を推定する。
8	骨量評価	超音波式骨量計による骨量を測定し、骨量の状況について考察する。
9	生化学的検査Ⅰ	栄養アセスメントにおける尿の生化学的検査の意義について学び、24時間尿の採尿方法に関して理解し、準備をする。
10	生化学的検査Ⅱ	24時間尿を採尿し、尿量計測、分析準備をおこなう。
11	生化学的検査Ⅲ	栄養アセスメントにおける尿中クレアチニンについて説明し、24時間尿中クレアチニン濃度を測定する。その結果から、クレアチニンクリアランスや筋肉量について考察する。
12	生化学的検査Ⅳ	原子吸光法による24時間尿中ナトリウム量を測定し、食事摂取基準のナトリウム摂取基準と比較して考察する。
13	生化学的検査Ⅴ	原子吸光法による24時間尿中カリウム量を測定し、食事摂取基準のカリウム摂取基準と比較して考察する。

14	食事調査	カルシウムの摂取量について食事調査をおこない、カルシウム摂取の状態を考察する。
15	まとめと試験	これまでの実習の総括をおこない、試験にて理解度を確認する。

科目名	栄養学各論 I			講義コード	B210202005	担当教員	源川 博久
対象	2 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	栄養学各論 I は、厚生労働省指定の管理栄養士養成課程で専門分野の教育内容として開講される。そのため、「身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の考え方を理解すること」が授業の目的となる。そのため、栄養学各論 I では、栄養マネジメント(管理)の考え方と方法について学ぶ。特に、栄養マネジメントにおいて重要な栄養アセスメント(評価・判定)の基本的な考え方を理解する。続いて、栄養アセスメントに用いる「日本人の食事摂取基準」の基本的概念、活用について学ぶ。さらに、ヒトでは加齢、発育や妊娠などライフステージや状況により人体の構造や機能の変化に伴い生理的变化もおこるため、状況に応じた栄養管理が重要となる。応用栄養学 I では、成長や発達による身体の変化や妊娠期について取上げ、生化学・生理学的特徴ならびに栄養学的特徴を学ぶ。						
受講資格	特になし。			成績評価方法	期末試験(60%)と小テスト(40%)の結果より評価する。また、欠席は減点の対象とする。		
教科書	健康・栄養科学シリーズ「応用栄養学」改訂第4版、戸谷誠之ら編、南江堂						
参考書	日本人の食事摂取基準 2010年版、第一出版						
学生への要望	応用栄養学と関係のある科目(基礎栄養学、生化学など)と関連付けをして理解を深めることが望ましい。そのため、わからないことは栄養学各論 I に関わらず質問すること。						
ワキタム	主に水曜日 午前中、木曜日						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンス	授業の進め方、受講上の注意点、教科書、評価方法などについて理解する。また、栄養学各論 I で取りあげる授業内容について説明する。
2	日本人の食事摂取基準 I	日本人の食事摂取基準の基本的概念として、策定の基礎理論について確認する。
3	日本人の食事摂取基準 II	食事摂取基準で示されている推定エネルギー必要量について、策定理論や指標の意味について解説する。
4	日本人の食事摂取基準 III	食事摂取基準で示されている推定平均必要量・推奨量・目安量について、策定理論や指標の意味について解説する。
5	日本人の食事摂取基準 IV	食事摂取基準で示されている耐容上限量・目標量について、策定理論や指標の意味について解説する。
6	日本人の食事摂取基準 V	食事摂取基準の活用における留意点(過少申告・過大申告・日間変動・優先順)について解説する。
7	日本人の食事摂取基準 VI	食事摂取基準の活用について、確率法・カットポイント法にてエネルギーや栄養素の不足の確率の考え方について解説する。
8	まとめ I ・小テスト I	食事摂取基準についてまとめ、理解度を小テストにて確認する。
9	栄養アセスメント I	栄養マネジメントや栄養スクリーニングの目的・方法について解説する。
10	栄養アセスメント II	栄養アセスメントの分類(静的評価法・動的評価法)について解説する。
11	栄養アセスメント III	栄養アセスメントの4種類の方法のうち、臨床検査と身体計測による栄養状態の評価方法を解説する。
12	栄養アセスメント IV	栄養アセスメントの4種類の方法のうち、生化学的検査と食事調査による栄養状態の評価方法を解説する。
13	まとめ II ・小テスト II	栄養アセスメントについてまとめ、理解度を小テストにて確認する。
14	妊娠期 I	妊娠期の生化学・生理的变化(妊娠と分娩)と栄養学的特徴について解説する。
15	妊娠期 II	妊娠期の栄養学的問題点と望ましい栄養摂取について解説する。

科目名	栄養学各論Ⅲ			講義コード	B310202009	担当教員	菊池 節子
対象	3年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①成長期（幼児期、学童期、思春期）の生理的特徴を理解する。 ②成長期の栄養状態の変化を理解する。 ③成長期の栄養アセスメントを理解する。 ④成長期の栄養・疾患について理解する。 ⑤成長期の栄養ケアについて理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>栄養学各論Ⅲでは、各論ⅠおよびⅡに引き続き、個人の身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の実際（生理的特徴、栄養状態の変化、栄養アセスメント、栄養と疾病・疾患、栄養ケア）など、幼児期から思春期までのライフステージ別に応用栄養学の実践的内容について学ぶ。本授業は、これらの学習を通じて、個人の状況に適した望ましい食生活のあり方について考え、栄養や食生活の問題点を改善するための栄養マネジメント能力を育成することを目標にする。</p> <p>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</p> <p>①個人の状況に適した望ましい食生活のあり方について考えることができる。 ②成長期の栄養や食生活の問題点を改善するための栄養マネジメントについて理解できる。</p>						
受講資格	大学食物栄養学科学生			成績評価方法	筆記試験 100点		
教科書	応用栄養学（改訂第3版） 戸谷誠之、伊藤節子、渡邊令子編集 南光堂						
参考書	日本人の食事摂取基準（2010年版） 第一出版						
学生への要望	予習をして意欲的に取り組み、終了後は既習関連教科内容も含めて復習をしっかりと行い理解の定着を図ること。毎回授業終了時に豆テストを行い、理解の程度を確認する。						
ウェブサイト	金曜V限 No.1調理学研究室 またはskikuchi@koriyama-kgc.ac.jpまで						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	幼児期の栄養①	発育区分、身長、体重、成長曲線、カウプ指数、口腔機能・生理的機能の発達、さらに運動機能、知能、言語、精神・神経の発達、生活習慣、社会性について学び、幼児期の成長と発達について理解する。
2	幼児期の栄養②	基礎代謝量、身体活動度、食生活、さらに臨床診査、臨床検査、身体計測について学び、幼児期の栄養状態の変化と栄養アセスメントについて理解する。
3	幼児期の栄養③	低体重と過体重・肥満、低栄養、脱水、発達障害、う歯、不適切な身体活動・生活習慣・食生活、偏食について学び、幼児期の栄養と病態・疾患、生活習慣について理解する。
4	幼児期の栄養④	成長・発達、身体活動に対応したエネルギー・栄養素の補給、食物や食事を味わい、受容し、楽しむ能力の形成、適切な食習慣の形成、施設内給食について学び、幼児期の栄養ケアのあり方について理解する。
5	学童期の栄養①	成長・発達、脳・免疫機能の発達、身体活動度、自己管理能力の発達、生活習慣の変化、さらに身長・体重、体組成、食習慣の変化について学び、学童期の成長・発達と栄養状態の変化について理解する。
6	学童期の栄養②	血圧、血清たんぱく質、血清脂質、血糖、ヘモグロビン、ヘマトクリット、尿たんぱく・糖などの臨床検査項目、さらに身体計測（身長・体重、成長曲線、ローレル指数）について学び、学童期の栄養アセスメントについて理解する。
7	学童期の栄養③	肥満とやせ、鉄欠乏性貧血、生活習慣病（高血圧・脂質異常症・糖尿病）、不適切な身体活動と食生活（孤食を含む）、生活習慣（不規則なリズム・心の問題）などについて学び、学童期の栄養と病態・疾患、生活習慣について理解する。
8	学童期の栄養④	骨の発達についてビデオを見て学び、骨芽細胞と破骨細胞の働きと、骨形成・骨吸収の骨代謝メカニズムについて理解を深める。

9	学童期の栄養⑤	成長・発達、身体活動に対応したエネルギー・栄養素の補給、生活習慣病のリスクを軽減するための食生活、自己管理能力の形成について学び、栄養ケアのあり方を理解します。さらに、学校給食の沿革と目的、給食の形態、学校給食食事摂取基準と食品構成を学び、学校給食について理解する。
10	思春期の栄養①	第二性徴、月経開始、成長急伸、精神発達、さらに臨床検査、身体計測について学び、思春期の成長・発達と栄養アセスメントについて理解する。
11	思春期の栄養②	摂食障害、不適切な身体活動・食生活（外食・食品選択）・生活習慣、薬物乱用、飲酒、喫煙について学び、思春期の栄養と病態・疾患、生活習慣について理解する。
12	思春期の栄養③	成長・発達に対応したエネルギー・栄養素の補給、栄養素貯蔵能の保持、適切な栄養状態の維持、疾病予防、健康の維持管理、自己管理能力の習得について学び、思春期の栄養ケアのあり方について理解する。
13	更年期（閉経期）の栄養①	更年期の内分泌系、生殖系、代謝を学び、閉経による身体の変化と更年期の栄養アセスメントについて理解します。
14	更年期（閉経期）の栄養②	更年期障害、骨粗鬆症を学び、更年期の栄養と病態・疾患を理解した上で、QOLの向上、生活習慣（特に食習慣）の改善、自己管理能力の習得など、栄養ケアについて理解します。
15	まとめ	半期を振り返り、栄養学各論Ⅲで学んだ内容のより一層の定着を図る。

科目名	栄養教育論Ⅱ			講義コード	B310202011	担当教員	岡部 聡子
対象	3年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	栄養教育のための実践基礎知識を学び、食事と栄養、食生活の重要性を理解する。健康維持と増進、障害者の自立支援を目指した栄養食事指導ができる能力を養う。						
受講資格	食物栄養学科3年			成績評価方法	筆記試験80% 課題提出20%		
教科書	エッセンシャル栄養教育論 第2版 春木 敏 編 (株) 医歯薬出版						
参考書							
学生への要望	ライフステージ別の栄養と特性、栄養摂取と食事のポイントを理解し、栄養教育の目標を立案できるようにする。						
ワキタム	月曜・木曜日午後						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	栄養教育の意義と必要性	栄養教育の概念・意義を理解し、食行動から捉える問題点を考え、行動療法に基づく健康支援について理解する。
2	栄養教育のための実践基礎知識 (1)	日本人の食事摂取基準 (2010年版) の基本的な活用方法と留意点、食品構成、献立作成について学ぶ。
3	栄養教育のための実践基礎知識 (2)	わかりやすい食事チェック教材 (食事バランスガイド、新食生活指針、運動指針、休養指針) について理解する。
4	栄養教育のための実践基礎知識 (3)	健康・栄養・食生活の知識と健康的な食生活管理ができるよう栄養・食生活情報の正しい選択と活用について学ぶ。
5	栄養指導の変遷と栄養教育	栄養指導と学習形態、教材の種類、栄養教育について必要な指導のポイントを学ぶ。
6	栄養教育の実際 (1) (妊娠期・授乳期)	妊娠期・授乳期を対象とする栄養と特性を理解し、栄養教育プログラムの作成と評価について学ぶ。
7	栄養教育の実際 (2) (幼児期・児童期)	幼児期・児童期を対象とする栄養と特性を理解し、栄養教育プログラムの作成と評価について学ぶ。
8	栄養教育の実際 (3) (思春期)	思春期を対象とする栄養と特性を理解し、栄養教育プログラム (肥満・やせ) 作成、実施と評価について学ぶ。
9	栄養教育の実際 (4) (成人期)	成人期を対象とする栄養と特性を理解し、生活習慣病予防と食事療法の基本方針、地域・職域における栄養教育のためのプログラムの作成、保健指導と評価について学ぶ。
10	栄養教育の実際 (5) (高齢者)	高齢者を対象とする栄養と特性を理解し、低栄養と食事療法の栄養教育プログラム作成、実施と評価について学ぶ。
11	介護予防と栄養教育	介護保険制度と栄養改善サービス、食事計画、支援、栄養相談、助言等について学ぶ。
12	障害者と栄養教育	障害者を対象とする栄養と特性を理解し、栄養教育プログラムの作成、実施と評価について学ぶ。
13	SATヘルスカウンセリングの栄養教育への適用	SATヘルスカウンセリングの基本姿勢、基本的な進め方、コーチングの適用について学ぶ。
14	食環境づくり、外食産業と栄養教育	食物のアクセス面での展開、食料自給率の動向、食の安全・安心への取り組み。外食産業の動向等について理解する。
15	まとめ	各分野における栄養教育の重要性を理解し、さらに世界の栄養問題、慢性疾患予防、小児疾患等について理解する。

科目名	食文化・食行動論			講義コード	B410202020	担当教員	先崎 和子
対象	4 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>人間の食生活の機能や意義を、動物と人間の食行動の違い、なぜ食べるのかという視点から考え、食生活の構造や食生活を変容させる多様な要因を視野に入れ、食生活を総合的にとらえ、心身の健康増進と豊かな人間形成をめざした食生活環境、食文化について理解する。</p> <p>具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> 食品表示、食の安心・安全、生活習慣病、食育など食の諸問題を理解することができる。【知識・理解】 これからの食教育・健康教育のありかたを考え、提案することができる。【意欲・態度】 郷土の食文化の魅力を発見し、効果的な発信方法を考え、プレゼンテーションすることができる。【技能・表現】 						
受講資格	特になし			成績評価方法	①【知識・理解】については、テスト 70点 ②【意欲・態度】については、ノート 10点 ③【技能・表現】については、プレゼンテーション 20点 ④欠席は 減点		
教科書	食文化論 建帛社						
参考書							
学生への要望	<ul style="list-style-type: none"> 欠席しないこと 授業で出される課題に積極的に取り組むこと どんな小さな疑問、質問もそのままにしないこと 						
オフィス	月 I、II コマ 木 III、IV コマ						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	食文化・食行動論を学ぶ意義	「なぜこの授業を学ぶのか」「この授業の目指すところ」を本学のキャリア教育の2つの柱「つくる力」「かかわる力」と照らし合わせながら、明確に示す。また、本授業の15回の概説と評価方法について説明する。第1回目は、食生活の概念について取り上げる。
2	グローバルな視点で食文化を見る 世界の食生活史	世界の国々の食材を紹介し、食卓の様子から食文化の多様性を知る。
3	世界の食生活史 文化を反映する食習慣	宗教から見た世界の食事様式や世界の行事食について解説する。
4	日本の食生活史 わが国の日常食の始まり	稲作の伝来と米の主食化、魚介類、や野菜の副食化について解説する。
5	日本の食生活史 わが国の新たな日常食の確立と定着	開発途上国型食生活からの脱出と新たな日常食（日本型食生活）の確立について解説する。
6	食生活の変貌と地域の食材	現代人のライフ・スタイルと食文化の変貌や現代生活における特産の料理について学び、地産地消における道の駅や第6次産業について解説する。
7	年中行事のおもてなしと食文化	年中行事のおもてなしと食文化や五節句と冠婚葬祭のおもてなしについて解説する。
8	食のしきたり 郷土料理と年中行事	各自が、興味のある郷土料理の由来について調べ、まとめ、プレゼンテーションする。（全員が発表）
9	食のしきたり 郷土料理と年中行事	各自が、興味のある郷土料理の由来について調べ、まとめ、プレゼンテーションする。（全員が発表）
10	よりよい食行動を目指して 果物	外国からの輸入果物も含めると、1年を通してさまざまな果物を購入できる時代になった。果物をどれくらい食べたらよいかを実感するために、糖度計で糖度の測定実験を行う。また、世界のめずらしい果物を紹介する。

11	よりよい食行動を目指して お菓子	嗜好食品その①	全国の銘菓についての認知度調査を行う。また、おやつの問題点として挙げられる脂質、油分、糖分、塩分などについて、実際の表示を見ながら学ぶ。
12	よりよい食行動を目指して アルコール	嗜好食品その②	アルコール（お酒）の歴史を振り返りながら、世界の地域に根ざした酒の種類と生成法を学ぶ。また、お酒のリスクと健康管理について知り、自己管理に役立てる。
13	よりよい食行動を目指して	食行動異常	若い女性のやせ問題、若年層の肥満や小児糖尿病など生活習慣に関連した問題について理解を深める。味覚テストを実施して、栄養の偏りからくる味覚障害について考える。
14	よりよい食行動を目指して	食行動異常	偏食、過食、拒食の食行動について脳科学や心理学の分野における研究論文を紹介し、理解を深める。
15	よりよい食行動を目指して	食行動異常	「こしょく」や食べ方の悪い癖など、次世代を担う子どもたちが描いた「食卓の風景」を考察し、より良い食行動のありかたを考えると同時に、この授業を選択した学生に、「食文化の伝統継承」や「新たな食文化の創出」の担い手として社会において活躍が期待されていることを伝え、総括とする。

科目名	栄養教育論実習			講義コード	B310202101	担当教員	岡部 聡子, 本間 杏菜
対象	3年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	現代社会における食生活は社会構造の変化、生活の多様化、氾濫する情報に伴って、ますます複雑多岐となっています。行動変容技法やカウンセリング技法を学び、実際に体験することで技術の習得を目指します。						
受講資格	食物栄養学科3年			成績評価方法	筆記試験70%、提出物30%、欠席減点		
教科書	「演習栄養教育 第6版」(株)医歯薬出版 大里進子 編著						
参考書	プリント						
学生への要望	栄養教育に必要な基礎・媒体・食生活の現状を把握し、栄養教育計画作成の要点を理解する。						
ワイルドタイム	月・木曜日午後						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	栄養教育と媒体	栄養教育における媒体と教材の作成の意義 (資料配布)
2	栄養アセスメントの方法	身体測定の方法、臨床検査値、臨床審査の見方について学ぶ
3	栄養アセスメント・ケアプラン①	症例別検討①: 栄養アセスメントを実施し、ケアプランを作成する食生活問診の方法、臨床検査値の見方について、ケアプランを記入の仕方
4	栄養アセスメント・ケアプラン②	症例別検討②: 栄養アセスメントを実施し、ケアプランを作成する食生活問診の方法、臨床検査値の見方について、ケアプランの記入の仕方
5	カウンセリングの実習	カウンセラーとクライアントのそれぞれの立場で役割を演じながら、カウンセリングの技法について学ぶ
6	SOAPの記録方法の実習	POSの考え方を基盤としたSOAPの記録方法についての演習 個別栄養指導時の記録法の留意点を学ぶ
7	ロールプレイングの実習①	ロールプレイングを通して、糖尿病の栄養アセスメント・ケアプランの実際を学ぶ アセスメント・ケアプランのまとめの発表と評価を行う
8	ロールプレイングの実習②	ロールプレイングを通して、糖尿病の栄養アセスメント・ケアプランの実際を学ぶ アセスメント・ケアプランのまとめの発表と評価を行う
9	集団栄養教育の実習① (バランス食について)	女子短大生を対象とし、バランス食についての集団栄養指導を行う 必要な資料の作成、媒体の工夫についてグループ内で話し合い作成する
10	集団栄養教育の実習② (前週の発表)	前週に作成した媒体を使用して、実際に集団栄養指導を実施する
11	集団栄養指導の実習③ (行動療法の取り入れ)	塩分制限について行動療法を取り入れた指導法について学ぶ 実際に行動療法の中から自分たちが実施可能なものを選択し体験してみる
12	集団栄養教育の実習④ (行動療法の取り入れ)	前週に引き続き、鉄分量を増やす行動療法について取り入れ、実際に行動してみる
13	集団栄養教育の実習⑤ (発表)	各グループがそれぞれに取り組んだ行動療法についてその成果を発表する
14	ライフステージにおける栄養指導 (離乳食)	保健所実習に向けて、乳幼児の離乳食について学ぶ
15	まとめ・各ライフスタイル別疾病の要点と確認	半期を振り返り、栄養教育の重要性と要点を確認する

科目名	臨床栄養学Ⅱ			講義コード	B310202008	担当教員	根本 恵美子
対象	3年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	管理栄養士は臨床に即して栄養評価や判定を行い、栄養教育や管理をする。疾病の成因を理解し病態時の栄養状態の把握、食事療法の基本的な方針と食事基準、疾病の予後、各疾病ごとの栄養相談のポイントを学ぶ。						
受講資格				成績評価方法	試験100点。欠席状況により減点する。		
教科書	サクセス管理栄養士講座 臨床栄養学Ⅱ。疾患・病態別 第一出版						
参考書							
学生への要望							
ワイルド	金曜日午前						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	疾病と栄養治療	病因における治療食、特別食（エネルギーコントロール食、たんぱく質コントロール食、脂質コントロール食、易消化食）の栄養の基本。
2	消化管疾患の栄養治療	食道・胃・十二指腸疾患の栄養治療の特徴と実際、病態に対応する献立作成と調理形態、栄養アセスメントと食事療法。
3	消化管疾患の栄養治療	術前・術後の病態と代謝の特徴、術前・術後の栄養士による栄養管理の必要性、術前・術後の栄養管理、食事栄養アセスメントによる適応献立の立案の必要性。 胃切除後障害の病態、栄養障害の特徴と実際（ダンピング症候群、貧血、骨代謝障害、逆流性食道炎、栄養障害、体重減少） 栄養治療法の原則としての食事療法。
4	肝臓疾患・胆嚢・膵臓疾患の栄養療法	肝臓・膵臓疾患の病態と栄養治療の特徴と実際、肝臓の主な機能と肝硬変での検査成績、適応する献立の立案、栄養アセスメント。
5	内分泌・代謝疾患の栄養治療法 1	糖尿病の病態と栄養障害の特徴、診断基準、食事療法と適正摂取カロリー、食品交換表を利用した献立の立案、栄養アセスメントとケアプラン。
6	内分泌・代謝疾患の栄養療法 2	脂質異常症の病態と栄養治療の特徴、診断基準、栄養療法、栄養アセスメント。 高尿酸血症の病態と栄養治療の特徴、高尿酸血症の合併症と食事療法。
7	循環器疾患の栄養療法	高血圧・心疾患・動脈硬化の病態と栄養治療の特徴と実際、栄養アセスメント
8	腎臓病の栄養療法	腎臓病の栄養療法の特徴と実際と食事療法、食品交換表を利用する栄養管理。
9	妊娠・授乳期の栄養治療法	妊娠期・授乳期の食事摂取基準と付加量、各種栄養素の需要、合併症妊娠における食事療法、母乳と嗜好品。
10	乳幼児・幼児期疾患の栄養療法	乳児期、幼児期の栄養障害の栄養治療、アレルギー疾患、先天性代謝異常。
11	栄養欠陥と栄養療法	疾患と関連した栄養素の過剰や相対的な栄養バランスの崩れ等、栄養障害、たんぱく質栄養不良症、栄養指標の意義。
12	高齢者に多い疾患の栄養療法	高齢者に多い疾患と症状、栄養アセスメントと栄養療法。
13	静脈栄養法、経腸栄養法の栄養管理 1	静脈栄養法、経腸栄養法の特徴・適応・禁忌、栄養療法の効果とチーム医療。 経腸栄養剤の種類、特徴と調整法、合併症。

14	静脈栄養法、経腸栄養法の栄養管理 2	静脈栄養法、経腸栄養法の特徴・適応・禁忌、栄養療法の効果とチーム医療、経腸栄養剤の種類、特徴と調整法、合併症。
15	臨床栄養の栄養管理および食事療法のまとめ	疾患の成因を理解し、栄養食事アセスメントと栄養教育の基本を学ぶ。

科目名	栄養管理学Ⅱ			講義コード	B41020207	担当教員	根本 恵美子
対象	4年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	疾病対象の主訴、栄養状態、臨床検査値、検査所見等から適正な治療食の栄養管理を行うための病態について学ぶ。特に生活習慣病の成因(病因)、症状、栄養ケアとマネジメント、栄養評価、栄養補給法、栄養管理計画の立案及び栄養教育について理解する。						
受講資格				成績評価方法	試験100点 欠席状況により減点。		
教科書	「臨床栄養管理—管理栄養士国家試験改定ガイドライン対応」 新しい臨床栄養管理						
参考書							
学生への要望							
ワイルド	授業終了後						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	臨床と栄養管理	臨床における治療食の重要性、栄養補給法、臨床における各疾患の食事基準に対応する栄養管理、医療・福祉・介護と臨床栄養について学ぶ。
2	栄養アセスメント(傷病者・要介護者)	栄養アセスメントの意義と目的、栄養スクリーニング・栄養アセスメントの方法 臨床診査、臨床検査、必要栄養量と算定、臨床症状と疾病について学ぶ。
3	栄養・食事療法、栄養療法	一般治療食と特別治療食、入院患者の食事摂取基準、治療食の種類、経消化管栄養療法、経腸栄養・経静脈栄養と栄養管理。
4	栄養ケアプランと実施	栄養ケアの目標設定とプランの作成、モニタリングと再評価 栄養ケアを記録することの意義を理解する。栄養教育。
5	肥満・代謝疾患と栄養管理 1	肥満症、メタボリックシンドローム、脂質異常症、高尿酸血症の病態と栄養管理、栄養基準、補給、栄養教育。
6	肥満・代謝疾患と栄養管理 2	糖尿病の病態と食事療法、栄養管理、栄養基準・補給。 糖尿病食事療法のための食品交換表の応用、栄養教育。
7	消化器系の疾患と栄養管理 1	胃食道逆流症、胃・十二指腸潰瘍、炎症性腸疾患 過敏性腸疾患と病態と栄養管理、栄養基準・補給、栄養教育。
8	消化器系の疾患と栄養管理 2	肝炎、肝硬変、脂肪肝・非アルコール性脂肪性肝炎 膵炎の病態と栄養管理、栄養基準・補給、栄養教育。
9	循環器疾患と栄養管理	高血圧症、動脈硬化症、心疾患の病態と栄養管理、栄養基準・補給、栄養教育。
10	腎疾患と栄養管理 1	急性・慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、急性・慢性腎不全 糖尿病性腎症の病態と栄養管理、栄養基準・補給、栄養教育。
11	腎疾患と栄養管理 2	成人の慢性腎臓病に対する食事療法、腎臓病の食品交換の適用 透析療法の栄養管理、栄養基準・補給、栄養教育。
12	骨格疾患、アレルギー疾患の栄養管理	骨粗鬆症の臨床病型・危険因子、骨軟化症の栄養管理 アレルギー疾患における特有な症状と栄養管理。
13	外科的栄養管理、クリティカルケア	胃・食道にかかわる術前・術後の栄養管理、栄養基準・補給、栄養教育、外傷、熱症の栄養管理。
14	摂食機能障害の栄養管理	嚥下障害・機能低下の病態、栄養基準・補給 5段階食事療法、栄養管理。
15	栄養管理学Ⅱのまとめ	各疾患と栄養管理の重要性を理解する。 QOLとアメニティ

科目名	臨床栄養学実習 I			講義コード	B310202104	担当教員	根本 恵美子, 本間 杏菜
対象	3 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	臨床に就いた栄養士の入院時食事療養の食事調整の実際について学びます。個人の栄養評価を行いNSTのメンバーとして治療に参加するとき、また栄養相談の基本となります。						
受講資格				成績評価方法	試験60 提出物40 欠席状況により減点		
教科書	食事療法実務入門 (学建書院) 栄養食事の実習 (医歯薬出版) 糖尿病の食品交換表・腎臓病の食品交換表						
参考書							
学生への要望							
ワイルドタイム	火曜日午後						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	病院給食	病院は診療部門、診療支援部門、看護部門、事務部門より組織され、それぞれ部署の専門の職員が協力して患者様の治療に携わる。栄養部門は診療支援部門に属する。病院の組織。給食管理・栄養管理について
2	一般食	一般治療食、提供される栄養量は性別、年齢、体位、身体活動レベル、病状、アレルギー等、個々の患者の特性を考慮し算定される。栄養ケア・・・栄養補給法 栄養状態の評価
3	治療食	特別治療食は、医師の発行する食事箋により病名、病状に応じたエネルギー、たんぱく質、脂質、炭水化物、食塩等が指示される。
4	糖尿病の基本	糖尿病は、食事療法、運動療法、薬物療法があり、食事療法がその基本となる。糖尿病の合併症の予防、低血糖の予防、シックデイの対応について学ぶ。
5	糖尿病食品交換表を用いた献立作成	糖尿病の食品交換表は1単位80kcalと定めて、食品が6つの食品群と調味料に分けられている。指示エネルギー量に基づいた単位配分の仕方、外食の取り方、嗜好品について学ぶ。
6	糖尿病1600kcal常食の試作	グループの代表者の献立を1日3食分を作製し試食する。料理の手順、材料の割合、彩り、盛り付け、季節感など試食後の感想を提出する。
7	胃・十二指腸潰瘍、胃切除食、潰瘍性大腸炎・クローン病	消化管疾患の急性期には静脈栄養を行う。穿孔や癌などにより切除されることもあり、術前、術後の栄養管理は個人により大きく異なる
8	胃・十二指腸潰瘍 1600kcal 全粥 献立作成	胃・十二指腸潰瘍に適する食品と適さない食品がある。胃内停滞の長い調理法など具体的に覚える。再燃・寛解を繰り返す潰瘍には継続しやすい組み合わせにする。
9	胃・十二指腸潰瘍 1600kcal 全粥 試作	グループの代表者の献立を1日3食分を作製し試食する。料理の手順、材料の割合、彩り、盛り付け、季節感など試食後の感想を提出する。
10	高齢者食	高齢者は加齢による生理機能の低下や、社会的要因による食事摂取量の不足により様々な障害が起こります。障害の内容とその対策の方法を知り食事が楽しみとなるような献立の作成をします。
11	経静脈栄養・経管栄養	経静脈栄養は食事摂取のできないときや、消化吸収障害があるときに使用され、投与期間により中心静脈栄養と末梢静脈栄養があります。経管栄養は食事が摂取できないときに用いられ、経静脈栄養より生理的であり消化器に障害のないときは経静脈栄養よりも優先されます。それぞれの栄養法の特徴を学びます。
12	介護食	自然老化に伴う障害と病的に起こる障害があります。その障害の程度による食事形態がフードピラミッドの作成により、統一されようとしています。それぞれの段階による特徴と調理法について学びます。

13	介護食の市販食品・素材の試食	<p>咀嚼・嚥下障害のための介護用食品が市販されています。業務用と個人用と容量が様々です。市販されている用途食品や素材を知り、施設や病院での食事や自宅療養している方に対応できるような情報収集も必要になります。</p> <p>ソフト食の実際。ソフト食実習（試作）</p>
14	褥創	<p>寝たきりの高齢者や脳血管障害、脊髄損傷者など自分の意志で体位変換のできない患者様に発症しやすい。病因・憎悪因子に低栄養があるので、正しい栄養評価と適切な栄養方法を選択できるようにします。</p>
15	まとめ	<p>半期を振り返り それぞれの要点を確認する。</p>

科目名	公衆栄養学Ⅱ			講義コード	B310202010	担当教員	先崎 和子
対象	3年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	2年後期で学んだ基本的な国民の健康を増進するための栄養施策をもとに公衆栄養活動の実際的展開等を理解する。						
受講資格	特になし			成績評価方法	小テスト(4回) 20点 課題提出(ノート提出) 10点 期末テスト 70点欠席で減点		
教科書	Nブックス 四訂 公衆栄養学 建帛社						
参考書							
学生への要望	欠席しないこと。 国試にかかわる復習を行うこと。						
オフィス	月曜日 I、IIコマ 木曜日 III、IVコマ						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	栄養疫学の概要と役割	栄養疫学の役割と食事摂取量の測定方法について解説する。
2	栄養調査・栄養アセスメント	食事調査と食事摂取基準について解説し、エネルギー摂取量の評価や栄養素摂取不足の評価、その他の評価指標について学ぶ。
3	食事調査法	総エネルギー調整栄養素摂取量やデータの処理と解析について学ぶ。
4	公衆栄養マネジメント	公衆栄養マネジメントの考え方・重要性について解説し、マネジメントサイクル、プリシード・プロシードモデルによるマネジメントについて学ぶ。
5	公衆栄養アセスメント	公衆栄養アセスメントの目的と手順について解説し、地域の現状把握について学ぶ。
6	公衆栄養プログラムの目標設定	公衆アセスメント結果評価、改善課題の抽出について解説し、短期・中期・長期の課題設定や改善課題に基づく改善目標の設定について学ぶ。
7	公衆栄養プログラムの計画、実施、評価	社会資源の把握と管理や運営面・政策面のアセスメントについて学ぶ。
8	地域特性に対応したプログラム展開	健康づくり対策では、「健康日本21」における栄養・食生活分野以外の身体活動・運動、たばこ、アルコール、歯の健康について対策の概要について解説する。
9	地域特性に対応したプログラム展開	食育推進について解説し、食育基本法、食育推進計画に基づいて生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくんでいくこと、
10	食環境づくりのためのプログラム展開	栄養成分表示の活用や健康づくりのための外食料理の活用
11	地域集団の特性別プログラムの展開 ライフステージ別	ライフステージ別の現状とその背景について解説し、対策の実際について学ぶ
12	地域集団の特性別プログラムの展開 生活習慣病ハイリスク集団	生活習慣病の現状と背景について解説し、対策の実際について学ぶ。
13	健康増進計画と地方計画(健康日本21)	公衆栄養関連法規について解説し、わが国の健康づくり対策について理解する。

14	食事摂取基準の活用方法	食事摂取基準について解説し、エネルギー摂取量の評価や栄養不足の評価、その他の指標について学ぶ。
15	まとめ	まとめ

科目名	公衆栄養学実習			講義コード	B310202102	担当教員	先崎 和子, 中村 真智子
対象	3年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	地域や職域等における健康・栄養問題を、連携・協働のもとに解決するための公衆栄養活動に、集団や地域社会の人々との連携を密にし社会の要望に即応できる管理栄養士の専門知識を身につけ、適切な指導ができること。						
受講資格				成績評価方法	小テスト 20点 ノート提出 10点 期末テスト 70点 欠席で減点		
教科書	Nブックス 四訂 公衆栄養学 建帛社 4訂版3刷発行						
参考書							
学生への要望	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークに積極的に参加すること。 ・欠席しないこと ・ノートをきちんとまとめること 						
ワイルドタイム	月 I、IIコマ 木 III、IVコマ						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	現代社会の食生活を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆栄養学実習の目指すところを説明する。 ・公衆栄養学実習の意義について示し、本授業の15回の解説と評価方法について説明する。 ・公衆栄養アセスメントのための情報源について解説する。 ・グループ編成
2	既存資料、アンケート調査などから課題抽出とアセスメント (担当: 石田)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査から集計、分析し、対象とする地域・社会集団の健康・栄養状態を把握し食物摂取状況、身体状況、生活習慣状況とのかかわりや集団特性を理解する。
3	公衆栄養 国の政策①(講義・グループ学習)	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康・栄養調査の概要、要点について ・国民健康・栄養調査結果から問題点を把握し改善点について考える ・「健康日本21」の概要、項目、数値について。健康日本21報告からわかることをまとめる
4	公衆栄養 国の政策②(講義・個別学習・グループ学習)	<ul style="list-style-type: none"> ・各都道府県の「健康日本21計画」について調べる(各自出身地)
5	公衆栄養の現状と問題点(講義・個別学習)	<ul style="list-style-type: none"> ・各ライフステージ(学童期・思春期・成人期・妊婦授乳期・高齢期)の「食と健康に関わる問題点」について理解し、改善点を考える。
6	公衆栄養プログラムについて①	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆栄養活動(公衆栄養プログラム「Plan・Do・See」)について概要・要点 ・市町村における事業について(事例や具体例をもとに)
7	公衆栄養プログラムについて②(個別学習)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の方を対象に事業計画立案(Plan・Do・Seeの流れに添い、計画書を作成する) ・媒体作成について
8	公衆栄養に関わる社会情勢、公衆栄養プログラムグループワーク①	<ul style="list-style-type: none"> ・食、栄養、公衆栄養の分野について新聞記事の収集 ・集めた記事から考えること、感想を記述し、新聞内容を要約し感想を発表する ・各自の事業計画案をもとに、グループで話し合い題材を1つ選びパンフレットを作成する
9	公衆栄養プログラムグループワーク②	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の続き、グループでパンフレット作成 ・パンフレットを完成させる
10	公衆栄養プログラムグループワーク③	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループで選んだ題材(パンフレットと同じ題材)をもとにポスターを作成する
11	公衆栄養プログラムグループワーク④	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の続き、グループでポスター作成 ・ポスターを完成させる ・発表の準備とレジュメ作成

12	公衆栄養プログラム発表会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の方々を対象とした媒体作成の発表会(ポスター、パンフレット) ・各グループのテーマ、内容(見易さ・わかりやすさ)、発表時間などを総合し、各グループの感想をノート記述 ・授業のまとめ
13	特定保健指導(講義・グループ学習)	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査、特定保健指導について解説する。 ・実践演習
14	健康危機管理について特定健康診査、	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における保健所と市町村の役割について解説する。 ・災害時における食生活(災害発生時の支援、長期的住民の方への支援)について、グループ学習をする。
15	講義・総括	<ul style="list-style-type: none"> 保健所・保健センター実習について説明する。 総括(公衆栄養学実習のまとめ)

科目名	給食管理学			講義コード	B210202004	担当教員	亀田 明美
対象	1年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	健康増進法に基づいた特定給食施設における、「栄養・食事管理」を中心に学修し、給食運営とそれにかかわる資源を総合的に判断して、栄養面、安全面、経済面全般のマネジメントを行えることを目標とする。						
受講資格				成績評価方法	授業態度 15% 提出物・小テスト25% 筆記試験 60%		
教科書	韓 順子 大中佳子著 サクセス管理栄養士講座給食経営管理論 第一出版						
参考書	鈴木久乃共著「給食経営管理論」南江堂発行 赤羽正之他著「献立作成マニュアル」医歯薬出版						
学生への要望	管理栄養士国家試験にかかわる範囲の復習をおこなうこと。						
お休み	授業終了後						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	給食の概念①	オリエンテーション 給食の概要 給食を提供する施設と関連法規① 健康増進法における特定給食施設の位置づけについて理解する
2	給食の概念②	給食を提供する施設と関連法規② 特定給食施設における給食管理 医療施設 国家試験の過去問を解きながら解説する
3	給食の概念③	給食を提供する施設と関連法規③ 高齢者・介護福祉施設 国家試験の過去問を解きながら解説する
4	給食の概念④	給食を提供する施設と関連法規③ ・児童福祉施設 ・障害者福祉施設 ・学校 ・事業所 各施設の特性について、調べ発表する 小テスト①の実施
5	栄養・食事管理①	栄養・食事のアセスメント 給食利用者のアセスメント情報に基づいた栄養・食事管理の目標を立てる
6	栄養・食事管理②	栄養・食事の計画 食事摂取基準を活用した給与栄養目標量の設定方法について学ぶ
7	栄養・食事管理③	栄養・食事計画の実施、評価、改善 利用者の状況に応じた食事の提供とPDCAサイクル・栄養教育教材としての給食の役割について学ぶ 小テスト②の実施
8	栄養・食事管理業務の実際①	学校給食における栄養・食事管理業務の実際 事業所給食における栄養・食事管理業務の実際 課題①献立作成と試作
9	給食の品質	給食の品質の標準化、評価、改善 給食の品質管理の意義、献立や調理工程、作業工程の標準化について学ぶ
10	栄養・食事管理業務の実際②	高齢者・介護福祉施設における栄養・食事管理業務の実際 課題②献立作成と試作
11	給食の生産(調理)①	原価、食材 給食の原価、食材料の流通・購入・管理方法について学ぶ

12	給食の生産（調理）②	生産（調理）と提供 給食のオペレーション（生産とサービス）、調理工程・作業工程、 大量調理の特性について学ぶ 小テスト③の実施
13	給食の安全・衛生①	安全・衛生の意義と目的 給食施設における安全・衛生管理の意義と目的について学ぶ
14	給食の安全・衛生②	安全・衛生の実際 給食におけるHACCPシステムの運用について学ぶ 大量調理施設衛生管理マニュアル 事故・災害時対策
15	給食の施設・設備	生産（調理）施設・設備計画 食事環境の設計と設備 小テスト④の実施

科目名	調理実習Ⅱ			講義コード	B210212108	担当教員	菊池 節子, 本間 杏菜
対象	2年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①応用的な知識・技術の習得 ②管理栄養士として役立つ実践能力の養成 ③社会人基礎力（チームワーク、状況把握力、課題発見力）の養成 ④健康な生活を送るための方法ならびに豊かな感性の習得</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>調理学ならびに調理実習Ⅰで学んだ基礎的知識および技術をさらに発展させ、応用的な知識・技術を学ぶとともに、管理栄養士として役立つ実践能力を養う。</p> <p>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</p> <p>①管理栄養士に必要な知識・技術を習得できる。 ②献立作成、調理、盛り付けの一連の作業の計画・実施ができる。 ③実習を通して、社会人基礎力や感性を身に付けることができる。</p>						
受講資格	調理学、調理実習Ⅰ履修学生			成績評価方法	①授業態度 20点 ②提出物 40点 (10, 30点) ③筆記試験 30点 ④実技試験 10点 (1回欠席で2点減点)		
教科書	「新調理学実習 一般調理から大量調理その基礎と応用」宮下朋子編著 同文書院 2500円+税						
参考書	「食品成分表2014」女子栄養大学出版部 「調理のためのベーシックデータ」第4版 女子栄養大学出版部 1800円+税						
学生への要望	予習をして意欲的に取り組み、実習後は復習をしっかり行い、理解の定着を図ること。また、日頃から食に関心を持ち、積極的に調理に携わること。						
ウェブサイト	木曜V限 加工・調理実習室 またはskikuchi@koryama-kgc.ac.jpまで						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	オリエンテーション、調理実習Ⅰ試験解説	オリエンテーションとして授業の進め方について説明する。また調理実習Ⅰ期末試験の解説を通して既習内容の復習を行う。さらに献立の内容について学び、日本料理の基本である一汁三菜の配膳や調味パーセントについて理解する。
2	食事の設計（1）	まず食事摂取基準を理解し、個人、集団での目標量を把握する。その後、食品構成表ならびに献立作成法について学び、食事をどのように設計したらよいかについて学ぶ。さらに食品成分表を用いて、可食部、廃棄部、栄養価計算、ナトリウムからの食塩量への換算方法などについて学び、栄養計算の実際について理解を深める。
3	日本料理（1）	季節の食材であるたけのこの扱い方、炊き込みご飯の要領、混合だしの取り方、飾り切り、上新粉の調理性について学ぶ。 *実習：たけのこご飯（参照p.39）、若竹汁（p.33）、いかときゅうりの黄身酢和え（p.82）、みたらし団子（参照p.89）
4	日本料理（2）	すし飯、焼き物、汁物、甘酢漬の要領、乾物の戻し方と戻し倍率について学ぶ。 *実習：巻き寿司（p.43）、魚の照り焼き（p.67）、菊花かぶの甘酢漬（p.85）、吉野鶏のすまし汁（p.31）
5	日本料理（3）+西洋料理（1）	あじを用いて、代表的な魚のおろし方である三枚おろしについて学び、日本料理と西洋料理に展開する。また、ブラマンジェのでんぷん濃度ならびにでんぷんの糊化について学ぶ。 *実習：あじの酢醤油かけ（p.30）、あじのフライ（参照p.131）、ブラマンジェ（p.163）
6	西洋料理（2）	蒸気圧による小麦粉の膨化、カスタードクリーム、コーヒー・紅茶の入れ方について学ぶ。また、ゼラチンの種類と扱い方・調理性について学ぶ。 *実習：シュークリーム（p.157）、ゼリー（p.161）、アイスティー（p.166）
7	食事の設計（2）	個人の3日間の食事調査の栄養価計算を行い、栄養計算の復習を行うとともに、自分の給与目標エネルギー・栄養素量の把握を行う。
8	食事の設計（3）	先週に引き続き、食事調査結果から、3日間の摂取献立の見直し、たんぱく質、脂質、糖質エネルギー比等の栄養比率の算出を行い、自分の食生活を振り返る。

9	食事の設計（４）	献立作成にあたり必要となる、乾物の戻し倍率や器に対する盛り付け量、調味パーセントについて学び、実践できる能力を養う。 献立作成：乾物の戻し方と戻し倍率、調味パーセントを考慮したグループ献立
10	食事の設計（５）	献立作成にあたり必要となる、乾物の戻し倍率や器に対する盛り付け量、調味パーセントについて学び、実践できる能力を養います。 *実習：先週作成したグループ献立の実習と発表
11	実験（１）砂糖の調理性	砂糖の加熱による変化についての実験を行い、砂糖の調理性について学ぶ。
12	日本料理（４）	麺の種類とゆで方、乾物に対するゆで上がり倍率、揚げ物の種類と天ぷらの要領、寒天の種類と扱い方・調理性、ほうじ茶の入れ方について学ぶ。 *実習：冷やしそうめん（p.49）、天ぷら（p.73）、水ようかん（p.87）、ほうじ茶（p.91）
13	中国料理（１）	中国料理の献立構成と内容、調理法、マナーについて学ぶ。また、粥の要領、白玉粉の調理性について学ぶ。 *実習：凉拌茄子（p.178）、芙蓉蟹（p.191）、乾焼明蝦（p.180）、粥（参照p.203）、蜜汁元宵（p.213）
14	日本料理（５）＋五味の識別テスト	もち米の調理性、小豆の煮方、和え物の要領について学ぶ。また、調理学実習Ⅰに引き続き五味の識別テストを行う。一年間調理学実習を行った後の、味覚の閾値の変化について学ぶ。 *実習：強飯（赤飯）（p.40）、小松菜のゆず浸し（p.78）
15	まとめ・調理実習室の整備	半期を振り返り調理学実習Ⅱで学んだ内容のより一層の定着を図る。また、実習室の整備の仕方について学ぶ。

科目名	調理実習Ⅱ			講義コード	B210222108	担当教員	菊池 節子, 本間 杏菜
対象	2年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①応用的な知識・技術の習得 ②管理栄養士として役立つ実践能力の養成 ③社会人基礎力（チームワーク、状況把握力、課題発見力）の養成 ④健康な生活を送るための方法ならびに豊かな感性の習得</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>調理学ならびに調理実習Ⅰで学んだ基礎的知識および技術をさらに発展させ、応用的な知識・技術を学ぶとともに、管理栄養士として役立つ実践能力を養う。</p> <p>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</p> <p>①管理栄養士に必要な知識・技術を習得できる。 ②献立作成、調理、盛り付けの一連の作業の計画・実施ができる。 ③実習を通して、社会人基礎力や感性を身に付けることができる。</p>						
受講資格	調理学、調理実習Ⅰ履修学生			成績評価方法	①授業態度 20点 ②提出物 40点 (10, 30点) ③筆記試験 30点 ④実技試験 10点 (1回欠席で2点減点)		
教科書	「新調理学実習 一般調理から大量調理その基礎と応用」宮下朋子編著 同文書院 2500円+税						
参考書	「食品成分表2014」女子栄養大学出版部 「調理のためのベーシックデータ」第4版 女子栄養大学出版部 1800円+税						
学生への要望	予習をして意欲的に取り組み、実習後は復習をしっかり行い、理解の定着を図ること。また、日頃から食に関心を持ち、積極的に調理に携わること。						
ウェブサイト	木曜V限 加工・調理実習室 またはskikuchi@koryama-kgc.ac.jpまで						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	オリエンテーション、調理実習Ⅰ試験解説	オリエンテーションとして授業の進め方について説明する。また調理実習Ⅰ期末試験の解説を通して既習内容の復習を行う。さらに献立の内容について学び、日本料理の基本である一汁三菜の配膳や調味パーセントについて理解する。
2	食事の設計（1）	まず食事摂取基準を理解し、個人、集団での目標量を把握する。その後、食品構成表ならびに献立作成法について学び、食事をどのように設計したらよいかについて学ぶ。さらに食品成分表を用いて、可食部、廃棄部、栄養価計算、ナトリウムからの食塩量への換算方法などについて学び、栄養計算の実際について理解を深める。
3	日本料理（1）	季節の食材であるたけのこの扱い方、炊き込みご飯の要領、混合だしの取り方、飾り切り、上新粉の調理性について学ぶ。 *実習：たけのこご飯（参照p.39）、若竹汁（p.33）、いかときゅうりの黄身酢和え（p.82）、みたらし団子（参照p.89）
4	日本料理（2）	すし飯、焼き物、汁物、甘酢漬の要領、乾物の戻し方と戻し倍率について学ぶ。 *実習：巻き寿司（p.43）、魚の照り焼き（p.67）、菊花かぶの甘酢漬（p.85）、吉野鶏のすまし汁（p.31）
5	日本料理（3）+西洋料理（1）	あじを用いて、代表的な魚のおろし方である三枚おろしについて学び、日本料理と西洋料理に展開する。また、ブラマンジェのでんぷん濃度ならびにでんぷんの糊化について学ぶ。 *実習：あじの酢醤油かけ（p.30）、あじのフライ（参照p.131）、ブラマンジェ（p.163）
6	西洋料理（2）	蒸気圧による小麦粉の膨化、カスタードクリーム、コーヒー・紅茶の入れ方について学ぶ。また、ゼラチンの種類と扱い方・調理性について学ぶ。 *実習：シュークリーム（p.157）、ゼリー（p.161）、アイスティー（p.166）
7	食事の設計（2）	個人の3日間の食事調査の栄養価計算を行い、栄養計算の復習を行うとともに、自分の給与目標エネルギー・栄養素量の把握を行う。
8	食事の設計（3）	先週に引き続き、食事調査結果から、3日間の摂取献立の見直し、たんぱく質、脂質、糖質エネルギー比等の栄養比率の算出を行い、自分の食生活を振り返る。

9	食事の設計（４）	献立作成にあたり必要となる、乾物の戻し倍率や器に対する盛り付け量、調味パーセントについて学び、実践できる能力を養う。 献立作成：乾物の戻し方と戻し倍率、調味パーセントを考慮したグループ献立
10	食事の設計（５）	献立作成にあたり必要となる、乾物の戻し倍率や器に対する盛り付け量、調味パーセントについて学び、実践できる能力を養います。 *実習：先週作成したグループ献立の実習と発表
11	実験（１）砂糖の調理性	砂糖の加熱による変化についての実験を行い、砂糖の調理性について学ぶ。
12	日本料理（４）	麺の種類とゆで方、乾物に対するゆで上がり倍率、揚げ物の種類と天ぷらの要領、寒天の種類と扱い方・調理性、ほうじ茶の入れ方について学ぶ。 *実習：冷やしそうめん（p.49）、天ぷら（p.73）、水ようかん（p.87）、ほうじ茶（p.91）
13	中国料理（１）	中国料理の献立構成と内容、調理法、マナーについて学ぶ。また、粥の要領、白玉粉の調理性について学ぶ。 *実習：凉拌茄子（p.178）、芙蓉蟹（p.191）、乾焼明蝦（p.180）、粥（参照p.203）、蜜汁元宵（p.213）
14	日本料理（５）＋五味の識別テスト	もち米の調理性、小豆の煮方、和え物の要領について学ぶ。また、調理学実習Ⅰに引き続き五味の識別テストを行う。一年間調理学実習を行った後の、味覚の閾値の変化について学ぶ。 *実習：強飯（赤飯）（p.40）、小松菜のゆず浸し（p.78）
15	まとめ・調理実習室の整備	半期を振り返り調理学実習Ⅱで学んだ内容のより一層の定着を図る。また、実習室の整備の仕方について学ぶ。

科目名	給食管理実習（学内）			講義コード	B310202107	担当教員	亀田 明美, 横田 和子
対象	3年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	管理栄養士養成課程における給食管理実習は、給食管理学の講義で修得した理論を基にして、特定給食の実際を体験することにより、基礎的な知識と技術を体得する。（栄養士免許取得に係わる）						
受講資格	給食管理学が履修済みであること			成績評価方法	実習態度25%, ノート・課題提出25%, 筆記試験50%		
教科書	Plan-Do-Seeにそった給食運営・経営管理実習のてびき サクセス管理栄養士講座給食経営管理論 第一出版						
参考書	鈴木久乃共著「給食経営管理論」南江堂発行 赤羽正之他著「献立作成マニュアル」医歯薬出版						
学生への要望	責任感と共に、積極的な実践力を養う場、人格陶冶の場であることを自覚し授業に臨むこと。						
ワイルド	授業終了後						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	オリエンテーション、献立作成①	オリエンテーション 給食管理実習の概要説明及びグループ編成 献立作成の基本① 女子学生の身長体重から食事摂取基準を用いて給与栄養目標量を設定し、各自献立を作成する 事前指導：調理従事者の服装と衛生管理、厨房見学
2	厨房見学と厨房清掃、献立作成②	厨房内清掃 厨房内の設計と大量調理施設衛生管理マニュアルの運用の実際 献立作成 グループ献立を検討する 事前指導：給食施設に必要な帳票類 レシピ、作業工程表、作業動線図、発注表、検収表の作成方法
3	大量調理の実際①	大量調理の実際 レシピ、作業工程表、作業動線図に基づいた大量調理の実際 事前指導：給食施設に必要な帳票類 レシピ、作業工程表、作業動線図、発注表、検収表の作成
4	大量調理の実際②	大量調理の実際 レシピ、作業工程表、作業動線図に基づいた大量調理の実際 事前指導：給食の原価 給食における収入と原価・売上
5	給食の生産（調理）、献立作成③	大量調理の特性、施設・設備能力と生産性を踏まえ、グループ献立の再検討 学内給食試作に向けて帳票類を作成する
6	学内給食の試作①	グループ献立をレシピ、工程表、動線図に基づき試作し献立を再検討する。 事前学習：特定給食施設の特徴① 学校給食の献立作成
7	学内給食の試作②	グループ献立をレシピ、工程表、動線図に基づき試作し献立を再検討する。 事前学習：栄養教育教材としての給食の役割、適切な食品・料理選択のための情報提供 栄養媒体作成について、嗜好調査
8	学内給食の実施①	給食（100食）の生産とサービス 事前指導：特定給食施設の特徴② 保育所給食の献立作成
9	学内給食の実施②	給食（100食）の生産とサービス 事前指導：もみじ会に向けた献立の検討

10	学内給食の実施③	給食（100食）の生産とサービス 事前指導：新調理システムについて
11	もみじ会の向けた献立の検討	グループでもみじ会に向けた献立の検討
12	学内給食の実施④	給食（100食）の生産とサービス 事前指導：特定給食施設の特徴③ 事業所給食の献立作成
13	学内給食の実施⑤	給食（100食）の生産とサービス 事前指導：もみじ会試作に向けた帳票作成と試作の準備
14	もみじ会に向けた試作①	もみじ会に向けたグループ献立を試作し、実施献立を決定する。 事前指導：もみじ会試作に向けてレシピ、作業工程表、作業動線図、発注表、検収表の作成帳票作成と試作の準備
15	もみじ会に向けた試作②、まとめ・反省	もみじ会で提供する献立の試作 事前指導：まとめ・反省

科目名	総合演習Ⅱ			講義コード	B410202128	担当教員	根本 恵美子, 菊池 節子, 岡部 聡子, 先崎 和子, 亀田 明美
対象	4年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	1
授業目標	総合演習を通して、発展進歩する時代の社会的責任を自覚する管理栄養士となるため、臨地実習の事前・事後指導を行い、人格識見ともに秀でた管理栄養士を養成することを目的とする。						
受講資格	臨地実習に必要な科目を取得していること			成績評価方法	実習ノートの提出（課題含み）60点 小テスト 40点、欠席状況により減点		
教科書							
参考書							
学生への要望	欠席をしないこと。						
ワイルドタイム	昼休み						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	病院実習にあたっての心構え（担当：根本）	病院・介護老人保健施設における対象者の栄養管理・給食管理が主な業務になります。特に実習態度に注意し、安心・安全の食事を提供するための基本について学習する。
2	近年の栄養施策の動向を知る（担当：先崎）	栄養士法、健康増進法、地域保健法について理解を深める。
3	日程配布・医療チームの一員としての倫理と守秘義務について（担当：根本）	病院の組織と職種、医療に係わるものとして身につけなければならない守秘義務について学ぶ。
4	病院栄養士の業務内容（担当：根本）	病院栄養士の業務内容を栄養管理・給食管理の両面から具体的に業務の確認を行なう。
5	病院栄養士の業務の内容（担当：根本）	チーム医療、栄養アセスメント・スクリーニング・モニタリング、身体計測項目と方法、SGA、MNAについて学ぶ。
6	病院栄養士の業務の内容について（担当：根本）	栄養管理計画書、NPC/N比、輸液、経腸栄養剤、嚥下ピラミットについて。
7	厨房の器具について（担当：亀田）	厨房内で使用される機器・器具について理解する。
8	給食食材の検収方法、発注方法、衛生管理（担当：亀田）	給食食材の検収方法、保存食、発注方法、衛生管理について理解する。
9	病院管理栄養士による「病院給食の実際について」講話（担当：外部講師）	講師：太田熱海病院 上野 和子先生 外部講師の講話を聴くことにより、病院での管理栄養士の詳しい仕事内容が理解でき、イメージすることができる。
10	病院実習の資料配布（担当：根本）	実習に必要な説明書等の配布。 実習開始前における接遇等含む最終確認
11	実習終了の体験発表（担当：根本）	実習前と実習後の違い、何が不足しているか、何が必要かなど確認し、管理栄養士として自覚する。 体験発表
12	病院実習終了後の体験発表（担当：根本）	体験発表及び反省会。
13	地域に密着した行政とは何か（担当：先崎）	地域における健康づくり及び栄養・食生活の改善やその他の生活習慣の改善に関する健康問題について学ぶ。 信頼される管理栄養士を目指す。
14	おいしさについて（担当：菊池）	人間にとって「おいしい」と感じる食事はQOLを上げ、ひいてはそれが入院患者であれば治療効果にも影響してくる。本時では、おいしさの科学的要因である味と物理的要因であるテクスチャーについて、具体例をあげながら理解を深める。
15	地域連携と栄養管理（担当：岡部）	地域連携と栄養管理について学ぶ。

科目名	特別演習 I			講義コード	B310202003	担当教員	関口 晋, 藤本 健四郎, 広井 勝, 郡司 尚子, 紺野 信弘, 鎌野 信子, 菊池 節子, 源川 博久
対象	3 年	開講期	通年	必・選	選択	単位数	2
授業目標	国家試験に向けた取り組みとして、「食物と健康」「人体の構造と機能および疾病の成り立ち」と「基礎栄養学」の3分野を扱う。 この授業は、上記3分野について、国家試験レベルの問題で6割以上の正答率を達成できるような理解力を身に付けることを目標とする。 前期後期の終了後には、それぞれ本授業に関する定期試験が行われ、理解力の判定がなされる。						
受講資格				成績評価方法	出席および定期試験結果		
教科書							
参考書							
学生への要望	1・2年次の授業内容等は、もう忘れかかっていることもあると思います。また、3年次の授業内容等についても、置き去りにしてしまっている部分もあるかもしれません。これらの授業分野には国家試験の出題内容も多く含まれています。そんな分野について、3年生のうちに学習しておけば、4年生になってからの国家試験取り組みも円滑になります。 あとあと苦しまないためにも、3年生で基礎力を高めておきましょう！ 定期試験で合格できるだけの理解力を身に付け、卒業をみずえて順調な学生生活が送れるようがんばってください！						
ウェブサイト							

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	糖質の代謝	国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 関口 晋)
2	アミノ酸・タンパク質の代謝	国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 関口 晋)
3	脂質の代謝	国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 関口 晋)
4	酵素・エネルギー代謝・代謝調節	国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 関口 晋)
5	細胞と核酸	国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 関口 晋)
6	第28回管理栄養士国家試験問題の解説	食物と健康分野の食品学に関連した問題の解説を行い、試験問題の傾向を分析する。(担当 広井勝)
7	食品の1次機能成分について	食品の水分、炭水化物(食物繊維含む)、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラルなどについて重要事項の復習を行う。(担当 広井勝)
8	食品の2次機能成分ならびに成分変化	食品の色、味、香の成分について復習する。また、食品の成分変化についても解説する。(担当 広井勝)
9	植物性食品について	穀類、いも類、豆類、野菜、果物、海藻、キノコ類の成分について復習する。(担当 広井勝、郡司尚子)
10	動物性食品について	魚介類、肉類、乳類、卵類などの成分について復習する。(担当 広井勝、郡司尚子)
11	調理と嗜好性(調理学)	嗜好性の要因と評価、おいしさの評価方法について、国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 菊池節子・善方美千子)
12	調理操作(調理学)	調味操作、非加熱調理操作、加熱調理操作について、国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 菊池節子・善方美千子)
13	エネルギー源および調理器具(調理学)	主に電磁調理器、電子レンジについて、国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 菊池節子・善方美千子)

14	食品の調理科学 (1) (調理学)	植物性食品、動物性食品、成分抽出素材について、国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 菊池節子・善方美千子)
15	食品の調理科学 (2) (調理学)	植物性食品、動物性食品、成分抽出素材について、国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 菊池節子・善方美千子)
16	後期ガイダンス	後期の流れを説明し、合わせて、国家試験対策全体の説明をおこなう。(担当 石田智宏)
17	給食経営管理論	今年出題された国家試験の問題について復習をおこなう。範囲：品質管理、給食のシステム、人的資源、マーケティング、損益分岐点、社員教育(担当 石田智宏)
18	給食経営管理論	国家試験以外の模擬試験に出題された頻出問題の復習をおこなう。範囲：原価計算、経営資源、経営組織(担当 石田智宏)
19	公衆栄養学	わが国における栄養政策「栄養士・管理栄養士制度」「国民健康・栄養調査」「食生活指針」「健康日本21」「日本人の所持摂取基準」について理解をし、今年度の問題の傾向と重要な項目について説明を行う。(担当 先崎和子)
20	公衆栄養学	国家試験問題でよく出題される「栄養士法」「健康増進法」「地域保健法」について理解を深め、過去問から傾向を解説する(担当 先崎和子)
21	社会・環境と健康「公衆衛生学」	統計の基礎(正規分布、相関、統計的推定、t検定、カイ二乗検定)とスクリーニングについて説明と解説を行う。(担当 諸岡信久)
22	発育期の栄養(栄養学各論Ⅲ)	発育期(幼児期、学童期、思春期)について、国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 菊池節子)
23	成人期、更年期の栄養(栄養学各論Ⅲ)	成人期、更年期について、国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 菊池節子)
24	社会・環境と健康「社会福祉・介護」	母子保健、学校保健、高齢者保健、産業保健などを通して、日本の社会福祉・介護、医療制度について整理し、関連法規との関係性を明らかにする。(担当 橋爪敏)
25	社会・環境と健康「食品衛生学」	管理栄養士国家試験において食中毒は毎年必ず出題されている。細菌性食中毒の特徴について整理し理解する。(担当 影山志保)
26	社会・環境と健康「食品衛生学」	動物性自然毒(魚介毒や貝毒)および植物性自然毒について整理し理解する。(担当 影山志保)
27	食べ物と健康 の国家試験過去問題の演習(その1)	頻繁に出題されている分野を重点的に取り上げ、国試過去問について周辺領域についても触れながら解説する。(担当 鞆野信子)
28	食べ物と健康 の国家試験過去問題の演習(その2)	頻繁に出題されている分野を重点的に取り上げ、国試過去問について周辺領域についても触れながら解説する。(担当 鞆野信子)
29	食べ物と健康 の国家試験過去問題の演習(その3)	頻繁に出題されている分野を重点的に取り上げ、国試過去問について周辺領域についても触れながら解説する。(担当 鞆野信子)

科目名	特別演習Ⅱ			講義コード	B410202004	担当教員	石田 智宏, 藤本 健四郎, 岡部 聡子, 藤原 建樹, 先崎 和子, 根本 恵美子, 根本 恵美子, 亀田 明美
対象	4年	開講期	通年	必・選	選択	単位数	2
授業目標	国家試験に向けた取り組みとして、「経営管理学」「人体」「基礎栄養学」「栄養教育」「臨床栄養」「公衆栄養」の6分野を扱う。これらの分野において、国家試験レベルの問題で6割以上の正答率を達成できるような理解力を身に付けることを目標にする。(担当: 石田、藤本、藤原、岡部、根本、先崎)						
受講資格	とくになし			成績評価方法	期末試験 給食経営(6問)、人体(10問)、基礎栄養学(12問)、栄養教育(12問)、臨床栄養(12問)、公衆栄養(4問) =56問 100点満点に換算する		
教科書	教員が資料を配付する						
参考書	メディックメディア「クエスチョンバンク管理栄養士国家試験問題解説」各年版 など						
学生への要望	理解が難しかった部分については、よく復習をおこない、教員への質問を積極的にしてください。						
アドバイス	授業の際に各教員に尋ねてください						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	マーケティング	マーケティングの分野について重要項目の復習をおこなう。 (担当 石田智宏)
2	人と職場の管理・経営組織	人と職場の管理と経営組織の分野について重要項目の復習をおこなう。 (担当 石田智宏)
3	原価計算と損益分岐計算	原価計算と損益分岐計算分野とについて重要項目の復習をおこなう。 (担当 石田智宏)
4	食物の摂取、消化と吸収	空腹感、満腹感と食欲の復習をする 消化器の構造と機能、消化と吸収、消化管ホルモンの復習 (担当 藤本健四郎)
5	糖質の栄養	食後・食間期の代謝、血糖とその調節を復習する エネルギー源としての作用、他の栄養素との関係を復習する (担当 藤本健四郎)
6	脂質の栄養	脂質の体内代謝、臓器間輸送を復習する コレステロール代謝を復習する (担当 藤本健四郎)
7	たんぱく質の栄養	たんぱく質の体内代謝を復習する 摂取たんぱく質の評価を復習する (担当 藤本健四郎)
8	ビタミンの栄養	ビタミンの栄養学的機能を復習する 脂溶性ビタミンの利用度を復習する (担当 藤本健四郎)
9	ミネラルの栄養、エネルギー代謝	ミネラルの分類と栄養学的機能を復習する エネルギー代謝の概念を復習する (担当 藤本健四郎)
10	腎臓疾患総論	過去問から見た腎領域の出題傾向とその対策 (担当 藤原建樹)

11	糸球体腎炎	急性糸球体腎炎 慢性糸球体腎炎 (担当 藤原建樹)
12	急性腎不全	分類と病因 臨床症状と検査所見 治療 (担当 藤原建樹)
13	慢性腎不全	病期と臨床症状 ネフローゼ症候群の診断と治療 糖尿病性腎症の病理と経過 (担当 藤原建樹)
14	慢性腎臓病	定義とステージ分類 治療法の基本 (担当 藤原建樹)
15	復習	ここまでの内容について復習をおこなう。
16	栄養教育の概念	栄養教育の目標、健康の定義などを復習する 食事摂取基準、食事バランスガイドについて
17	行動科学理論と栄養教育	各行動科学理論と学習方法について復習する
18	ライフステージ別栄養指導 1	妊娠期・乳幼児期・学童期における栄養指導について復習する
19	ライフステージ別栄養指導 2	思春期・成人期・高齢期における栄養指導について復習する
20	介護予防と障害者を対象とした栄養教育	介護保険と対象者について理解する 障害者の自立支援を目標とした栄養教育について復習する
21	栄養教育問題を解く	国家試験やそれに相当する試験問題について実際に解き、その後解説をする
22	byoutai	
28	公衆栄養学概念	生態系保全、地域づくり、ヘルスマーション、疾病予防など公衆栄養活動とのかかわりについて基本的事項について復習する。
29	健康・栄養問題の現状と課題	社会環境や疾病構造から食事の変化を理解し、栄養上の現状と課題を復習する。

科目名	特別演習Ⅲ			講義コード	B410202005	担当教員	藤本 健四郎, 橋爪 敏, 諸岡 信久, 鎌野 信子, 橋爪 敏, 関口 晋, 石田 智宏, 影山 志保
対象	4 年	開講期	通年	必・選	選択	単位数	2
授業目標	国家試験に向けた取り組みとして、「食物と健康」「人体の構造と機能および疾病の成り立ち」と「基礎栄養学」の3分野を扱う。 この授業は、上記3分野について、国家試験レベルの問題で6割以上の正答率を達成できるような理解力を身に付けることを目標とする。 前期後期の終了後には、それぞれ本授業に関する定期試験が行われ、理解力の判定がなされる。						
受講資格				成績評価方法	出席および定期試験結果		
教科書							
参考書							
学生への要望	1・2年次の授業内容等は、もう忘れかかっていることもあると思います。また、3年次の授業内容等についても、置き去りにしてしまっている部分もあるかもしれません。これらの授業分野には国家試験の出題内容も多く含まれています。そんな分野について、3年生のうちに学習しておけば、4年生になってからの国家試験取り組みも円滑になります。 あとあと苦しまないためにも、3年生で基礎力を高めておきましょう！ 定期試験で合格できるだけの理解力を身に付け、卒業をみずえて順調な学生生活が送れるようがんばってください！						
ウェブサイト							

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	給食を提供する施設と関連法規	健康増進法における特定給食施設の位置づけ 給食を提供する施設と関連法規について復習する (担当： 亀田明美)
2	給食施設における栄養・食事管理	食事摂取基準を用いた栄養・食事のアセスメントについて復習する (担当： 亀田明美)
3	給食の生産（調理）①	食材の購入方針と検収手法について復習する (担当： 亀田明美)
4	給食の生産（調理）②	大量調理の方法と技術、調理特性について復習する (担当： 亀田明美)
5	給食の安全・衛生	大量調理施設衛生管理マニュアルについて復習する (担当： 亀田明美)
6	給食管理分野のまとめ	給食管理分野の国家試験の過去問を解く (担当： 亀田明美)
7	社会・環境と健康「公衆衛生学」	統計の基礎（正規分布、相関、統計的推定、t検定、カイニ乗検定）とスクリーニングについて説明と解説を行う。 (担当： 諸岡信久・影山志保)

8	社会・環境と健康「公衆衛生学」	公衆衛生学における統計学的手法について演習を行いながら、問題 解法能力を高める。 相対危険、寄与危険、オッズ比、相対危険割合、寄与危険割合 (担当：諸岡信久・影山志保)
9	社会・環境と健康「微生物学」	病原微生物の細菌の病原性、食中毒と毒素、免疫に関する評価につ いて総合的に理解できるように重点を説明する。 (担当：諸岡信久・影山志保)
10	社会・環境と健康「人間環境学」	毒性学の基本的考察法として、公害病に端を発した急性毒性や慢性 毒性の評価法を中心に、食品残留性化合物、ダイオキシン、変異原 性と発がん性、薬物の吸収、代謝、毒作用に関する説明を総合的に 理解できるように重点的に行う。 (担当：諸岡信久・影山志保)
11	社会福祉六法(社会福祉学)	社会福祉学の授業で扱った社会福祉六法について確認する。 (担当：橋爪 敏)
12	公的介護保険(社会福祉学)	公的介護保険制度について概説する。 (担当：橋爪 敏)
13	生活保護法(社会福祉学)	社会福祉法のなかでも、セーフティネットの最後の砦とされる生活保護法。 現在、被保護者数が過去最大となっている。この点について特に取 り上げて概説する。 (担当：橋爪 敏)
14	食品の安全性(食品衛生学)	管理栄養士国家試験の食べ物と健康の分野では例年食中毒に関する 出題が多い。よって、食中毒と食品衛生学の中核の概念であるHACCP について講義する。 (担当：影山志保)
15	食品の器具・容器包装の安全性(食品衛生 学)	食品の器具・容器包装には主に食品を外界から隔離することによっ て衛生性を確保するという機能がある一方、用いた器具・容器包装 から食品への化学物質の溶出・移行というリスクがある。器具・容 器包装材の性質と食品との組み合わせについて講義する。 (担当：影山志保)

科目名	卒業研究			講義コード	B493202001	担当教員	藤本 健四郎
対象	4年	開講期	集中(通年)	必・選	選択	単位数	4
授業目標	通常の授業の中で行われる実験は、あらかじめ指導教員には結果が分かっている。ところが、卒業研究で行われる研究(実験)においては、ある程度の予測はできても、結果は未知である。ここに、卒業研究の価値がある。文献調査、実験方法の検討、結果のまとめと研究の進め方を学ぶことが授業目標である。						
受講資格	食物栄養学科4年生			成績評価方法	卒業研究への取り組む姿勢(40%)とそのまとめ(卒業論文)(60%)の総合評価。		
教科書	とくになし。						
参考書	テーマごとに文献、参考書の検索を行う。						
学生への要望	積極的に研究に取り組んでほしい。また、時間を有効に使うことも学んでほしいことである。						
オフィス	授業等以外の時間帯。						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	研究テーマの探索	
2	研究テーマに沿った文献検索	
3	文献の講読	
4	実験方法の検討	
5	実験(1)	
6	実験(2)	
7	実験(3)	
8	実験(4)	
9	実験(5)	
10	実験(6)	
11	実験(7)	
12	研究のとりまとめ(1)	
13	研究のとりまとめ(2)	
14	研究のとりまとめ(3)	
15	卒業研究発表会の練習	

科目名	卒業研究			講義コード	B493202002	担当教員	広井 勝
対象	4 年	開講期	集中 (通年)	必・選	選択	単位数	4
授業目標	食品学研究室の卒業研究は研究材料としてきのこ、山菜ならびにエゴマを扱う。きのこ、山菜については1昨年より放射性セシウム濃度の継時的変化をみてきており、今年度も継続的にセシウム濃度の動向を調べる。また、きのこについては脂肪酸組成と分類群との関連を中心に研究を進める。エゴマについては、エゴマの利用を中心とした研究で、昨年はパンにエゴマ種子を混入した場合の影響を調べたが、今年度はアイスクリームなどについても検討を行う。また、エゴマの葉の利用についても合わせて検討する予定である。						
受講資格	研究室希望の学生。			成績評価方法	実験の取り組み状態 (50%)、論文 (50%)		
教科書	特になし						
参考書	その都度指示する。						
学生への要望	毎日研究室に顔を出すこと。						
オフィス時間	研究室にいるときはいつでも。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	自分のテーマ内容の確認	自分のテーマに従って文献等を収集する。

科目名	卒業研究			講義コード	B493202007	担当教員	鎌野 信子
対象	4 年	開講期	集中 (通年)	必・選	選択	単位数	4
授業目標	1. テーマを設定して文献調査を行う。2. 新規食品の開発を行う。3. 食の嗜好性について、官能評価を行う。 4. 新規食品の試作と嗜好性を検討する。などの手法を用いて研究を行う。 研究の分野は担当者の専門分野食品学、食品鑑別論、食品加工・貯蔵学、食文化、食生活などの範囲で、タイトルの立案、文献の読み方、データ処理、中間的まとめ、最終発表などを通して、研究の手法を修得することを目標とする。						
受講資格	郡山女子大学食物栄養学科 4 年生。			成績評価方法	研究姿勢、研究成果により、研究の進め方およびまとめ方について、80%程度理解できたかどうかを判断して単位を認定。		
教科書	特になし。						
参考書	テーマに応じて文献検索を行い、研究の参考資料として用いる。						
学生への要望	日常生活の中で食品に関心を持ち、積極的に物事を解決する意欲を持ってください。						
オフィス	本研究室所属学生と相談の上、日時を設定する。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	導入	グループ編成を行った後、卒業研究の目的および進め方を理解する。
2	テーマの設定	過去のテーマを紹介し、各グループのテーマの設定の仕方を学ぶ。
3	テーマの決定	担当教員と話し合い、テーマを決定する。
4	図書館の利用について	図書館において、図書館職員の指導により、図書および文献検索の仕方を学ぶ。
5	各種情報の検索①	図書、インターネットなどを利用して、各テーマに関する情報を収集する。
6	各種情報の検索②	図書、インターネットなどを利用して、各テーマに関する情報を収集する。
7	実験計画①	テーマに見合った官能評価の手法を検討して、試料などの手配をする。
8	実験計画②	呼び実験を行い、官能評価の手法を確定する。
9	官能評価①	1 回目の官能評価を実施する。
10	官能評価①の判定	1 回目の官能評価について判定し、考察する。
11	官能評価②	2 回目の官能評価を実施する。
12	官能評価②の判定	2 回目の官能評価について判定し、考察する。
13	官能評価③	3 回目の官能評価を実施する。
14	官能評価③の判定	3 回目の官能評価について判定し、考察する。
15	前期の反省	前期の進め方を振り返り、後期の卒業研究の進め方について確認する。

科目名	家政学原論 I			講義コード	B210972009	担当教員	石堂 常世
対象	2 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>家政学原論 (Principles Home Economics) は、家政学の研究分野のうちもっとも基礎となる領域です。家政学とは、「家庭生活を中心とした人間生活における人と環境の相互作用について、人的・物的両面から、自然・社会・人文の諸科学を基盤として研究し、生活の向上とともに人類の福祉に貢献する実践的総合科学である」(日本家政学会 1984年)と定義されています。</p> <p>このような家政学の科学としてのあり方を研究し、「家政学とは何か」を明らかにするのが家政学原論の役割です。「原論」とは、一般的に、ある科学の本質・根本原理 (Principles) をいい、ときにはその学問の哲学 (Philosophy) を意味します。</p> <p>生活を扱う科学は他にも多くありますが、家政学の独自性は、人間生活を環境との関わりでホリスティック (全方的) な視点で総合的に捉えることと、生活上の課題に対して解決策を提案することにその特色があります。本授業では、家政学入門の意味合いも大切にして、このような家政学への誘いをし、専門的研究の道づけをしていきます。他の観点から、家政学原論は、「学問論」、「人間論」、「生活論」の3つの柱で構成される、ともいわれています。</p> <p>「学問論」では、家政学の定義 (目的・対象・方法・独自性・体系) や家政学史、社会的役割などを取扱います。「人間論」では、生活を営む主体としての人間をどのようにとらえたらよいか、人間の価値観や行動様式をもとに「生活者」としての人間のあり方について研究します。</p> <p>「生活論」では、家庭生活を中心とした生活の概念・機能、生活史などをテーマとすることによって、生活のあり方や「質の高い生活」の意味を探求することをめざします。</p> <p>以上の3面を土台として、家政学原論では、家政史 (家政学の歴史) や主要国における家政学の起源と発展と実態を学ぶ比較家政学を含め、まず家政学の研究の目的・対象、研究の原理を学ぶことと、次いで家政学の理論を学びます。こうした学びの上に、家庭生活においてもっとも基本的な子育てという機能のあり方、さらには人間形成における家庭の役目を、今日的な社会変化を把握しながら究明することが重要になっています。後者においては、まず、家庭生活や家事統括の歴史的推移の把握を的確に行える能力を養い、次いで、調和のとれた家庭生活の原理の考察ならびに家庭をめぐる今日的崩壊現象を究明し、最後に、家庭や親子関係の中核を占める「いえ (家)」の意義について、認識を新たにしていきます。</p> <p>授業の総括テーマを、「時代変化の中で家政学の意義を再認識する」とします。</p> <p>評価項目は、以下の通りです。</p> <p>①家政学の発祥と展開について、とくに日本に関して、先駆的人物の時代との葛藤の苦労や活躍も含めてよく理解できたか。</p> <p>②今日の家庭生活の変貌を、利便性と効率の横行する社会的変化との関わりの中で見つめ直し、衣・食・住・子育てのあり方の角度から日常生活を顧みて、真の豊かさとは何かについて見解を深めることができたか。</p> <p>③家政学が扱うさまざまな領域を見つめ直し、それら各領域ごとに現れてきている今日的諸課題に気づき、あるべき家庭とその管理維持について主体的・発展的取り組みの必要性に気づいたか。</p>						
受講資格	家政学部人間生活学科生活総合コース 2年 家政学部人間生活学科福祉コース 2年 家政学部人間生活学科建築デザインコース 2年 家政学部食物栄養学科2年		成績評価方法	15回の授業において、小レポートを2~3回とり、最終回に筆記試験を課す。 筆記試験は80%、レポートは20%の配点で、さらに、授業態度が特段に熱心で積極的であった場合には合計点に加算し、反対に欠席が多かったり隣人のおしゃべりなど授業態度に問題があった場合は合計点から減点する。			
教科書	原則として毎回、その日の授業に関わるレジュメを配布するやり方をとる。						
参考書	授業中に参考書や資料名を挙げる。中には絶版の資料や書籍もあるが、簡単に購入可能な場合には、購入を勧める場合もある。現時点で、関口富左編著『人間守護の家政学』家政教育社、1999を挙げておく。						
学生への要望	<p>授業は暗記ではなく考察であって、調べて考えていく力を養う場である。したがって、課題が出れば、図書館やインターネット等で調べをなし、さらには新聞を熟読して常に今日的課題についての知識を新たにしていくことが求められる。</p> <p>家政学という学問を通して、人智への練磨を自らに習慣づけていくことができるよう、自主的に楽しく考察を深めていって欲しい。</p> <p>授業態度については学生としての本分を貫き、飲食等の行為、隣人のおしゃべり、所有物のいじくり行為などから心身を離し、講義の内容に集中することが肝要である。</p>						
オフィス	前期は、火曜の4時限、木曜の1~2時限とする。それ以外でも、受け入れは可能であるが、但し、メールで確認のاپをとること。 ishidoh@koriyama-kgc.ac.jp 場所は、創学館5階の左奥、副学長室						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	はじめに 家政学への接近	<p>ガイダンス 本授業の構成、授業の進め方、その他の説明、同時に受講生の確認</p> <p>導入 家庭生活の機能と家事概念、子供の成長・人格形成の場についての考察</p>

2	家政学入門1 家政学の構造と内容	<p>学説 - 家政学の定義、学説に関する研究。および研究目的、研究対象など</p> <p>思想 - 家政学の思想に関する研究</p> <p>研究方法 - 家政学の研究方法についての研究、家政学方法論</p> <p>国際家政学 - 国際的な家政学についての研究、これを比較家政学と称す</p> <p>家政学史 - 家政学の世界的歴史、国別歴史、日本における家政学の歴史についての研究（家政史という）。</p> <p>その他の家政学原論の項目 - 上記に含まれない家政学原論の内容。</p>
3	家政学入門2 歴史的考察（1）	<p>ヨーロッパ近世～近代社会における「家政」の意味</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性における家政の責任 資料解読による実例の研究
4	家政学入門3 歴史的考察（2）	<p>日本における家政の歴史的位置づけと特色</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「家訓」の考察 ②「女大学」の考察 ③山川菊枝の『武家の女性』『日本の民主化と女性』
5	家政学入門4 歴史的考察（3）	<p>明治期から昭和前期における家政学の進展（1）</p> <p>家政学の樹立に寄与した女流教育者たちをさぐる</p> <p>女子教育を通しての新しい家庭観・家事の科学、家政学の誕生</p> <p>時代変化の中で模索した女性の新しい教養とは</p> <p>堀越千代（和裁、被服）</p> <p>下田歌子（新時代における女性の教養から生活の改善を）</p> <p>大妻コタカ（手芸、裁縫、母性の涵養）</p>
6	家政学入門5 歴史的考察（4）	<p>明治期から昭和期における家政学の出現と進展（2）</p> <p>大江スミ（社会の基礎としての家庭生活の意義、英国流の実学的家政学、技術と徳性）</p> <p>羽仁もと子（賢く合理的な家政、家庭経営の原理、聖書に基づいた人生観と女性の生き方）</p> <p>付言：本学創学者、関口富左に息づく羽仁もと子の精神</p>
7	学校教育制度史の中での家政学の進展	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の学校制度の考察：江戸期～明治期～昭和前期～戦後の学制の流れにみる女子・女性の位置 ・女子、女性の教育を受ける権利の保障と家政学の位置 ・戦後の学制改革の中の家政学の新生 アメリカのホームエコノミクス教育の影響 職業教育の一端としての解釈 「家庭」に関する学科としての家庭科教育
8	家庭生活の国際比較と家政学	<p>儒教を伝統にもつ国の家政学と、西洋諸国の違い</p> <p>主要国の事例研究：伝統と変革の葛藤</p>
9	社会変化と家庭の変化は家政学にどう影響したか	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の社会進出と家政の概念変化 ・家族構成の変化と家政の位置 ・合理的な生活様式の波及と家事の変化 ・親と子の関係の変化 ①母親と子の変化、②父親の在り方の変化、父権の失墜
10	調べ作業：社会変化と家庭の機能	<p>厳格性・自由放任・大人にしていく、個性を育てることの教育的意味</p> <p>今日の社会と青少年問題</p> <p>→家庭生活の変化と問題点をさぐる。→何が欠落してきたのか</p> <p>手法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『子ども年鑑』など、統計資料を用いての考察 ・新聞記事から家庭の問題をさぐる。
11	「現代」という時代は家庭生活にどのような変化をもたらしたか	<p>科学技術の高度発展と物質文明の洪水の中で「生きる」ということ</p> <p>→衣・食・住・子育てがどう変わってきたか</p> <p>各自が、上記それぞれの領域における具体的な問題点を提起し、健全な家政の難しさを認識する。</p> <p>事例：「食育」と言う言葉はなぜ生まれ、なぜ法律（食育基本法）まで制定されたか。</p>

12	課題探究：衣・食・住・子育てがどう変わってきたか	生産者から消費者への変貌：利便性と創出の文化の葛藤 <ul style="list-style-type: none"> ・食物の生産、食物の調理 ・コンビニの発達は生活者に何を提起するか ・ベビーシッター事件から考える今日の子育て問題
13	子どもを巡る家庭の問題を洗う	統計資料と関連論文から学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・虐待と犠牲になる子どもたち ・崩壊した家庭と子ども ・非行に走る子どもの背景 家庭の役割を再考する。
14	学びに値する家事管理と子育ての研究	成長した子どもたちはどのような親の育て方を評価し感謝しているか 大学生たちの作文にさぐる家庭生活の本質 日常生活に展開する親の役目の重要性 →家政学への示唆
15	結論 実践的総合科学としての家政学の位相	家政学は、もはや家庭内テーマ学習ではない。 人間はいかに生きるかを学ぶ家政学→学際学としての生活総合科学 <ul style="list-style-type: none"> ・住環境を心身の健康面から構成する「人と空間」のあり方 ・地球の問題に開かれた食生活の改善と救援活動 ・子育てを地域社会で共に見ていく相互扶助のコミュニティーづくり ・社会の動向に流されない生活観の確立 興味ある分野、自負できる分野、将来に生かすことのできる分野を見つけて考察を深めよう。

科目名	生活経済学			講義コード	B310972008	担当教員	石田 智宏
対象	3年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>■現代の労働問題、食料問題、環境問題、コミュニティ問題などについて、厚生経済学および社会政策学の考え方を基礎に、「人間の生活保障」という観点から評価検討する。</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕</p> <p>■資料にもとづき、こんにちの生活経済にかかわる問題の本質を、主として市場との関連をベースに、経済学的な観点から考えていく。</p> <p>■おもなテーマ①市場と競争の問題点、経済格差 ②グローバル経済と食料、地球環境の関係性 ③地域と生活経済、コミュニティの福祉効果</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕</p> <p>■システムとしては効率的である市場経済が、現代の人間生活にさまざまな問題を招く存在でもあることを理解する。短期的な市場原理と単純な競争原理に依存せず、長期的な社会厚生水準を尺度として、日常生活を守護するシステムを整備することが重要であると認識する。</p> <p>■個人的富以外のウェルフェア（幸せ、例えば 公正、安心、環境、コミュニティなど）の存在と重要性について認識する。</p> <p>【履修カルテの評価項目】</p> <p>①現代社会・現代経済に対して、自分の価値観を通して評価することができたか</p> <p>②よい社会とは何か、という問いに対して積極的に考えることができたか</p> <p>③みずからの考え方を展開し、授業内で説明することが出来たか。</p>						
受講資格	とくになし			成績評価方法	発言50点、レポート50点、合計100点		
教科書	教員がプリントを配布する						
参考書	参考書：『生活経済論』（2002）、馬場紀子他、有斐閣アルマ、等						
学生への要望	積極的に発言してください。						
オフィス	月・火・木・金の13:00～16:30に経営研究室に来て下さい						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	生活経済学のテーマ	本講座のもつ生活空間の認識と「吟味」について説明する。 本講座の提供する社会科学的「視点」について概説する。
2	生活と幸せ論	公平および公正の問題は、多数の幸せを考えるための大きなテーマである。 公平・公正に関して、その意味するところと、経済的含意を吟味する。
3	生活と発展論	望ましい発展には、何が含まれるのか。教育 同時に倫理、哲学、文学、文化、宗教のそれぞれの経済的含意について吟味する。
4	生活と不確実論	人生は本質的に不確実性をともなう。 経済学における不確実の理論と内容に応じて、安定した生活の経済学的含意を吟味する。
5	生活と善悪論	社会は、人とルールをともなって初めて社会たりうる。 道徳とルールの関係、善・悪の価値判断の経済学的含意について考え、よい社会の合意形成を吟味する。
6	生活と厚生経済論	規模の経済は、本当に人間の生活充足にとって合理的なのか。 人間の厚生を決定する社会的要素を、厚生経済学の三命題を手がかりに考える。
7	前半のまとめ	人間の行動特性は安定を志向すること（行動経済学）、また、それにしがたい社会にもさまざまな均衡状態が生じていることを明らかにする。
8	生活と自由・希望論（2回シリーズ）	人間の生活にとって、自由の意味するところは何か。 まず反対の、制限の意味するところをとらえ、積極性について言及する。
9	生活と自由・希望論（2回シリーズ）	人間の生活にとって、希望の意味するところは何か。 まず反対の、絶望の意味するところをとらえ、明るさについて言及する。

10	論理問題 経済・社会・商品	経済効果とブランディング 地域おこしとキャラクターについて
11	環境政策	環境効率を高めるために、政府は環境政策をおこなう。生産効率でなく環境重視の概念が重要となっている。 ▼環境革命—循環型社会へ (23min.) 環境政策、循環型社会
12	コミュニティ経済論	中小の小売商店が激減している。買い物機会の拡大の一方、大型店のデメリットが訴えられている。 ▼わが町の個性を守りたい (22min.) 大型店舗のメリット・デメリット
13	コンパクトシティ	郊外型の都市開発の問題点が明らかになってきた。バリアフリーでエコロジーなまちづくりが始まっている。 ▼コンパクトシティ (25min.) アワニー原則、コンパクトシティ
14	福祉社会・ノンプロフィット経済	利益ではない相互扶助のための経済行為がある。ゆたかな生活には、人のつながりから得るものが必要となる。 ▼ご近所の底力「絵はがきがつなぐ夏」 (43min.) ノンプロフィット経済、福祉社会
15	講座のまとめとフィードバック	講座全体に関する総括と質疑応答をおこなう。

科目名	家族関係学			講義コード	B410972026	担当教員	知野 愛
対象	4 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>人間生活の基盤となる家族に焦点をあて、人間にとって家族とは何か、家族の機能、家族の変化等を中心に考える。</p> <p>特に、家族内における高齢者、子ども、人権尊重を主題とし、福祉社会における家族のあり方を様々な視点から学ぶことを目的とする。なお、教職（家庭・栄養）を目指す人にとっては必修科目であるため、家庭科の「家族関係学」の学習領域を意識し、家族と福祉に重点を置いた内容とする。履修カルテの評価項目は、①家族の機能について様々な視点から考察し論じることができるか、②家族の時代的変遷について概要を述べることができるか、③高齢者や子どもと家族との関係で現在問題となっていることを列記できるか、以上の3点です。</p>						
受講資格	人間生活学科、食物栄養学科4年生 文化学専攻科1年生			成績評価方法	レポート2回（8割）、授業中提出の感想レポート約5回（2割）。60点以上を合格とするが、授業の理解度8割以上を求めます。		
教科書	特に定めず、資料を配布。						
参考書	その都度紹介します。						
学生への要望	授業中に各自の意見を書いて提出することを5回程度求めます。各自が興味関心をもってその日のテーマをよく考え授業に臨んで下さい。						
ワイルドタイム	木曜日午前中、8:30～11:30。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	授業の進め方と概要	授業の内容と進め方、授業のねらい及び評価の方法につきシラバスに基づいて説明する。始めに、「生まれた家族」と「生み育てる家族」の説明、親等の教え方、親族の範囲、血族・姻族の説明をし、家族の枠組みについて考える。
2	家族と法律（1）	結婚・婚約、婚姻の「要件」、結婚の「効果」、親子関係の成立等につき、法的な側面から家族について考える。古代からの婚姻に関する教材を視聴し、感想を提出する。
3	家族と法律（2）	「家族と法律(結婚に関わる法律)」を視聴し、明治民法との比較、結婚と姓の問題、各国の姓に関する制度等について学び、プリント空欄に記入し提出する。
4	婚姻制度の変遷	日本における婚姻制度の変遷に関するプリントを配布し、全体的な流れをとらえる。その上で、明治時代～昭和戦後にかけての婚姻に関わる教材を視聴し、具体的にどのように変化していくのかを考える。
5	子育てと家族	子どもをもつ選択、子どもをもたない選択、離任と中絶に関する法律的側面、不妊、少子社会の現状、出生数及び合計特殊出生率等について、統計資料に基づいて考え、家族を築くということについて考える。
6	子ども・かけがえのない命	児童虐待の実態を統計資料、新聞記事を基に考察し、子どもの人権尊重や子どものための環境作り、保護し援助を行うべきことを確認した「子どもの権利条約」について学ぶ。また、虐待防止のために、地域ネットワークの構築や通告義務の徹底、親や子どもに対する予防教育、親の相談支援などが行われていることを学ぶ。
7	家族と子育て（1）	江戸時代の地域全体で子育てをした例や、明治時代の良妻賢母主義教育等に関する教材を基に、児童虐待の背景を考える。
8	家族と子育て（2）	母親の孤立や三歳児神話をキーワードに、子育てと家族を考える。日本における子育ての歴史、孤立する母親、三歳児神話とは何かを考える。
9	家族と食生活	家庭環境の変化と食生活の変化には密接な関係がある。現代の食生活の一側面を調査した研究を基にして、食生活の変化について考える。その背景には、高度経済成長、電化製品の開発・購入、結婚観・出産観の変化など、様々な社会状況の変化があることを、パワーポイントで紹介する。

10	高齢者の生活と災害（1）	東日本大震災により数多くの高齢者が困難な状況に追い込まれている。新聞等の報道や自分自身の経験から「高齢者の生活と災害」について考える。新聞記事を切り抜きレポートとして提出し、その内容を発表する。
11	高齢者の生活と災害（2）	前回に引き続き、新聞等の報道や自分自身の経験から「高齢者の生活と災害」について考える。新聞記事を切り抜きレポートとして提出し、その内容を発表する。福島県全体の数値などを紹介し全体的な姿を把握する。
12	高齢者介護（1）	高齢者と介護の問題に焦点をあてる。高齢者世帯、高齢者単独世帯の増加があり、介護の問題は深刻化している。公的介護保険の内容、実際の問題点、介護施設の実態・介護職員の職場環境、について学ぶ。
13	高齢者介護（2）	在宅介護の実態に焦点をあてる。介護者が高齢者によるケースも増加している実態、高齢者虐待の問題にも目を向け、実態と対策、問題点などを考える。福島県内の状況を県の調査結果から学ぶ。
14	家族観	これまでの授業で、婚姻・出産・子育て・就労・高齢者・介護というキーワードをめぐり様々な視点から考察したが、各自の家族観はどうか、プリントに書かれたテーマについて回答する。
15	まとめ	前回、「婚姻・出産・子育て・就労・高齢者・介護」という面から、各自の家族観に関する回答結果を発表し、相互の意見を知り自身の意見の検討をする。最終回としてまとめをする。

科目名	生活経営学 I			講義コード	B210972003	担当教員	深谷 笑子, 大泉 由美
対象	2 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>『人間守護』(人間を護る)の理念に基づき、人と物の関わりにおいて、人間を中心とし、人間の生活を守り、一層向上させるため様々な分野の学問研究をも駆使し、健全な生活を築くために多面的に考え方を展開させるものです。</p> <p>『人間守護』の理念に基づく家庭(内部空間)と社会(外部空間)の調和ある生活は、価値観の多様化傾向が時間の経過と共に広がる現代社会には不可欠な課題です。そこで、経営の基本的要因である『人・物・財貨(金)・時間』を中心に内部・外部の両空間の調和ある望ましい生活経営の在り方を考えます。</p> <p>【履修カルテ】</p> <p>①内部空間と外部空間が密接不利であることが理解できたか。</p> <p>②私たちは、組織の中にいることが理解できたか。</p> <p>③家庭経済の仕組みが理解できたか。</p>						
受講資格	人間生活学科・食物栄養学科2年以上		成績評価方法	テスト(60)レポート等提出物(20)発表(20)出席状況・授業態度により減点			
教科書	教科書はありません。参考書として『新しい生活経営学』関口富左・関口修共著 家政教育社出版、『家政 哲学』関口富左著 家政教育社、『組織の中の人間行動』三村敏子ほか著 有斐閣、『家族・保育・家政科 福祉情報専攻・経済』石川 実編 家政教育社、『人間と空間』O・F ポルノー著 大塚恵一ほか訳 せりか書房 等々。						
参考書	上記、教科書の欄を参照して下さい。関口富左 編著の参考文献は、図書館にあります。その他の参考文献は、担当者のところでいつでも貸し出しをいたします。						
学生への要望	<p>毎時間、学生2名がインターネット、または新聞等で[今日のニュース]を生活とのかかわりで発表する。そこから生活の中で何故ニュースが重要なのかを考える。また、内部空間と外部空間が密接不利な関係になっているかを理解する。</p> <p>発表するときは、よく聞こえるように、分かりやすく発表する。聞く側も、耳を傾けて聞きましょう。</p> <p>多くの生活体験をすること。</p>						
ウェブサイト	月曜日 8:30~12:00						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	オリエンテーション	<p>授業の進め方、パソコンの活用の仕方、パソコンの使用程度等のアンケート調査。パソコンを有効に活用しながら今後の授業の進め方について話します。毎回、「本日のニュース」をとり上げ、生活とのかかわりの中で話します。また、学生は毎回、2名ぐらいずつ当日の朝、新聞やTVのニュースを見て、生活とのかかわりで発表する。</p>
2	人間の生活する空間について	<p>本日のニュースの発表。</p> <p>人間が生活するためには家庭(内部空間)と社会(外部空間)は密接不離な関係にあります。両者の関係が如何に重要な関係にあるかを構造的に基本テーマとして学ぶ。これを中心的概念として生活経営学の授業が一年間展開されます。</p>
3	組織体について その1	<p>本日のニュースの発表。</p> <p>人間が社会生活を行うことは現代社会に於いては、組織体を形成して様々な活動が行われますが、その組織体とはどのようなものであるかを知ることは、社会生活を知る基礎的な課題であるので、組織体とは何かということについて歴史的経過を踏まえつつ学習します。</p> <p>※組織とは何かについて学生は予め調べておきましょう。</p>
4	組織体について その2	<p>本日のニュースの発表。</p> <p>現代社会の組織体は、組織体の目的が多様であることから、様々な組織体が存在するが、基本的考え方は全て同じです。組織体の管理・運営はどのように行われているのかを知り、その基本的な要因を内部空間の健全なる発展に活用することを前提として、組織体の管理・運営を学ぶが、併せて外部空間の組織的構成についてもその意義を考えます。具体的に、企業の目標を達成するために組織各部署の役割を理解し、家庭の目的とどのように異なっているかを理解します。学生は、一般会社、学校等の組織を調べ、組織図を書いてみましょう。</p>

5	理解度確認	<p>本日のニュースの発表。 前回に引き続き、組織体の管理・運営の方法を具体的に学習し、生活への活用について一層理解を深めるものです。 ※これ迄学習した内容について授業の終わりに簡単なレポートの提出をしていただきます。課題は、本授業でお知らせします。</p>
6	計画について	<p>本日のニュースの発表。 私たち人間は、日々の生活を何らかの計画(予定)に基づいて行動していますが、具体的な計画の内容についてはあまり知らないで過ごしてきています。計画とは何かを具体的に知ることは内部空間の安定確保と更なる発展を図るためにも不可欠な課題です。ここでは計画の基本的な内容(意義)について学習します。計画の中には長期計画と短期計画があることを学び、また計画と予定の意味をも理解します。</p>
7	計画の限界について	<p>本日のニュースの発表。 前回に引き続き、計画について学習しますが、ここでは計画の限界を知り、如何にして計画を是正するかを考えると共に計画を内部空間の管理・運営に如何に活用するかについても学習します。特に、今日の社会においては、自然災害等により、絶対に起こらないということがなくなり、何を信じてよいか分からない。このような状況の中では、計画をしても限界があるので、そんなときに、情報を多く持っていることが大切であることも理解しましょう。</p>
8	統制について	<p>本日のニュースの発表。 人間は常に何らかの自己統制(管理)を行い周囲の人々との調和を図りつつ生活をしていますが、組織体の健全な運営のためには意識的(規則・規程)に統制(管理)を行わなければなりません。内部空間にあっても理性的な自己規制をはじめとして色々な約束事(規則・規程)があります。人間が集団化し何らかの行為を行うには統制を図らねばなりません。そこで、統制とはなにかと云うことについて基礎的な知識を理解し活用出来るようにしましょう。</p>
9	理解度確認	<p>本日のニュースの発表。 これまで学習した基礎的な内容を更に深めるため、経営の要因である人・物・財貨・時間について統制の在り方を項目別及び、それらを総合的に学習します。 ※ここ迄の学習の理解度を承知するためレポートの提出を求めます。</p>
10	指導について、リーダーシップについて	<p>本日のニュースの発表。 人間が生まれ育つ過程では常に何らかの指導が行われています。即ち、家庭教育や学校教育・社会教育が例示されますが、外部空間の組織体にあっても組織体の目的を達成するため指導(教育)は重要な課題です。そこで私達の生活に必要な指導とは、どのような事なのかを基礎的に学習します。リーダーシップは外部空間の組織体ばかりでなくあらゆる生活において大切な事柄です。ここでは、リーダーシップとは何かと云うことを学びます。そして、もっとも身近な家庭のリーダーシップ、地域社会のリーダーシップについて考えます。また、リーダーの成立、リーダーの資質、リーダーの影響力等多様な価値観が増幅される現代社会での指導的役割を果たすリーダーの重要性について考えます。 ※内容について簡単な理解度テストを行います。</p>
11	人間と時間、生活と時間について	<p>本日のニュースの発表。 私たちにとって、時間は何物にもかえがたいほどの関わりがありますが、それにもかかわらず重要視されていないのは何故でしょうか。そこで、人間と時間、生活と時間について学びます。</p>
12	家庭経済について	<p>本日のニュースの発表。 家計は、一般には単に「1世帯の生活にかかわる収入と支出」を意味するものと考えられています。しかし、その収入を得ることと支出を行うことは1つの経済単位であることも考えられます。そこで家庭経済の仕組みとして家計、家庭経済及び国民経済について学びます。家計を、企業とのかかわりで見ることや、政府とのかかわりで見たりして家計をいろいろな角度からとらえてみましょう。</p>
13	家計の構造について	<p>本日のニュースの発表。 家計の構造を収入、支出、収支のバランスについて学びます。収入の内訳は、総務省の『家計調査』によれば、実収入、実収入以外の収入、繰入金金の3つに分類されること、また支出は実支出、実支出、実支出以外の支出に分類されることを学びます。</p>
14	家計簿のつけ方	<p>本日のニュースの発表。 親から離れている学生、親元から通学している学生が、それぞれ自分が生活するために、どれだけの支出をしているかを記載することで把握できるので、家計簿のつけ方を学びながら具体的にお金の管理を学びます。</p>

本日のニュースの発表。
消費生活の現状と課題。経済の高度成長と大量消費生活、「消費者」の登場と消費者保護、消費のサービス化と情報革命等について学び、生活者としてよりよい生活の在り方を学びます。

科目名	栄養教諭論 I			講義コード	B210202001	担当教員	菊池 節子, 泉 政子
対象	2 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①栄養教諭の使命や職務内容を理解する。 ②教育に関する専門性および栄養に関する専門性を習得する。 ③児童・生徒を取り巻く現状を把握し、問題点を見つける。 ④児童・生徒の健全な食習慣確立と心身の健康の保持増進のために必要な教育を行うための知識や技術を習得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>栄養教諭の使命や職務内容の重要性を理解し、教育に関する専門性および栄養に関する専門性を身に付けるとともに、児童・生徒を取り巻く課題を踏まえ、児童・生徒の健全な食習慣確立と心身の健康の保持増進のために必要な教育を行うための知識や技術を習得することを目的とする。 (泉、菊池が同時に担当)</p> <p>【履修カルテの評価項目(到達目標)】</p> <p>①栄養教諭の職務内容と位置づけ、期待される役割について理解できたか。 ②子どもの体位体格を知り、食生活の大切さを考えることができたか。 ③食に関する指導の全体計画について理解できたか。</p>						
受講資格	食物栄養学科 2 年			成績評価方法	①筆記試験 50点 ②レポート・発表 30点 ③授業態度 20点		
教科書	なし						
参考書	食に関する指導の手引 ー第一次改定版ー 文部科学省 東山書房						
学生への要望	日頃から食育に関心を持ち、子どもの食生活や食習慣の現状とその問題点に関する情報収集を行うこと。						
オフィス	月曜 II 限終了後 No.1調理学研究室						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	栄養教諭の制度と役割①	学校栄養職員の歴史と栄養教諭制度創設までの経緯について理解する。
2	栄養教諭の制度と役割②	栄養教諭の職務が食に関する指導と給食の管理であることを理解し、栄養教諭に期待される役割について理解する。
3	学校給食の意義と役割	学校給食の歴史を振り返り、学校給食の教育的な意義と役割、栄養教諭の学校における位置づけ等について理解する。
4	食文化の変遷と学校教育①	学校給食の食事内容の推移、食器具も含めた食事環境の変化を通して、日本人の食生活と学校給食のかかわりについて理解する。
5	食文化の変遷と学校教育②	米飯給食から始まったといわれる郷土食や地場産物の活用と、学校給食の食文化の変遷について理解する。
6	子どもの発達と食生活	現在の児童・生徒の体位、体力、健康状態、栄養素摂取の状況、食生活の実態、さらに不登校や摂食障害など心の健康問題について理解し、それらを正しく説明できる知識を習得する。併せて、他職種と協力しての栄養教諭の対応について考える。
7	「食に関する指導」の全体計画①	食に関する指導は、学校教育や学校給食の目標、児童・生徒の実態を把握し、さらに食に関する指導目標や学校給食管理の基本方針を踏まえたうえで、全体的な計画を立案してすすめられていることを理解する。
8	「食に関する指導」の全体計画②	食に関する指導は、給食の時間をはじめとして、関連教科などに幅広くかかわるものであるため、指導の計画と給食管理との有機的連携を図った食に関する指導の年間指導計画が作成されていることを理解する。
9	「食に関する指導」の全体計画③	特別支援学校にはさまざまな障害を持つ児童・生徒がおり、その障害の重度や対象年齢も幅広い。そこで、特別支援学校における食に関する指導は、全体指導から個人指導と、きめ細やかな指導が必要であることを理解する。
10	「食に関する指導」の全体計画④	学校給食年間指導計画の一例から、食に関する指導は学校の教育活動全体を通して行われていること、さらには、学校以外の家庭や地域社会と連携していることを理解する。

11	「食に関する指導」の全体計画⑤	栄養教諭の特性を生かした年間指導計画の作成方法、実施後の評価方法ならびに評価結果の次年度への反映方法等を習得する。
12	「食に関する指導」の展開①	食に関する指導を行うにあたっては、その効果をあげるために、子どもや家庭の実態、学校や地域の様子などについて十分に把握しておく必要がある。そこで、子どもの実態に応じて指導するためのカリキュラム作成方法について理解する。
13	「食に関する指導」の展開②	食に関する指導を行う際の、教科や特別活動と絡めた具体的な指導計画の作成方法について理解する。
14	「食に関する指導」の展開③	食に関する指導のさまざまな実践と、それに対する成果および評価のあり方について理解する。
15	まとめ	半期を振り返り、栄養教諭論 I で学んだ内容のより一層の定着を図る。

科目名	教育思想			講義コード	B210973007	担当教員	石堂 常世
対象	2 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>教育思想は、教育の意味・目的に関する哲学的考察（イデアリズム、経験論etc.）から始まったが、時代の推移とともに幼児教育論、カリキュラム構成論、教授法、教育方法論、学校論、学校開放論、子ども論、発達心理学論、教育機能論、教育行政論、生涯学習論にまで多岐にわたるようになり、今日に至っている。</p> <p>20世紀の前半までは、教育学とは教育思想を学ぶことに等しかったが、教育の大衆化が始まった20世紀後半からは教育に関する実証的研究が盛んになり、思想研究の比重それ自体は小さくなってきている。しかし「人間的成長」や「学校」・「教育制度」のよりよいあり方を考察しようとするならば、過去の優れた教育思想を学ぶことは、教育の本質や目的を考えるうえで必要である。そのことは、自己体験や時代の傾向に流されやすい私たちの教育の見方の狭さに気づかせてくれる。教職をめざす場合は、必須の教養である。</p> <p>以上を踏まえると、評価項目は以下ようになる。</p> <p>【履修カルテの評価項目】</p> <p>①人間の成長・発達を、思想の観点から学び理解できたか。 ②世界的に知られている古典的教育思想の系譜とそれぞれの系譜の代表的な思想について、思想家の思索と主張、彼の教育実践、後世への影響を理解できたか。 ③思想が生まれる背景には必ずその時代の教育の実態に疑義を提起する背景がある。思想から、各時代の学校教育の問題や、科学の進歩や社会の矛盾に気づくことができたか。 ④教職に就いた場合、子どもの成長をみつめる深い教養と温かな心をもって教育実践に望める基盤を得ることができたか。</p>						
受講資格	家政学部人間生活学科生活総合コース2年2単位 家政学部人間生活学科福祉コース2年2単位 家政学部食物栄養学科2年2単位選択 短期大学部音楽家2年2単位選択 短期大学部生活芸術科2年2単位選択		成績評価方法	①授業中に1～2回レポートを課し、次回の授業で発表・意見交換を行う。レポートの評価が20%、②学期末筆記試験の結果が80%。 この総合点に、授業中の積極性が見られた場合は加算、欠席等が多い場合は減点措置をとる。			
教科書	教科書は使用しない。 毎授業で、授業内容のレジュメを配布す。このレジュメをファイルして教科書とし、しっかり理解すること。						
参考書	安彦・石堂『最新教育原理』が役にたつ。勁草書房、2010。 その他、授業で取り上げる教育思想・教育思想家それぞれについて、多くの文献（古典）があるので、授業中に紹介するので、図書館で参照するのが望ましい。						
学生への要望	<p>授業中に出てくる思想家、哲学者、教育実践家については、可能な限り図書館の教育学辞典や世界人名事典、あるいはインターネットで調べて確認し、コピーを保持して知識を深めよう。</p> <p>教育の思想には、系譜と基本的な相互対立がある。その対立関係の思想構造を知ったうえで各思想の特徴を掴むならば、教育思想が生き生きとよってくるであろう。主体的に学んでいこう。</p> <p>授業には清新な気持ちで臨み、毎回、新しい自分を作り上げてほしい。 授業の前後の挨拶を忘れず、授業が始まるに当たり机の上に飲み物や食べ物を出しておかないように心がけること。</p>						
オフィスタイム	前期は、火曜の4時限、木曜の1～2時限とする。面談希望の場合、メールで確認のアポをとること。 ishidoh@koriyama-kgc.ac.jp 場所は、創学館5階の受付から左奥、副学長室						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	導入：教育思想とは何か	<p>1 ガイダンス 授業の進め方 教職課程科目の中の原理論としての教育思想 ①哲学史、学校史、子ども史、学問史を基盤にして理解すること。 ②社会発展や学問の進化にしたがって、教育をみる観点が変化してきたことを理解すること。 ③教職に就いた場合に、学校、子ども、教材を深いところから見るができるようにすること。</p> <p>2 教育についての考察・理論・言説 人間の成長や学校教育制度、教え方、学習メカニズム等をめぐる教育思想の意義</p> <p>課題1（レポート）：私を育ててくれた家庭の力（教育思想への導き） 親から何を得心かについて改めて考察してみよう。</p>

2	1-1 古典的教育思想の課題とは	<p>前回の課題1の発表・相互ディスカッション（教育実践と思想の関係に家庭教育から入る）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子どもをよくしたいと願う親の教育（しつけ）の取り組み いくつもの事例からよりよい育て方への論理が導出されよう。 2 1を基礎とし、そこから出る「教育の定義」：「教育とは何か」への問い 人間一般の教育論、家庭での教育、学校教育での教育、生涯学習論 単なる成長でなく、人間的成長の意味を問うことが思想を生む カント「教育とは、人間が人間になることである」（前と後の人間の違い）
3	1-2 古典的教育思想の2大領域	<p>認識論と倫理学（さらに加えるならば、美学・宗教性の考察もある） これらの省察が、私たちに教えてくれること。 実態への疑問や学校教育のあり方をめぐる紛争のあるところに教育思想が発祥</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人間の認識の誤謬と修正の連続についての論理 2 学校制度や教授法の化石化、教条化への批判から生まれる教育思想 3 美しさ、人間を超えた存在の意味への憧憬から生まれる教育思想
4	2-1 教育思想の潮流を歴史的に探求する：古典的教育思想の潮流（1）	<p>ギリシャの哲学者たちの教育思想 ソクラテス、プラトン、アリストテレスの教育思想（教育思想の基盤） ・それぞれの著作の中に展開する教育論（教学哲学）に触れて考える。 ・「人間の不完全性」の基本的認識→認識論の基礎 ・「アレテー」（人間的卓越性）→倫理学の基礎</p>
5	2-2 古典的教育思想の潮流（2）	<p>古典的教育思想の近代的展開および現代的展開について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16世紀以降：懐疑の精神の意味、知識量よりも判断力の重要性を問う教育論 自然の秩序をいかに取り入れるかで変化する教育思想 モンテーニュ、デカルト、18世紀半ばのルソー、他 ・18世紀以降：無知からの脱出と民衆への知識の普及 フランス革命期に噴出した公教育論 コンドルセ、とその周辺 教会でなく国家が行う教育の主張とカリキュラム刷新の時代要求 科学技術の発達と学校教育の整合性を求める。
6	2-3 教育思想の潮流（3）：20世紀前半の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術の発展と教育思想の展開 ・国民国家成立後の教育論と学校教育論 ・20世紀のイデアリズムの代表：アラン ・20世紀の実証主義と国民教育論 デュルケイムにみる教育社会学の思想拠点 ・20世紀の行動論的教育思想：デューイの経験主義教育思想 <p>①アラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育学的人間学の開拓とイデアリズムの系譜 マックス・シェラーの階層的人間像の統合性
7	2-4 教育思想の潮流：経験論的教育思想（4）	<ol style="list-style-type: none"> 1 古典的には17世紀のロック「人間白紙説」と18世紀のエルヴェシウスの環境決定論 さらにはドルバックの「人間機械論」 →唯物論の現代的展開は、学習心理学の基礎となったS-R論へ 現代的には、スキナーの教育工学的学習論にみる人間像へ 2 医学と教育学の合流から障害児へのまなざしと感覚論的教育論の貢献 さらには、発達心理学と教育心理学を生んだ新教育論へ モンテッソリー、

8	2-5 教育思想の潮流：キリスト教の教育思想（5）	<ul style="list-style-type: none"> ・信仰心、神学の権威は教育にどのように関わったか アウグスティヌス（4世紀）、トマス・ア・ケンピス（12世紀） ペスタロッチ（19世紀）フレーベルの4人をどう読むか 神の存在の絶対的信仰、信仰による人間形成論 敬虔という教育的価値 19世紀以降の宗教的教育思想は、新教育の系譜につながる ペスタロッチ、フレーベル 児童への愛とキリスト教的慈愛の心の統合 →新教育論の誕生 こどもの感覚、興味、関心、活動性、経験の重視 教える教育という解釈から内発的に伸びる教育という解釈への 転換 幼児教育論の源流となる。 一部にみる反権力的教育観としての新教育活動の展開 フレネ、ニールなど
9	2-6 アメリカの教育思想：新教育論の強力な基盤ともなる。	<ul style="list-style-type: none"> デューイの教育思想 ・19世紀アメリカの進展とプラグマティズムの発祥 ・ヨーロッパ文化からの独立 ・ジェームスからデューイへ ・経験主義とは何か ・行動主義とは何か ・道具主義とは何か ・結果主義とは何か デューイの経験主義教育思想の現代性とそこで失われたもの ・学ぶ者の経験の更新を「教育」と読んだデューイ ・児童中心主義の一角をなすが、学習者と環境との相互交流に強い重点を置くために、 単純な児童中心主義ではない。 ・教える者の姿が見えない教育思想 ・教育における「権威」の問題は枠外に置かれる。 ・日本への影響関係
10	4-1 戦後日本の教育改革とデューイの教育思想	<ul style="list-style-type: none"> 戦後の教育改革（日本の刷新と新教育） ・修身の停止 ・社会科の導入と経験主義の普及 ・教科学習よりも経験・体験学習の重視 ・子どもの成長発達とデューイの教育思想の関係 ・儒教の伝統をもつ日本、さらには受験学習の隆盛のなかでの20世紀後半にあって、デューイの教育思想の定着は、生活科や総合学習の勤めに向けられた。
11	4-2 古典からみた日本の教育観（1）	<ul style="list-style-type: none"> 江戸時代に広まった人生観としての生き方の説諭 1 『実語教』の教え 2 二宮尊徳の教え 3 貝原益軒の教育思想 『女大学』の教え 4 武士の子弟の教え：「什の掟」
12	4-3 明治時代以降の作品に見る生き方の理想像（2）	<ul style="list-style-type: none"> 1 福澤諭吉の『学問のすすめ』の意味 2 高村光太郎の「道程」から 3 宮沢賢治の「雨ニモマケズ」から 4 吉野源三郎『君たちはいかに生きるか』から 課題2：日本人の思想と生き方への示唆
13	5-1 課題発表	<ul style="list-style-type: none"> 西洋と日本の教育思想からもっとも印象深いと思った思想を取り上げ、何が心に残るかをまとめてくる。 ・全員が発表し、取り上げられた思想家や思想について理解を深める確認する。 ・子どもの成長に関わっていく者として、上記のまとめ、発表と質疑応答から、人間成長に関する何らかの確信を得ること。
14	5-2 義務教育の確立期から義務教育体制開放の教育思想	<ul style="list-style-type: none"> ・義務としての学校教育から権利としての教育観へ ・就学期間の教育観から生涯にわたる教育観へ ・生涯教育論 ポール・ラングラン ・学校破壊論と脱学校論の思想 イリッチ、ペライター

- 15 結論：教育思想の 카테고리とおもしろさについて
- A 時代性と教育思想
普遍性と教育思想
 - B 国民性と教育思想
国境を越えた人間形成の時代に挑む教育思想
 - C 哲学としての教育思想
科学としての教育思想
 - D 個としての人間教育論
体制としての教育思想
-

科目名	教育心理			講義コード	B210973011	担当教員	垣花 真一郎
対象	2年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>教育心理学とは、心理学で明らかにされてきた知見を教育実践に生かすことを目指す学問である。ただし、心理学にはさまざまな立場があり、教育心理学ではさまざまな立場を場面に応じて用いているのが実情である。本講義では、従来、教育心理学で主流であった行動主義の心理学に加え、認知主義の立場も紹介し、さらに臨床心理学の諸理論も紹介する。</p> <p>本科目では、第一に行動主義理論、認知主義理論、精神分析理論といった主要理論の考え方を理解すること、第二に教育心理学で用いられる用語を正しく用いることができるようになること、第三に教育実践の具体的場面を本授業で習得した知識を用いて解釈できるようになること、を目標とする。</p> <p>〔履修カルテの評価項目〕</p> <p>① 主な心理学理論（行動主義、認知主義など）の考え方をどの程度理解できたか。</p> <p>② 教育心理学で用いられる用語をどの程度正しく用いることができるようになったか。</p> <p>③ 教育実践上の問題を本授業で習得した知識を用いて、どの程度説明できるようになったか。</p>						
受講資格	教職課程履修者			成績評価方法	レポート15点、平常点15点（欠席1回ごとに3点減点）、中間テスト20点、期末テスト50点		
教科書	指定しない						
参考書	授業中に随時紹介する。						
学生への要望	実習等のやむを得ない場合を除いて、毎回出席すること。実習等の予定がわかっている場合は、事前に連絡すること。						
オフィス	火曜1、2限目。 事前に連絡することが望ましい。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	教育心理学とは	教育心理学とは、心理学の応用分野のひとつである。心理学には、行動主義、認知主義、精神分析学など様々な系統があるが、教育心理学は教育・学習を対象とした学問という意味でひとつの主義、流派に偏った学問ではない。説明の対象となる場面に依りて様々な主義、流派の説明が適用される。本授業ではそのような教育心理学の立ち位置を学ぶ。
2	知的発達 I	人間が人間らしく思考するようになるのは、どのようなことが必要か。これまで行動主義的な説明の仕方と、構成主義的な説明の仕方が主に存在してきた。ここでは行動主義の考え方を理解する。
3	知的発達 II	ピアジェの構成主義的発達理論を理解し、行動主義理論との対比について考察する。
4	性格の発達 I	人間の性格は生得的な気質が中核なのか、親との愛情関係が中核なのか。ここでは、気質論と愛着理論を見ながら、両者の関係性を理解する。
5	性格の発達 II	ここでは第4回で取り上げなかった性格理論である精神分析、社会的学習理論、行動遺伝学の性格論を紹介するとともに、性格の測定法について紹介する。
6	児童期・青年期	ギャング・エイジと呼ばれるように、児童期には子どもは独特の集団を形成し、友人関係が広がりを見せるようになる。また、青年期には自分と何かといった課題の解決に迫られる。本授業では児童期・青年期の子どもの心理的特徴について学ぶ。
7	教室という社会	教室は小さな社会である。そこでは人が人と知り合い、集団を形成していく。本授業では社会心理学で明らかになった印象形成や集団における心理的特徴について学ぶ。
8	中間テスト	1～7回までの内容についてのテスト。後半は第7回で紹介した構成的グループ・エンカウターの練習を行う。
9	動機付け	人がやる気になるのはどのようなときか。あるいはやる気をまったく起こさない人にはどのような背景があるのか。本授業では動機付けのメカニズムについて学ぶ。

10	記憶	記憶には、「今・ここ」の情報である短期記憶と、過去の情報である長期記憶がある。また、それらに対応した脳の部位も明らかになりつつある。本授業ではそういった記憶の仕組みについて学ぶ。
11	教育評価	知能とはなにか。学力と何か。またそれらを測定することは教育上どのような意味があるのか。本授業では、教育評価の方法とその意味について学ぶ。
12	発達障害 1 – その症状と定義	発達障害とは乳幼児期に現れる発達の遅れ、偏りのことである。本授業では発達障害の種類、それぞれの症状について学ぶ。具体的には広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害を扱う。
13	発達障害 2 – 療育の手法	本授業では、専門の療育機関で用いられている手法と通常の教室での対処の仕方の両面から、発達障害児との向き合い方を学ぶ。具体的には広汎性発達障害児の療育手法のひとつであるTEACCH、行動療法などを中心に学ぶ。
14	心理療法 I	心理療法とは心理学の理論を心の問題の解決に役立てようとする心理学の応用分野のひとつである。今回は来談者中心療法の考え方と、その実習を行う。
15	心理療法 II	今回は精神分析理論、行動療法、認知理論について学ぶ。

科目名	栄養教育実習 I			講義コード	B410203101	担当教員	泉 政子, 菊池 節子
対象	4 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	1
授業目標	<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①栄養教育実習の目的や心構えを確認する。 ②学習指導案の作成や模擬授業等の体験を通して必要な実践力を修得する。 ③実習後の報告会により教育現場への理解を深める。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>栄養教育実習を充実させるための事前指導と学びを進化させるための事後指導の構成になる。事前指導では、栄養教育実習の目的や心構えを確認し、学習指導案の作成や模擬授業等の体験を通して必要な実践力を修得する。事後指導では、報告会を行い、相互の体験の交流により、教育現場への理解を深める。 (泉、菊池が同時に担当)</p> <p>【履修カルテの評価項目(到達目標)】</p> <p>①実習生としての責任の重さを自覚できたか。 ②実習前の事前準備をすることができたか。 ③実際の指導場面を想定した学習指導案が作成できたか。 ④実習体験をふり返し、他者に伝えることができたか。 ⑤自己と他者の反省から、目指すべき教師像が画けたか。</p>						
受講資格	教職課程(栄養教諭)履修者			成績評価方法	①レポート・発表 80点 ②授業態度 20点 (1回欠席で2点減点)		
教科書	なし						
参考書	食に関する指導の手引 一 第一次改定版一 文部科学省 東山書房						
学生への要望	栄養教育実習に向けて万全の準備で臨み、実習後はその経験を活かし教員として相応しい資質を身に付けること。						
ワキタム	月曜Ⅱ限終了後 No.1調理学研究室						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	教育実習オリエンテーション	実習の目的、心構え、準備等について、栄養教育実習日誌を配布し確認する。また、実習日誌の記入方法、自己評価等についても確認する。
2	実習の準備1	学校の組織、栄養教諭の職務内容を確認する。また、各教科、道徳、特別活動の3領域について学習指導要領を基に、学校の実態に応じた指導計画が学年ごとに組まれていることを理解する。
3	実習の準備2	小学校低学年・中学年・高学年、中学校の授業例を提示し、授業全体の流れや発達段階に応じた指導方法について学ぶ。
4	実習の準備3	実習校の児童生徒の実態をできる範囲で把握し、実習校の課題により指導案を作成する。作成した指導案や媒体、板書計画等が児童・生徒の実態や発達段階にあっているかなどの教材研究をする。
5	実習の準備4	作成した指導案により、模擬授業を行う。担任や養護教諭等と、どのように連携すると教育効果上がるかを相互の演習を通して考える。
6	実習の準備5	作成した指導案により、模擬授業を行う。実習するにあたっての様々な手続き、実習日誌の書き方、実習校での行動や態度について再確認を行う。
7	教育実習を振り返る	小集団によるディスカッションを通じ、自らの教育実習を振り返る。
8	まとめ	実習で得た学びや気づき、今後の課題をまとめて発表する。

科目名	宗教学的人間論			講義コード	B110971019	担当教員	福島 寅太郎
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>①本学の建学精神を理解するために必要な教養的知識を習得させる。 ②教養のある現代人として宗教に関する必要な知識を身につけさせる。</p> <p>〔授業の概要〕</p> <p>本講義は本学の建学精神に基づいた全学科・専攻の必修科目である。 宗教は人間生活のあるところ、どの時代にもどの場所にも影響を及ぼしており、現在の私たちもまた日常生活の中で常にそれらと関わっている。グローバル化が進み、異文化間の相互理解が求められる現代において、宗教は果たしてどのような役割を果たすことができるのであろうか。 本講義は、諸宗教の思想や信仰、特に現代日本およびアジアの諸宗教におけるさまざまな事例を取り上げ、宗教学的観点から探ることを目的とする。授業への理解を深めるために、アニメなどの映像を数多く取り扱う予定である。ちなみに「トトロはオスですか、それともメスですか」。素朴な疑問が学問への重要な一歩である。 本年度は、本学の学問の特徴である「生活学」に焦点を当てて、宗教と生活との関わりを考えてみたい。具体的には、当該問題に関連した最新の研究書を教科書として用い、当該教科書の読解を通じて理解を深めていきたいと考えている。</p> <p>〔到達目標〕</p> <p>①宗教学的“ものの見方”を理解する。 ②宗教が身近な存在であることを再確認し、「宗教」に対する偏りのない理解ができることを目指す。 ③紹介された諸事例を通じて、「宗教」と「宗教的なもの」との異同を理解する。</p>						
受講資格	特になし			成績評価方法	試験成績(60点以上)、出席状況(60%以上)、授業態度、提出物等。理解度8割で、合とする。		
教科書	『生活禅のすすめ』（浄慧著、東京・山喜房佛書林、2012年）。						
参考書							
学生への要望	ノートをこまめにとること。						
ワキタイム	昼休みの時(12時～12時40分)。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンス	授業の進み方、建学精神との関連について述べるとともに、テストや成績評価などについて紹介する。教科書についても案内する予定である。
2	生活と宗教（1）～アップル製品は何故シンプルか～	具体的には禅を取り上げる。禅の歴史や基本的な教えについて、教科書に沿って述べる。アップルの創始者・ジョブズ氏は敬虔な禅の実践者である。シンプルさを追求したアップル製品を話題にしながら、生活における禅の役割を考える。
3	生活と宗教（2）～今どうして禅なのか～	前回の続き。教科書に沿って、禅とは何かを、身近な話題を通して考える。
4	生活と宗教（3）～今はどうして生活禅なのか～	「生活禅」とは何か。教科書を通して学びながら、一緒に考えてみる。
5	生活と宗教（4）～ダルマとは誰か～	「達磨さんが転んだ」という鬼ごっこをみんなは一度ぐらい遊んだことがある。ここに出てくる達磨さんとは誰のことであろうか。歴史上の達磨さんと民間信仰のそれとの異同を明らかにしてみたい。
6	生活と宗教（5）～般若心経とはどんな教えを説いているのか～	『般若心経』と生活禅について述べる。日常生活の中で、『般若心経』に触れる場面があると思う。ここでは教科書を用いながら『般若心経』とはどんなお経なのかを学ぶと共に、生活禅との関係を理解する。
7	生活と宗教（6）～心の三次元～	心とは何か。宗教は人間の不可視的なものを可視的にする文化的装置である。ここでは宗教から見た人間の心とは何かを、禅における心のとらえ方を通して理解する。
8	生活と宗教（7）～心の成長物語～	前回の続き。具体的には『十牛図』という最古のマンガを通して理解を深める。
9	生活と宗教（8）～悩みはどこから来るのか～	悩みとは何か。禅における悩みの対処法を、教科書を通して理解する。

10	生活と宗教（9）～特別授業～	気分転換のために、アニメにおける宗教的要素について考察する。具体的には『となりのトトロ』を取り上げる。ちなみに、トトロの性別はオスか、それともメスか。素朴な疑問が学問への重要な第一歩である。
11	生活と宗教（10）～特別授業～	前回の続き。
12	生活と宗教（11）～生活と宗教との関わり～その一	再び教科書に戻る。「生活の中で修行し、修行の中で生活する」という教科書の著者の言葉を理解しながら、生活と宗教との関わりを考える。
13	生活と宗教（12）～生活と宗教との関わり～その二	前回の続き。
14	生活と宗教（13）～まとめ～	これまでの授業の全体についてまとめると共に、期末テストについて説明する。
15	最終回（試験）	

科目名	哲学的人間論			講義コード	B110971012	担当教員	小阪 康治
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>この講義の目的は、人間のあり方について、人間のいちばん本質的なところから、自分で考えてみることにあります。哲学の長い歴史の過程で、なにが善なのか、なにが本当のことなのか、なにが理想なのか、などの問題が出てきました。それで講義は、具体的な事例を説明することを中心とします。理屈ばかりの話は、哲学本来のものではありません。実際の生活に基づいて、それと理論との関係は話しますが、一番重要なのは、受講者が自分自身で、人間や人間社会について考えることなので、この練習もします。</p> <p>【履修カルテの評価項目】</p> <p>① 哲学的な知識は身についたか。 ② 哲学的な考え方についてどの程度理解できたか。 ③ 哲学的に考えを書くことがどの程度理解できたか。</p>						
受講資格				成績評価方法	試験 30%。講義時間内の発言 30%。小論文 40%。		
教科書	受講者と相談して決める。						
参考書	受講者と相談して決める。						
学生への要望	<p>現在の社会は、積極性のある人材を望んでいるので、なによりも積極的に発言し、ときどき課す小論文などでも、前向きな思考法身につけるつもりで講義に臨んで欲しい。</p> <p>講義への反応、学生諸君の興味、関心などを考え合わせ、また社会状況におうじて、講義のテーマや内容は、変えることもありますので、シラバス通りにはならないこともあります。</p> <p>講義は、分かりやすく、面白く、ためになるようにやります。なので、ノートをきちんと取る、自分の頭で考えることを要望します。</p> <p>従って、講義のテーマについて事前に考え、講義後にもう一度自分の考えをまとめることが、講義をよく理解するために必要です。それは小論文や試験の際に役に立ちます。</p>						
ワイルド	いつでもいいが、アポイントメントを取ってから来る。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	講義の内容、目的、方法の説明	<p>学問としての哲学的人間学を概観します。哲学的人間学というと、ものものしいのですが、ようするに人間が生きていくときに遭遇するいろいろな問題を、きちんと考えようとする学問です。</p> <p>そこで15回分の講義の内容を概略説明します。</p> <p>それから講義の進め方、ノートの取り方、講義中の積極性、小論文練習の役割、出欠、これらの評価にもとづいて成績をつけるときの基準などを説明します。</p>
2	どうしたら幸せになれるか	<p>おそらくすべての学問は、人間が幸せになることをひとつの目標としています。この回では、哲学的に考えて幸せになるとはどういうことかを、考えてみます。</p> <p>私はチョコレートパフェが好きで、チョコレートパフェをおなか一杯食べると幸せだろうとおもうが、そんなことはできない。ダイエットばかり気にしてるのもストレスがたまって、これまた幸せじゃない。</p> <p>なにが、どういう行為が、どういう精神状態が幸せなのか、これについても哲学は長い時代にわたって、いろいろ考えてきました。</p>
3	赤い花は赤いか	<p>思想や哲学というのは、数学のようにきちんと回答が出るものではありません。しかしそれではただの評論になるので、確実な知識を求めていくと、こういう問題も出てきました。</p> <p>ひとつの赤い花をおおぜいが見ると、座ってる角度や距離によって、おなじ赤でもすこしずつちがって見えている。どうやったらおなじ赤を全員が見ることが出来るのか。赤とはどういう色なのか、などの問題が出てくるわけです。</p> <p>これは屁理屈ではなく、ものごとをきちんと考えようとする、こういう方向に深まっていくというひとつの例なのです。</p>

4	福祉と正義について	<p>社会福祉に財源が必要なのはどうなんなのですか、ほかにもお金がいる分野はある。医療、防衛、経済対策、地震からの復興にもたくさんのお金が必要です。どこにお金を振り分けるべきなのか。電力供給のための発電所の建設か、それとも復興支援が優先するのか、防波堤がいちばん先ではないのか。などの議論です。そういう大きな問題だけでなく、たとえば、この間の地震でも、透析の機械が不足していました。機械がひとつで危篤の患者さんが3人いるときに、どの患者さんに透析するのか。幼い子どもが3人もいる夫のいない母親と、有名な科学者と、働き盛りのおとうさんについて、優先順位の基準はなんなのか。</p> <p>正義とはなにか、こういう問題を考えてみます。</p>
5	論文練習	<p>3～4回に1回くらい、これまでの時間の内容について、論文練習をします。この練習の目的は、学生の側からは、①これまでの講義をどれだけ理解できているかを自分で振り返ってみる。②論文練習をすることで、学期末の試験の練習になる。③採用試験時の筆記試験の対策にもなる。</p> <p>教える側からすると、①なによりだいじな、自分の頭で物事を考えさせる訓練になる、②みんなで答案を検討するので、論文の書き方を具体的に理解させることができる、③教えたことをどれだけ理解しているかを点検できる、などです。</p>
6	哲について	<p>哲学はむずかしいとよく言われます。いろいろ原因はありますが、そのひとつに「哲」という漢字の意味が分からないことがあるようです。この字は、哲夫君とか哲太郎君というように、固有名詞では使いますが、それ以外ではほとんど見ない。女性で哲子さんという名だと、付き合いたくないなあ、というイメージにもなりません。</p> <p>哲学は明治になって西洋から来た学問なので、英語のPhilosophyなどの外国語を訳したのですが、それ以前にも哲学的な考えが日本になかったわけではありません。それで漢字の「哲」の字を当てはめて訳語としたのです。</p> <p>この回は、哲学とはどういうものかという、哲学の一番本質の意味について講義します。</p>
7	ビッグ・アイはなぜあるか	<p>子どものころ、なぜなぞというのか、とんち話というのがありました。大阪城はだれがつくったか。「豊田秀吉」と答えると間違いで、「大工さん」が正解でした。</p> <p>郡山の駅を降りるとビッグ・アイがあります。ビッグ・アイはだれがつくったのか？「大工さん」だけではできない。これに似たことを、紀元前300年も前に、アリストテレスという人が言ってる。この話は、ものがあるのはいったいなぜなのか、どうしてもものがあると言えるのか、など哲学の本格的な課題につながっていきます。</p>
8	人間の尊厳と自己決定権	<p>人間が人間であることの根拠とはどういうことでしょうか。自分の生き方は自分で決めたいのがふつうです。自由という言葉でもいいのですが、これが人間の尊厳の重要な根拠であることは、みんな認めています。</p> <p>でもそう考えない人もいます。自分が末期の癌などと聞きたくない、という患者さんはすくなくありません。また、安楽死は本人が望みさえすれば許されるのでしょうか。家族の気持ちはどうなるのでしょうか。</p> <p>状況がよく分かっていない人、たとえば認知症の老人が言ったことにも、自己決定権を認めるのか。それから、幼児が駄々をこねて言う言葉も自己決定になるのか、などについて考えてみます。</p>
9	論文練習	<p>これまでの3回分について、前回述べた目的で、小論文の練習をします。</p>
10	私は誰か	<p>さまざまなことを考えたり、行動したり、他人と付き合ったりするのは自分です。ここには自分がいるという前提がある。しかし仏教思想では、自分というものさえ本当はないのだ、と語られています。わざわざ仏教思想を持ち出さなくても、諸行無常という言葉に代表される考えは、おおくの日本人が共有しています。</p> <p>この講義は、ほとんどが西洋思想を基礎にしたものですが、今回は東洋思想を中心に自分はだれか、自分はどのようにあるのか、そもそも本当にあるのかなど、自分自身についての問題を考えてみます。</p>

11	最近の社会問題についての哲学・倫理学の見解	<p>栄養学と教育学系の学生がおおいので、その関連のテーマとして、食品問題についての事件と仮想社会を分析してみましょう。食品偽装は一時ほどマスコミは取り上げませんが、あいかわらず起こっていますし、この先もおなじような問題が起こるでしょう。それぞれの事件について車内の指示システムの整備やマニュアルの完備がなされています。それはいいとして、哲学的にはこの問題はどうか考えればいいのでしょうか。</p> <p>またゲームに見られる仮想空間・社会の危険性もしばしば指摘されています。さらに幼児の教育のさいの仮想、たとえば仮想の人から園児に手紙が来るなどの倫理性が、教育学者の間でも議論になることがあります。</p> <p>食品偽装と仮想社会というふたつの問題群は、本質的におなじだと私は考えています。このテーマについて、話してみます。</p>
12	永遠の愛は可能か	<p>むずかしい問題を考えるばかりが哲学ではありません。哲学は、われわれが日常疑問におもっていることを、きちんと考えようとして、だんだん深くなっていっただけです。「永遠の愛は可能か」というテーマは、おそらく古今東西、若者にとって最大の問題のひとつです。ギリシャの哲学者たちもこういう問題を考えた。</p> <p>この問題について、友達と一晩中議論してもなかなか結論は出ない。疲れて寝てしまって、また次の週に同じような議論をしても、やっぱり結論には行きつかない。</p> <p>どうしてそんなことになるのか。それは問題自体を分析してから考えを進めていくことに慣れていないからです。この回は、問題と同時に、哲学的に考える方法について話してみます。</p>
13	家庭とは何か	<p>本学の教育理念は、ドイツの哲学者であり教育学者であるオットー・フリードリッヒ・ボルノー先生の思想の影響を強く受け、先生思想を受け継いでいます。</p> <p>これにもとづいて、本学の教授陣が執筆した『家政哲学』が刊行されています。今回はこの思想を、分かりやすく説明します。</p> <p>個人だけでは人間は生きていけません。それで社会をつくった。社会のなかで生活することで人間は豊かに安心して生きていける。ところが社会では、おたがいの利益が相反する場合があります。どうして。社会人としてお互いの利益を守るために、互いの人間性を尊重し、協力し、愛し合うことを、どこで学ぶのか。</p> <p>個人と社会の間にある家庭が、それらの育成のための場所ではないのか。家庭を中心に個人と社会を調和させるところに、本学建学の精神の特徴があります。</p>
14	論文練習	<p>これまでの4回分について、前回述べた目的で、小論文の練習をします。次回が試験なので、試験の対策も考えながら書くことにします。</p>
15	試験	<p>最初の30分で、採点の基準、論文の書き方、参考書の使い方などを説明してから、試験を60分間で実施します。</p>

科目名	倫理学的人間論			講義コード	B110971011	担当教員	小阪 康治
対象	1 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>この講義の目的は、われわれが日常生活で「変だなあ」とか、「間違っているんじゃないかなあ」と思っていることが、正しいかどうかを考えてみることにあります。友達との何気ない会話、家族との議論、恋人との話の中でも、「納得できないなあ」と疑問を持つことはしょっちゅうあるでしょう。個人的な課題だけでなく、国際的問題、地球環境についても、何が正しい解決法で、答えはどうか、実例に即して講義します。</p> <p>【履修カルテの評価項目】</p> <p>①倫理的な知識は身についたか。</p> <p>②倫理的な考え方が、どの程度身についたか。</p> <p>③倫理的文章を書くことがどの程度出来るようになったか。</p>						
受講資格				成績評価方法	試験 30%。講義時間内の発言 30%。小論文 40%。		
教科書	教室で指示する。						
参考書	教室で指示する。						
学生への要望	受講者自身が考えることが大切です。講義の内容については、受講者と話し合ったり、受講者の反応を見たり、重要な時事問題を取り入れたりするので、いくらか変わることもあります。従って、講義のテーマについて事前に考え、講義後にもう一度自分の考えをまとめることが、講義をよく理解するために必要です。それは小論文や試験の際に役に立ちます。						
オフィス	いつでもいいが、メールでアポイントメントを取ってから来る。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	倫理学について	倫理学という領域を概観します。それから15回分の講義の内容を概略説明します。講義の進め方、ノートを取り方、講義中の積極性、小論文練習の役割、出欠、これらの評価にもとづいて成績を付けるときの基準などを説明します。
2	なぜ嘘をついてはいけないのか	<p>なぜ嘘をついてはいけないのか、なぜ他人のものを盗ってはいけないのか、なぜ人を殺してはいけないのか、こういう当たり前のことも、なぜなのか、とその根拠を訊ねられるとかんたんに答えは出ません。</p> <p>当たり前でしょ、決まってることだから、と言っても、答えにはなっていません。あなたも嘘をつかれたくないでしょ、だから他人にも嘘をついてはいけない、というのは一応の倫理的な回答なのですが、嘘をつかれてもいい、という人もいます。たとえば、末期の癌患者さんのなかには、事実を知りたくないと言う人はすくなくありません。</p> <p>この時間では、こういう倫理問題の基本になる問題群を、分析してみます</p>
3	電車やバスのなかで、お年寄りに席を譲らない若者は悪人か	<p>新聞の読者の声欄には、半年に1度くらいはかならず、近頃の若者はお年寄りに席を譲らなくなった、こんな若者ばかりになったら日本もおしまいだ、という論調の記事が出ます。若者の立場からは、譲らないのは若い者ばかりじゃないとか、こっちは疲れてるんだからという反論もあります。</p> <p>この講義ではふたつの問題を検討します。第1に、なぜ席を譲るのは善いことで、譲らないのは悪いことなのか。その理由はなにか。第2に、人間は本来、善い者なのか、悪い者なのかという問題です。</p>

4 高レベル放射性廃棄物と倫理問題

前任の大学で、この問題について講義をしていたときは、まったく客観的な立場でした。しかし東北・関東大震災による福島原子力発電所の事故に遭遇した後では、この問題は他人事ではなくなりました。

原子力発電の問題は、現代人が快適な生活を送ることとそれによる危険性をどう比較するか、さらに数百万年の後でも有害な物質を後の世代の人類に廃棄することとどう比較するか、という問題になります。

また、関東で使う電力をなぜ福島県で発電するのかも、今回の事故であらためて議論されるでしょう。しかし現実には、原子力発電を止めると、電力の30%以上が使えなくなります。それで人々は納得するのか。

この問題の根本には、われわれ自身が、自分たちの生活の豊かさ、快適さをどの程度まで求めるかという課題があります。とくに若い人たちが自分たちの社会をどうつくっていくかということなのです。

5 論文練習

3～4回に1回くらい、これまでの時間の内容について、論文練習をします。とくにこの講義は、自分の頭で考えることが最終目的ですから、講義を聞いて理解するだけでは、講義の目的には到達しません。

この練習の目的は、学生の側からは、①これまでの講義をどれだけ理解できているかを自分で振り返ってみる。②論文練習をすることで、学期末の試験の練習になる。③採用試験時の筆記試験の対策にもなる。

教える側からすると、①なによりだいじなのは、自分の頭で物事を考える訓練になる、②みんなで答案を検討するので、論文の書き方を具体的に理解させることができる、③教えたことをどれだけ理解しているかを点検できる、などです。

6 捕鯨について、どうして日本人は外国人から非難されるのか

日本の捕鯨は、外国からはたいへん評判が悪い。鯨を食べていけないのなら、豚や牛も食べてはいけないはずだ、と日本人はおもっている。豚や牛だけでなく羊や鶏などを、日本人以上に大量に食べている西欧人から、捕鯨について批判されるいわれはない。これが日本人一般の気もちでしょう。

ところが外国人は、豚や牛を食べるのは構わないけど、鯨はいけないと考えているようだ。変じゃないか、と考えるのは日本人で、外国人は当たり前だとおもっているわけです。

このちがいは、お互いの文化のなかの無意識の倫理観が異なっているからだと考えられます。昨年、ポーランドのワルシャワ大学でこの問題について講演しました。その反応や質疑なども含めて講義します。

7 電車の中の化粧をどう考えるか

電車の中の化粧が、社会問題になっています。都会だけでなく地方都市のローカル線のなかでも見かけました。アンケートなどを見ると、年上の人たちが批判的で、若い女性は車内化粧しない女性でも、肯定的な人がかなりいます。

みっともない、電車のなかは公共の場であって、化粧する場所じゃない。忙しいから電車のなかの時間も有効に使いたい、だって誰にも迷惑かけてないじゃない。

中年の女性でもしてる人を見かけるけれども、この問題にはふたつの面がある。まず世代による倫理意識のちがいでしょう。時代が変化するにつれて、倫理基準も変化します。それを上の世代はどこまで許容するか、否定できるか。もうひとつは、他人への迷惑とは、具体的にどういうことか。どこまでが迷惑で、どこからは黙認されるべきか。そのための基準はあるのか。

8 企業の責任

現在、企業の社会的責任（CSR）が、しばしば問題にされます。これは他人事ではなりません。卒業したら勤めるのは企業体です。自営の人も企業の活動をするには本質的には同じです。公共の仕事につき場合でも、組織の利益と社会のあり方が矛盾することはしばしばあります。倫理というのは個人の規範だけでなく、会社やその他の組織体もその社会・経済活動のさいに、倫理的であることを求められるのはとうぜんです。

たとえば、環境問題についてのスタッフを置くことができない中小企業が、環境破壊的な事件を起こした場合、この企業は環境に配慮している大企業にくらべて、悪い企業なのか。

有害な恐れがある物質でも、法律の基準に触れなければ、排出することは許されるか。

この講義では、会社や公共団体も含めて、組織の運営と社会倫理の関係を考えます。

9	われわれは子孫に対してどういう責任があるのか	<p>未来の子どもたちや人類にたいして、現在のひとびとは当然責任があります。しかし現在の生活水準も守りたい。そこで両方を満足させるべきだ、という方針を打ち出すのはかんたんです。これを「持続可能な発展」というのですが、この理想を具体的にひとつひとつの実例のなかで考えると、結論を出すのは容易ではありません。</p> <p>たとえば、石油や石炭などの資源はいずれなくなってしまいました。それでは使わないことにするのか、しかし取っておいて誰が使うのか。</p> <p>いい風景は誰もが愛しているものです。ところでそこに工場をつくると地域の発展になる。工場をつくれれば、既得権になるから、将来の世代には、景観の破壊が残る。</p> <p>こんなふうのひとつひとつ考えていくと、今の世代も将来の世代も満足するような解決法や、自然と人間の共生などの標語は、実行がむづかしい。</p> <p>いくつかの例でこの課題を考えてみます。</p>
10	論文練習	<p>これまでの4回のテーマについて、先に述べた目的で、小論文の練習をします。</p>
11	バービーちゃんトリカちゃんが教えていること	<p>アメリカではバービーちゃん、日本ではリカちゃんが一番売れています。アメリカの保守的な大人の男性は、女兒がバービーちゃんで遊ぶのを嫌っています。日本の大人は、子どもにリカちゃんを買い与えるかどうか、悩みはしません。ここにはどういう問題があるのでしょうか。</p> <p>これは単に好き好きによるものではありません。ここには両国社会の文化的、倫理的価値観の現われが見られるのです。本学は教育系の学生もおおくいるので、このテーマで、子どもとおもちゃ、おもちゃと社会の関係について考えてみます。</p>
12	科学と倫理	<p>科学的な判断は正しいということになっている。しかし倫理的に見て疑問であることもたくさんあります。</p> <p>福島の原子力発電所をつくるとき、たくさんの人が反対運動をした。しかし最後には、科学的な判断や社会の電力需要を勘案して、同意しました。だから原子力発電所は科学的に見て正確で、何の間違ひもなくつくられていたはずだった。しかし、今ではおおくの人とその科学的判断を信用できなくなっている。</p> <p>われわれは現在でも、科学者の良心を信用しています。しかしそれを超えて、もう一度根本から考えて、社会が共通の認識をもつておかなければならない状況にあります。これは若い世代の問題になるでしょう。</p> <p>先年あった病気の腎臓移植の問題なども、結局はおなじです。医学的には、病気の腎臓を移植するのは危険が高いという医学者の判断が出ました。しかし透析している患者さんたちは、移植して欲しいと言っている。これも科学と倫理の矛盾をどう考えるかを、われわれに突きつけています。</p>
13	説明はなぜ必要か	<p>最近、テレビなどで、説明責任を果たしていない、という議論をときどき聞きます。ところが非難しているほうも、なぜ説明しなければいけないのか、どう説明すればいいのかなど、どこまで説明すれば納得できるのかなど、はっきりしないままに非難ばかりしている。守秘義務というものもあるから、なんでも全部説明すればいいというわけでもありません。</p> <p>これはわれわれ人間の本質的な在り方に関係してくるのです。なんのために説明するのか。われわれ人間の尊厳を守るためです。これはきわめて倫理的に根本的な問題なのです。なぜ東京電力が原子力発電所の事故についてはっきり説明しなければならないのか、政府が震災被害の人びとに原状をきちんと説明すべきなのか、大学の先生はなぜ成績の付け方について学生に説明しなければならないのか、友達同士の説明など、いくつかの事例によってこの問題を考えてみます。</p>
14	論文練習	<p>これまでの3回のテーマについて、小論文の練習をします。</p>
15	試験	<p>最初の30分で、採点の基準、論文の書き方、参考書の使い方などを説明してから、試験を60分間で実施します。</p>

科目名	心理学的人間論			講義コード	B110971013	担当教員	折笠 国康
対象	1年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>本講義では、「人間」がどのような存在であるか心理学の知見をもとに概説する。「社会心理学」「発達心理学」「人格心理学」などの知見を踏まえ、人間についての心理学的な視点から人間を理解することを目標とする。</p> <p>【履修カルテの評価項目】</p> <p>①「自己」に関する心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。</p> <p>②認知や感情などの「心の発達」に関する心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。</p> <p>③自己と他者のかかわりに関する事柄の心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。</p>						
受講資格				成績評価方法	内容の「60%」以上の理解で合格とするが、「80%程度」の理解を求める。理解度の評価は小レポート30%、定期試験70%で行う。		
教科書	特にしてはいはしない。授業中に資料を配布することがある。						
参考書	必要に応じて紹介する。						
学生への要望	講義への協力的な参加を要望する。 専用のノートを準備すること。						
ウイスタム	授業終了後に確認						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	オリエンテーション、意識と無意識について	この授業の目的と授業方針を理解する。フロイト、ユングの意識と無意識についての考え方を理解する。
2	人間の発達(1) ー発達心理学ー	人間の発達や成長に関して、心理的な知見や理論を学び理解する。
3	自己とは(1) 認知について	認知心理学の基礎を学び、自己に対する認識について理解する。
4	自己とは(2) 認知について	ピアジェの認知の発達に関する理論を学び理解する。
5	自己とは(3) 自我同一性	自我同一性を中心に心理学的な枠組みで自己とは何かを理解する。
6	自己とは(4) 自己概念	心理学的な構成概念としての自己概念の理論的枠組みを理解する。
7	自己とは(5) 自尊感情と自己評価	自尊感情や自己評価に関する心理学的知見を概観し理解する。
8	自己とは(6)	「本当の自分」に関して、心理学的知見から理解する。
9	自己とは(7) 自己受容	ロジャースの理論を用いて、自己受容について理解する。
10	自己とは(8) 防衛機制	A. フロイトによる防衛機制の概念を学び、自己についての理解を深める。
11	自己とは(9) 交流分析	自己についてエゴグラムを用いた交流分析によって理解する。
12	動機づけの理論	内発的動機づけに関する自己決定理論の概略を理解する。
13	人間と社会(1) アドラー心理学	アドラー心理学を概観し、人間の行動に関しての目的について理解する。
14	人間と社会(2) アドラー心理学	アドラー心理学を概観し、人間の行動に関しての目的について理解する。
15	本講義のまとめ	本講義の振り返りを通して、心理学的な人間論を復習する。

科目名	人間論ゼミナール			講義コード	B310971028	担当教員	笹田 琴美
対象	3 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	4
授業目標	本講では、女性の生き方と性の自己決定を大きなテーマとして掲げ、女性が健康で安全に暮らすための「意思と選択」について、いまどきの問題を取り上げながら学ぶ。例えば、男女間の関係性（親密性と支配欲）、結婚・育児・仕事への意識、子育て支援と虐待問題など。これらのトピックスについて、個人やグループで資料を集め、背景や現象を分析し、レポート作成や発表、討論などを行う。						
受講資格	人間生活学科、食物栄養学科、3、4年生			成績評価方法	①レポートもしくは期末試験（75%）、②授業態度もしくはグループ議論時の積極性（25%）、欠席による減点あり。		
教科書	とくになし						
参考書	講義中に提示						
学生への要望	時事的なトピックスを取り上げていきますが、そのほかにも関心のあるニュースや話題の書籍などがありましたら提案してください。授業では積極的な発言をして、みなさんのいきいきとした感性を発表・レポートに反映させてください。						
ワキタム	水曜日、金曜日の午前中						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	オリエンテーション	授業のテーマ、目標、授業計画、授業の進め方とポリシー、成績評価方法などについて。
2	女性の生き方Ⅰ ～結婚式の約束事～	あなたはパートナー（恋人や夫）との関係をどのようにイメージしますか。対等ですか、ついガマンをしてしまいますか。若者の恋愛観、家族観、男女観に関する社会情勢を眺めながら、ライフサイクルにおける女性たちの選択肢を俯瞰し、「私ならこんな選択をする」というのを考えます。
3	女性の生き方Ⅱ ～母の生き方、祖母の生き方～	おばあちゃんの時代は専業主婦がひとつのステータスだった。お母さんの時代には女性の職場進出が謳われた。では、今の若者はどんな時代を望んでいるのでしょうか。雇用均等法やグラスシールド、高度経済成長時代と性別役割分業などをキーワードに議論していきます。
4	男女間の関係Ⅰ ～なぜ愛する人を殴るのか～	DVについての基本的な知識を習得し、DVは身近な問題であることに気づいてもらう授業です。なぜDVと気づかないのか。どうして暴力を振るうのか。ひどいDVなのに別れないのはなぜか、など「DVの不思議」を取り上げ、被害者・加害者の心理を考えます。
5	男女間の関係Ⅱ ～不安と距離感～	ケータイ時代の監視と束縛について考えます。あなたは恋人のケータイを見ますか、見せませんか、見せたくないですか。見せてくれなかったら怒りますか、浮気を疑いますか。束縛は愛の証ですか。不安がもたらす対人関係の距離感、支配と依存について考えます。
6	リサーチと討論Ⅰ	これまで学んだことに関連する時事ニュースや資料をみなさんと持ち寄って、情報交換やグループ討論を行います。そのプロセスや結果を発表したり、レポートにまとめてみましょう。
7	性の知識と安全Ⅰ ～若者の性と意識の変化～	近年、性行動の低年齢化が進んだ一方で、性や恋愛に消極的な若者も増加していると言われていました。そして同時に、性に関する基本的な知識を持たない学生も増えています。正しい知識を習得すると同時に、それを活用するための意識の在り様について考えます。
8	性の知識と安全Ⅱ ～妊娠に関するケース・スタディ～	「ニンシンのニンシキが変化している?」。妊娠にまつわる時事問題をとりあげます。でき婚、若年出産、ニンシンと恋愛の心理学、基礎体温の話など。
9	性の知識と安全Ⅲ ～性教育とは何か～	性の安全と健康についての優れた教育プログラムに触れるたびに、性の教育とは「生きることの意味を考える教育である」と実感します。子どもに教える「プライベートゾーン」、相手の意志尊重、言語コミュニケーションの重要性、性愛行動と暴力との区別などを取り上げて学修します。

10	リサーチと討論Ⅱ	性の知識、性の安全、性の教育、若者の性行動と意識などに関連する時事ニュースや書籍、資料を持ち寄り、グループで意見をまとめてレポート作成に入ります。
11	レポート発表	個々の小論文や、グループでまとめたレポート（プレゼン資料等）を発表して、全体討論を行います。
12	子どもの貧困 ～こんなにかかる教育費～	入学時にこんなにかかる教育費、クラブ活動にも経済格差、学校で見えてくる貧困問題、子どもの無保険、給食のない夏休み体重のへる子どもたち、見えにくい問題・・・など。
13	子どもの貧困 ～貧困の多面的様相～	重なり合う困難、貧困と健康と医療、学びからさって行く遺児の問題、大学進学率、奨学金制度、中卒・高卒・大卒それぞれの「就職困難」、世代間連鎖・・・など。
14	子どもの貧困 ～貧困と暴力の世代間連鎖～	貧困の中で生まれ、貧困の中で育ち、子ども時代には虐待を受け、結婚後はDVの被害を受け、そしてまた貧困の中で子どもを産み、育て、貧困が原因で虐待が再生産されていくという事例を取り上げ、ケーススタディを行います。
15	リサーチと討論Ⅲ	これまで学んだことに関連する時事ニュースや資料を持ち寄って討論し、レポート作成の方法を学修します。

科目名	生活学的政治論			講義コード	B110971015	担当教員	影山 彌
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	今日、わが国の政治は、社会の急激な進展によって生じた、次のような課題に対する政策的対応が求められている。生活優先、高齢化、情報化、国際化、自然環境保全、などである。そこで、本講義では、現代政治を理解するために必要なポイントについて学ぶとともに、最近、政治の中心に登場してきた「生活」をめぐるわが国の生活政策について検討する。						
受講資格	人間生活学科（生活総合コース・福祉コース・建築デザインコース）・食物栄養学科			成績評価方法	受講態度（20％）、テスト結果（80％）		
教科書	特になし。 毎時間授業内容のレジュメを配布する。						
参考書	前田繁一編著『現代と政治学』法律文化社						
学生への要望	授業目標を毎回確認すること。						
オフィス	金曜日を除くお昼休み（12:00～12:50）						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	政治化の時代	今日、政治が生活のあらゆる面に深くかかわっていることを事例をとおして理解する。同時に、その結果、生活の管理化が進行していることにも注目する。
2	政治的無関心の問題	政治化の時代でありながら、広く存在している政治的無関心について、H. D. ラスウェルの諸説をとおして考える。
3	政治とは何か	研究者の諸説をとおして、政治は権力、言い換えれば、決定作成にかかわる現象であることを理解する。
4	政治と決定作成	政治の中心である決定作成が、国民に対する諸価値の権威的配分を意味する、政策や法律の作成であることを理解する。
5	立法過程（1）	決定の中心である法律の作成が、個人、圧力団体、政党とどのようにかわりながらなされるかをみる。
6	立法過程（2）	わが国の場合、法律が、立法過程の第2段階である国会審議において、どのような過程をへて成立するかを、委員会制度などを軸に学ぶ。
7	統治過程	法律の執行過程としての行政と司法の現状について、わが国の場合を例としてみることにする。
8	行政の優位	立法と司法に対する行政の優位について、事例をとおしてその現状と背景をとらえ、L. ギューリックの現代行政作用論についてもみる。
9	政治と権力	政治学の中心テーマでありつづける権力について、人間と権力の関係、権力という力の性質、権力の実体的あるいは関係的概念などを理解する。
10	権力構造	権力を誰がどのような形で所有しているか、この政治学の伝統テーマについて、研究者の所説に依って日本とアメリカについてみる。
11	権力の正当性の根拠	「権力が正当である」と承認する場合の、その根拠を問う、という政治学の伝統的テーマについて、M. ウェーバーの所説を端緒として考え、「生活優先」が有効な回答の一つであることを考える。
12	生活と政策（1）	国民の食生活に関わるわが国の農業政策について、低下しつづける食糧自給率、単作経営などに焦点をあてながら、その近代化路線を検討する。

13	生活と政策（2）	今日、家庭や地域で福祉を考える「生活福祉」の観念が強調されているが、この観点から、わが国における老人の在宅福祉対策の現状と問題点を考える。
14	生活と政策（3）	今日、家庭や地域で福祉を考える「生活福祉」の観念が強調されているが、この観点から、わが国における老人の在宅福祉対策の現状と問題点を考える。
15	総まとめ	総まとめを行い総合評価を行う。

科目名	生活学的社会論			講義コード	B110971002	担当教員	橋爪 敏
対象	1 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	社会学的な見方、考え方の基礎を学ぶ。社会学は人間関係を中心として、様々な社会現象を考察する学問／科学であり、生活学の基礎としての意味を持つ。 社会学的思考法を身に着ける。						
受講資格	特に無し			成績評価方法	学期末のペーパーテスト(100%)で評価する。		
教科書	高尾公矢・橋爪 敏編 『社会学の基礎』 犀書房						
参考書	適宜紹介する。						
学生への要望	私語厳禁、学習意欲を持って参加されたい。						
ワイルド	月曜～水曜まで、朝から夕方まで、授業の無いときはいつでも対応します。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	授業の方法の説明、社会学とは何か	授業の方法、内容についての若干の説明および注意 社会学はいかなる学問／科学か。
2	社会学の対象-1	社会学の対象としての人間関係、中根千枝のタテ社会論を例として、全体社会レベルの問題を説明する。
3	社会学の対象-2	制度、集団、組織レベルの問題。マックス・ウエーバーの『プロテスタンティズムと資本主義の精神』を例として。
4	社会学の対象-3	直接的な人間関係の問題。L. vonウィーゼの2人関係、3人関係の問題を例として
5	社会学の方法-1	科学としての社会学、社会科学の特質。 SeinとSollenの問題。
6	社会学の方法-2	客観的知識としての科学。科学の視点、視座。グンナー・ミュルダールの見解に触れて。準拠枠について。
7	社会的人間(論)-1	社会的人間、社会的存在としての人間—人間と社会との密接不可分な関連性について考える。社会名目／唯名論と社会実在論。
8	社会的人間(論)-2	人間(個人)とその行動様式—1) 先天的行動様式。
9	社会的人間(論)-3	2) 後天的行動様式、野生児の問題。社会における成長—C. H. クーリーの第1次集団について。
10	社会的人間(論)-4	第2次集団。社会化概念、3つの社会化概念について。
11	行為論-1	マックス・ウエーバーの行為の概念。
12	行為論-2	T. パーソンズの行為の4要素／条件。AGIL図式について。
13	社会的性格論-1	エーリッヒ・フロムの「社会的性格論」—『自由からの逃走』の問題に触れて。
14	社会的性格論-2	デビット・リースマンの「社会的性格論」—『孤独な群集』の問題に触れて。
15	まとめ	全15回の授業のまとめ。

科目名	生活学的経済論			講義コード	B110971014	担当教員	石田 智宏
対象	1 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>①経済を中心とした社会現象を理論的に解き明かす ②アクティブラーニング：質問される正解の無い問いに対し、自らの解答を探し発言すること ③ディープラーニング：授業で提供される論理と、自分がすでにもっている知識を関連づけること</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕</p> <p>①経済を中心とした現代の社会現象を、意見交換を中心としながら理論的に解き明かしていく ②大きな社会現象：ニュースを中心として、その背後にどんな人間の心理活動が見えるか ③小さな社会現象：商品、企業活動を中心として、その背後にどんな現代社会が見えるか</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕</p> <p>①現代社会の諸問題に関心がもてる ②社会現象の背後関係に自分なりの興味ももてる ③自分の意見を簡潔にまとめそれを表現した。</p>						
受講資格	とくになし			成績評価方法	コメント50点、レポート50点、合計100点		
教科書	教員がプリントを配布する						
参考書	参考書：『生活経済論』（2002）、馬場紀子他、有斐閣アルマ、等						
学生への要望	積極的に発言して下さい						
ワイルドタイム	月・火・木・金の13:00～16:30に経営研究室に来て下さい						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	資源と経済	現代の社会を、自分自身を通して吟味することの意味はなにか。 社会科学を学ぶことで得られるものはなにか。 経済現象とモノの背後に人を見ることについて考える。
2	モラルと経済	社会的事件の背後にはなにがあるのか。 モラルと社会、モラルと経済について考える。 ウチとソトの関係性は、経済現象とどうかかわりがあるのか。
3	支援と経済	経済における利益と厚生バランスについて考える。 他者に敬意を払う、経済行為としての支援を学ぶ。 共感が支える、アダム・スミスの上等な社会について考える。
4	交換と経済	交換は、経済行為の本質のひとつである。 交換と幸せ（厚生・効用）との関係性について考える。 自給自足の経済と交換経済の差異、経済主体の利己心と利他心について考える。
5	信頼と経済	貨幣は、人間が持つ相互信頼から発生している。 また、相互信頼は、職業の分化と経済の拡大を促した。 モノの向こう側にある、人間の信頼・想像力・互酬等の習性について考える。
6	ソーシャル経済	自己の効用（幸せ）を、経済手段を通じて他者の効用にリンクさせる。 同じモノに関して、見方を変えると価値眼が変わる。 企業・消費者の社会的価値志向とソーシャル・ビジネス、フェアトレード等について考える。
7	振り返り	これまでの論点を整理する。 経済は人々の厚生水準を向上させ、貴重な資源を生かすことを目的とした人間の相互依存行為である。 社会を知るとは、人間を知ることである。
8	経済学の思考と論理（2回シリーズ）	経済を中心とした社会現象を理論的に説明することが、経済学の本質である。 この点に関心をもつために、ジョン・ナッシュの思考を紹介する。 経済学と論理、アルゴリズム、数学と経済学

9	経済学の思考と論理（2回シリーズ）	経済を中心とした社会現象を理論的に説明することが、経済学の本質である。 この点に関心をもつために、ジョン・ナッシュの思考を紹介する。 経済学と論理、アルゴリズム、数学と経済学
10	社会現象を解く①くまモンと地域おこし	経済効果、商品のブランディング、地域おこしについて考える キャラクター、マーク、ネーミング、差別化について
11	社会現象を解く②コンビニスイーツと社会トレンド	社会環境の変化とヒット商品の関係性について考える 健康の商品化・娯楽化、ボーダレス化
12	社会現象を解く③女子力消費	男女平等社会下での女子力消費について考える カスタマイズ、シェア、PEST
13	社会現象を解く④	競争社会下での企業の差別化について考える コストリーダーシップ、美味しさの源泉、ビジネスモデル
14	社会現象を解く⑤	変化するマーケットと社会の関係について考える マーケットの創造、時代的差別化
15	まとめと授業評価	講座のまとめをおこなう。 レポートと評価について説明する。 授業評価アンケートを実施する。

科目名	生活生物学			講義コード	B110971007	担当教員	源川 博久
対象	1年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	生活生物学は共通基礎科目として開講されるため、高校では生物や化学といった理系科目を選択しなかった人が、生化学、生理学、基礎栄養学などの専門基礎科目を理解できるように、理系科目の基礎を生物学的観点より理解することを授業の目的とする。そのため、生活生物学では「生物(生命)とは何か」を理解するために、主に「生物の分類」「細胞生理」「エネルギー代謝」「遺伝」について学ぶ。また、これらを理解する上では化学的な知識も必要となるため、生化学の基礎についても取上げる。						
受講資格	特になし			成績評価方法	期末試験(70%)と小テスト(30%)の結果より評価する。欠席は減点の対象とする。		
教科書	資料(パワーポイント)をWLRよりdownloadする。						
参考書	ホートン生化学 第4版、鈴木紘一ら訳、東京化学同人 視覚でとらえる フォトサイエンス 生物図録、鈴木孝仁監修、数研出版						
学生への要望	生活生物学と関係の深い科目と関連付けをして理解を深めることが望ましい。そのため、わからないことは生活生物学に関わらず質問すること						
ワキタム	主に水曜日の午前中、木曜日						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンス	授業の進め方、受講上の注意点、教科書、評価方法などについて理解する。また、生活生物学で取りあげる授業内容について説明する。
2	生命とは	生物学における「生命」の概念を学ぶことで、生物の共通性・多様性について確認する。
3	生命の起源	地球における生命の起源(主な仮説の確認)、生物の進化と大絶滅について確認する。
4	生化学の基礎Ⅰ	生物の生命活動を理解するために、糖質とタンパク質の基礎を確認する。
5	生化学の基礎Ⅱ	生物の生命活動を理解するために、脂質と核酸の基礎を確認する。
6	生物の分類	ウイルスと生物の比較、生物の分類を学ぶことで、生物の特徴を確認する。
7	原核生物	原核生物の特徴を真核生物との相違点から確認する。
8	真核生物	真核生物の特徴を原生動物、真菌類、動物、植物について確認する。
9	細胞の構成	細胞小器官や細胞膜の機能を学ぶことで細胞機能を理解する。
10	エネルギー代謝Ⅰ	代謝とエネルギー(ATP)の概念を学び、エネルギー代謝の流れを解説する。
11	エネルギー代謝Ⅱ	生物に共通する解糖系と好気呼吸について生化学的に解説する。
12	エネルギー代謝Ⅲ	植物のエネルギー代謝である光合成の発見過程と光合成を生化学的に確認する。
13	遺伝Ⅰ	セントラルドグマのうちDNAの半保存的複製について学び、遺伝の基礎を理解する。
14	遺伝Ⅱ	セントラルドグマのうちタンパク質合成について学び、遺伝の基礎を理解する。
15	遺伝Ⅲ	メンデルの法則から遺伝の概念を学び、ヒトの遺伝形質(アルコール耐性、血液型など)を確認する。

科目名	生活化学			講義コード	B110971021	担当教員	関口 晋
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>食物や栄養を理解するためには、どんな物質がどう人体と関係しているかを学ぶ必要があります。一方、化学とは物質及びその性質を理解する学問です。ですから、化学は食物栄養を学ぶにあたって土台となる学問であり、食物栄養学は化学の考え方を身に着けると大変よく理解できます。</p> <p>物質の構造や性質には規則性があり、この規則性を理解することが、化学を理解することにつながります。講義の計画は、化学の一般的な規則の学習を主眼にたてられています。また、化学的な事項が日常現象や生命現象と関連している例を講義内容に盛り込むことで、生活や応用的な学問との連続性を考慮しています。講義は、説明と練習問題で構成され、練習問題によって説明の理解度がある程度確かめられます。</p>						
受講資格	なし			成績評価方法	期末試験100点。(ただし欠席回数に応じて減点)		
教科書	授業ごとにプリントを配布します。						
参考書	「《基礎固め》化学」小島一光著、化学同人、※絶版 「カソウケンへようこそ」内田麻理香著、講談社 「Catch Up 大学の化学講義」杉森彰・富田功著、裳華房						
学生への要望	よく理解できないところは、参考書等を用いて積極的に復習してください。復習の方法としては、研究室まで質問にきたり、同級生などと一緒に勉強することも有効です。						
オフィス	放課後など研究室にいて急用がないときは、いつでも可。前もっての都合は、相談してください。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	原子の構造、周期表	<ul style="list-style-type: none"> ・原子とは ・元素とは ・周期表 ・元素の性質
2	電子殻、電子軌道、点電子則	<ul style="list-style-type: none"> ・電子殻 ・電子軌道 ・点電子式（オクテット則）
3	分子軌道	<ul style="list-style-type: none"> ・電子対反発則 ・メタンの分子軌道（sp³混成軌道） ・エチレンの分子軌道（sp²混成軌道）
4	化学結合	<ul style="list-style-type: none"> ・電気陰性度 ・イオン結合と共有結合 ・水素結合 ・双極子相互作用 ・疎水性相互作用
5	モル	<ul style="list-style-type: none"> ・原子の数え方 ・反応とモル
6	濃度	<ul style="list-style-type: none"> ・濃度の単位 ・重量モル濃度 ・モル濃度 ・沸点上昇、凝固点降下
7	化学反応	<ul style="list-style-type: none"> ・化学反応とは ・化学反応の分類 ・化学量論 ・熱化学方程式（発アルゴン反応、吸エルゴン反応） ・化学平衡 ・質量作用の法則 ・ルシャトリエの法則

8	酸・塩基	<ul style="list-style-type: none"> ・関連する語句 ・アレニウスの定義 ・ブレンステッド・ローリーの定義 ・ルイスの定義 ・酸の強さ ・塩基の強さ ・中和 ・酸の解離 ・水の解離 ・pH ・硬い酸、軟らかい酸 ・緩衝溶液
9	酸化・還元	<ul style="list-style-type: none"> ・定義 ・酸化数 ・酸化還元反応 ・イオン化傾向 ・酸化剤と還元剤 ・半反応 ・酸化還元滴定 ・電池 ・標準電極電位
10	有機化学基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・アルカン ・アルケン ・アルキン ・芳香族 ・複素環
11	命名法	<p>命名法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数詞 ・アルカン ・官能基 ・特別な置換基がある場合 ・多重結合がある場合
12	官能基	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコール ・フェノール ・アルデヒド ・ケトン ・カルボン酸 ・エステル ・アミド ・アミン ・チオール ・エーテル
13	異性体、気体、固体	<ul style="list-style-type: none"> ○異性体 <ul style="list-style-type: none"> ・語句の関係 ・アルカンの立体配座 ・シス・トランス異性 ・光学異性 ○気体 <ul style="list-style-type: none"> ・アボガドロの法則 ・ボイルの法則 ・シャルルの法則 ・気体の状態方程式 ・気体の溶解度 ○固体 <ul style="list-style-type: none"> ・結晶
14	細胞生理	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞内小器官 ・細胞膜 ・細胞周期
15	鉄の化学	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン化傾向と文明（鉄の還元とその反応） ・鉄原子の電子状態 ・鉄の酸化 ・ヘモグロビン ・鉄の体内における貯蔵、運搬等

科目名	クリエイティブ・イングリッシュ I			講義コード	B310971207	担当教員	J・ティルマント
対象	3年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	Art is communication. Language is one means of communicating. Therefore we can say that language is one kind of art. The purpose of this class is to help students develop skills in expressing, or communicating, their ideas, thoughts and "images" in written English.						
受講資格				成績評価方法	合計で100になるように、Essays 60%, In-class work 25%, Attendance 15%		
教科書	授業内で参考文献を指示する						
参考書	英和・和英辞典						
学生への要望	The theme of this class is "creative writing." Students will "create" (write) several papers of various types: essays, opinion papers, short stories, letters and so forth. In some papers you will give information about yourself and the world in which you live. In other papers you will need to express your own opinions about certain social issues. You will also write papers describing a place, telling us about your day, or composing a letter to a friend. Interested students should look at the class introduction hand-out (available in the instructors office, or 1st day of class) for more information						
オフィス	金 4:10 - 5:40 毎日: 8:00-8:50 Or any time I am there						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	Introduction	General Introduction and comments.
2	Writing techniques (文型)	General comments about English composition and structure in writing, paragraph structure, theme development and so forth. First paper: About You
3	Paper Reviews	In-class reviews and comments on selected student' s papers: Comments and advice on various parts of sentence structure, grammar and composition will aid the students in their English writing abilities.
4	Writing techniques (節と句 / 「関係」代名詞)	Sentence structure, paragraph themes. Organization of content. Grammar catch-up - 1: The grammar in-class exercises are designed to focus on particular grammar points and issues that can be especially challenging for students. See the class hand-out for more details. Second paper: This is where I live.
5	Paper Reviews	In-class reviews and discussion of selected student' s papers.
6	Writing techniques (時制 / 分詞)	Outlining and organizing your thoughts. / Grammar catch-up - 2 Third paper: My Dream Vacation
7	Paper Reviews	In-class reviews and comments on selected student' s papers.
8	Writing techniques (形容詞 / 比較)	Painting a Picture. / Grammar catch-up - 3 Fourth paper: My Favorite Place
9	Paper Review	In-class reviews and comments on selected student' s papers.
10	Writing techniques (助動詞)	Being creative. / grammar catch-up 4 Fifth paper: The Present
11	Paper Reviews	In-class reviews and comments on selected student' s papers.
12	Writing techniques	grammar catch-up 5 Sixth paper: The Letter
13	Paper Review	In-class reviews and comments on selected student' s papers.

科目名	キャリア・イングリッシュ I		講義コード	B310971206	担当教員	ダニエル ホーナー	
対象	3年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>〔授業全体の内容の概要〕 GOALS OF THIS CLASS: 1. The main focus will be to explore careers and career-related English. 2. Listening activities, homework and quizzes will be incorporated to evaluate overall comprehension. There will be a cumulative final test</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 PREREQUISITES FOR THIS CLASS: Students will have completed high school English. Students should be able to understand and use language related to jobs and careers. They should also be able to express opinions about the positive and negative aspects of careers.</p>						
受講資格	大学3年			成績評価方法	1. Participation, Attitude (10%) 2. Homework, Quizzes (40%) 3. Final Cumulative Test (50%)		
教科書	The World at Work 1						
参考書	Perceptia Press						
学生への要望	Don't miss class. Always do CD listening and homework.						
オフィス	Monday to Friday 8:30 a.m. to 5:05 p.m.						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	Introduction	Unit 1 Agriculture Pages 5-6 Online CD Listening Explain Textbook, Tests, Quiz, Homework, Attendance, etc.
2	Unit 1	Unit 1 Career Path: My Career Choices Pages 7-8 Self-introduction with Career Information
3	Unit 2	Unit 2 Mass Media Pages 9-12 Online CD Listening Express Opinions About Mass Media
4	Unit 3	Unit 3 Entertainers Pages 13-16 Online CD Listening Debate About a Singing Career
5	Unit 4	Unit 4 Clothing Industry Pages 17-20 Online CD Listening Creative Writing About Students' Careers Quiz 1
6	Unit 5	Unit 5 Travel & Tourism Pages 21-24 Online CD Listening Positive and Negative Aspects of Flight Attendants
7	Unit 6	Unit 6 Education Pages 25-28 Online CD Listening Teaching Profession: Exploring the Latest Technology
8	Unit 7	Unit 7 Public Safety Pages 29-32 Online CD Listening Discuss Various Careers: Police Officers, Judges, Lawyers, etc.
9	Unit 8	Unit 8 Traditional Arts Pages 33-36 Online CD Listening More Creative Writing About Your Own Career Quiz 2
10	Unit 9	Unit 9 Healthcare Pages 37-40 Online CD Listening Explore Careers in Healthcare, i.e. Nurse, Surgeon, Pediatrician, etc.
11	Unit 10	Unit 10 Management Pages 41-44 Online CD Listening Discuss Advantages of Owning a Business
12	Unit 11	Unit 11 Hotels and Inns Pages 45-48 Online CD Listening Hotel Managers and Related Jobs

13	Unit 12	Unit 12 Careers in Sports Pages 49-52 Online CD Listening The Importance of Exercising Final Quiz: A Speech on Personal Careers
14	Review	Review Units 1-12 Final Test Preparation
15	Final Test	A Cumulative Final Test on Units 1-12

科目名	運動健康論			講義コード	B110971016	担当教員	佐藤 浩明
対象	1 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>生活の基盤となる『健康なからだづくり』に欠かすことのできない運動の重要性を理解し、生涯にわたり自分の健康や体力に配慮ができ、それらを保持増進していくために必要となる知識や方法について実技、講義を通じて学びます。</p> <p>①運動と健康の関連を理解し、健康の在り方について学びます。 ②スポーツの意義を理解し、人間力について学びます。 ③運動を通して、協調性、コミュニケーション能力、フェアプレーの精神について学びます。 ④運動を通して、基礎体力の維持、向上する方法について学びます。</p> <p>【履修カルテの評価項目】 ①運動と健康の関連を理解し、健康について考え行動に移すことができたか。 ②スポーツの意義を理解し、人間力を高めることができたか。 ③集団の中でコミュニケーション能力を発揮し、互いに協力しながら活動することができたか。 ④基礎体力の維持、向上の方法を理解し、生涯運動を楽しみながら実施できるレベルに達しているか。</p>						
受講資格	家政学部 人間生活学科 (生活総合コース・福祉コース・建築デザ インコース 1年生) 家政学部 食物栄養学科 1年生 ※教職課程履修者は必修			成績評価方法	平常点40点(取組姿勢) 実技試験・レポート60点 ※本科目は実技を含むため、出席、積極的な取組みも重視します。 ※欠席により減点あり		
教科書	特になし(必要に応じて資料等を配布します)						
参考書	「健康・フィットネスと生涯スポーツ:大修館書店」「公認スポーツ指導者テキストⅠ・Ⅱ・Ⅲ:助日本体育協会」「スポーツトレーニング理論:日本文芸社」「ストレッチメソッド:高橋書店」「メンタルトレーニング:ベースボールマガジン社」「教養としてのスポーツ科学:大修館書店」						
学生への要望	※積極的に取組み、運動を楽しむこと。 ※実技の場合はタオル、水分は各自で必ず持参すること。 (体調管理・熱中症対策のため) ※自分の生活習慣に興味、関心を持ち、運動する習慣をつけてほしい。						
お支払	火、水、木、の16:00まで						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンス	①授業目的、内容、進め方、評価方法の説明 ②服装、準備物の確認(注意事項含む) ③グループ分け
2	縄跳び①/からだづくりの運動	<p>【テーマ:運動習慣をつける第一歩として、コミュニケーションゲームやレクリエーションで楽しくからだを動かす】</p> <p>【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ(準備運動・動的ストレッチ) ②コミュニケーションゲーム・体ほぐしの運動 ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び(個人およびグループ) ⑥クーリングダウン(静的ストレッチ・からだのケア) ⑦体育館清掃</p>
3	縄跳び②/からだづくりの運動	<p>【テーマ:楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】</p> <p>【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ(準備運動・動的ストレッチ) ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び(個人およびグループ) ⑥クーリングダウン(静的ストレッチ・からだのケア) ⑦体育館清掃</p>

4	ソフトバレーボール①／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
5	ソフトバレーボール②／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
6	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
7	ソフトバレーボール④／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
8	ソフトバレーボール⑤／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
9	フライングディスク①／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>

10	フライングディスク②／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】</p> <p>【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
11	フライングディスク③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】</p> <p>【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
12	ハンドボール①／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ハンドボールはスポーツの基本となる3つの要素（走る・投げる・跳ぶ）を含んだスポーツであり、ボールを使ったエクササイズで基礎体力の維持向上を図ることでスポーツを楽しめる能力を養う】</p> <p>【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ハンドボール（パス・キャッチ・シュート・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
13	ハンドボール②／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ハンドボールはスポーツの基本となる3つの要素（走る・投げる・跳ぶ）を含んだスポーツであり、ボールを使ったエクササイズで基礎体力の維持向上を図ることでスポーツを楽しめる能力を養う】</p> <p>【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ハンドボール（パス・キャッチ・シュート・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
14	ハンドボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ハンドボールはスポーツの基本となる3つの要素（走る・投げる・跳ぶ）を含んだスポーツであり、ボールを使ったエクササイズで基礎体力の維持向上を図ることでスポーツを楽しめる能力を養う】</p> <p>【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ハンドボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
15	実技のまとめ	<p>《まとめとして実技試験を行う》</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②レクリエーションゲーム ③実技試験 ④クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑤体育館清掃</p>

科目名	公衆衛生学実習			講義コード	B310202105	担当教員	諸岡 信久, 善方 美千子, 影山 志保
対象	3年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	<p>公衆衛生学では地域環境がその地域に住む人々の健康に大きく関わっていることを学んだ。この実習授業では統計学を理解すること、そして室内環境を実際に測定し生活環境および地域環境を理解することを目的としている。統計学では、実習の1コマ目にデータの種類や性質、保健統計、疫学研究およびスクリーニングについて学び、2コマ目に小試験を行うかレポートを提出する。</p> <p>実験については、実際に室内環境などを各種機器を用いて測定し、PCをもちいてグラフなど理解しやすい工夫をした後、その特徴を基に、実習の前半で学んだ統計学的手法を生かし、特徴が証拠として活用できるか検討する。得られた結果は、班毎にパワーポイントを用いた画面を提示しながら10分間で口頭発表する。</p> <p>出席、小試験、レポートとプレゼンテーションが成績の評価となる。</p>						
受講資格	なし			成績評価方法	①小試験50点 ②レポート20点 ③プレゼンテーション30点		
教科書	公衆衛生学実験・実習（建帛社）						
参考書							
学生への要望	分析機器類や薬品、ガスの取り扱いなどや環境中の微生物や毒性物質を取り扱うため、白衣着用、静粛で機敏な行動をしてもらいたい。なお、実習には必ずPCを持参すること。実習室内には実習に使用しない物品などは持ち込まない。実習室での飲食は禁止する。実習終了後は実習室を清掃することをお願いします。						
オフィス	月曜から木曜のVコマ目 公衆衛生学研究室または臨床医学研究室						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンスと統計学の基礎-1（質と量）	ガイダンスでは実習に使用する教科書の紹介、持ち物について、成績評価方法について、授業内容の説明、グループ編成についての説明を行う。 データの種類には質的データと量的データがある。データを取り扱うにあたり、データの種類や性質を理解する必要がある。
2	統計学の基礎-2（度数分布と正規分布）	身長や体重など、国民健康栄養調査のデータを用いて、度数分布グラフを作成し、平均値、標準偏差など統計的理解を深める。
3	統計学の基礎-3（ χ^2 分布、t検定・X検定）	抽出された一部のデータから全体のデータ（母集団）を推定するために χ^2 分布を用い、データの分布を調べる。データに基づき立てた仮説が正しいかどうかをt検定、 χ^2 検定を用いて判断する。
4	保健統計（年齢調整死亡率）	死亡率には年齢が強く影響することから、年齢校正や年次推移の影響を取り除いた値である年齢調整死亡率を求める値を求める手法について学ぶ。
5	疫学研究-1（有病・罹患・致命・死亡・生存率）	集団における疾病発生頻度を計測する指標とされる疾病率・罹患率・致命率・死亡率・生存率について学ぶ。
6	疫学研究-2（曝露効果：相対危険、寄与危険、オッズ比）	曝露の生体への影響を測定し評価するための指標である相対危険、寄与危険、オッズ比を理解する。
7	スクリーニング（敏感度、特異度、適中度）	スクリーニングテストは特定の疾病を有する確率の高い人を選別する手法であり、検査の良否を判定するための指標とされる敏感度、特異度、適中度について理解を深める。
8	生活環境の測定と評価-1（実験計画と準備）	公衆衛生学をより深く理解するために、実際の生活環境の測定を行う。測定を実施するにあたり、生活環境についての解説、実験方法の説明、機器使用方法の説明、実験計画を立てる。次回から実験に使用するために必要な培地の準備などを行う。
9	生活環境の測定と評価-2（空中・土中微生物採取と培養、粉塵測定、放射線測定）	環境中には細菌、真菌、ウイルスなどの多種多様の微生物が存在しており、空気中浮遊粉じんの吸入では肺の病気や細菌感染症、ぜんそくや気管支炎、花粉症が生じることがあることから、私たちの生活環境中の粉塵の測定と、どんな微生物が生息しているかについて調べる。併せて放射線量についても測定する。
10	生活環境の測定と評価-3（空中・土中微生物の観察）	前回培養した微生物数を計測し、微生物種の同定（グラム染色、顕微鏡観察）を行う。

11	生活環境の測定と評価-4（粉塵分析と土壤放射線の分析）	前回測定した生活環境中の粉塵量と空中・土壤放射線量について結果を解析し、その関連性について考える。
12	生活環境の測定と評価-5（空中や土壤中の粉塵・微生物・放射線の評価）	空中や土壤中の粉塵・微生物・放射線の結果を解析し、その関連性について考える。プレゼンテーション資料についてもまとめる。
13	生活環境の測定と評価-6（予備日）	追加実験やデータまとめ、次回実施するプレゼンテーション資料を作成する。
14	生活環境の測定と評価-7（プレゼンテーション）	班ごとに作成したプレゼンテーション資料を各班10分程度の持ち時間で発表する。発表後に、発表内容についての質疑応答を行う。
15	まとめ	生活環境と評価についての解説と考察を行う。

科目名	解剖学			講義コード	B110202004	担当教員	西山 慶治
対象	1年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕 人体の構造（機能）を学び、人体構成の法則を理解する。</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 人体を構成する基本的構造を、細胞、組織、器官並びに系統別レベルで学習する。</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 基本的な解剖学用語と医学用語を学び、その用語を用いて人体の構造を概説できる。</p>						
受講資格	特になし			成績評価方法	中間試験40点、期末試験60点 合計100点		
教科書	プリントを使用						
参考書	シンプル解剖生理学、他						
学生への要望	自らの体で確かめ、解剖学に親しむこと						
ワスタム	木曜IV限の教務部非常勤控室など。不在時にはメモを残しておくこと。						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	解剖学総論	人体とは、自然の法則が人体を借りて具現化されたものである。その法則を人体の基本構造から学ぶ。
2	細胞学	生命の最小単位である細胞について、その構造と機能を学ぶ。
3	組織学総論	人体を構成する上皮組織、支持組織、筋組織並びに神経組織について学ぶ。
4	骨格系 I	人体の支柱である骨格の組織構造と役割、発生、機能・経年変化、骨の連結を学ぶ。
5	骨格系 II	各骨格の名称と形状を学び、各部位での役割を理解して人体の特徴を学ぶ。
6	筋系	骨格筋の概略を学び、運動器としての役割を理解する。
7	消化器系 I	消化器の各部位の構造を学び、消化機能の概略を理解する。
8	消化器系 II	消化器の主要部位の組織構造と機能を学ぶ。
9	呼吸器系	呼吸器の各部位の構造を学び、呼吸機能の概略を理解する。
10	泌尿・生殖器系	尿の生成と排泄を担う器官の構造と機能を学ぶ。 生殖器の構造、性差、発生並びにその機能を学ぶ。
11	脈管系	心臓を中心とした循環器の構造と役割を学ぶ。
12	神経系 I	中枢神経系の脳と脊髄の位置、構造、機能について学ぶ。
13	神経系 II	末梢神経の脳神経と脊髄神経並びに自律神経について学ぶ。
14	感覚器系	人体の情報入力器官である感覚器の構造と機能を学ぶ。
15	発生学	人体の発生と形成を学び、人類の特徴を理解する。

科目名	臨床医学 I			講義コード	B210202003	担当教員	藤原 建樹
対象	2 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>管理栄養士はチーム医療を担う重要な専門職である。</p> <p>管理栄養士に求められる基本的な医学知識を習得する。</p>						
受講資格				成績評価方法	筆記試験による（100%）。		
教科書	<p>疾病の成因・病態・診断・治療—人体の構造と機能および疾病の成り立ち。</p> <p>竹中 優（編集）、第2版、医歯薬出版株式会社</p>						
参考書	なし						
学生への要望	<p>臨床医学の範囲は膨大である。授業に集中し、主要疾患の概要はその授業時間内に習得すること。</p> <p>理解の一助として画像を用いるが、動画の内容を記憶する必要はない。教科書ないしプリントの内容を理解することが最も肝要である。学生の理解度などにより、適宜、スケジュールの変更もあり得る。</p>						
オフィス	火曜日、水曜日の午前中						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	飢餓と栄養障害	タンパク・エネルギー栄養障害 マラスムス型とクワシオルコル型との異同。
2	ビタミン欠乏症	主なビタミン欠病症 脚気 ペラグラ 壊血病 主なミネラル欠乏症 ウィルソン病 亜鉛欠乏症
3	糖尿病 1	糖尿病とは 糖尿病はなぜ怖い I型糖尿病とII型糖尿病（両者の異同）
4	糖尿病 2	糖尿病診断基準 （糖尿病学会ガイドラインに準じた各種の基準値）
5	糖尿病 3	糖尿病の主な合併症 糖尿病の経過 糖尿病治療の原則
6	資質異常症	脂質異常症 高尿酸血症
7	先天代謝異常	先天性代謝異常症
8	消化器 1	胃食道逆流症 胃・十二指腸潰瘍 胃がん ピロリ菌感染症の臨床的意義
9	消化器 2	クローン病と潰瘍性大腸炎との異同 大腸がん 過敏性腸管症候群

10	消化器	3	ウイルス性肝炎（感染経路、自然経過） 肝硬変 肝癌 脂肪肝
11	消化器	4	胆石・胆のう炎 急性膵炎 慢性膵炎
12	循環器	1	動脈血栓症 深部静脈血栓症 塞栓
13	循環器	2	動脈硬化 粥状硬化の機序 高血圧
14	循環器	3	急性冠症候群 狭心症と心筋梗塞の異同
15	循環器	4	心不全（左心不全とう心不全の特長）

科目名	生化学			講義コード	B110202002	担当教員	関口 晋
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>栄養を理解するための基本は、人体がどんな物質のどんな働きによって成り立っているかを知ることにあります。生化学は、生命に関連した化学反応を主体とした学問であり、人体が活動するために不可欠な機構を物質レベルで考えます。つまり、生化学の基礎を知ることなしには、栄養の本当の意味を理解することはできません。人体は、数多くの物質で構成されています。このため生化学を学ぶ際には、多くの単語、それも日常生活ではお目にかからない単語を覚える必要があります。これらの単語についてその意味をよりわかりやすく伝えるために、講義ではなるべく多くの絵や図を用います。また物質の働きについては、人体における役割と関連づけて説明します。基本的な説明をより多くするために、ノートをとる十分な時間がない場合がありますが、それを補うためにプリントが配布されます。</p>						
受講資格	なし			成績評価方法	期末試験90点、レポート点10点。 (ただし、欠席回数に応じて減点)		
教科書	授業ごとにプリントを配布します。						
参考書	「看護学生超入門シリーズ 生化学 栄養学」穂かり 茂、長谷川 正博、小山 岩雄 著、照林社						
学生への要望	<p>よく理解できないところは、参考書等を用いて積極的に復習してください。復習の方法としては、研究室まで質問にきたり、同級生などと一緒に勉強することも有効です。生化学は、理屈ぬきに覚えることが比較的多い学問です。ものを覚えるためには、手で書くという作業が非常に有効です。ノートを書き直して整理するなどの方法で、必要な知識を頭に入れてください。</p>						
ワイルド	放課後など研究室にいて急用がないときは、いつでも可。前もっての都合は、相談してください。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	生化学概観	<ul style="list-style-type: none"> ・糖 ・アミノ酸、タンパク質 ・脂質 ・核酸 ・CHONPS ・エネルギー代謝
2	糖	<ul style="list-style-type: none"> ・定義 ・光学異性体 ・単糖の環状ヘミアセタール構造 ・単糖の酸化・還元 ・天然の糖誘導体 ・二糖類 ・多糖類
3	アミノ酸・タンパク質 1	<ul style="list-style-type: none"> ・アミノ酸とは ・側鎖によるアミノ酸の分類 ・糖原性、ケト原性 ・必須アミノ酸、非必須アミノ酸 ・アミノ酸のイオン構造 ・等電点 ・ペプチド結合
4	アミノ酸・タンパク質 2	<ul style="list-style-type: none"> ・一次構造 ・二次構造 ・三次構造 ・二次構造・三次構造を決める要因 ・四次構造 ・アロステリック
5	油脂とリン脂質	<ul style="list-style-type: none"> ・脂質に関する語句 ・アシルグリセロール ・脂肪酸 ・リン脂質
6	核酸	<ul style="list-style-type: none"> ・核酸とは ・DNAの構造 ・複製 ・転写 ・翻訳

7	酵素	<ul style="list-style-type: none"> ・ 酵素とは ・ 酵素の性質 ・ 補助因子 ・ 酵素の分類 ・ 反応速度：ミカエリス・メンテンの式 ・ 酵素の阻害 ・ 酵素の調節
8	解糖	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代謝、エネルギー代謝、糖代謝 ・ 糖代謝とオルガネラ ・ 二糖類、グリセロール、グリコーゲンと解糖系 ・ 解糖系第一段階 ・ 解糖系第二段階 ・ 解糖系第三段階 ・ 解糖系第四段階 ・ 解糖系第五段階 ・ 解糖系第六段階 ・ NAD⁺、NADH ・ 解糖系第七段階 ・ 解糖系第八段階 ・ 解糖系第九段階 ・ 解糖系第十段階 ・ NAD⁺のリサイクル
9	クエン酸回路 (TCAサイクル)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意義 ・ アセチルCoAの供給 ・ 段階1：アセチルCoAの導入 ・ 段階2：クエン酸の異性化 ・ 段階3：二酸化炭素の脱離とNADHの合成 ・ 段階4：二酸化炭素の脱離とNADHの合成 ・ 段階5：GTPの合成 ・ 段階6：FADH₂の合成 ・ 段階7：フマル酸からリンゴ酸への変形 ・ 段階8：NADHの合成 ・ 収支
10	酸化的リン酸化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子伝達系と酸化的リン酸化 ・ インプットとアウトプット ・ 呼吸 ・ 複合体I ・ 複合体II ・ 複合体III ・ 複合体IV ・ 複合体V
11	糖新生	<ul style="list-style-type: none"> ・ グリコーゲンの分解 ・ 糖新生第一段階 ・ 糖新生第二段階 ・ リンゴ酸シャトル ・ 糖新生第三段階 ・ 糖新生第十段階 ・ 糖新生第十一段階 ・ 糖新生第十二段階
12	ペントースリン酸経路、グルクロン酸経路	<p>ペントースリン酸経路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意義・役割 ・ 経路の構成 ・ NADPとNADPH ・ 酸化反応の段階 ・ 非酸化反応の段階 ・ 収支 ・ グルコース6-リン酸デヒドロゲナーゼ欠損 ・ 還元的ペントースリン酸回路 <p>グルクロン酸経路</p>
13	アミノ酸代謝	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体内におけるアミノ酸の利用 ・ タンパク質の分解 ・ アミノ酸の分解 ・ 尿素回路 ・ 肝臓以外でのアンモニア処理 ・ アミノ酸の合成 ・ アミノ酸からの合成 ・ アミノ酸代謝関連の疾病
14	トリグリセリドの代謝、ケトン体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脂肪酸の合成 ・ トリアシルグリセロールの消化・吸収 ・ トリアシルグリセロールの再合成 ・ トリアシルグリセロールの運搬 ・ β酸化 ・ ケトン体の合成

15 コレステロール、リポタンパク質

- ・コレステロールとは
 - ・コレステロールの合成
 - ・胆汁酸、性ホルモン、副腎皮質ホルモン、ビタミンD
 - ・コレステロールのエステル化
 - ・コレステロールの吸収
 - ・リポタンパク質
-

科目名	解剖学実習			講義コード	B210212110	担当教員	西山 慶治, 中村 真智子
対象	2年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	1
授業目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕 人体を構成している種々の器官について理解を深めるために、様々な標本を用いて学ぶ。</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 人体の組織標本と解剖模型標本の観察・スケッチを行い、人体構造を実感として捉える。</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 人体の構造を自らの体に存在するものとし認識し、その位置を示して働きを概説できる。</p>						
受講資格	特になし			成績評価方法	レポート（スケッチ）50点、期末試験50点、合計100点 欠席は1回5点減点		
教科書	プリントを使用						
参考書	シンプル解剖生理学、他						
学生への要望	自らの体の構造を理解することに努める。						
ワイルド	木曜IV限の教務部非常勤控室など。不在時にはメモを残しておくこと。						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	実習授業の導入	授業計画、注意事項、準備するものなどの説明
2	組織標本の観察 I. 舌	舌乳頭（糸状乳頭、有郭乳頭、葉状乳頭）を光学顕微鏡で観察し、乳頭の構造の特徴と味蕾を確認してスケッチする。
3	II. 唾液腺	唾液腺（耳下腺、顎下腺、舌下腺）を観察して漿液細胞と粘液細胞を同定し、漿液腺と混合腺（半月が特徴）であることを確認する。
4	III. 食道、胃、腸	十二指腸で消化管の一般構造を理解して、食道と胃の特徴的構造を観察する。それらの特徴を機能的に説明できるようにする。
5	IV. 小腸、大腸	小腸（十二指腸、空腸、回腸）と大腸の構造を比較して、その特徴を機能的に説明できるようにする。
6	V. 肝臓、膵臓	肝臓は、機能単位である肝小葉の構造を観察して、門脈と胆道系の流れと肝機能を関連付けて説明できるようにする。膵臓は外分泌系と内分泌系に分けて観察する。
7	VI. 腎臓、甲状腺	腎臓は、尿生成の単位であるネフロン構造を観察し、その各部位の機能を理解する。 甲状腺は、小胞を観察してコロイド、小胞細胞、旁小胞細胞を同定する。
8	解剖模型の観察 I. 胸部、腹部	トルソの模型を用いて胸部及び腹部内臓を観察し、心臓、肺、胃、肝臓、小腸、大腸、腎臓、膀胱などの臓器を同定して、それら臓器の位置関係を把握する。
9	II. 心臓	心臓の模型を用いて、心臓の表面と内部構造を観察してスケッチする。心臓の冠状動脈、4つの部屋、弁膜、刺激伝導系を同定する。
10	III. 呼吸器	呼吸器の模型標本を観察してスケッチする。喉頭と発声の機構、気管、気管分岐部、気管支の分岐、肺葉、肺根を観察してスケッチする。
11	IV. 上部腹部内臓	胃、十二指腸、膵臓、脾臓の模型を観察して、これらの位置関係、並びに腹膜臓器と腹膜後器官を理解してスケッチする。
12	V. 泌尿器	腎臓、尿管、膀胱、尿道の模型を観察して、尿生成から排泄までの経路を理解する。 腎臓は、その断面構造を観察してネフロン構造を想定する。
13	VI. 頭蓋骨、脊柱	頭蓋骨、脊柱、肋骨の体軸を構成する骨格の標本を観察し、支柱の役割及び中枢神経系と呼吸器の保護の役割を理解する。

14	Ⅶ. 四肢骨	上肢帯から自由上肢骨、下肢帯から自由下肢骨までの各骨格を観察して、運動器としての役割を理解してスケッチする。
15	まとめ	観察した標本を復習し、スケッチを完成させて提出する。

科目名	解剖学実習			講義コード	B210222110	担当教員	西山 慶治, 中村 真智子
対象	2年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	1
授業目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕 人体を構成している種々の器官について理解を深めるために、様々な標本を用いて学ぶ。</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 人体の組織標本と解剖模型標本の観察・スケッチを行い、人体構造を実感として捉える。</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 人体の構造を自らの体に存在するものとし認識し、その位置を示して働きを概説できる。</p>						
受講資格	特になし			成績評価方法	レポート（スケッチ）50点、期末試験50点、合計100点 欠席は1回5点減点		
教科書	プリントを使用						
参考書	シンプル解剖生理学、他						
学生への要望	自らの体の構造を理解することに努める。						
ワイルド	木曜IV限の教務部非常勤控室など。不在時にはメモを残しておくこと。						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	実習授業の導入	授業計画、注意事項、準備するものなどの説明
2	組織標本の観察 I. 舌	舌乳頭（糸状乳頭、有郭乳頭、葉状乳頭）を光学顕微鏡で観察し、乳頭の構造の特徴と味蕾を確認してスケッチする。
3	II. 唾液腺	唾液腺（耳下腺、顎下腺、舌下腺）を観察して漿液細胞と粘液細胞を同定し、漿液腺と混合腺（半月が特徴）であることを確認する。
4	III. 食道、胃、腸	十二指腸で消化管の一般構造を理解して、食道と胃の特徴的構造を観察する。それらの特徴を機能的に説明できるようにする。
5	IV. 小腸、大腸	小腸（十二指腸、空腸、回腸）と大腸の構造を比較して、その特徴を機能的に説明できるようにする。
6	V. 肝臓、膵臓	肝臓は、機能単位である肝小葉の構造を観察して、門脈と胆道系の流れと肝機能を関連付けて説明できるようにする。膵臓は外分泌系と内分泌系に分けて観察する。
7	VI. 腎臓、甲状腺	腎臓は、尿生成の単位であるネフロンの構造を観察し、その各部位の機能を理解する。 甲状腺は、小胞を観察してコロイド、小胞細胞、旁小胞細胞を同定する。
8	解剖模型の観察 I. 胸部、腹部	トルソの模型を用いて胸部及び腹部内臓を観察し、心臓、肺、胃、肝臓、小腸、大腸、腎臓、膀胱などの臓器を同定して、それら臓器の位置関係を把握する。
9	II. 心臓	心臓の模型を用いて、心臓の表面と内部構造を観察してスケッチする。心臓の冠状動脈、4つの部屋、弁膜、刺激伝導系を同定する。
10	III. 呼吸器	呼吸器の模型標本を観察してスケッチする。喉頭と発声の機構、気管、気管分岐部、気管支の分岐、肺葉、肺根を観察してスケッチする。
11	IV. 上部腹部内臓	胃、十二指腸、膵臓、脾臓の模型を観察して、これらの位置関係、並びに腹膜臓器と腹膜後器官を理解してスケッチする。
12	V. 泌尿器	腎臓、尿管、膀胱、尿道の模型を観察して、尿生成から排泄までの経路を理解する。 腎臓は、その断面構造を観察してネフロン構造を想定する。
13	VI. 頭蓋骨、脊柱	頭蓋骨、脊柱、肋骨の体軸を構成する骨格の標本を観察し、支柱の役割及び中枢神経系と呼吸器の保護の役割を理解する。

14	Ⅶ. 四肢骨	上肢帯から自由上肢骨、下肢帯から自由下肢骨までの各骨格を観察して、運動器としての役割を理解してスケッチする。
15	まとめ	観察した標本を復習し、スケッチを完成させて提出する。

科目名	食品学 I			講義コード	B210202002	担当教員	広井 勝, 郡司 尚子
対象	2 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	人が健康を維持するためには、身体にとり必要な各種食品をバランスよく摂取せねばならない。そのためには、各種食品の持つ性状についての知見を得る努力が必要である。食品学 I はこうした知見を与えることを目標としている。また、本講義は管理栄養士国家試験のガイドラインで示される「食物と健康」の一部を構成するものである。						
受講資格	特になし			成績評価方法	ペーパーテスト90%、レポート10%で評価する。		
教科書	食品学（共立出版）、新訂原色食品図鑑（建帛社）など						
参考書	食品成分表「改訂最新版」（女子栄養大学出版部）、雑誌「食生活研究」						
学生への要望	食品に関心を持つこと						
ワイルドタイム	講義終了時に対応、これ以外は日程を確認して対応。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	食品の機能	食品の機能とはなにか、機能性成分、保健機能食品（特定保健用食品、栄養機能食品）などについて解説する。
2	穀類の成分	日本人にとって最も大事な食料である米について、その成分の特徴について学ぶ。
3	穀類の成分	穀類とくに小麦、大麦、トウモロコシ、雑穀などの成分の特徴を学び、米の成分との違いを理解する。
4	いも類の成分ならびに甘味料について	いも類（サツマイモ、ジャガイモ、サトイモ、ヤマノイモ）などの性状と成分の特徴を学ぶ。焼き芋のおいしさの秘密を探る。また、砂糖ならびに砂糖の代わりに開発された各種甘味料の性質を学ぶ。
5	豆類の成分	豆類の成分の特徴ならびに日本人がいかに大豆を上手に加工し食べてきたかを食形態の特徴から学ぶ。
6	豆類の成分	落花生、小豆その他の豆類の性状と成分の特徴を学び、これらの豆類と大豆との成分の違いを理解する。
7	種実類の成分	各種種実類（ごま、ギンナンなど）はナッツとして親しまれているがその成分は木の実の種類で大きく異なることを理解する。
8	野菜類の成分	野菜類はミネラル、ビタミン、食物繊維の給源として大事なものである。葉菜類の成分についてまず学ぶ。
9	野菜類の成分	根菜類（ダイコン、ニンジンなど）、果菜類（トマト、キュウリなど）、花菜類（ブロッコリー、ミョウガなど）の成分の特徴について学ぶ。
10	果実類の成分	果実類の成分と特徴と主要な果実類（リンゴ、ナシ、モモ、ミカンなど）の成分を学び、果物の機能性についても理解する。
11	きのこ類の成分	きのこ類には担子菌類（マツタケ、シイタケなど）と子のう菌類（トリュフ、アミガサタケなど）があることや成分の特徴と機能性について学ぶ。
12	藻類の成分	代表的な藻類であるアサクサノリ、コンブ、ワカメ、アオノリ等成分と特徴について学ぶ。
13	魚介類の成分	日本人は魚介類をよく食べています。これら魚介類の成分の特徴と主要な魚類について学び、魚の利用と健康とのかかわりを考える。
14	魚介類の成分	代表的な魚（マグロ、カツオ、サンマ、イワシ、サバ、タラ、タイなど）の成分の特徴を理解する。また、鮮度の低下しやすい魚とそうでない魚について知ることと、鮮度の判定法についても学ぶ。
15	魚介類の成分	イカ、タコ、貝類、エビ、カニなどの成分の特徴について学ぶ。また合わせて、今期に学んだ食品についてポイントを整理し、知識の確認を行う。

科目名	食品衛生学			講義コード	B310202006	担当教員	影山 志保
対象	3年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	食品衛生が目的とする食生活の安全確保は人の健康の保持・増進のために重要な要件である。食品の原料となる食物は旬の時期があり、穀類などでは次の旬まで保存しながら利用する場合がある。また、食品として加工保存する場合もある。長期保存や輸送過程において、酸化分解や微生物腐敗による毒成分の発生なども知られている。一方、食品加工過程で用いられる食品添加物に関する諸問題もある。食品衛生学ではこれらの問題点を明らかにし、食品が原因となる病気が発生しないようにする考え方や技術を学ぶことを目的としている。また、BSEや環境ホルモン、食品の残留農薬や食品の放射能汚染などの問題についても触れていく。						
受講資格	なし			成績評価方法	期末試験100点		
教科書	食安全の科学-食生活を脅かす化学物質の生体作用- (三共出版) 印刷資料						
参考書							
学生への要望	食品衛生学の中核となる概念はHACCPである。食品の危害分析と食品加工における重要管理点監視方式を理解できるようにしよう。						
オフィス	火曜1コマ目から4コマ目 臨床医学研究室						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	食品衛生学の概要	食品＝栄養素＋毒素（環境汚染物質、食品腐敗微生物生産毒素、残留農薬、食品添加物、天然毒素、食品成分分解物） 健康生活のための栄養素と毒素の接種の仕方が良好な健康生活に与えることから、毒素と栄養素の関係について学ぶ。栄養素は運動エネルギーとして異化作用をうけて、同時に体を維持するために同化作用にも必要である。栄養素を適量を摂取した場合に、その摂取物中に含まれる毒素が中毒量に達することがあれば、体が障害をこうむることになる。また毒素を解毒・排泄するためにエネルギーと栄養素を消耗する。
2	HACCP-1	食品の危害分析と食品加工時の重要管理点方式に関する考え方を学ぶ。特にHACCPは対象となるヒトの評価と食品の安全性の組み合わせによって構成されている面を知る。
3	HACCP-2	実際のHACCP管理方式のケーススタディから、家庭で実践できる食中毒予防についてHACCP的アプローチから考える。
4	天然有害物質と化学的食中毒	食中毒事件は少ないが死者が多い天然毒（ふぐ毒、貝毒、きのご毒等）について資料を基に考える。本来、植物性の食物には毒性物質が多く存在し、ヒトが主食として改良した植物には苦みや渋みがない。例えば、野生の山菜やキノコ、豆やフグなどには毒性成分が多く存在する。また、植物の病原菌に対する防御機構の中で、感染した後新たに植物体内で合成される殺菌物質ファイトアレキシンを含有する場合がある。
5	細菌性食中毒-1	黄色ブドウ球菌、サルモネラ菌、腸炎ビブリオ、病原性大腸菌、ボツリヌス菌、ウエルシュ菌、セレウス菌、エルニシア、エンテロコリチカ、カンピロバクター、ナグビブリオについて説明する。
6	細菌性食中毒-2	食品管理における細菌性食中毒対策について考える。
7	食品汚染物質-1	カビが生産する人畜毒性物質であるマイコトキシンの特徴と問題点について考える。マイコトキシンによる食中毒は食品の微生物汚染が原因となる食中毒ではあるが、細菌性食中毒とは異なる。カビ毒は私たちの主食となる穀類汚染で多く、60℃から100℃程度の加熱では菌は死滅しても毒素は分解変性しないばかりか、変異原性や発がん性を及ぼす。
8	食品汚染物質-2	食品残留性農薬、農薬の食品への移行・濃縮、ポストハーベスト農薬、無登録農薬、ポジティブ検査などについても学び、一日許容摂取量（ADI）についても知る。
9	食品汚染物質-3	内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）と食品包装や食器の問題について考えてみよう。

10	食品添加物-1	食品添加物の概要、食品保存に関する添加物（保存料・殺菌料・殺虫剤）と食品保存に重要な食品添加物について学ぶ。A D I やマーケットバスケット方式による食品添加物摂取量について考える。
11	食品添加物-2	食品加工に関する添加物（着色料・発色剤・漂白剤・甘味料）、食品の栄養価値を強化する添加物について学ぶ。これらの添加物は食品の劣化防止とは異なった観点から用いられている添加物ではあるが、毒物・発がん性の疑いがある物質が含まれている。
12	食品の加工・保存で生じる毒	脂質過酸化物質、N-ニトロソ化合物、燃焼生成物。食品の劣化に伴って食品中や体内で作られることが知られている食品成分について学ぶとともに、その制御方法についても考察する。
13	異物代謝	毒素が生体内でどのように吸収・分配・代謝・排泄を受けるのか、またどのように毒性を発現するかを考える。
14	突然変異原性と発がん	発がん二段階説、イニシエーター、プロモーターの役割について、食品にかかわる部分について説明する。
15	食生活と発がん	食品成分と発がん、発がんリスクアセスメントを考察する。

科目名	調理学			講義コード	B110202001	担当教員	菊池 節子
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①おいしさの要因について理解を深める。 ②調理操作の原理、効率的な加熱法、調理器具の使用法、食品の調理特性について理解を深める。 ③調理操作による化学的・物理的变化について理解を深める。 ④献立作成方法の基礎を修得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>食品に様々な調理操作を加えると、食品はおいしくなり、安全になり、消化しやすい食物になる。そのために、各調理法の特徴、食品の調理特性や、その調理過程における化学的・物理的变化を理解することが大切になってくる。これらを踏まえて本講義では、合理的に再現性よく食品を調理する能力が備わるよう、調理学の基礎を学ぶ。</p> <p>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</p> <p>①おいしさの要因について理解できる。 ②調理操作の原理、効率的な加熱法、調理器具の使用法、食品の調理特性について理解できる。 ③調理操作による化学的・物理的变化について理解できる。 ④献立作成方法の基礎を理解できる。</p>						
受講資格	家政学部 食物栄養学科学生			成績評価方法	筆記試験 100点		
教科書	管理栄養士養成課程『栄養管理と生命科学シリーズ』調理の科学 吉田恵子・綾部園子編著 理工図書 3000円+税						
参考書	NEW調理と理論 山崎清子・島田キミエ・渋川祥子・下村道子・市川朝子・杉山久仁子共著 同文書院 コツと科学の調理事典 河野友美 医歯薬出版						
学生への要望	予習をして意欲的に取り組み、終了後は復習をしっかりと行い理解の定着を図ること。毎回授業終了時に豆テストを行い、理解の程度を確認する。						
ウェブサイト	月曜V限 No.1調理学研究室 またはskikuchi@koriyama-kgc.ac.jpまで						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	調理の意義と目的・おいしさの要因	調理学とはどんな学問なのか、さらに私達が「おいしい」と感じる時はどんな時なのかを考える。食物の側からの直接要因と人間の側からの間接要因、さらに食情報・食習慣・食文化・過去の経験などの背景要因についておいしさを構成する要素について学ぶ。そこで、「おいしさ」は複数の要素が複雑に関わり合い構成されていることを理解する。
2	食物の味	おいしさの化学的要因である味について学ぶ。味には、甘味、酸味、塩味、苦味、うま味の基本五味と、そのほかの味として渋味、辛味、えぐ味、金属味、こく味などがある。これらの特徴や生理機能としての必要性、相乗効果などの味の相互作用について理解する。さらに、味覚感受性の基礎が作られる胎生期を含め、食味は加齢による身体的・精神的な影響を受けて変化すること、また閾値の変化についても理解する。
3	調理操作(1) 非加熱調理操作	調理操作とは、食品を付加価値を付けた食物にするための一連の操作をいい、食品素材の栄養効果を高め、おいしく、しかも衛生上安全に食べ物を調製することを目的として行なわれる。調理過程は、火を用いない非加熱調理操作と、火を用いる加熱調理操作に大別される。ここでは計量、洗浄、浸漬、切碎、粉碎、混合、圧搾、伸展、冷却、解凍、盛り付けなどの非加熱調理操作について学び、それぞれの調理操作の特徴を理解する。
4	調理操作(2) 加熱調理操作	加熱調理には、ゆでる・煮る・蒸す・炊くの湿式加熱と、焼く・炒める・揚げるの乾式加熱、さらに電磁調理器加熱の誘導加熱（以上外部加熱法）と、電子レンジ加熱の誘電加熱（内部加熱法）がある。また、熱の伝達（移動）には、放射、伝導、対流の3つの形態がある。ここでは、各加熱調理操作の特徴を学ぶとともに、それぞれの熱の伝導様式について理解する。
5	炭水化物を主成分とする食品の調理性(1) 米	米にはうるち米ともち米がある。それぞれの特徴を踏まえた上で、炊飯、強飯などの調理要領について理解する。さらに、うるち米の粉である上新粉、もち米の粉である白玉粉の調理性について理解する。

6	炭水化物を主成分とする食品の調理性(2) 小麦	小麦粉を特徴づけるタンパク質はグリアジンとグルテニンで、水を加えると吸収して絡み合い、網目状の構造を作る。これがグルテンである。グルテン形成に関与する加水量や水温、副材料、調製方法について、さらに小麦粉の膨化調理やルウについて理解する。
7	炭水化物を主成分とする食品の調理性(3) いも類、豆類	いもの種類と適した調理法について学び、マッシュポテトを作る際のポイントやおいしい焼き芋の作り方などを理解する。豆の調理性では、調理過程における豆の物理的、化学的変化を理解した上で、乾燥豆類の吸水・軟化や煮豆のポイント、あんの作り方などの実践について学ぶ。
8	たんぱく質を主成分とする食品の調理性 (1) 肉類、魚介類	肉や魚の組織を学び、加熱や調味料によって、食肉や魚肉タンパク質はどのように変化するかを、成分・テクスチャーの両面から探る。そこから、すね肉・ひき肉・硬い肉の調理や、魚の生食、焼き魚、煮魚などのコツを理解する。
9	たんぱく質を主成分とする食品の調理性 (2) 卵類、牛乳/乳製品、大豆類	卵の構造と成分を理解した上で、調理操作による卵タンパク質の変化(熱凝固、希釈卵液のゲル化、塩・アルカリによる凝固、起泡性、乳化性)について学ぶ。さらに添加材料の影響についても考える。牛乳の調理性では、調理過程における牛乳中成分の変化、生クリームなどの性質について理解する。
10	ビタミン・無機質の給源となる食品の調理性 野菜、果実類他	野菜の生食と加熱による化学的・物理的変化、野菜に含有する色素や栄養成分の性質と、調理操作によるそれらの変化について理解する。あわせて、果実、種実、海藻、きのこ類の調理性について理解する。
11	成分抽出素材の調理性(1) でんぷん、油脂類	でんぷんの糊化と老化、またでんぷんの種類とその性質について理解する。油脂の調理性では、性質(融点、可塑性、疎水性、ショートニング性、クリーミング性)を学び、油脂を用いた調理法と食品の変化について理解する。
12	成分抽出素材の調理性(2) ゲル化食品	動植物性食品の中には物理的・化学的処理や加熱を行うと、さまざまなゲル化素材が得られるものがある。動物性ではゼラチン、植物性では寒天、カラギーナン、ペクチンなどである。ここでは、ゲル化剤により異なる調理性、添加材料の影響などについて理解する。
13	調味料、嗜好飲料の調理性	食塩・しょうゆ・みそ・食酢・砂糖・酒類・うま味調味料などの調味料、また日常飲んでいるお茶・緑茶・中国茶・紅茶・コーヒーなどの嗜好飲料の調理性と機能性について理解する。
14	調理機器	調理器具、機器には非常に多くの種類がある。近年はエネルギー源として、従来の電気コンロとは異なり、電磁誘導加熱方式(IH方式: Induction Heating)が普及してきている。最近の調理機器の情報や、鍋の材質と扱い方などについて理解する。
15	授業の総括	「調理学」のまとめとして、前期の授業を振り返る。授業で行った項目について教科書に目を通し、ノートなどで内容の復習を行う。

科目名	食品学実験 I			講義コード	B210212106	担当教員	広井 勝, 郡司 尚子
対象	2 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	食品に含まれる成分の性質を実験によって確かめる。特にこの実験では炭水化物、たん白質の性質ならびに食品の一般成分の分析を行ない、実験の基本技術を修得する。実験に対して興味を持ってもらうことを大きな目標としている。						
受講資格	特になし			成績評価方法	授業内容をまとめたノート (70%)、ペーパーテスト (30%) で評価。ただし、授業1回欠席につき5点減点する。		
教科書	食品学実験 (光生館)、五訂増補日本食品成分表						
参考書	特になし						
学生への要望	予習をして実験に望むこと。						
ウェブサイト	講義終了後可能な限り対応する。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	予定説明	食品学実験 I の目的ならびに実験を行なうに必要な知識の整理。実験の目的ならびに、半期の具体的内容について説明する。
2	ガラス細工	実験室でよく使うガラスの攪拌棒や毛细管などを自分達で作る。そのことによりガラス管やガラス棒を切ったり、曲げたり、伸ばしたりといった簡単な技術を学ぶ。
3	炭水化物の性質と甘味料、特定保健用食品について	次週の実験で使う炭水化物について復習する。また、市販されている各種甘味料の特性や特定保健用食品について実物を見ながら確認する。また、一部ビデオで特定保健用食品や甘味料について学習する。
4	炭水化物の検出	炭水化物に関する実験…単糖類、二糖類、多糖類の定性的な検出法について学んだ後、でん粉の加水分解による変化について酸ならびに酵素を使い比較し、その違いについて考察する。また、未知糖の検出を行なうことにより、糖類全般の化学的性質についてまとめを行なう。
5	デンプンの分解	デンプンを酵素(アミラーゼ)を使って加水分解した場合と、酸(塩酸)を使って加水分解した場合の反応の違いを理解する。
6	未知糖の検出	4 回目の実験で学んだことを整理し、未知の糖液が何であるかを実験により明らかにする。もっとも効率よく作業を行なう行程を図式化して見る。
7	たん白質の検出	たん白質に関する実験…たん白質の基本的性質を知るために組成元素の検出、呈色反応、凝固沈殿反応などを行なう。また、薄層クロマトグラフィーによりアミノ酸の検出、確認を行なう。
8	凝固沈殿反応およびアミノ酸の薄層クロマトグラフィー	たん白質の凝固、沈殿反応とたん白質の変性の関係を理解する。卵白は鉛や水銀の解毒剤として利用されることがあるのはどうしてか考えてみよう。アミノ酸混合物を薄層クロマトグラフィーを使って分離確認する技術を学ぶ。
9	食品分析の説明	食品の一般成分の分析…食品分析法の原理について学んだ後に実際の食品成分分析を行なう。分析試料には凍豆腐を用い、水分、たん白質、脂質、灰分の分析を行ない、炭水化物は差引計算で求める。これらの実験を通じて秤量の概念、規定、モルなどの概念とそれぞれの溶液の作り方などを学ぶ。また、定量操作における反応の原理について、反応式より説明できるようにする。
10	水分の定量	105℃常圧乾燥法を利用し凍豆腐の水分を定量する。
11	脂質の定量	ソックスレーのエーテル抽出法により凍豆腐の脂質を定量する。
12	たん白質の定量	セミクロケルダール法によりたん白質を定量する。求めた窒素をたん白質に変換する窒素-たん白質変換係数について理解する。

13	灰分の定量と炭水化物の計算	550℃灰化法で灰分を定量し差引計算法で炭水化物を求める。
14	まとめ	凍豆腐の一般成分を各班で得られた結果を比較し検討する。各班のバラツキや食品成分表との比較を行ない考察する。
15	食品成分表の説明とテスト	食品成分表に載っている成分の分析方法や数値の取扱い方などについて説明し、献立作成に使う場合の留意点などについて述べる。合わせてテストを行ない授業内容の復習ならびに確認をする。

科目名	食品学実験 I			講義コード	B210222106	担当教員	広井 勝, 郡司 尚子
対象	2 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	食品に含まれる成分の性質を実験によって確かめる。特にこの実験では炭水化物、たん白質の性質ならびに食品の一般成分の分析を行ない、実験の基本技術を修得する。実験に対して興味を持ってもらうことを大きな目標にしている。						
受講資格	特になし			成績評価方法	授業内容をまとめたノート (70%)、ペーパーテスト (30%) で評価。ただし、授業1回欠席につき5点減点する。		
教科書	食品学実験 (光生館)、五訂増補日本食品成分表						
参考書	特になし						
学生への要望	予習をして実験に望むこと。						
ウェブサイト	講義終了後可能な限り対応する。						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	予定説明	食品学実験 I の目的ならびに実験を行なうに必要な知識の整理。実験の目的ならびに、半期の具体的内容について説明する。
2	ガラス細工	実験室でよく使うガラスの攪拌棒や毛细管などを自分達で作る。そのことによりガラス管やガラス棒を切ったり、曲げたり、伸ばしたりといった簡単な技術を学ぶ。
3	炭水化物の性質と甘味料、特定保健用食品について	次週の実験で使う炭水化物について復習する。また、市販されている各種甘味料の特性や特定保健用食品について実物を見ながら確認する。また、一部ビデオで特定保健用食品や甘味料について学習する。
4	炭水化物の検出	炭水化物に関する実験…単糖類、二糖類、多糖類の定性的な検出法について学んだ後、でん粉の加水分解による変化について酸ならびに酵素を使い比較し、その違いについて考察する。また、未知糖の検出を行なうことにより、糖類全般の化学的性質についてまとめを行なう。
5	デンプンの分解	デンプンを酵素(アミラーゼ)を使って加水分解した場合と、酸(塩酸)を使って加水分解した場合の反応の違いを理解する。
6	未知糖の検出	4 回目の実験で学んだことを整理し、未知の糖液が何であるかを実験により明らかにする。もっとも効率よく作業を行なう行程を図式化して見る。
7	たん白質の検出	たん白質に関する実験…たん白質の基本的性質を知るために組成元素の検出、呈色反応、凝固沈殿反応などを行なう。また、薄層クロマトグラフィーによりアミノ酸の検出、確認を行なう。
8	凝固沈殿反応およびアミノ酸の薄層クロマトグラフィー	たん白質の凝固、沈殿反応とたん白質の変性の関係を理解する。卵白は鉛や水銀の解毒剤として利用されることがあるのはどうしてか考えてみよう。アミノ酸混合物を薄層クロマトグラフィーを使って分離確認する技術を学ぶ。
9	食品分析の説明	食品の一般成分の分析…食品分析法の原理について学んだ後に実際の食品成分分析を行なう。分析試料には凍豆腐を用い、水分、たん白質、脂質、灰分の分析を行ない、炭水化物は差引計算で求める。これらの実験を通じて秤量の概念、規定、モルなどの概念とそれぞれの溶液の作り方などを学ぶ。また、定量操作における反応の原理について、反応式より説明できるようにする。
10	水分の定量	105℃常圧乾燥法を利用し凍豆腐の水分を定量する。
11	脂質の定量	ソックスレーのエーテル抽出法により凍豆腐の脂質を定量する。
12	たん白質の定量	セミクロケルダール法によりたん白質を定量する。求めた窒素をたん白質に変換する窒素-たん白質変換係数について理解する。

13	灰分の定量と炭水化物の計算	550℃灰化法で灰分を定量し差引計算法で炭水化物を求める。
14	まとめ	凍豆腐の一般成分を各班で得られた結果を比較し検討する。各班のバラツキや食品成分表との比較を行ない考察する。
15	食品成分表の説明とテスト	食品成分表に載っている成分の分析方法や数値の取扱い方などについて説明し、献立作成に使う場合の留意点などについて述べる。合わせてテストを行ない授業内容の復習ならびに確認をする。

科目名	基礎栄養学実習			講義コード	B210212109	担当教員	源川 博久, 善方 美千子
対象	2年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	基礎栄養学実習は、厚生労働省指定の管理栄養士養成課程で専門分野の教育内容として開講される。栄養素を適切に摂取して良好な栄養状態を保つための栄養管理は、ヒトの健康維持のみならず健康増進やQOL(人生の質)の向上のために大変重要である。栄養管理のためには個人の栄養状態がどのような状況にあるのかを評価し、栄養上の問題があれば問題の解決をはかる必要がある。この授業では個人の栄養状態を評価するための方法(栄養アセスメント法)について実習を通して学ぶ。身体計測、尿の生化学的検査を自分自身についておこない、これらの結果に基づいて各自の栄養状態を判定する。結果について生化学や栄養学の知見に基づいて解釈することにより、栄養素の代謝や必要量について理解することを目的とする。						
受講資格	特になし。			成績評価方法	実習ノート(50%)と期末試験(50%)の結果より評価する。また、欠席は減点の対象とする。		
教科書	授業で配布するプリント 日本人の食事摂取基準 2010年版、第一出版						
参考書	栄養学各論Ⅰ、生化学、基礎栄養学、生化学実験の教科書及びプリント						
学生への要望	実習のノートを作成し、実験目的・方法など必要事項を予習すること。 実習ノートの結果・考察はすみやかにおこない、ノートをためないようにする。 期末試験後に実習ノートを提出すること(採点后に返却)。 わからないことはどんなことでも質問すること。						
ウェブサイト	主に水曜日 午前中、木曜日						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンス	授業の進め方、受講上の注意点、教科書、評価方法などについて理解する。また、基礎栄養学実習で取りあげる授業内容について説明する。また、栄養マネジメント(管理)の重要性と管理栄養士の役割について確認する。
2	栄養スクリーニング	栄養スクリーニングについて確認し、自分自身について栄養スクリーニングをおこなう。栄養スクリーニングは病院と介護保険施設で用いられている方法についておこなう。
3	身体計測Ⅰ	栄養アセスメントにおける身体計測の意義と方法について確認し、身長と体重を測定する。また、体格指数(BMI)を算出し、BMIから体格について考察する。
4	身体計測Ⅱ	インピーダンス法により体脂肪率を測定し、自分の体脂肪率とBMIから、体格と栄養状態を確認する。
5	身体計測Ⅲ	キャリパーを用いた上腕三頭筋皮下脂肪厚ならびに肩甲骨下端部皮下脂肪厚を測定し、皮下脂肪厚から体脂肪率を確認する。
6	身体計測Ⅳ	メジャーを用いた上腕周囲長、下腿周囲長、腹囲を測定し、上腕周囲長と上腕三頭筋皮下脂肪厚から上腕筋周囲長と上腕筋面積を求め、筋肉量と脂肪量を確認する。
7	身体計測Ⅴ	立位身長測定が困難な場合の測定方法を学び、膝高より身長を推定する。
8	骨量評価	超音波式骨量計による骨量を測定し、骨量の状況について考察する。
9	生化学的検査Ⅰ	栄養アセスメントにおける尿の生化学的検査の意義について学び、24時間尿の採尿方法に関して理解し、準備をする。
10	生化学的検査Ⅱ	24時間尿を採尿し、尿量計測、分析準備をおこなう。
11	生化学的検査Ⅲ	栄養アセスメントにおける尿中クレアチニンについて説明し、24時間尿中クレアチニン濃度を測定する。その結果から、クレアチニンクリアランスや筋肉量について考察する。
12	生化学的検査Ⅳ	原子吸光法による24時間尿中ナトリウム量を測定し、食事摂取基準のナトリウム摂取基準と比較して考察する。
13	生化学的検査Ⅴ	原子吸光法による24時間尿中カリウム量を測定し、食事摂取基準のカリウム摂取基準と比較して考察する。

14	食事調査	カルシウムの摂取量について食事調査をおこない、カルシウム摂取の状態を考察する。
15	まとめと試験	これまでの実習の総括をおこない、試験にて理解度を確認する。

科目名	基礎栄養学実習			講義コード	B210222109	担当教員	源川 博久, 善方 美千子
対象	2年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	基礎栄養学実習は、厚生労働省指定の管理栄養士養成課程で専門分野の教育内容として開講される。栄養素を適切に摂取して良好な栄養状態を保つための栄養管理は、ヒトの健康維持のみならず健康増進やQOL(人生の質)の向上のために大変重要である。栄養管理のためには個人の栄養状態がどのような状況にあるのかを評価し、栄養上の問題があれば問題の解決をはかる必要がある。この授業では個人の栄養状態を評価するための方法(栄養アセスメント法)について実習を通して学ぶ。身体計測、尿の生化学的検査を自分自身についておこない、これらの結果に基づいて各自の栄養状態を判定する。結果について生化学や栄養学の知見に基づいて解釈することにより、栄養素の代謝や必要量について理解することを目的とする。						
受講資格	特になし。			成績評価方法	実習ノート(50%)と期末試験(50%)の結果より評価する。また、欠席は減点の対象とする。		
教科書	授業で配布するプリント 日本人の食事摂取基準 2010年版、第一出版						
参考書	栄養学各論Ⅰ、生化学、基礎栄養学、生化学実験の教科書及びプリント						
学生への要望	実習のノートを作成し、実験目的・方法など必要事項を予習すること。 実習ノートの結果・考察はすみやかにおこない、ノートをためないようにする。 期末試験後に実習ノートを提出すること(採点后に返却)。 わからないことはどんなことでも質問すること。						
ウェブサイト	主に水曜日 午前中、木曜日						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンス	授業の進め方、受講上の注意点、教科書、評価方法などについて理解する。また、基礎栄養学実習で取りあげる授業内容について説明する。また、栄養マネジメント(管理)の重要性と管理栄養士の役割について確認する。
2	栄養スクリーニング	栄養スクリーニングについて確認し、自分自身について栄養スクリーニングをおこなう。栄養スクリーニングは病院と介護保険施設で用いられている方法についておこなう。
3	身体計測Ⅰ	栄養アセスメントにおける身体計測の意義と方法について確認し、身長と体重を測定する。また、体格指数(BMI)を算出し、BMIから体格について考察する。
4	身体計測Ⅱ	インピーダンス法により体脂肪率を測定し、自分の体脂肪率とBMIから、体格と栄養状態を確認する。
5	身体計測Ⅲ	キャリパーを用いた上腕三頭筋皮下脂肪厚ならびに肩甲骨下端部皮下脂肪厚を測定し、皮下脂肪厚から体脂肪率を確認する。
6	身体計測Ⅳ	メジャーを用いた上腕周囲長、下腿周囲長、腹囲を測定し、上腕周囲長と上腕三頭筋皮下脂肪厚から上腕筋周囲長と上腕筋面積を求め、筋肉量と脂肪量を確認する。
7	身体計測Ⅴ	立位身長測定が困難な場合の測定方法を学び、膝高より身長を推定する。
8	骨量評価	超音波式骨量計による骨量を測定し、骨量の状況について考察する。
9	生化学的検査Ⅰ	栄養アセスメントにおける尿の生化学的検査の意義について学び、24時間尿の採尿方法に関して理解し、準備をする。
10	生化学的検査Ⅱ	24時間尿を採尿し、尿量計測、分析準備をおこなう。
11	生化学的検査Ⅲ	栄養アセスメントにおける尿中クレアチニンについて説明し、24時間尿中クレアチニン濃度を測定する。その結果から、クレアチニンクリアランスや筋肉量について考察する。
12	生化学的検査Ⅳ	原子吸光法による24時間尿中ナトリウム量を測定し、食事摂取基準のナトリウム摂取基準と比較して考察する。
13	生化学的検査Ⅴ	原子吸光法による24時間尿中カリウム量を測定し、食事摂取基準のカリウム摂取基準と比較して考察する。

14	食事調査	カルシウムの摂取量について食事調査をおこない、カルシウム摂取の状態を考察する。
15	まとめと試験	これまでの実習の総括をおこない、試験にて理解度を確認する。

科目名	栄養学各論 I			講義コード	B210202005	担当教員	源川 博久
対象	2 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>栄養学各論 I は、厚生労働省指定の管理栄養士養成課程で専門分野の教育内容として開講される。そのため、「身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の考え方を理解すること」が授業の目的となる。そのため、栄養学各論 I では、栄養マネジメント(管理)の考え方と方法について学ぶ。特に、栄養マネジメントにおいて重要な栄養アセスメント(評価・判定)の基本的な考え方を理解する。続いて、栄養アセスメントに用いる「日本人の食事摂取基準」の基本的概念、活用について学ぶ。さらに、ヒトでは加齢、発育や妊娠などライフステージや状況により人体の構造や機能の変化に伴い生理的变化もおこるため、状況に応じた栄養管理が重要となる。応用栄養学 I では、成長や発達による身体の変化や妊娠期について取上げ、生化学・生理学的特徴ならびに栄養学的特徴を学ぶ。</p>						
受講資格	特になし。			成績評価方法	<p>期末試験(60%)と小テスト(40%)の結果より評価する。また、欠席は減点の対象とする。</p>		
教科書	健康・栄養科学シリーズ「応用栄養学」改訂第4版、戸谷誠之編、南江堂						
参考書	日本人の食事摂取基準 2010年版、第一出版						
学生への要望	<p>応用栄養学と関係のある科目(基礎栄養学、生化学など)と関連付けをして理解を深めることが望ましい。そのため、わからないことは栄養学各論 I に関わらず質問すること。</p>						
ワキタム	主に水曜日 午前中、木曜日						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンス	授業の進め方、受講上の注意点、教科書、評価方法などについて理解する。また、栄養学各論 I で取りあげる授業内容について説明する。
2	日本人の食事摂取基準 I	日本人の食事摂取基準の基本的概念として、策定の基礎理論について確認する。
3	日本人の食事摂取基準 II	食事摂取基準で示されている推定エネルギー必要量について、策定理論や指標の意味について解説する。
4	日本人の食事摂取基準 III	食事摂取基準で示されている推定平均必要量・推奨量・目安量について、策定理論や指標の意味について解説する。
5	日本人の食事摂取基準 IV	食事摂取基準で示されている耐容上限量・目標量について、策定理論や指標の意味について解説する。
6	日本人の食事摂取基準 V	食事摂取基準の活用における留意点(過少申告・過大申告・日間変動・優先順)について解説する。
7	日本人の食事摂取基準 VI	食事摂取基準の活用について、確率法・カットポイント法にてエネルギーや栄養素の不足の確率の考え方について解説する。
8	まとめ I ・小テスト I	食事摂取基準についてまとめ、理解度を小テストにて確認する。
9	栄養アセスメント I	栄養マネジメントや栄養スクリーニングの目的・方法について解説する。
10	栄養アセスメント II	栄養アセスメントの分類(静的評価法・動的評価法)について解説する。
11	栄養アセスメント III	栄養アセスメントの4種類のうち、臨床検査と身体計測による栄養状態の評価方法を解説する。
12	栄養アセスメント IV	栄養アセスメントの4種類のうち、生化学的検査と食事調査による栄養状態の評価方法を解説する。
13	まとめ II ・小テスト II	栄養アセスメントについてまとめ、理解度を小テストにて確認する。
14	妊娠期 I	妊娠期の生化学・生理的变化(妊娠と分娩)と栄養学的特徴について解説する。
15	妊娠期 II	妊娠期の栄養学的問題点と望ましい栄養摂取について解説する。

科目名	栄養学各論Ⅲ			講義コード	B310202009	担当教員	菊池 節子
対象	3年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①成長期（幼児期、学童期、思春期）の生理的特徴を理解する。 ②成長期の栄養状態の変化を理解する。 ③成長期の栄養アセスメントを理解する。 ④成長期の栄養・疾患について理解する。 ⑤成長期の栄養ケアについて理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>栄養学各論Ⅲでは、各論ⅠおよびⅡに引き続き、個人の身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の実際（生理的特徴、栄養状態の変化、栄養アセスメント、栄養と疾病・疾患、栄養ケア）など、幼児期から思春期までのライフステージ別に応用栄養学の実践的内容について学ぶ。本授業は、これらの学習を通じて、個人の状況に適した望ましい食生活のあり方について考え、栄養や食生活の問題点を改善するための栄養マネジメント能力を育成することを目標にする。</p> <p>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</p> <p>①個人の状況に適した望ましい食生活のあり方について考えることができる。 ②成長期の栄養や食生活の問題点を改善するための栄養マネジメントについて理解できる。</p>						
受講資格	大学食物栄養学科学生			成績評価方法	筆記試験 100点		
教科書	応用栄養学（改訂第3版） 戸谷誠之、伊藤節子、渡邊令子編集 南光堂						
参考書	日本人の食事摂取基準（2010年版） 第一出版						
学生への要望	予習をして意欲的に取り組み、終了後は既習関連教科内容も含めて復習をしっかりと行い理解の定着を図ること。毎回授業終了時に豆テストを行い、理解の程度を確認する。						
ウェブサイト	金曜V限 No.1調理学研究室 またはskikuchi@koriyama-kgc.ac.jpまで						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	幼児期の栄養①	発育区分、身長、体重、成長曲線、カウプ指数、口腔機能・生理的機能の発達、さらに運動機能、知能、言語、精神・神経の発達、生活習慣、社会性について学び、幼児期の成長と発達について理解する。
2	幼児期の栄養②	基礎代謝量、身体活動度、食生活、さらに臨床診査、臨床検査、身体計測について学び、幼児期の栄養状態の変化と栄養アセスメントについて理解する。
3	幼児期の栄養③	低体重と過体重・肥満、低栄養、脱水、発達障害、う歯、不適切な身体活動・生活習慣・食生活、偏食について学び、幼児期の栄養と病態・疾患、生活習慣について理解する。
4	幼児期の栄養④	成長・発達、身体活動に対応したエネルギー・栄養素の補給、食物や食事を味わい、受容し、楽しむ能力の形成、適切な食習慣の形成、施設内給食について学び、幼児期の栄養ケアのあり方について理解する。
5	学童期の栄養①	成長・発達、脳・免疫機能の発達、身体活動度、自己管理能力の発達、生活習慣の変化、さらに身長・体重、体組成、食習慣の変化について学び、学童期の成長・発達と栄養状態の変化について理解する。
6	学童期の栄養②	血圧、血清たんぱく質、血清脂質、血糖、ヘモグロビン、ヘマトクリット、尿たんぱく・糖などの臨床検査項目、さらに身体計測（身長・体重、成長曲線、ローレル指数）について学び、学童期の栄養アセスメントについて理解する。
7	学童期の栄養③	肥満とやせ、鉄欠乏性貧血、生活習慣病（高血圧・脂質異常症・糖尿病）、不適切な身体活動と食生活（孤食を含む）、生活習慣（不規則なリズム・心の問題）などについて学び、学童期の栄養と病態・疾患、生活習慣について理解する。
8	学童期の栄養④	骨の発達についてビデオを見て学び、骨芽細胞と破骨細胞の働きと、骨形成・骨吸収の骨代謝メカニズムについて理解を深める。

9	学童期の栄養⑤	成長・発達、身体活動に対応したエネルギー・栄養素の補給、生活習慣病のリスクを軽減するための食生活、自己管理能力の形成について学び、栄養ケアのあり方を理解します。さらに、学校給食の沿革と目的、給食の形態、学校給食食事摂取基準と食品構成を学び、学校給食について理解する。
10	思春期の栄養①	第二性徴、月経開始、成長急伸、精神発達、さらに臨床検査、身体計測について学び、思春期の成長・発達と栄養アセスメントについて理解する。
11	思春期の栄養②	摂食障害、不適切な身体活動・食生活（外食・食品選択）・生活習慣、薬物乱用、飲酒、喫煙について学び、思春期の栄養と病態・疾患、生活習慣について理解する。
12	思春期の栄養③	成長・発達に対応したエネルギー・栄養素の補給、栄養素貯蔵能の保持、適切な栄養状態の維持、疾病予防、健康の維持管理、自己管理能力の習得について学び、思春期の栄養ケアのあり方について理解する。
13	更年期（閉経期）の栄養①	更年期の内分泌系、生殖系、代謝を学び、閉経による身体の変化と更年期の栄養アセスメントについて理解します。
14	更年期（閉経期）の栄養②	更年期障害、骨粗鬆症を学び、更年期の栄養と病態・疾患を理解した上で、QOLの向上、生活習慣（特に食習慣）の改善、自己管理能力の習得など、栄養ケアについて理解します。
15	まとめ	半期を振り返り、栄養学各論Ⅲで学んだ内容のより一層の定着を図る。

科目名	栄養教育論Ⅱ			講義コード	B310202011	担当教員	岡部 聡子
対象	3年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	栄養教育のための実践基礎知識を学び、食事と栄養、食生活の重要性を理解する。健康維持と増進、障害者の自立支援を目指した栄養食事指導ができる能力を養う。						
受講資格	食物栄養学科3年			成績評価方法	筆記試験80% 課題提出20%		
教科書	エッセンシャル栄養教育論 第2版 春木 敏 編 (株)医歯薬出版						
参考書							
学生への要望	ライフステージ別の栄養と特性、栄養摂取と食事のポイントを理解し、栄養教育の目標を立案できるようにする。						
ワキタム	月曜・木曜日午後						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	栄養教育の意義と必要性	栄養教育の概念・意義を理解し、食行動から捉える問題点を考え、行動療法に基づく健康支援について理解する。
2	栄養教育のための実践基礎知識 (1)	日本人の食事摂取基準 (2010年版) の基本的な活用方法と留意点、食品構成、献立作成について学ぶ。
3	栄養教育のための実践基礎知識 (2)	わかりやすい食事チェック教材 (食事バランスガイド、新食生活指針、運動指針、休養指針) について理解する。
4	栄養教育のための実践基礎知識 (3)	健康・栄養・食生活の知識と健康的な食生活管理ができるよう栄養・食生活情報の正しい選択と活用について学ぶ。
5	栄養指導の変遷と栄養教育	栄養指導と学習形態、教材の種類、栄養教育について必要な指導のポイントを学ぶ。
6	栄養教育の実際 (1) (妊娠期・授乳期)	妊娠期・授乳期を対象とする栄養と特性を理解し、栄養教育プログラムの作成と評価について学ぶ。
7	栄養教育の実際 (2) (幼児期・児童期)	幼児期・児童期を対象とする栄養と特性を理解し、栄養教育プログラムの作成と評価について学ぶ。
8	栄養教育の実際 (3) (思春期)	思春期を対象とする栄養と特性を理解し、栄養教育プログラム (肥満・やせ) 作成、実施と評価について学ぶ。
9	栄養教育の実際 (4) (成人期)	成人期を対象とする栄養と特性を理解し、生活習慣病予防と食事療法の基本方針、地域・職域における栄養教育のためのプログラムの作成、保健指導と評価について学ぶ。
10	栄養教育の実際 (5) (高齢者)	高齢者を対象とする栄養と特性を理解し、低栄養と食事療法の栄養教育プログラム作成、実施と評価について学ぶ。
11	介護予防と栄養教育	介護保険制度と栄養改善サービス、食事計画、支援、栄養相談、助言等について学ぶ。
12	障害者と栄養教育	障害者を対象とする栄養と特性を理解し、栄養教育プログラムの作成、実施と評価について学ぶ。
13	SATヘルスカウンセリングの栄養教育への適用	SATヘルスカウンセリングの基本姿勢、基本的な進め方、コーチングの適用について学ぶ。
14	食環境づくり、外食産業と栄養教育	食物のアクセス面での展開、食料自給率の動向、食の安全・安心への取り組み。外食産業の動向等について理解する。
15	まとめ	各分野における栄養教育の重要性を理解し、さらに世界の栄養問題、慢性疾患予防、小児疾患等について理解する。

科目名	食文化・食行動論			講義コード	B110202005	担当教員	先崎 和子
対象	4年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>人間の食生活の機能や意義を、動物と人間の食行動の違い、なぜ食べるのかという視点から考え、食生活の構造や食生活を変容させる多様な要因を視野に入れ、食生活を総合的にとらえ、心身の健康増進と豊かな人間形成をめざした食生活環境、食文化について理解する。</p> <p>具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> 食品表示、食の安心・安全、生活習慣病、食育など 食の諸問題を理解することができる。 【知識・理解】 これからの食教育・健康教育のありかたを考え、提案すること ができる。 【意欲・態度】 郷土の食文化の魅力を発見し、効果的な発信方法を考え、プレゼンテーションすることができる。 【技能・表現】 						
受講資格	特になし			成績評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 【知識・理解】については、テスト 70点 【意欲・態度】については、ノート 10点 【技能・表現】については、プレゼンテーション 20点 欠席は減点 		
教科書	食文化論 建帛社						
参考書							
学生への要望	<ul style="list-style-type: none"> 欠席しないこと 授業で出される課題に積極的に取り組むこと どんな小さな疑問、質問もそのままにしないこと 						
オフィス	月 I、IIコマ 木 III、IVコマ						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	食文化・食行動論を学ぶ意義	「なぜこの授業を学ぶのか」「この授業の目指すところ」を本学のキャリア教育の2つの柱「つくる力」「かかわる力」と照らし合わせながら、明確に示す。また、本授業の15回の概説と評価方法について説明する。第1回目は、食生活の概念について取り上げる。
2	グローバルな視点で食文化を見る 世界の食生活史	世界の国々の食材を紹介し、食卓の様子から食文化の多様性を知る。
3	世界の食生活史 文化を反映する食習慣	宗教から見た世界の食事様式や世界の行事食について解説する。
4	日本の食生活史 わが国の日常食の始まり	稲作の伝来と米の主食化、魚介類、や野菜の副食化について解説する。
5	日本の食生活史 わが国の新たな日常食の確立と定着	開発途上国型食生活からの脱出と新たな日常食（日本型食生活）の確立について解説する。
6	食生活の変貌と地域の食材	現代人のライフ・スタイルと食文化の変貌や現代生活における特産の料理について学び、地産地消における道の駅や第6次産業について解説する。
7	年中行事のおもてなしと食文化	年中行事のおもてなしと食文化や五節句と冠婚葬祭のおもてなしについて解説する。
8	食のしきたり 郷土料理と年中行事	各自が、興味のある郷土料理の由来について調べ、まとめ、プレゼンテーションする。（全員が発表）
9	食のしきたり 郷土料理と年中行事	各自が、興味のある郷土料理の由来について調べ、まとめ、プレゼンテーションする。（全員が発表）
10	よりよい食行動を目指して 果物	外国からの輸入果物も含めると、1年を通してさまざまな果物を購入できる時代になった。果物をどれくらい食べたらよいかを実感するために、糖度計で糖度の測定実験を行う。また、世界のめずらしい果物を紹介する。

11	よりよい食行動を目指して お菓子	嗜好食品その①	全国の銘菓についての認知度調査を行う。また、おやつの問題点として挙げられる脂質、油分、糖分、塩分などについて、実際の表示を見ながら学ぶ。
12	よりよい食行動を目指して アルコール	嗜好食品その②	アルコール（お酒）の歴史を振り返りながら、世界の地域に根ざした酒の種類と生成法を学ぶ。また、お酒のリスクと健康管理について知り、自己管理に役立てる。
13	よりよい食行動を目指して	食行動異常	若い女性のやせ問題、若年層の肥満や小児糖尿病など生活習慣に関連した問題について理解を深める。味覚テストを実施して、栄養の偏りからくる味覚障害について考える。
14	よりよい食行動を目指して	食行動異常	偏食、過食、拒食の食行動について脳科学や心理学の分野における研究論文を紹介し、理解を深める。
15	よりよい食行動を目指して	食行動異常	「こしょく」や食べ方の悪い癖など、次世代を担う子どもたちが描いた「食卓の風景」を考察し、より良い食行動のありかたを考えると同時に、この授業を選択した学生に、「食文化の伝統継承」や「新たな食文化の創出」の担い手として社会において活躍が期待されていることを伝え、総括とする。

科目名	栄養教育論実習			講義コード	B310202101	担当教員	岡部 聡子, 本間 杏菜
対象	3年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	現代社会における食生活は社会構造の変化、生活の多様化、氾濫する情報に伴って、ますます複雑多岐となっています。行動変容技法やカウンセリング技法を学び、実際に体験することで技術の習得を目指します。						
受講資格	食物栄養学科3年			成績評価方法	筆記試験70%、提出物30%、欠席減点		
教科書	「演習栄養教育 第6版」(株)医歯薬出版 大里進子 編著						
参考書	プリント						
学生への要望	栄養教育に必要な基礎・媒体・食生活の現状を把握し、栄養教育計画作成の要点を理解する。						
ワイルドタイム	月・木曜日午後						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	栄養教育と媒体	栄養教育における媒体と教材の作成の意義（資料配布）
2	栄養アセスメントの方法	身体測定の方法、臨床検査値、臨床審査の見方について学ぶ
3	栄養アセスメント・ケアプラン①	症例別検討①：栄養アセスメントを実施し、ケアプランを作成する食生活問診の方法、臨床検査値の見方について、ケアプランを記入の仕方
4	栄養アセスメント・ケアプラン②	症例別検討②：栄養アセスメントを実施し、ケアプランを作成する食生活問診の方法、臨床検査値の見方について、ケアプランの記入の仕方
5	カウンセリングの実習	カウンセラーとクライアントのそれぞれの立場で役割を演じながら、カウンセリングの技法について学ぶ
6	SOAPの記録方法の実習	POSの考え方を基盤としたSOAPの記録方法についての演習 個別栄養指導時の記録法の留意点を学ぶ
7	ロールプレイングの実習①	ロールプレイングを通して、糖尿病の栄養アセスメント・ケアプランの実際を学ぶ アセスメント・ケアプランのまとめの発表と評価を行う
8	ロールプレイングの実習②	ロールプレイングを通して、糖尿病の栄養アセスメント・ケアプランの実際を学ぶ アセスメント・ケアプランのまとめの発表と評価を行う
9	集団栄養教育の実習①（バランス食について）	女子短大生を対象とし、バランス食についての集団栄養指導を行う必要な資料の作成、媒体の工夫についてグループ内で話し合い作成する
10	集団栄養教育の実習②（前週の発表）	前週に作成した媒体を使用して、実際に集団栄養指導を実施する
11	集団栄養指導の実習③（行動療法の取り入れ）	塩分制限について行動療法を取り入れた指導法について学ぶ 実際に行動療法の中から自分たちが実施可能なものを選択し体験してみる
12	集団栄養教育の実習④（行動療法の取り入れ）	前週に引き続き、鉄分量を増やす行動療法について取り入れ、実際に行動してみる
13	集団栄養教育の実習⑤（発表）	各グループがそれぞれに取り組んだ行動療法についてその成果を発表する
14	ライフステージにおける栄養指導（離乳食）	保健所実習に向けて、乳幼児の離乳食について学ぶ
15	まとめ・各ライフスタイル別疾病の要点と確認	半期を振り返り、栄養教育の重要性と要点を確認する

科目名	臨床栄養学Ⅱ			講義コード	B310202008	担当教員	根本 恵美子
対象	3年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	管理栄養士は臨床に即して栄養評価や判定を行い、栄養教育や管理をする。疾病の成因を理解し病態時の栄養状態の把握、食事療法の基本的な方針と食事基準、疾病の予後、各疾病ごとの栄養相談のポイントを学ぶ。						
受講資格				成績評価方法	試験100点。欠席状況により減点する。		
教科書	サクセス管理栄養士講座 臨床栄養学Ⅱ。疾患・病態別 第一出版						
参考書							
学生への要望							
ワイルド	金曜日午前						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	疾病と栄養治療	病因における治療食、特別食（エネルギーコントロール食、たんぱく質コントロール食、脂質コントロール食、易消化食）の栄養の基本。
2	消化管疾患の栄養治療	食道・胃・十二指腸疾患の栄養治療の特徴と実際、病態に対応する献立作成と調理形態、栄養アセスメントと食事療法。
3	消化管疾患の栄養治療	術前・術後の病態と代謝の特徴、術前・術後の栄養士による栄養管理の必要性、術前・術後の栄養管理、食事栄養アセスメントによる適応献立の立案の必要性。 胃切除後障害の病態、栄養障害の特徴と実際（ダンピング症候群、貧血、骨代謝障害、逆流性食道炎、栄養障害、体重減少） 栄養治療法の原則としての食事療法。
4	肝臓疾患・胆嚢・膵臓疾患の栄養療法	肝臓・膵臓疾患の病態と栄養治療の特徴と実際、肝臓の主な機能と肝硬変での検査成績、適応する献立の立案、栄養アセスメント。
5	内分泌・代謝疾患の栄養治療法 1	糖尿病の病態と栄養障害の特徴、診断基準、食事療法と適正摂取カロリー、食品交換表を利用した献立の立案、栄養アセスメントとケアプラン。
6	内分泌・代謝疾患の栄養療法 2	脂質異常症の病態と栄養治療の特徴、診断基準、栄養療法、栄養アセスメント。 高尿酸血症の病態と栄養治療の特徴、高尿酸血症の合併症と食事療法。
7	循環器疾患の栄養療法	高血圧・心疾患・動脈硬化の病態と栄養治療の特徴と実際、栄養アセスメント
8	腎臓病の栄養療法	腎臓病の栄養療法の特徴と実際と食事療法、食品交換表を利用する栄養管理。
9	妊娠・授乳期の栄養治療法	妊娠期・授乳期の食事摂取基準と付加量、各種栄養素の需要、合併症妊娠における食事療法、母乳と嗜好品。
10	乳幼児・幼児期疾患の栄養療法	乳児期、幼児期の栄養障害の栄養治療、アレルギー疾患、先天性代謝異常。
11	栄養欠陥と栄養療法	疾患と関連した栄養素の過剰や相対的な栄養バランスの崩れ等、栄養障害、たんぱく質栄養不良症、栄養指標の意義。
12	高齢者に多い疾患の栄養療法	高齢者に多い疾患と症状、栄養アセスメントと栄養療法。
13	静脈栄養法、経腸栄養法の栄養管理 1	静脈栄養法、経腸栄養法の特徴・適応・禁忌、栄養療法の効果とチーム医療。 経腸栄養剤の種類、特徴と調整法、合併症。

14	静脈栄養法、経腸栄養法の栄養管理 2	静脈栄養法、経腸栄養法の特徴・適応・禁忌、栄養療法の効果とチーム医療、経腸栄養剤の種類、特徴と調整法、合併症。
15	臨床栄養の栄養管理および食事療法のまとめ	疾患の成因を理解し、栄養食事アセスメントと栄養教育の基本を学ぶ。

科目名	臨床栄養学実習 I			講義コード	B310202104	担当教員	根本 恵美子, 本間 杏菜
対象	3 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	臨床に就いた栄養士の入院時食事療養の食事調整の実際について学びます。個人の栄養評価を行いNSTのメンバーとして治療に参加するとき、また栄養相談の基本となります。						
受講資格				成績評価方法	試験60 提出物40 欠席状況により減点		
教科書	食事療法実務入門 (学建書院) 栄養食事の実習 (医歯薬出版) 糖尿病の食品交換表・腎臓病の食品交換表						
参考書							
学生への要望							
ワイルドタイム	火曜日午後						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	病院給食	病院は診療部門、診療支援部門、看護部門、事務部門より組織され、それぞれ部署の専門の職員が協力して患者様の治療に携わる。栄養部門は診療支援部門に属する。病院の組織。給食管理・栄養管理について
2	一般食	一般治療食、提供される栄養量は性別、年齢、体位、身体活動レベル、病状、アレルギー等、個々の患者の特性を考慮し算定される。栄養ケア・・・栄養補給法 栄養状態の評価
3	治療食	特別治療食は、医師の発行する食事箋により病名、病状に応じたエネルギー、たんぱく質、脂質、炭水化物、食塩等が指示される。
4	糖尿病の基本	糖尿病は、食事療法、運動療法、薬物療法があり、食事療法がその基本となる。糖尿病の合併症の予防、低血糖の予防、シックデイの対応について学ぶ。
5	糖尿病食品交換表を用いた献立作成	糖尿病の食品交換表は1単位80kcalと定めて、食品が6つの食品群と調味料に分けられている。指示エネルギー量に基づいた単位配分の仕方、外食の取り方、嗜好品について学ぶ。
6	糖尿病1600kcal常食の試作	グループの代表者の献立を1日3食分を作製し試食する。料理の手順、材料の割合、彩り、盛り付け、季節感など試食後の感想を提出する。
7	胃・十二指腸潰瘍、胃切除食、潰瘍性大腸炎・クローン病	消化管疾患の急性期には静脈栄養を行う。穿孔や癌などにより切除されることもあり、術前、術後の栄養管理は個人により大きく異なる
8	胃・十二指腸潰瘍 1600kcal 全粥 献立作成	胃・十二指腸潰瘍に適する食品と適さない食品がある。胃内停滞の長い調理法など具体的に覚える。再燃・寛解を繰り返す潰瘍には継続しやすい組み合わせにする。
9	胃・十二指腸潰瘍 1600kcal 全粥 試作	グループの代表者の献立を1日3食分を作製し試食する。料理の手順、材料の割合、彩り、盛り付け、季節感など試食後の感想を提出する。
10	高齢者食	高齢者は加齢による生理機能の低下や、社会的要因による食事摂取量の不足により様々な障害が起こります。障害の内容とその対策の方法を知り食事が楽しみとなるような献立の作成をします。
11	経静脈栄養・経管栄養	経静脈栄養は食事摂取のできないときや、消化吸収障害があるときに使用され、投与期間により中心静脈栄養と末梢静脈栄養があります。経管栄養は食事が摂取できないときに用いられ、経静脈栄養より生理的であり消化器に障害のないときは経静脈栄養よりも優先されます。それぞれの栄養法の特徴を学びます。
12	介護食	自然老化に伴う障害と病的に起こる障害があります。その障害の程度による食事形態がフードピラミッドの作成により、統一されようとしています。それぞれの段階による特徴と調理法について学びます。

13	介護食の市販食品・素材の試食	<p>咀嚼・嚥下障害のための介護用食品が市販されています。業務用と個人用と容量が様々です。市販されている用途食品や素材を知り、施設や病院での食事や自宅療養している方に対応できるような情報収集も必要になります。</p> <p>ソフト食の実際。ソフト食実習（試作）</p>
14	褥創	<p>寝たきりの高齢者や脳血管障害、脊髄損傷者など自分の意志で体位変換のできない患者様に発症しやすい。病因・憎悪因子に低栄養があるので、正しい栄養評価と適切な栄養方法を選択できるようにします。</p>
15	まとめ	<p>半期を振り返り それぞれの要点を確認する。</p>

科目名	公衆栄養学Ⅱ			講義コード	B310202010	担当教員	先崎 和子
対象	3年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	2年後期で学んだ基本的な国民の健康を増進するための栄養施策をもとに公衆栄養活動の実際の展開等を理解する。						
受講資格	特になし			成績評価方法	小テスト(4回) 20点 課題提出(ノート提出) 10点 期末テスト 70点欠席で減点		
教科書	Nブックス 四訂 公衆栄養学 建帛社						
参考書							
学生への要望	欠席しないこと。 国試にかかわる復習を行うこと。						
オフィス	月曜日 I、IIコマ 木曜日 III、IVコマ						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	栄養疫学の概要と役割	栄養疫学の役割と食事摂取量の測定方法について解説する。
2	栄養調査・栄養アセスメント	食事調査と食事摂取基準について解説し、エネルギー摂取量の評価や栄養素摂取不足の評価、その他の評価指標について学ぶ。
3	食事調査法	総エネルギー調整栄養素摂取量やデータの処理と解析について学ぶ。
4	公衆栄養マネジメント	公衆栄養マネジメントの考え方・重要性について解説し、マネジメントサイクル、プリシード・プロシードモデルによるマネジメントについて学ぶ。
5	公衆栄養アセスメント	公衆栄養アセスメントの目的と手順について解説し、地域の現状把握について学ぶ。
6	公衆栄養プログラムの目標設定	公衆アセスメント結果評価、改善課題の抽出について解説し、短期・中期・長期の課題設定や改善課題に基づく改善目標の設定について学ぶ。
7	公衆栄養プログラムの計画、実施、評価	社会資源の把握と管理や運営面・政策面のアセスメントについて学ぶ。
8	地域特性に対応したプログラム展開	健康づくり対策では、「健康日本21」における栄養・食生活分野以外の身体活動・運動、たばこ、アルコール、歯の健康について対策の概要について解説する。
9	地域特性に対応したプログラム展開	食育推進について解説し、食育基本法、食育推進計画に基づいて生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくんでいくこと、
10	食環境づくりのためのプログラム展開	栄養成分表示の活用や健康づくりのための外食料理の活用
11	地域集団の特性別プログラムの展開 ライフステージ別	ライフステージ別の現状とその背景について解説し、対策の実際について学ぶ
12	地域集団の特性別プログラムの展開 生活習慣病ハイリスク集団	生活習慣病の現状と背景について解説し、対策の実際について学ぶ。
13	健康増進計画と地方計画(健康日本21)	公衆栄養関連法規について解説し、わが国の健康づくり対策について理解する。

14	食事摂取基準の活用方法	食事摂取基準について解説し、エネルギー摂取量の評価や栄養不足の評価、その他の指標について学ぶ。
15	まとめ	まとめ

科目名	公衆栄養学実習			講義コード	B310202102	担当教員	先崎 和子, 中村 真智子
対象	3年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	地域や職域等における健康・栄養問題を、連携・協働のもとに解決するための公衆栄養活動に、集団や地域社会の人々との連携を密にし社会の要望に即応できる管理栄養士の専門知識を身につけ、適切な指導ができること。						
受講資格				成績評価方法	小テスト 20点 ノート提出 10点 期末テスト 70点 欠席で減点		
教科書	Nブックス 四訂 公衆栄養学 建帛社 4訂版3刷発行						
参考書							
学生への要望	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークに積極的に参加すること。 ・欠席しないこと ・ノートをきちんとまとめること 						
ワイルドタイム	月 I、IIコマ 木 III、IVコマ						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	現代社会の食生活を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆栄養学実習の目指すところを説明する。 ・公衆栄養学実習の意義について示し、本授業の15回の解説と評価方法について説明する。 ・公衆栄養アセスメントのための情報源について解説する。 ・グループ編成
2	既存資料、アンケート調査などから課題抽出とアセスメント (担当: 石田)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査から集計、分析し、対象とする地域・社会集団の健康・栄養状態を把握し食物摂取状況、身体状況、生活習慣状況とのかかわりや集団特性を理解する。
3	公衆栄養 国の政策①(講義・グループ学習)	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康・栄養調査の概要、要点について ・国民健康・栄養調査結果から問題点を把握し改善点について考える ・「健康日本21」の概要、項目、数値について。健康日本21報告からわかることをまとめる
4	公衆栄養 国の政策②(講義・個別学習・グループ学習)	<ul style="list-style-type: none"> ・各都道府県の「健康日本21計画」について調べる(各自出身地)
5	公衆栄養の現状と問題点(講義・個別学習)	<ul style="list-style-type: none"> ・各ライフステージ(学童期・思春期・成人期・妊婦授乳期・高齢期)の「食と健康に関わる問題点」について理解し、改善点を考える。
6	公衆栄養プログラムについて①	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆栄養活動(公衆栄養プログラム「Plan・Do・See」)について概要・要点 ・市町村における事業について(事例や具体例をもとに)
7	公衆栄養プログラムについて②(個別学習)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の方を対象に事業計画立案(Plan・Do・Seeの流れに添い、計画書を作成する) ・媒体作成について
8	公衆栄養に関わる社会情勢、公衆栄養プログラムグループワーク①	<ul style="list-style-type: none"> ・食、栄養、公衆栄養の分野について新聞記事の収集 ・集めた記事から考えること、感想を記述し、新聞内容を要約し感想を発表する ・各自の事業計画案をもとに、グループで話し合い題材を1つ選びパンフレットを作成する
9	公衆栄養プログラムグループワーク②	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の続き、グループでパンフレット作成 ・パンフレットを完成させる
10	公衆栄養プログラムグループワーク③	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループで選んだ題材(パンフレットと同じ題材)をもとにポスターを作成する
11	公衆栄養プログラムグループワーク④	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の続き、グループでポスター作成 ・ポスターを完成させる ・発表の準備とレジュメ作成

12	公衆栄養プログラム発表会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の方々を対象とした媒体作成の発表会(ポスター、パンフレット) ・各グループのテーマ、内容(見易さ・わかりやすさ)、発表時間などを総合し、各グループの感想をノート記述 ・授業のまとめ
13	特定保健指導(講義・グループ学習)	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査、特定保健指導について解説する。 ・実践演習
14	健康危機管理について特定健康診査、	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における保健所と市町村の役割について解説する。 ・災害時における食生活(災害発生時の支援、長期的住民の方への支援)について、グループ学習をする。
15	講義・総括	<ul style="list-style-type: none"> 保健所・保健センター実習について説明する。 総括(公衆栄養学実習のまとめ)

科目名	給食管理学			講義コード	B210202004	担当教員	亀田 明美
対象	2年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	健康増進法に基づいた特定給食施設における、「栄養・食事管理」を中心に学修し、給食運営とそれにかかわる資源を総合的に判断して、栄養面、安全面、経済面全般のマネジメントを行えることを目標とする。						
受講資格				成績評価方法	授業態度 15% 提出物・小テスト25% 筆記試験 60%		
教科書	韓 順子 大中佳子著 サクセス管理栄養士講座給食経営管理論 第一出版						
参考書	鈴木久乃共著「給食経営管理論」南江堂発行 赤羽正之他著「献立作成マニュアル」医歯薬出版						
学生への要望	管理栄養士国家試験にかかわる範囲の復習をおこなうこと。						
オフィス	授業終了後						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	給食の概念①	オリエンテーション 給食の概要 給食を提供する施設と関連法規① 健康増進法における特定給食施設の位置づけについて理解する
2	給食の概念②	給食を提供する施設と関連法規② 特定給食施設における給食管理 医療施設 国家試験の過去問を解きながら解説する
3	給食の概念③	給食を提供する施設と関連法規③ 高齢者・介護福祉施設 国家試験の過去問を解きながら解説する
4	給食の概念④	給食を提供する施設と関連法規③ ・児童福祉施設 ・障害者福祉施設 ・学校 ・事業所 各施設の特性について、調べ発表する 小テスト①の実施
5	栄養・食事管理①	栄養・食事のアセスメント 給食利用者のアセスメント情報に基づいた栄養・食事管理の目標を立てる
6	栄養・食事管理②	栄養・食事の計画 食事摂取基準を活用した給与栄養目標量の設定方法について学ぶ
7	栄養・食事管理③	栄養・食事計画の実施、評価、改善 利用者の状況に応じた食事の提供とPDCAサイクル・栄養教育教材としての給食の役割について学ぶ 小テスト②の実施
8	栄養・食事管理業務の実際①	学校給食における栄養・食事管理業務の実際 事業所給食における栄養・食事管理業務の実際 課題①献立作成と試作
9	給食の品質	給食の品質の標準化、評価、改善 給食の品質管理の意義、献立や調理工程、作業工程の標準化について学ぶ
10	栄養・食事管理業務の実際②	高齢者・介護福祉施設における栄養・食事管理業務の実際 課題②献立作成と試作
11	給食の生産(調理)①	原価、食材 給食の原価、食材料の流通・購入・管理方法について学ぶ

12	給食の生産（調理）②	生産（調理）と提供 給食のオペレーション（生産とサービス）、調理工程・作業工程、 大量調理の特性について学ぶ 小テスト③の実施
13	給食の安全・衛生①	安全・衛生の意義と目的 給食施設における安全・衛生管理の意義と目的について学ぶ
14	給食の安全・衛生②	安全・衛生の実際 給食におけるHACCPシステムの運用について学ぶ 大量調理施設衛生管理マニュアル 事故・災害時対策
15	給食の施設・設備	生産（調理）施設・設備計画 食事環境の設計と設備 小テスト④の実施

科目名	調理実習Ⅱ			講義コード	B210212108	担当教員	菊池 節子, 本間 杏菜
対象	2年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①応用的な知識・技術の習得 ②管理栄養士として役立つ実践能力の養成 ③社会人基礎力（チームワーク、状況把握力、課題発見力）の養成 ④健康な生活を送るための方法ならびに豊かな感性の習得</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>調理学ならびに調理実習Ⅰで学んだ基礎的知識および技術をさらに発展させ、応用的な知識・技術を学ぶとともに、管理栄養士として役立つ実践能力を養う。</p> <p>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</p> <p>①管理栄養士に必要な知識・技術を習得できる。 ②献立作成、調理、盛り付けの一連の作業の計画・実施ができる。 ③実習を通して、社会人基礎力や感性を身に付けることができる。</p>						
受講資格	調理学、調理実習Ⅰ履修学生			成績評価方法	①授業態度 20点 ②提出物 40点 (10, 30点) ③筆記試験 30点 ④実技試験 10点 (1回欠席で2点減点)		
教科書	「新調理学実習 一般調理から大量調理その基礎と応用」宮下朋子編著 同文書院 2500円+税						
参考書	「食品成分表2014」女子栄養大学出版部 「調理のためのベーシックデータ」第4版 女子栄養大学出版部 1800円+税						
学生への要望	予習をして意欲的に取り組み、実習後は復習をしっかり行い、理解の定着を図ること。また、日頃から食に関心を持ち、積極的に調理に携わること。						
ウェブサイト	木曜V限 加工・調理実習室 またはskikuchi@koryama-kgc.ac.jpまで						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	オリエンテーション、調理実習Ⅰ試験解説	オリエンテーションとして授業の進め方について説明する。また調理実習Ⅰ期末試験の解説を通して既習内容の復習を行う。さらに献立の内容について学び、日本料理の基本である一汁三菜の配膳や調味パーセントについて理解する。
2	食事の設計（1）	まず食事摂取基準を理解し、個人、集団での目標量を把握する。その後、食品構成表ならびに献立作成法について学び、食事をどのように設計したらよいかについて学ぶ。さらに食品成分表を用いて、可食部、廃棄部、栄養価計算、ナトリウムからの食塩量への換算法などについて学び、栄養計算の実際について理解を深める。
3	日本料理（1）	季節の食材であるたけのこの扱い方、炊き込みご飯の要領、混合だしの取り方、飾り切り、上新粉の調理性について学ぶ。 *実習：たけのこご飯（参照p.39）、若竹汁（p.33）、いかときゅうりの黄身酢和え（p.82）、みたらし団子（参照p.89）
4	日本料理（2）	すし飯、焼き物、汁物、甘酢漬の要領、乾物の戻し方と戻し倍率について学ぶ。 *実習：巻き寿司（p.43）、魚の照り焼き（p.67）、菊花かぶの甘酢漬（p.85）、吉野鶏のすまし汁（p.31）
5	日本料理（3）+西洋料理（1）	あじを用いて、代表的な魚のおろし方である三枚おろしについて学び、日本料理と西洋料理に展開する。また、ブラマンジェのでんぷん濃度ならびにでんぷんの糊化について学ぶ。 *実習：あじの酢醤油かけ（p.30）、あじのフライ（参照p.131）、ブラマンジェ（p.163）
6	西洋料理（2）	蒸気圧による小麦粉の膨化、カスタードクリーム、コーヒー・紅茶の入れ方について学ぶ。また、ゼラチンの種類と扱い方・調理性について学ぶ。 *実習：シュークリーム（p.157）、ゼリー（p.161）、アイスティー（p.166）
7	食事の設計（2）	個人の3日間の食事調査の栄養価計算を行い、栄養計算の復習を行うとともに、自分の給与目標エネルギー・栄養素量の把握を行う。
8	食事の設計（3）	先週に引き続き、食事調査結果から、3日間の摂取献立の見直し、たんぱく質、脂質、糖質エネルギー比等の栄養比率の算出を行い、自分の食生活を振り返る。

9	食事の設計（４）	献立作成にあたり必要となる、乾物の戻し倍率や器に対する盛り付け量、調味パーセントについて学び、実践できる能力を養う。 献立作成：乾物の戻し方と戻し倍率、調味パーセントを考慮したグループ献立
10	食事の設計（５）	献立作成にあたり必要となる、乾物の戻し倍率や器に対する盛り付け量、調味パーセントについて学び、実践できる能力を養います。 *実習：先週作成したグループ献立の実習と発表
11	実験（１）砂糖の調理性	砂糖の加熱による変化についての実験を行い、砂糖の調理性について学ぶ。
12	日本料理（４）	麺の種類とゆで方、乾物に対するゆで上がり倍率、揚げ物の種類と天ぷらの要領、寒天の種類と扱い方・調理性、ほうじ茶の入れ方について学ぶ。 *実習：冷やしそうめん（p.49）、天ぷら（p.73）、水ようかん（p.87）、ほうじ茶（p.91）
13	中国料理（１）	中国料理の献立構成と内容、調理法、マナーについて学ぶ。また、粥の要領、白玉粉の調理性について学ぶ。 *実習：凉拌茄子（p.178）、芙蓉蟹（p.191）、乾焼明蝦（p.180）、粥（参照p.203）、蜜汁元宵（p.213）
14	日本料理（５）＋五味の識別テスト	もち米の調理性、小豆の煮方、和え物の要領について学ぶ。また、調理学実習Ⅰに引き続き五味の識別テストを行う。一年間調理学実習を行った後の、味覚の閾値の変化について学ぶ。 *実習：強飯（赤飯）（p.40）、小松菜のゆず浸し（p.78）
15	まとめ・調理実習室の整備	半期を振り返り調理学実習Ⅱで学んだ内容のより一層の定着を図る。また、実習室の整備の仕方について学ぶ。

科目名	調理実習Ⅱ			講義コード	B210222108	担当教員	菊池 節子, 本間 杏菜
対象	2年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①応用的な知識・技術の習得 ②管理栄養士として役立つ実践能力の養成 ③社会人基礎力（チームワーク、状況把握力、課題発見力）の養成 ④健康な生活を送るための方法ならびに豊かな感性の習得</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>調理学ならびに調理学実習Ⅰで学んだ基礎的知識および技術をさらに発展させ、応用的な知識・技術を学ぶとともに、管理栄養士として役立つ実践能力を養う。</p> <p>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</p> <p>①管理栄養士に必要な知識・技術を習得できる。 ②献立作成、調理、盛り付けの一連の作業の計画・実施ができる。 ③実習を通して、社会人基礎力や感性を身に付けることができる。</p>						
受講資格	調理学、調理学実習Ⅰ履修学生			成績評価方法	①授業態度 20点 ②提出物 40点 (10, 30点) ③筆記試験 30点 ④実技試験 10点 (1回欠席で2点減点)		
教科書	「新調理学実習 一般調理から大量調理その基礎と応用」宮下朋子編著 同文書院 2500円+税						
参考書	「食品成分表2014」女子栄養大学出版部 「調理のためのベーシックデータ」第4版 女子栄養大学出版部 1800円+税						
学生への要望	予習をして意欲的に取り組み、実習後は復習をしっかり行い、理解の定着を図ること。また、日頃から食に関心を持ち、積極的に調理に携わること。						
ウェブサイト	木曜V限 加工・調理実習室 またはskikuchi@koryama-kgc.ac.jpまで						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	オリエンテーション、調理学実習Ⅰ試験解説	オリエンテーションとして授業の進め方について説明する。また調理学実習Ⅰ期末試験の解説を通して既習内容の復習を行う。さらに献立の内容について学び、日本料理の基本である一汁三菜の配膳や調味パーセントについて理解する。
2	食事の設計（1）	まず食事摂取基準を理解し、個人、集団での目標量を把握する。その後、食品構成表ならびに献立作成法について学び、食事をどのように設計したらよいかについて学ぶ。さらに食品成分表を用いて、可食部、廃棄部、栄養価計算、ナトリウムからの食塩量への換算法などについて学び、栄養計算の実際について理解を深める。
3	日本料理（1）	季節の食材であるたけのこの扱い方、炊き込みご飯の要領、混合だしの取り方、飾り切り、上新粉の調理性について学ぶ。 *実習：たけのこご飯（参照p.39）、若竹汁（p.33）、いかときゅうりの黄身酢和え（p.82）、みたらし団子（参照p.89）
4	日本料理（2）	すし飯、焼き物、汁物、甘酢漬の要領、乾物の戻し方と戻し倍率について学ぶ。 *実習：巻き寿司（p.43）、魚の照り焼き（p.67）、菊花かぶの甘酢漬（p.85）、吉野鶏のすまし汁（p.31）
5	日本料理（3）+西洋料理（1）	あじを用いて、代表的な魚のおろし方である三枚おろしについて学び、日本料理と西洋料理に展開する。また、ブラマンジェのでんぷん濃度ならびにでんぷんの糊化について学ぶ。 *実習：あじの酢醤油かけ（p.30）、あじのフライ（参照p.131）、ブラマンジェ（p.163）
6	西洋料理（2）	蒸気圧による小麦粉の膨化、カスタードクリーム、コーヒー・紅茶の入れ方について学ぶ。また、ゼラチンの種類と扱い方・調理性について学ぶ。 *実習：シュークリーム（p.157）、ゼリー（p.161）、アイスティー（p.166）
7	食事の設計（2）	個人の3日間の食事調査の栄養価計算を行い、栄養計算の復習を行うとともに、自分の給与目標エネルギー・栄養素量の把握を行う。
8	食事の設計（3）	先週に引き続き、食事調査結果から、3日間の摂取献立の見直し、たんぱく質、脂質、糖質エネルギー比等の栄養比率の算出を行い、自分の食生活を振り返る。

9	食事の設計（４）	献立作成にあたり必要となる、乾物の戻し倍率や器に対する盛り付け量、調味パーセントについて学び、実践できる能力を養う。 献立作成：乾物の戻し方と戻し倍率、調味パーセントを考慮したグループ献立
10	食事の設計（５）	献立作成にあたり必要となる、乾物の戻し倍率や器に対する盛り付け量、調味パーセントについて学び、実践できる能力を養います。 *実習：先週作成したグループ献立の実習と発表
11	実験（１）砂糖の調理性	砂糖の加熱による変化についての実験を行い、砂糖の調理性について学ぶ。
12	日本料理（４）	麺の種類とゆで方、乾物に対するゆで上がり倍率、揚げ物の種類と天ぷらの要領、寒天の種類と扱い方・調理性、ほうじ茶の入れ方について学ぶ。 *実習：冷やしそうめん（p.49）、天ぷら（p.73）、水ようかん（p.87）、ほうじ茶（p.91）
13	中国料理（１）	中国料理の献立構成と内容、調理法、マナーについて学ぶ。また、粥の要領、白玉粉の調理性について学ぶ。 *実習：凉拌茄子（p.178）、芙蓉蟹（p.191）、乾焼明蝦（p.180）、粥（参照p.203）、蜜汁元宵（p.213）
14	日本料理（５）＋五味の識別テスト	もち米の調理性、小豆の煮方、和え物の要領について学ぶ。また、調理学実習Ⅰに引き続き五味の識別テストを行う。一年間調理学実習を行った後の、味覚の閾値の変化について学ぶ。 *実習：強飯（赤飯）（p.40）、小松菜のゆず浸し（p.78）
15	まとめ・調理実習室の整備	半期を振り返り調理学実習Ⅱで学んだ内容のより一層の定着を図る。また、実習室の整備の仕方について学ぶ。

科目名	給食管理実習（学内）			講義コード	B310202107	担当教員	亀田 明美, 横田 和子
対象	3年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	管理栄養士養成課程における給食管理実習は、給食管理学の講義で修得した理論を基にして、特定給食の実際を体験することにより、基礎的な知識と技術を体得する。（栄養士免許取得に係わる）						
受講資格	給食管理学が履修済みであること			成績評価方法	実習態度25%, ノート・課題提出25%, 筆記試験50%		
教科書	Plan-Do-Seeにそった給食運営・経営管理実習のてびき サクセス管理栄養士講座給食経営管理論 第一出版						
参考書	鈴木久乃共著「給食経営管理論」南江堂発行 赤羽正之他著「献立作成マニュアル」医歯薬出版						
学生への要望	責任感と共に、積極的な実践力を養う場、人格陶冶の場であることを自覚し授業に臨むこと。						
ワイルド	授業終了後						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	オリエンテーション、献立作成①	オリエンテーション 給食管理実習の概要説明及びグループ編成 献立作成の基本① 女子学生の身長体重から食事摂取基準を用いて給与栄養目標量を設定し、各自献立を作成する 事前指導：調理従事者の服装と衛生管理、厨房見学
2	厨房見学と厨房清掃、献立作成②	厨房内清掃 厨房内の設計と大量調理施設衛生管理マニュアルの運用の実際 献立作成 グループ献立を検討する 事前指導：給食施設に必要な帳票類 レシピ、作業工程表、作業動線図、発注表、検収表の作成方法
3	大量調理の実際①	大量調理の実際 レシピ、作業工程表、作業動線図に基づいた大量調理の実際 事前指導：給食施設に必要な帳票類 レシピ、作業工程表、作業動線図、発注表、検収表の作成
4	大量調理の実際②	大量調理の実際 レシピ、作業工程表、作業動線図に基づいた大量調理の実際 事前指導：給食の原価 給食における収入と原価・売上
5	給食の生産（調理）、献立作成③	大量調理の特性、施設・設備能力と生産性を踏まえ、グループ献立の再検討 学内給食試作に向けて帳票類を作成する
6	学内給食の試作①	グループ献立をレシピ、工程表、動線図に基づき試作し献立を再検討する。 事前学習：特定給食施設の特徴① 学校給食の献立作成
7	学内給食の試作②	グループ献立をレシピ、工程表、動線図に基づき試作し献立を再検討する。 事前学習：栄養教育教材としての給食の役割、適切な食品・料理選択のための情報提供 栄養媒体作成について、嗜好調査
8	学内給食の実施①	給食（100食）の生産とサービス 事前指導：特定給食施設の特徴② 保育所給食の献立作成
9	学内給食の実施②	給食（100食）の生産とサービス 事前指導：もみじ会に向けた献立の検討

10	学内給食の実施③	給食（100食）の生産とサービス 事前指導：新調理システムについて
11	もみじ会の向けた献立の検討	グループでもみじ会に向けた献立の検討
12	学内給食の実施④	給食（100食）の生産とサービス 事前指導：特定給食施設の特徴③ 事業所給食の献立作成
13	学内給食の実施⑤	給食（100食）の生産とサービス 事前指導：もみじ会試作に向けた帳票作成と試作の準備
14	もみじ会に向けた試作①	もみじ会に向けたグループ献立を試作し、実施献立を決定する。 事前指導：もみじ会試作に向けてレシピ、作業工程表、作業動線図、発注表、検収表の作成帳票作成と試作の準備
15	もみじ会に向けた試作②、まとめ・反省	もみじ会で提供する献立の試作 事前指導：まとめ・反省

科目名	特別演習 I			講義コード	B310202003	担当教員	関口 晋, 藤本 健四郎, 広井 勝, 郡司 尚子, 紺野 信弘, 鎌野 信子, 菊池 節子, 源川 博久
対象	3 年	開講期	通年	必・選	選択	単位数	2
授業目標	国家試験に向けた取り組みとして、「食物と健康」「人体の構造と機能および疾病の成り立ち」と「基礎栄養学」の3分野を扱う。 この授業は、上記3分野について、国家試験レベルの問題で6割以上の正答率を達成できるような理解力を身に付けることを目標とする。 前期後期の終了後には、それぞれ本授業に関する定期試験が行われ、理解力の判定がなされる。						
受講資格				成績評価方法	出席および定期試験結果		
教科書							
参考書							
学生への要望	1・2年次の授業内容等は、もう忘れかかっていることもあると思います。また、3年次の授業内容等についても、置き去りにしてしまっている部分もあるかもしれません。これらの授業分野には国家試験の出題内容も多く含まれています。そんな分野について、3年生のうちに学習しておけば、4年生になってからの国家試験取り組みも円滑になります。 あとあと苦しまないためにも、3年生で基礎力を高めておきましょう！ 定期試験で合格できるだけの理解力を身に付け、卒業をみずえて順調な学生生活が送れるようがんばってください！						
ウェブサイト							

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	糖質の代謝	国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 関口 晋)
2	アミノ酸・タンパク質の代謝	国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 関口 晋)
3	脂質の代謝	国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 関口 晋)
4	酵素・エネルギー代謝・代謝調節	国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 関口 晋)
5	細胞と核酸	国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 関口 晋)
6	第28回管理栄養士国家試験問題の解説	食物と健康分野の食品学に関連した問題の解説を行い、試験問題の傾向を分析する。(担当 広井勝)
7	食品の1次機能成分について	食品の水分、炭水化物(食物繊維含む)、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラルなどについて重要事項の復習を行う。(担当 広井勝)
8	食品の2次機能成分ならびに成分変化	食品の色、味、香の成分について復習する。また、食品の成分変化についても解説する。(担当 広井勝)
9	植物性食品について	穀類、いも類、豆類、野菜、果物、海藻、キノコ類の成分について復習する。(担当 広井勝、郡司尚子)
10	動物性食品について	魚介類、肉類、乳類、卵類などの成分について復習する。(担当 広井勝、郡司尚子)
11	調理と嗜好性(調理学)	嗜好性の要因と評価、おいしさの評価方法について、国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 菊池節子・善方美千子)
12	調理操作(調理学)	調味操作、非加熱調理操作、加熱調理操作について、国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 菊池節子・善方美千子)
13	エネルギー源および調理器具(調理学)	主に電磁調理器、電子レンジについて、国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 菊池節子・善方美千子)

14	食品の調理科学 (1) (調理学)	植物性食品、動物性食品、成分抽出素材について、国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 菊池節子・善方美千子)
15	食品の調理科学 (2) (調理学)	植物性食品、動物性食品、成分抽出素材について、国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 菊池節子・善方美千子)
16	後期ガイダンス	後期の流れを説明し、合わせて、国家試験対策全体の説明をおこなう。(担当 石田智宏)
17	給食経営管理論	今年出題された国家試験の問題について復習をおこなう。範囲：品質管理、給食のシステム、人的資源、マーケティング、損益分岐点、社員教育(担当 石田智宏)
18	給食経営管理論	国家試験以外の模擬試験に出題された頻出問題の復習をおこなう。範囲：原価計算、経営資源、経営組織(担当 石田智宏)
19	公衆栄養学	わが国における栄養政策「栄養士・管理栄養士制度」「国民健康・栄養調査」「食生活指針」「健康日本21」「日本人の所持摂取基準」について理解をし、今年度の問題の傾向と重要な項目について説明を行う。(担当 先崎和子)
20	公衆栄養学	国家試験問題でよく出題される「栄養士法」「健康増進法」「地域保健法」について理解を深め、過去問から傾向を解説する(担当 先崎和子)
21	社会・環境と健康「公衆衛生学」	統計の基礎(正規分布、相関、統計的推定、t検定、カイ二乗検定)とスクリーニングについて説明と解説を行う。(担当 諸岡信久)
22	発育期の栄養(栄養学各論Ⅲ)	発育期(幼児期、学童期、思春期)について、国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 菊池節子)
23	成人期、更年期の栄養(栄養学各論Ⅲ)	成人期、更年期について、国家試験の過去問を中心に、出題傾向と理解すべき事項を確認する。(担当 菊池節子)
24	社会・環境と健康「社会福祉・介護」	母子保健、学校保健、高齢者保健、産業保健などを通して、日本の社会福祉・介護、医療制度について整理し、関連法規との関係性を明らかにする。(担当 橋爪敏)
25	社会・環境と健康「食品衛生学」	管理栄養士国家試験において食中毒は毎年必ず出題されている。細菌性食中毒の特徴について整理し理解する。(担当 影山志保)
26	社会・環境と健康「食品衛生学」	動物性自然毒(魚介毒や貝毒)および植物性自然毒について整理し理解する。(担当 影山志保)
27	食べ物と健康 の国家試験過去問題の演習(その1)	頻繁に出題されている分野を重点的に取り上げ、国試過去問について周辺領域についても触れながら解説する。(担当 鞆野信子)
28	食べ物と健康 の国家試験過去問題の演習(その2)	頻繁に出題されている分野を重点的に取り上げ、国試過去問について周辺領域についても触れながら解説する。(担当 鞆野信子)
29	食べ物と健康 の国家試験過去問題の演習(その3)	頻繁に出題されている分野を重点的に取り上げ、国試過去問について周辺領域についても触れながら解説する。(担当 鞆野信子)

科目名	家政学原論 I			講義コード	B210972009	担当教員	石堂 常世
対象	2 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>家政学原論 (Principles Home Economics) は、家政学の研究分野のうちもっとも基礎となる領域です。家政学とは、「家庭生活を中心とした人間生活における人と環境の相互作用について、人的・物的両面から、自然・社会・人文の諸科学を基盤として研究し、生活の向上とともに人類の福祉に貢献する実践的総合科学である」(日本家政学会 1984年)と定義されています。</p> <p>このような家政学の科学としてのあり方を研究し、「家政学とは何か」を明らかにするのが家政学原論の役割です。「原論」とは、一般的に、ある科学の本質・根本原理 (Principles) をいい、ときにはその学問の哲学 (Philosophy) を意味します。</p> <p>生活を扱う科学は他にも多くありますが、家政学の独自性は、人間生活を環境との関わりでホリスティック (全方的) な視点で総合的に捉えることと、生活上の課題に対して解決策を提案することにその特色があります。本授業では、家政学入門の意味合いも大切にして、このような家政学への誘いをし、専門的研究の道づけをしていきます。他の観点から、家政学原論は、「学問論」、「人間論」、「生活論」の3つの柱で構成される、ともいわれられています。</p> <p>「学問論」では、家政学の定義 (目的・対象・方法・独自性・体系) や家政学史、社会的役割などを取扱います。「人間論」では、生活を営む主体としての人間をどのようにとらえたらよいか、人間の価値観や行動様式をもとに「生活者」としての人間のあり方について研究します。</p> <p>「生活論」では、家庭生活を中心とした生活の概念・機能、生活史などをテーマとすることによって、生活のあり方や「質の高い生活」の意味を探求することをめざします。</p> <p>以上の3面を土台として、家政学原論では、家政史 (家政学の歴史) や主要国における家政学の起源と発展と実態を学ぶ比較家政学を含め、まず家政学の研究の目的・対象、研究の原理を学ぶことと、次いで家政学の理論を学びます。こうした学びの上に、家庭生活においてもっとも基本的な子育てという機能のあり方、さらには人間形成における家庭の役目を、今日的な社会変化を把握しながら究明することが重要になっています。後者においては、まず、家庭生活や家事統括の歴史的推移の把握を的確に行える能力を養い、次いで、調和のとれた家庭生活の原理の考察ならびに家庭をめぐる今日的崩壊現象を究明し、最後に、家庭や親子関係の中核を占める「いえ (家)」の意義について、認識を新たにしていきます。</p> <p>授業の総括テーマを、「時代変化の中で家政学の意義を再認識する」とします。</p> <p>評価項目は、以下の通りです。</p> <p>①家政学の発祥と展開について、とくに日本に関して、先駆的人物の時代との葛藤の苦労や活躍も含めてよく理解できたか。</p> <p>②今日の家庭生活の変貌を、利便性と効率の横行する社会的変化との関わりの中で見つめ直し、衣・食・住・子育てのあり方の角度から日常生活を顧みて、真の豊かさとは何かについて見解を深めることができたか。</p> <p>③家政学が扱うさまざまな領域を見つめ直し、それら各領域ごとに現れてきている今日的諸課題に気づき、あるべき家庭とその管理維持について主体的・発展的取り組みの必要性に気づいたか。</p>						
受講資格	家政学部人間生活学科生活総合コース 2年 家政学部人間生活学科福祉コース 2年 家政学部人間生活学科建築デザインコース 2年 家政学部食物栄養学科2年		成績評価方法	15回の授業において、小レポートを2~3回とり、最終回に筆記試験を課す。 筆記試験は80%、レポートは20%の配点で、さらに、授業態度が特段に熱心で積極的であった場合には合計点に加算し、反対に欠席が多かったり隣人のおしゃべりなど授業態度に問題があった場合は合計点から減点する。			
教科書	原則として毎回、その日の授業に関わるレジュメを配布するやり方をとる。						
参考書	授業中に参考書や資料名を挙げる。中には絶版の資料や書籍もあるが、簡単に購入可能な場合には、購入を勧める場合もある。現時点で、関口富左編著『人間守護の家政学』家政教育社、1999を挙げておく。						
学生への要望	<p>授業は暗記ではなく考察であって、調べて考えていく力を養う場である。したがって、課題が出れば、図書館やインターネット等で調べをなし、さらには新聞を熟読して常に今日的課題についての知識を新たにしていくことが求められる。</p> <p>家政学という学問を通して、人智への練磨を自らに習慣づけていくことができるよう、自主的に楽しく考察を深めていって欲しい。</p> <p>授業態度については学生としての本分を貫き、飲食等の行為、隣人のおしゃべり、所有物のいじくり行為などから心身を離し、講義の内容に集中することが肝要である。</p>						
オフィス	前期は、火曜の4時限、木曜の1~2時限とする。それ以外でも、受け入れは可能であるが、但し、メールで確認のاپをとること。 ishidoh@koryama-kgc.ac.jp 場所は、創学館5階の左奥、副学長室						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	はじめに 家政学への接近	<p>ガイダンス 本授業の構成、授業の進め方、その他の説明、同時に受講生の確認</p> <p>導入 家庭生活の機能と家事概念、子供の成長・人格形成の場についての考察</p>

2	家政学入門1 家政学の構造と内容	<p>学説 - 家政学の定義、学説に関する研究。および研究目的、研究対象など</p> <p>思想 - 家政学の思想に関する研究</p> <p>研究方法 - 家政学の研究方法についての研究、家政学方法論</p> <p>国際家政学 - 国際的な家政学についての研究、これを比較家政学と称す</p> <p>家政学史 - 家政学の世界的歴史、国別歴史、日本における家政学の歴史についての研究（家政史という）。</p> <p>その他の家政学原論の項目 - 上記に含まれない家政学原論の内容。</p>
3	家政学入門2 歴史的考察（1）	<p>ヨーロッパ近世～近代社会における「家政」の意味</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性における家政の責任 資料解読による実例の研究
4	家政学入門3 歴史的考察（2）	<p>日本における家政の歴史的位置づけと特色</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「家訓」の考察 ②「女大学」の考察 ③山川菊枝の『武家の女性』『日本の民主化と女性』
5	家政学入門4 歴史的考察（3）	<p>明治期から昭和前期における家政学の進展（1）</p> <p>家政学の樹立に寄与した女流教育者たちをさぐる</p> <p>女子教育を通しての新しい家庭観・家事の科学、家政学の誕生</p> <p>時代変化の中で模索した女性の新しい教養とは</p> <p>堀越千代（和裁、被服）</p> <p>下田歌子（新時代における女性の教養から生活の改善を）</p> <p>大妻コタカ（手芸、裁縫、母性の涵養）</p>
6	家政学入門5 歴史的考察（4）	<p>明治期から昭和期における家政学の出現と進展（2）</p> <p>大江スミ（社会の基礎としての家庭生活の意義、英国流の実学的家政学、技術と徳性）</p> <p>羽仁もと子（賢く合理的な家政、家庭経営の原理、聖書に基づいた人生観と女性の生き方）</p> <p>付言：本学創学者、関口富左に息づく羽仁もと子の精神</p>
7	学校教育制度史の中での家政学の進展	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の学校制度の考察：江戸期～明治期～昭和前期～戦後の学制の流れにみる女子・女性の位置 ・女子、女性の教育を受ける権利の保障と家政学の位置 ・戦後の学制改革の中の家政学の新生 アメリカのホームエコノミクス教育の影響 職業教育の一端としての解釈 「家庭」に関する学科としての家庭科教育
8	家庭生活の国際比較と家政学	<p>儒教を伝統にもつ国の家政学と、西洋諸国の違い</p> <p>主要国の事例研究：伝統と変革の葛藤</p>
9	社会変化と家庭の変化は家政学にどう影響したか	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の社会進出と家政の概念変化 ・家族構成の変化と家政の位置 ・合理的な生活様式の波及と家事の変化 ・親と子の関係の変化 ①母親と子の変化、②父親の在り方の変化、父権の失墜
10	調べ作業：社会変化と家庭の機能	<p>厳格性・自由放任・大人にしていく、個性を育てることの教育的意味</p> <p>今日の社会と青少年問題</p> <p>→家庭生活の変化と問題点をさぐる。→何が欠落してきたのか</p> <p>手法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『子ども年鑑』など、統計資料を用いての考察 ・新聞記事から家庭の問題をさぐる。
11	「現代」という時代は家庭生活にどのような変化をもたらしたか	<p>科学技術の高度発展と物質文明の洪水の中で「生きる」ということ</p> <p>→衣・食・住・子育てがどう変わってきたか</p> <p>各自が、上記それぞれの領域における具体的な問題点を提起し、健全な家政の難しさを認識する。</p> <p>事例：「食育」と言う言葉はなぜ生まれ、なぜ法律（食育基本法）まで制定されたか。</p>

12	課題探究：衣・食・住・子育てがどう変わってきたか	生産者から消費者への変貌：利便性と創出の文化の葛藤 <ul style="list-style-type: none"> ・食物の生産、食物の調理 ・コンビニの発達は生活者に何を提起するか ・ベビーシッター事件から考える今日の子育て問題
13	子どもを巡る家庭の問題を洗う	統計資料と関連論文から学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・虐待と犠牲になる子どもたち ・崩壊した家庭と子ども ・非行に走る子どもの背景 家庭の役割を再考する。
14	学びに値する家事管理と子育ての研究	成長した子どもたちはどのような親の育て方を評価し感謝しているか 大学生たちの作文にさぐる家庭生活の本質 日常生活に展開する親の役目の重要性 →家政学への示唆
15	結論 実践的総合科学としての家政学の位相	家政学は、もはや家庭内テーマ学習ではない。 人間はいかに生きるかを学ぶ家政学→学際学としての生活総合科学 <ul style="list-style-type: none"> ・住環境を心身の健康面から構成する「人と空間」のあり方 ・地球の問題に開かれた食生活の改善と救援活動 ・子育てを地域社会で共に見ていく相互扶助のコミュニティーづくり ・社会の動向に流されない生活観の確立 興味ある分野、自負できる分野、将来に生かすことのできる分野を見つけて考察を深めよう。

科目名	生活経済学			講義コード	B310972008	担当教員	石田 智宏
対象	3年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>■現代の労働問題、食料問題、環境問題、コミュニティ問題などについて、厚生経済学および社会政策学の考え方を基礎に、「人間の生活保障」という観点から評価検討する。</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕</p> <p>■資料にもとづき、こんにちの生活経済にかかわる問題の本質を、主として市場との関連をベースに、経済学的な観点から考えていく。</p> <p>■おもなテーマ①市場と競争の問題点、経済格差 ②グローバル経済と食料、地球環境の関係性 ③地域と生活経済、コミュニティの福祉効果</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕</p> <p>■システムとしては効率的である市場経済が、現代の人間生活にさまざまな問題を招く存在でもあることを理解する。短期的な市場原理と単純な競争原理に依存せず、長期的な社会厚生水準を尺度として、日常生活を守護するシステムを整備することが重要であると認識する。</p> <p>■個人的富以外のウェルフェア（幸せ、例えば 公正、安心、環境、コミュニティなど）の存在と重要性について認識する。</p> <p>【履修カルテの評価項目】</p> <p>①現代社会・現代経済に対して、自分の価値観を通して評価することができたか</p> <p>②よい社会とは何か、という問いに対して積極的に考えることができたか</p> <p>③みずからの考え方を展開し、授業内で説明することが出来たか。</p>						
受講資格	とくになし			成績評価方法	発言50点、レポート50点、合計100点		
教科書	教員がプリントを配布する						
参考書	参考書：『生活経済論』（2002）、馬場紀子他、有斐閣アルマ、等						
学生への要望	積極的に発言してください。						
オフィス時間	月・火・木・金の13:00～16:30に経営研究室に来て下さい						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	生活経済学のテーマ	本講座のもつ生活空間の認識と「吟味」について説明する。 本講座の提供する社会科学的「視点」について概説する。
2	生活と幸せ論	公平および公正の問題は、多数の幸せを考えるための大きなテーマである。 公平・公正に関して、その意味するところと、経済的含意を吟味する。
3	生活と発展論	望ましい発展には、何が含まれるのか。教育 同時に倫理、哲学、文学、文化、宗教のそれぞれの経済的含意について吟味する。
4	生活と不確実論	人生は本質的に不確実性をともなう。 経済学における不確実の理論と内容に応じて、安定した生活の経済学的含意を吟味する。
5	生活と善悪論	社会は、人とルールをともなって初めて社会たりうる。 道徳とルールの関係、善・悪の価値判断の経済学的含意について考え、よい社会の合意形成を吟味する。
6	生活と厚生経済論	規模の経済は、本当に人間の生活充足にとって合理的なのか。 人間の厚生を決定する社会的要素を、厚生経済学の三命題を手がかりに考える。
7	前半のまとめ	人間の行動特性は安定を志向すること（行動経済学）、また、それにしがたい社会にもさまざまな均衡状態が生じていることを明らかにする。
8	生活と自由・希望論（2回シリーズ）	人間の生活にとって、自由の意味するところは何か。 まず反対の、制限の意味するところをとらえ、積極性について言及する。
9	生活と自由・希望論（2回シリーズ）	人間の生活にとって、希望の意味するところは何か。 まず反対の、絶望の意味するところをとらえ、明るさについて言及する。

10	論理問題 経済・社会・商品	経済効果とブランディング 地域おこしとキャラクターについて
11	環境政策	環境効率を高めるために、政府は環境政策をおこなう。生産効率でなく環境重視の概念が重要となっている。 ▼環境革命—循環型社会へ (23min.) 環境政策、循環型社会
12	コミュニティ経済論	中小の小売商店が激減している。買い物機会の拡大の一方、大型店のデメリットが訴えられている。 ▼わが町の個性を守りたい (22min.) 大型店舗のメリット・デメリット
13	コンパクトシティ	郊外型の都市開発の問題点が明らかになってきた。バリアフリーでエコロジーなまちづくりが始まっている。 ▼コンパクトシティ (25min.) アワニー原則、コンパクトシティ
14	福祉社会・ノンプロフィット経済	利益ではない相互扶助のための経済行為がある。ゆたかな生活には、人のつながりから得るものが必要となる。 ▼ご近所の底力「絵はがきがつなぐ夏」 (43min.) ノンプロフィット経済、福祉社会
15	講座のまとめとフィードバック	講座全体に関する総括と質疑応答をおこなう。

科目名	生活経営学 I			講義コード	B210972003	担当教員	深谷 笑子, 大泉 由美
対象	2 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>『人間守護』(人間を護る)の理念に基づき、人と物の関わりにおいて、人間を中心とし、人間の生活を守り、一層向上させるため様々な分野の学問研究をも駆使し、健全な生活を築くために多面的に考え方を展開させるものです。</p> <p>『人間守護』の理念に基づく家庭(内部空間)と社会(外部空間)の調和ある生活は、価値観の多様化傾向が時間の経過と共に広がる現代社会には不可欠な課題です。そこで、経営の基本的要因である『人・物・財貨(金)・時間』を中心に内部・外部の両空間の調和ある望ましい生活経営の在り方を考えます。</p> <p>【履修カルテ】</p> <p>①内部空間と外部空間が密接不利であることが理解できたか。</p> <p>②私たちは、組織の中にいることが理解できたか。</p> <p>③家庭経済の仕組みが理解できたか。</p>						
受講資格	人間生活学科・食物栄養学科2年以上		成績評価方法	テスト(60)レポート等提出物(20)発表(20)出席状況・授業態度により減点			
教科書	教科書はありません。参考書として『新しい生活経営学』関口富左・関口修共著 家政教育社出版、『家政 哲学』関口富左著 家政教育社、『組織の中の人間行動』三村敏子ほか著 有斐閣、『家族・保育・家政科 福祉情報専攻・経済』石川 実編 家政教育社、『人間と空間』O・F ポルノー著 大塚恵一ほか訳 せりか書房 等々。						
参考書	上記、教科書の欄を参照して下さい。 関口富左 編著の参考文献は、図書館にあります。その他の参考文献は、担当者のところでいつでも貸し出しをいたします。						
学生への要望	<p>毎時間、学生2名がインターネット、または新聞等で[今日のニュース]を生活とのかかわりで発表する。そこから生活の中で何故ニュースが重要なのかを考える。また、内部空間と外部空間が密接不利な関係になっているかを理解する。</p> <p>発表するときは、よく聞こえるように、分かりやすく発表する。聞く側も、耳を傾けて聞きましょう。</p> <p>多くの生活体験をすること。</p>						
ウェブサイト	月曜日 8:30~12:00						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	オリエンテーション	<p>授業の進め方、パソコンの活用の仕方、パソコンの使用程度等のアンケート調査。パソコンを有効に活用しながら今後の授業の進め方について話します。毎回、「本日のニュース」をとり上げ、生活とのかかわりの中で話します。また、学生は毎回、2名ぐらいずつ当日の朝、新聞やTVのニュースを見て、生活とのかかわりで発表する。</p>
2	人間の生活する空間について	<p>本日のニュースの発表。</p> <p>人間が生活するためには家庭(内部空間)と社会(外部空間)は密接不離な関係にあります。両者の関係が如何に重要な関係にあるかを構造的に基本テーマとして学ぶ。これを中心的概念として生活経営学の授業が一年間展開されます。</p>
3	組織体について その1	<p>本日のニュースの発表。</p> <p>人間が社会生活を行うことは現代社会に於いては、組織体を形成して様々な活動が行われますが、その組織体とはどのようなものであるかを知ることは、社会生活を知る基礎的な課題であるので、組織体とは何かということについて歴史的経過を踏まえつつ学習します。</p> <p>※組織とは何かについて学生は予め調べておきましょう。</p>
4	組織体について その2	<p>本日のニュースの発表。</p> <p>現代社会の組織体は、組織体の目的が多様であることから、様々な組織体が存在するが、基本的考え方は全て同じです。組織体の管理・運営はどのように行われているのかを知り、その基本的な要因を内部空間の健全なる発展に活用することを前提として、組織体の管理・運営を学ぶが、併せて外部空間の組織的構成についてもその意義を考えます。具体的に、企業の目標を達成するために組織各部署の役割を理解し、家庭の目的とどのように異なっているかを理解します。学生は、一般会社、学校等の組織を調べ、組織図を書いてみましょう。</p>

5	理解度確認	<p>本日のニュースの発表。 前回に引き続き、組織体の管理・運営の方法を具体的に学習し、生活への活用について一層理解を深めるものです。 ※これ迄学習した内容について授業の終わりに簡単なレポートの提出をしていただきます。課題は、本授業でお知らせします。</p>
6	計画について	<p>本日のニュースの発表。 私たち人間は、日々の生活を何らかの計画(予定)に基づいて行動していますが、具体的な計画の内容についてはあまり知らないで過ごしてきています。計画とは何かを具体的に知ることは内部空間の安定確保と更なる発展を図るためにも不可欠な課題です。ここでは計画の基本的な内容(意義)について学習します。計画の中には長期計画と短期計画があることを学び、また計画と予定の意味をも理解します。</p>
7	計画の限界について	<p>本日のニュースの発表。 前回に引き続き、計画について学習しますが、ここでは計画の限界を知り、如何にして計画を是正するかを考えると共に計画を内部空間の管理・運営に如何に活用するかについても学習します。特に、今日の社会においては、自然災害等により、絶対に起こらないということがなくなり、何を信じてよいか分からない。このような状況の中では、計画をしても限界があるので、そんなときに、情報を多く持っていることが大切であることも理解しましょう。</p>
8	統制について	<p>本日のニュースの発表。 人間は常に何らかの自己統制(管理)を行い周囲の人々との調和を図りつつ生活していますが、組織体の健全な運営のためには意識的(規則・規程)に統制(管理)を行わなければなりません。内部空間にあっても理性的な自己規制をはじめとして色々な約束事(規則・規程)があります。人間が集団化し何らかの行為を行うには統制を図らねばなりません。そこで、統制とはなにかと云うことについて基礎的な知識を理解し活用出来るようにしましょう。</p>
9	理解度確認	<p>本日のニュースの発表。 これまで学習した基礎的な内容を更に深めるため、経営の要因である人・物・財貨・時間について統制の在り方を項目別及び、それらを総合的に学習します。 ※ここ迄の学習の理解度を承知するためレポートの提出を求めます。</p>
10	指導について、リーダーシップについて	<p>本日のニュースの発表。 人間が生まれ育つ過程では常に何らかの指導が行われています。即ち、家庭教育や学校教育・社会教育が例示されますが、外部空間の組織体にあっても組織体の目的を達成するため指導(教育)は重要な課題です。そこで私達の生活に必要な指導とは、どのような事なのかを基礎的に学習します。リーダーシップは外部空間の組織体ばかりでなくあらゆる生活において大切な事柄です。ここでは、リーダーシップとは何かと云うことを学びます。そして、もっとも身近な家庭のリーダーシップ、地域社会のリーダーシップについて考えます。また、リーダーの成立、リーダーの資質、リーダーの影響力等多様な価値観が増幅される現代社会での指導的役割を果たすリーダーの重要性について考えます。 ※内容について簡単な理解度テストを行います。</p>
11	人間と時間、生活と時間について	<p>本日のニュースの発表。 私たちにとって、時間は何物にもかえがたいほどの関わりがありますが、それにもかかわらず重要視されていないのは何故でしょうか。そこで、人間と時間、生活と時間について学びます。</p>
12	家庭経済について	<p>本日のニュースの発表。 家計は、一般には単に「1世帯の生活にかかわる収入と支出」を意味するものと考えられています。しかし、その収入を得ることと支出を行うことは1つの経済単位であることも考えられます。そこで家庭経済の仕組みとして家計、家庭経済及び国民経済について学びます。家計を、企業とのかかわりで見ることや、政府とのかかわりで見たりして家計をいろいろな角度からとらえてみましょう。</p>
13	家計の構造について	<p>本日のニュースの発表。 家計の構造を収入、支出、収支のバランスについて学びます。収入の内訳は、総務省の『家計調査』によれば、実収入、実収入以外の収入、繰入金金の3つに分類されること、また支出は実支出、実支出、実支出以外の支出に分類されることを学びます。</p>
14	家計簿のつけ方	<p>本日のニュースの発表。 親から離れている学生、親元から通学している学生が、それぞれ自分が生活するために、どれだけの支出をしているかを記載することで把握できるので、家計簿のつけ方を学びながら具体的にお金の管理を学びます。</p>

本日のニュースの発表。
消費生活の現状と課題。経済の高度成長と大量消費生活、「消費者」の登場と消費者保護、消費のサービス化と情報革命等について学び、生活者としてよりよい生活の在り方を学びます。

科目名	栄養教諭論 I			講義コード	B210202001	担当教員	菊池 節子, 泉 政子
対象	2 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①栄養教諭の使命や職務内容を理解する。 ②教育に関する専門性および栄養に関する専門性を習得する。 ③児童・生徒を取り巻く現状を把握し、問題点を見つける。 ④児童・生徒の健全な食習慣確立と心身の健康の保持増進のために必要な教育を行うための知識や技術を習得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>栄養教諭の使命や職務内容の重要性を理解し、教育に関する専門性および栄養に関する専門性を身に付けるとともに、児童・生徒を取り巻く課題を踏まえ、児童・生徒の健全な食習慣確立と心身の健康の保持増進のために必要な教育を行うための知識や技術を習得することを目的とする。 (泉、菊池が同時に担当)</p> <p>【履修カルテの評価項目(到達目標)】</p> <p>①栄養教諭の職務内容と位置づけ、期待される役割について理解できたか。 ②子どもの体位体格を知り、食生活の大切さを考えることができたか。 ③食に関する指導の全体計画について理解できたか。</p>						
受講資格	食物栄養学科 2 年			成績評価方法	①筆記試験 50点 ②レポート・発表 30点 ③授業態度 20点		
教科書	なし						
参考書	食に関する指導の手引 ー第一次改定版ー 文部科学省 東山書房						
学生への要望	日頃から食育に関心を持ち、子どもの食生活や食習慣の現状とその問題点に関する情報収集を行うこと。						
オフィス	月曜 II 限終了後 No.1調理学研究室						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	栄養教諭の制度と役割①	学校栄養職員の歴史と栄養教諭制度創設までの経緯について理解する。
2	栄養教諭の制度と役割②	栄養教諭の職務が食に関する指導と給食の管理であることを理解し、栄養教諭に期待される役割について理解する。
3	学校給食の意義と役割	学校給食の歴史を振り返り、学校給食の教育的な意義と役割、栄養教諭の学校における位置づけ等について理解する。
4	食文化の変遷と学校教育①	学校給食の食事内容の推移、食器具も含めた食事環境の変化を通して、日本人の食生活と学校給食のかかわりについて理解する。
5	食文化の変遷と学校教育②	米飯給食から始まったといわれる郷土食や地場産物の活用と、学校給食の食文化の変遷について理解する。
6	子どもの発達と食生活	現在の児童・生徒の体位、体力、健康状態、栄養素摂取の状況、食生活の実態、さらに不登校や摂食障害など心の健康問題について理解し、それらを正しく説明できる知識を習得する。併せて、他職種と協力しての栄養教諭の対応について考える。
7	「食に関する指導」の全体計画①	食に関する指導は、学校教育や学校給食の目標、児童・生徒の実態を把握し、さらに食に関する指導目標や学校給食管理の基本方針を踏まえたうえで、全体的な計画を立案してすすめられていることを理解する。
8	「食に関する指導」の全体計画②	食に関する指導は、給食の時間をはじめとして、関連教科などに幅広くかかわるものであるため、指導の計画と給食管理との有機的連携を図った食に関する指導の年間指導計画が作成されていることを理解する。
9	「食に関する指導」の全体計画③	特別支援学校にはさまざまな障害を持つ児童・生徒がおり、その障害の重度や対象年齢も幅広い。そこで、特別支援学校における食に関する指導は、全体指導から個人指導と、きめ細やかな指導が必要であることを理解する。
10	「食に関する指導」の全体計画④	学校給食年間指導計画の一例から、食に関する指導は学校の教育活動全体を通して行われていること、さらには、学校以外の家庭や地域社会と連携していることを理解する。

11	「食に関する指導」の全体計画⑤	栄養教諭の特性を生かした年間指導計画の作成方法、実施後の評価方法ならびに評価結果の次年度への反映方法等を習得する。
12	「食に関する指導」の展開①	食に関する指導を行うにあたっては、その効果をあげるために、子どもや家庭の実態、学校や地域の様子などについて十分に把握しておく必要がある。そこで、子どもの実態に応じて指導するためのカリキュラム作成方法について理解する。
13	「食に関する指導」の展開②	食に関する指導を行う際の、教科や特別活動と絡めた具体的な指導計画の作成方法について理解する。
14	「食に関する指導」の展開③	食に関する指導のさまざまな実践と、それに対する成果および評価のあり方について理解する。
15	まとめ	半期を振り返り、栄養教諭論 I で学んだ内容のより一層の定着を図る。

科目名	教職論			講義コード	B210973027	担当教員	山本 裕詞
対象	2年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	教職の意義や役割、具体的な職務内容等についての理解を深め、さらには、社会的使命についての認識を通して、教職を目指す者としての意欲を高めることを目指す。 (履修カルテの評価項目) ①学校教育の機能とその制度的基盤について、どの程度理解できたか。 ②教師の教育活動と教師に望まれる資質について理解するとともに、教職を目指す意欲を高めることができたか。 ③現代教育の課題については、学習権を保障するにあたっての具体的課題を中心に、どの程度理解することができたか。						
受講資格	卒業年度に教員採用試験の受験を予定している者で、教職に就くことを希望している者。			成績評価方法	①定期試験50%、レポートと小テスト50%の割合で総合評価し、60点以上の者を合格とする。 ②レポートや小テストを提出しない者は、定期試験の受験資格を失う。		
教科書	使用しないが、最新の教育小六法を用意すること。また、授業中に適宜プリント等を配布する。 『教育小六法2014』学陽書房、 『必修学校小六法2015』協同出版など						
参考書	窪田眞二・小川友次著『平成26年度教育法規便覧』学陽書房(2014) 土屋基規編『現代教育制度論』ミネルヴァ書房(2011) 教職問題研究会編『教職論〈第2版〉—教員を志すひとへ—』ミネルヴァ書房(2009) 教職課程研究会『教職必修新教職論 改訂版』実教(2009)						
学生への要望	教育を受ける立場から、教育を行う立場に変わることを意識した主体的な学びを心がけて欲しい。						
ワスタム	特定しないが、授業終了後の他、通常は教務事務室にいますので、必要に応じて声をかけて欲しい。質問等に対応する。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	オリエンテーション	・年間計画の解説および評価方法の案内。 ・二つの教育モデルから教師のあり方を考察する。
2	学校教育の機能 1	○学校教育の目的 〈1〉学校の種類 〈2〉学校の設置者 〈3〉教育行政と学校管理
3	学校教育の機能 2	学校教育の目的を、日本国憲法を頂点とする教育関連法令の内容に注目して理解を深める。
4	学校教育の機能 3	学校教育の制度基盤を、「中央教育行政」と「地方教育行政」に分けて学び、その全体像を把握する。
5	教職員とその職務1	教職員の名称と定義、資格、職務内容等について規定を確認し、その性格について考察する。
6	教職員とその職務2	教職員の身分と義務・研修等についての諸規定を学び、公務員法制における教育公務員の意義について理解を深める。
7	教職員とその職務3	教員の労働基本権と政治的活動の制限の関係について、その法令制定経緯とそれに係わる諸議論を学び、考察を深める。
8	教職員とその職務4	学校経営概念とその広がりについて学び、そこに一般的な校務分掌のあり方を位置付けながら、職務内容についての具体的理解を深める。また、学校への役割期待の拡大に伴って増加している教師のバーン・アウトについても考察する。
9	教員の資質と使命1	戦前・戦中の教員養成史にみる教師聖職観について、「小学校教員心得」、「師範学校令」、森有礼文部大臣の演説内容、「教育勅語」、「小説 教育者」等を材料に学び、理解を深める。
10	教員の資質と使命2	戦後の教師観について、戦前・戦中のそれと比較する視点から「米国教育施設団報告書」、「旧教育基本法」、「教師の倫理綱領」、「教師の地位に関する勸告」等を材料に考察する。
11	教員の資質と使命3	教育職員免許法改定の歴史を学び、教職への要請事項の変化と、その背景について理解を深める。

12	教員の資質と使命4	現代公教育改革と生涯学習社会への移行の動向を踏まえ、教職の不易と流行について考察する。
13	現代教育の課題1	同和教育やいじめ・不登校等の教育問題について学び、討論を通して理解を深める。
14	現代教育の課題2	特殊教育から特別支援教育へ移行するに伴い、新たに必要となる教職専門性について学ぶ。
15	新しい学習指導要領の概要と教職の課題・まとめ	新学習指導要領の概要を学び、それに対応するにあたっての課題について考察するとともに、これまでの授業内容を振り返り、「今日における教職の意義」のまとめとする。

科目名	教育思想			講義コード	B210973007	担当教員	石堂 常世
対象	2 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>教育思想は、教育の意味・目的に関する哲学的考察（イデアリズム、経験論etc.）から始まったが、時代の推移とともに幼児教育論、カリキュラム構成論、教授法、教育方法論、学校論、学校開放論、子ども論、発達心理学論、教育機能論、教育行政論、生涯学習論にまで多岐にわたるようになり、今日に至っている。</p> <p>20世紀の前半までは、教育学とは教育思想を学ぶことに等しかったが、教育の大衆化が始まった20世紀後半からは教育に関する実証的研究が盛んになり、思想研究の比重それ自体は小さくなってきている。しかし「人間的成長」や「学校」・「教育制度」のよりよいあり方を考察しようとするならば、過去の優れた教育思想を学ぶことは、教育の本質や目的を考えるうえで必要である。そのことは、自己体験や時代の傾向に流されやすい私たちの教育の見方の狭さに気づかせてくれる。教職をめざす場合は、必須の教養である。</p> <p>以上を踏まえると、評価項目は以下のようになる。</p> <p>【履修カルテの評価項目】</p> <p>①人間の成長・発達を、思想の観点から学び理解できたか。 ②世界的に知られている古典的教育思想の系譜とそれぞれの系譜の代表的な思想について、思想家の思索と主張、彼の教育実践、後世への影響を理解できたか。 ③思想が生まれる背景には必ずその時代の教育の実態に疑義を提起する背景がある。思想から、各時代の学校教育の問題や、科学の進歩や社会の矛盾に気づくことができたか。 ④教職に就いた場合、子どもの成長をみつめる深い教養と温かな心をもって教育実践に望める基盤を得ることができたか。</p>						
受講資格	家政学部人間生活学科生活総合コース2年2単位 家政学部人間生活学科福祉コース2年2単位 家政学部食物栄養学科2年2単位選択 短期大学部音楽家2年2単位選択 短期大学部生活芸術科2年2単位選択		成績評価方法	①授業中に1～2回レポートを課し、次回の授業で発表・意見交換を行う。レポートの評価が20%、②学期末筆記試験の結果が80%。 この総合点に、授業中の積極性が見られた場合は加算、欠席等が多い場合は減点措置をとる。			
教科書	教科書は使用しない。 毎授業で、授業内容のレジュメを配布す。このレジュメをファイルして教科書とし、しっかり理解すること。						
参考書	安彦・石堂『最新教育原理』が役にたつ。勁草書房、2010。 その他、授業で取り上げる教育思想・教育思想家それぞれについて、多くの文献（古典）があるので、授業中に紹介するので、図書館で参照するのが望ましい。						
学生への要望	<p>授業中に出てくる思想家、哲学者、教育実践家については、可能な限り図書館の教育学辞典や世界人名事典、あるいはインターネットで調べて確認し、コピーを保持して知識を深めよう。</p> <p>教育の思想には、系譜と基本的な相互対立がある。その対立関係の思想構造を知ったうえで各思想の特徴を掴むならば、教育思想が生き生きとよってくるであろう。主体的に学んでいこう。</p> <p>授業には清新な気持ちで臨み、毎回、新しい自分を作り上げてほしい。 授業の前後の挨拶を忘れず、授業が始まるに当たり机の上に飲み物や食べ物を出しておかないように心がけること。</p>						
オフィスタイム	前期は、火曜の4時限、木曜の1～2時限とする。面談希望の場合、メールで確認のアポをとること。 ishidoh@koriyama-kgc.ac.jp 場所は、創学館5階の受付から左奥、副学長室						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	導入：教育思想とは何か	<p>1 ガイダンス 授業の進め方 教職課程科目の中の原理論としての教育思想 ①哲学史、学校史、子ども史、学問史を基盤にして理解すること。 ②社会発展や学問の進化にしたがって、教育をみる観点が変化してきたことを理解すること。 ③教職に就いた場合に、学校、子ども、教材を深いところから見るができるようにすること。</p> <p>2 教育についての考察・理論・言説 人間の成長や学校教育制度、教え方、学習メカニズム等をめぐる教育思想の意義</p> <p>課題1（レポート）：私を育ててくれた家庭の力（教育思想への導き） 親から何を得心かについて改めて考察してみよう。</p>

2	1-1 古典的教育思想の課題とは	<p>前回の課題1の発表・相互ディスカッション（教育実践と思想の関係に家庭教育から入る）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子どもをよくしたいと願う親の教育（しつけ）の取り組み いくつもの事例からよりよい育て方への論理が導出されよう。 2 1を基礎とし、そこから出る「教育の定義」：「教育とは何か」への問い 人間一般の教育論、家庭での教育、学校教育での教育、生涯学習論 単なる成長でなく、人間的成長の意味を問うことが思想を生む カント「教育とは、人間が人間になることである」（前と後の人間の違い）
3	1-2 古典的教育思想の2大領域	<p>認識論と倫理学（さらに加えるならば、美学・宗教性の考察もある） これらの省察が、私たちに教えてくれること。 実態への疑問や学校教育のあり方をめぐる紛争のあるところに教育思想が発祥</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人間の認識の誤謬と修正の連続についての論理 2 学校制度や教授法の化石化、教条化への批判から生まれる教育思想 3 美しさ、人間を超えた存在の意味への憧憬から生まれる教育思想
4	2-1 教育思想の潮流を歴史的に探求する：古典的教育思想の潮流（1）	<p>ギリシャの哲学者たちの教育思想 ソクラテス、プラトン、アリストテレスの教育思想（教育思想の基盤） ・それぞれの著作の中に展開する教育論（教学哲学）に触れて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人間の不完全性」の基本的認識→認識論の基礎 ・「アレテー」（人間的卓越性）→倫理学の基礎
5	2-2 古典的教育思想の潮流（2）	<p>古典的教育思想の近代的展開および現代的展開について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16世紀以降：懐疑の精神の意味、知識量よりも判断力の重要性を問う教育論 自然の秩序をいかに取り入れるかで変化する教育思想 モンテーニュ、デカルト、18世紀半ばのルソー、他 ・18世紀以降：無知からの脱出と民衆への知識の普及 フランス革命期に噴出した公教育論 コンドルセ、とその周辺 教会でなく国家が行う教育の主張とカリキュラム刷新の時代要求 科学技術の発達と学校教育の整合性を求める。
6	2-3 教育思想の潮流（3）：20世紀前半の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術の発展と教育思想の展開 ・国民国家成立後の教育論と学校教育論 ・20世紀のイデアリズムの代表：アラン ・20世紀の実証主義と国民教育論 デュルケイムにみる教育社会学の思想拠点 ・20世紀の行動論的教育思想：デューイの経験主義教育思想 <p>①アラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育学的人間学の開拓とイデアリズムの系譜 マックス・シェラーの階層的人間像の統合性
7	2-4 教育思想の潮流：経験論的教育思想(4)	<ol style="list-style-type: none"> 1 古典的には17世紀のロック「人間白紙説」と18世紀のエルヴェシウスの環境決定論 さらにはドルバックの「人間機械論」 →唯物論の現代的展開は、学習心理学の基礎となったS-R論へ 現代的には、スキナーの教育工学的学習論にみる人間像へ 2 医学と教育学の合流から障害児へのまなざしと感覚論的教育論の貢献 さらには、発達心理学と教育心理学を生んだ新教育論へ モンテッソリー、

8	2-5 教育思想の潮流：キリスト教の教育思想（5）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信仰心、神学の権威は教育にどのように関わったか アウグスティヌス（4世紀）、トマス・ア・ケンピス（12世紀） ペスタロッチ（19世紀）フレーベルの4人をどう読むか <p>神の存在の絶対的信仰、信仰による人間形成論 敬虔という教育的価値</p> <p>19世紀以降の宗教的教育思想は、新教育の系譜につながる ペスタロッチ、フレーベル 児童への愛とキリスト教的慈愛の心の統合 → 新教育論の誕生 こどもの感覚、興味、関心、活動性、経験の重視 教える教育という解釈から内発的に伸びる教育という解釈への 転換 幼児教育論の源流となる。</p> <p>一部にみる反権力的教育観としての新教育活動の展開 フレネ、ニールなど</p>
9	2-6 アメリカの教育思想：新教育論の強力な基盤ともなる。	<p>デューイの教育思想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 19世紀アメリカの進展とプラグマティズムの発祥 ・ ヨーロッパ文化からの独立 ・ ジェームスからデューイへ ・ 経験主義とは何か ・ 行動主義とは何か ・ 道具主義とは何か ・ 結果主義とは何か <p>デューイの経験主義教育思想の現代性とそこで失われたもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学ぶ者の経験の更新を「教育」と読んだデューイ ・ 児童中心主義の一角をなすが、学習者と環境との相互交流に強い重点を置くために、 単純な児童中心主義ではない。 ・ 教える者の姿が見えない教育思想 ・ 教育における「権威」の問題は枠外に置かれる。 <p>・ 日本への影響関係</p>
10	4-1 戦後日本の教育改革とデューイの教育思想	<p>戦後の教育改革（日本の刷新と新教育）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 修身の停止 ・ 社会科の導入と経験主義の普及 ・ 教科学習よりも経験・体験学習の重視 ・ 子どもの成長発達とデューイの教育思想の関係 ・ 儒教の伝統をもつ日本、さらには受験学習の隆盛のなかでの20世紀後半にあって、デューイの教育思想の定着は、生活科や総合学習の勤めに向けられた。
11	4-2 古典からみた日本の教育観（1）	<p>江戸時代に広まった人生観としての生き方の説諭</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 『実語教』の教え 2 二宮尊徳の教え 3 貝原益軒の教育思想 4 『女大学』の教え 4 武士の子弟の教え：「什の掟」
12	4-3 明治時代以降の作品に見る生き方の理想像（2）	<ol style="list-style-type: none"> 1 福澤諭吉の『学問のすすめ』の意味 2 高村光太郎の「道程」から 3 宮沢賢治の「雨ニモマケズ」から 4 吉野源三郎『君たちはいかに生きるか』から <p>課題2：日本人の思想と生き方への示唆</p>
13	5-1 課題発表	<p>西洋と日本の教育思想からもっとも印象深いと思った思想を取り上げ、何が心に残るかをまとめてくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全員が発表し、取り上げられた思想家や思想について理解を深める確認する。 ・ 子どもの成長に関わっていく者として、上記のまとめ、発表と質疑応答から、人間成長に関する何らかの確信を得ること。
14	5-2 義務教育の確立期から義務教育体制開放の教育思想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 義務としての学校教育から権利としての教育観へ ・ 就学期間の教育観から生涯にわたる教育観へ ・ 生涯教育論 ポール・ラングラン ・ 学校破壊論と脱学校論の思想 イリッチ、ペライター

- 15 結論：教育思想の категория とおもしろさについて
- A 時代性と教育思想
普遍性と教育思想
 - B 国民性と教育思想
国境を越えた人間形成の時代に挑む教育思想
 - C 哲学としての教育思想
科学としての教育思想
 - D 個としての人間教育論
体制としての教育思想
-

科目名	教育心理			講義コード	B210973011	担当教員	垣花 真一郎
対象	2年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>教育心理学とは、心理学で明らかにされてきた知見を教育実践に生かすことを目指す学問である。ただし、心理学にはさまざまな立場があり、教育心理学ではさまざまな立場を場面に応じて用いているのが実情である。本講義では、従来、教育心理学で主流であった行動主義の心理学に加え、認知主義の立場も紹介し、さらに臨床心理学の諸理論も紹介する。</p> <p>本科目では、第一に行動主義理論、認知主義理論、精神分析理論といった主要理論の考え方を理解すること、第二に教育心理学で用いられる用語を正しく用いることができるようになること、第三に教育実践の具体的場面を本授業で習得した知識を用いて解釈できるようになること、を目標とする。</p> <p>〔履修カルテの評価項目〕</p> <p>① 主な心理学理論（行動主義、認知主義など）の考え方をどの程度理解できたか。</p> <p>② 教育心理学で用いられる用語をどの程度正しく用いることができるようになったか。</p> <p>③ 教育実践上の問題を本授業で習得した知識を用いて、どの程度説明できるようになったか。</p>						
受講資格	教職課程履修者			成績評価方法	レポート15点、平常点15点（欠席1回ごとに3点減点）、中間テスト20点、期末テスト50点		
教科書	指定しない						
参考書	授業中に随時紹介する。						
学生への要望	実習等のやむを得ない場合を除いて、毎回出席すること。実習等の予定がわかっている場合は、事前に連絡すること。						
オフィス	火曜1、2限目。 事前に連絡することが望ましい。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	教育心理学とは	教育心理学とは、心理学の応用分野のひとつである。心理学には、行動主義、認知主義、精神分析学など様々な系統があるが、教育心理学は教育・学習を対象とした学問という意味でひとつの主義、流派に偏った学問ではない。説明の対象となる場面に依りて様々な主義、流派の説明が適用される。本授業ではそのような教育心理学の立ち位置を学ぶ。
2	知的発達 I	人間が人間らしく思考するようになるのは、どのようなことが必要か。これまで行動主義的な説明の仕方と、構成主義的な説明の仕方が主に存在してきた。ここでは行動主義の考え方を理解する。
3	知的発達 II	ピアジェの構成主義的発達理論を理解し、行動主義理論との対比について考察する。
4	性格の発達 I	人間の性格は生得的な気質が中核なのか、親との愛情関係が中核なのか。ここでは、気質論と愛着理論を見ながら、両者の関係性を理解する。
5	性格の発達 II	ここでは第4回で取り上げなかった性格理論である精神分析、社会的学習理論、行動遺伝学の性格論を紹介するとともに、性格の測定法について紹介する。
6	児童期・青年期	ギャング・エイジと呼ばれるように、児童期には子どもは独特の集団を形成し、友人関係が広がりを見せるようになる。また、青年期には自分と何かといった課題の解決に迫られる。本授業では児童期・青年期の子どもの心理的特徴について学ぶ。
7	教室という社会	教室は小さな社会である。そこでは人が人と知り合い、集団を形成していく。本授業では社会心理学で明らかになった印象形成や集団における心理的特徴について学ぶ。
8	中間テスト	1～7回までの内容についてのテスト。後半は第7回で紹介した構成的グループ・エンカウターの練習を行う。
9	動機付け	人がやる気になるのはどのようなときか。あるいはやる気をまったく起こさない人にはどのような背景があるのか。本授業では動機付けのメカニズムについて学ぶ。

10	記憶	記憶には、「今・ここ」の情報である短期記憶と、過去の情報である長期記憶がある。また、それらに対応した脳の部位も明らかになりつつある。本授業ではそういった記憶の仕組みについて学ぶ。
11	教育評価	知能とはなにか。学力と何か。またそれらを測定することは教育上どのような意味があるのか。本授業では、教育評価の方法とその意味について学ぶ。
12	発達障害 1 – その症状と定義	発達障害とは乳幼児期に現れる発達の遅れ、偏りのことである。本授業では発達障害の種類、それぞれの症状について学ぶ。具体的には広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害を扱う。
13	発達障害 2 – 療育の手法	本授業では、専門の療育機関で用いられている手法と通常の教室での対処の仕方の両面から、発達障害児との向き合い方を学ぶ。具体的には広汎性発達障害児の療育手法のひとつであるTEACCH、行動療法などを中心に学ぶ。
14	心理療法 I	心理療法とは心理学の理論を心の問題の解決に役立てようとする心理学の応用分野のひとつである。今回は来談者中心療法の考え方や、その実習を行う。
15	心理療法 II	今回は精神分析理論、行動療法、認知理論について学ぶ。

科目名	特別活動論			講義コード	B310973011	担当教員	折笠 国康
対象	3年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>本講義では、学習指導要領における特別活動の位置づけを基に、昨今の学校現場での現実や特別活動に関する課題を理解することを目的とする。また、本講義を通して特別活動の望まれる姿や教師の指導のあり方についての考察を行うことも重要な目的とする。</p> <p>【履修カルテの評価項目】</p> <p>①学校教育における教科外活動の意義と目的を理解する。 ②生徒をとりまく環境の実態を把握し、特別活動に求められるものを理解する。 ③理論を基にした学級経営の手法やアセスメントについて理解する。</p>						
受講資格	中学校教諭の教員免許の取得を目指す学生	成績評価方法	内容の「60%」の理解で合格とするが、「80%程度」の理解が望まれる。理解度の評価は小レポート30%、定期試験70%で行う。				
教科書	特に指定はない。授業の時に資料を配布する時がある。						
参考書	必要に応じて紹介する。						
学生への要望	講義への主体的、協力的な参加を要望する。 専用のノートを準備すること。						
お楽しみ	授業終了後に確認						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	オリエンテーション 特別活動とは	この授業の目的と授業方針を理解する。特別活動とは何か、基礎的知識を理解する。
2	教育課程と特別活動 学習指導要領について	学習指導要領の変遷を通して、各時代における学校にかかわる問題について考え、理解する。
3	学校の現実 (1) 学力や学級の現実	客観的なデータに基づき、現在の学校の実態について理解する。主に学力や学級の状態についての理解を深める。
4	学校の現実 (2) 生徒の実態	客観的なデータに基づき、現在の学校の実態について理解する。主に生徒の生活の様子や実態についての理解を深める。
5	学校の現実 (3) 家庭や地域の実態	客観的なデータに基づき、現在の学校の実態について理解する。主に家庭環境や地域の実態についての理解を深める。
6	特別活動の実際(1) 学級のアセスメントⅠ	標準化された心理尺度などによる客観的な指標を基にした学級の状態のアセスメントを理解する。
7	特別活動の実際(2) 学級のアセスメントⅡ	標準化された心理尺度などによる客観的な指標を基にした学級の状態のアセスメントを理解する。
8	特別活動の実際(3) 生徒指導	学校で行われている生徒指導の実際や今後望まれる方向性などについて、客観的なデータや資料に基づいて理解する。
9	特別活動の実際(4) 特別支援と生徒指導	特別支援教育の在り方や基礎理解、実際の生徒指導場面での問題や課題などについての理解を深める。
10	特別活動の指導と教師のリーダーシップ(1)	特別活動における教師の果たす役割やあり方、実際の指導行動の状態、時代が求める望まれるリーダーシップについての理解を深める。
11	特別活動の指導と教師のリーダーシップ(2)	特別活動における教師の果たす役割やあり方、実際の指導行動の状態、時代が求める望まれるリーダーシップについての理解を深める。
12	特別活動による、人格形成や自己実現の理論(1)	記憶と学習などに関わる基礎的な理論について理解する。人間のやる気にかかわる「動機づけ」の基本的な仕組みについて理解する。
13	特別活動による、人格形成や自己実現の理論(2)	人間の自ら学ぶ意欲の発達を理解する。内発的動機づけに関する自己決定理論などの概略を理解する。
14	特別活動による、人格形成や自己実現の理論(3)	目的論的思考と決定論的思考の対比や、アドラー心理学の自己や他者理解の視点を理解する。

科目名	宗教学的人間論			講義コード	B110971019	担当教員	福島 寅太郎
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>①本学の建学精神を理解するために必要な教養的知識を習得させる。</p> <p>②教養のある現代人として宗教に関する必要な知識を身につけさせる。</p> <p>〔授業の概要〕</p> <p>本講義は本学の建学精神に基づいた全学科・専攻の必修科目である。</p> <p>宗教は人間生活のあるところ、どの時代にもどの場所にも影響を及ぼしており、現在の私たちもまた日常生活の中で常にそれらと関わっている。グローバル化が進み、異文化間の相互理解が求められる現代において、宗教は果たしてどのような役割を果たすことができるのであろうか。</p> <p>本講義は、諸宗教の思想や信仰、特に現代日本およびアジアの諸宗教におけるさまざまな事例を取り上げ、宗教学的観点から探ることを目的とする。授業への理解を深めるために、アニメなどの映像を数多く取り扱う予定である。ちなみに「トトロはオスですか、それともメスですか」。素朴な疑問が学問への重要な一歩である。</p> <p>本年度は、本学の学問の特徴である「生活学」に焦点を当てて、宗教と生活との関わりを考えてみたい。具体的には、当該問題に関連した最新の研究書を教科書として用い、当該教科書の読解を通じて理解を深めていきたいと考えている。</p> <p>〔到達目標〕</p> <p>①宗教学的“ものの見方”を理解する。</p> <p>②宗教が身近な存在であることを再確認し、「宗教」に対する偏りのない理解ができることを目指す。</p> <p>③紹介された諸事例を通じて、「宗教」と「宗教的なもの」との異同を理解する。</p>						
受講資格	特になし			成績評価方法	試験成績(60点以上)、出席状況(60%以上)、授業態度、提出物等。理解度8割で、合とする。		
教科書	『生活禅のすすめ』（浄慧著、東京・山喜房佛書林、2012年）。						
参考書							
学生への要望	ノートをこまめにとること。						
ワキタイム	昼休みの時(12時～12時40分)。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンス	授業の進み方、建学精神との関連について述べるとともに、テストや成績評価などについて紹介する。教科書についても案内する予定である。
2	生活と宗教（1）～アップル製品は何故シンプルか～	具体的には禅を取り上げる。禅の歴史や基本的な教えについて、教科書に沿って述べる。アップルの創始者・ジョブズ氏は敬虔な禅の実践者である。シンプルさを追求したアップル製品を話題にしなが、生活における禅の役割を考える。
3	生活と宗教（2）～今どうして禅なのか～	前回の続き。教科書に沿って、禅とは何かを、身近な話題を通して考える。
4	生活と宗教（3）～今はどうして生活禅なのか～	「生活禅」とは何か。教科書を通して学びながら、一緒に考えてみる。
5	生活と宗教（4）～ダルマとは誰か～	「達磨さんが転んだ」という鬼ごっこをみんなは一度ぐらい遊んだことがある。ここに出てくる達磨さんとは誰のことであろうか。歴史上の達磨さんと民間信仰のそれとの異同を明らかにしてみたい。
6	生活と宗教（5）～般若心経とはどんな教えを説いているのか～	『般若心経』と生活禅について述べる。日常生活の中で、『般若心経』に触れる場面があると思う。ここでは教科書を用いながら『般若心経』とはどんなお経なのかを学ぶと共に、生活禅との関係を理解する。
7	生活と宗教（6）～心の三次元～	心とは何か。宗教は人間の不可視的なものを可視的にする文化的装置である。ここでは宗教から見た人間の心とは何かを、禅における心のとらえ方を通して理解する。
8	生活と宗教（7）～心の成長物語～	前回の続き。具体的には『十牛図』という最古のマンガを通して理解を深める。
9	生活と宗教（8）～悩みはどこから来るのか～	悩みとは何か。禅における悩みの対処法を、教科書を通して理解する。

10	生活と宗教（9）～特別授業～	気分転換のために、アニメにおける宗教的要素について考察する。具体的には『となりのトトロ』を取り上げる。ちなみに、トトロの性別はオスか、それともメスか。素朴な疑問が学問への重要な第一歩である。
11	生活と宗教（10）～特別授業～	前回の続き。
12	生活と宗教（11）～生活と宗教との関わり～その一	再び教科書に戻る。「生活の中で修行し、修行の中で生活する」という教科書の著者の言葉を理解しながら、生活と宗教との関わりを考える。
13	生活と宗教（12）～生活と宗教との関わり～その二	前回の続き。
14	生活と宗教（13）～まとめ～	これまでの授業の全体についてまとめると共に、期末テストについて説明する。
15	最終回（試験）	

科目名	哲学的人間論			講義コード	B110971012	担当教員	小阪 康治
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>この講義の目的は、人間のあり方について、人間のいちばん本質的なところから、自分で考えてみることにあります。哲学の長い歴史の過程で、なにが善なのか、なにが本当のことなのか、なにが理想なのか、などの問題が出てきました。それで講義は、具体的な事例を説明することを中心とします。理屈ばかりの話は、哲学本来のものではありません。実際の生活に基づいて、それと理論との関係は話しますが、一番重要なのは、受講者が自分自身で、人間や人間社会について考えることなので、この練習もします。</p> <p>【履修カルテの評価項目】</p> <p>① 哲学的な知識は身についたか。 ② 哲学的な考え方についてどの程度理解できたか。 ③ 哲学的に考えを書くことがどの程度理解できたか。</p>						
受講資格				成績評価方法	試験 30%。講義時間内の発言 30%。小論文 40%。		
教科書	受講者と相談して決める。						
参考書	受講者と相談して決める。						
学生への要望	<p>現在の社会は、積極性のある人材を望んでいるので、なによりも積極的に発言し、ときどき課す小論文などでも、前向きな思考法身につけるつもりで講義に臨んで欲しい。</p> <p>講義への反応、学生諸君の興味、関心などを考え合わせ、また社会状況におうじて、講義のテーマや内容は、変えることもありますので、シラバス通りにはならないこともあります。</p> <p>講義は、分かりやすく、面白く、ためになるようにやります。なので、ノートをきちんと取る、自分の頭で考えることを要望します。</p> <p>従って、講義のテーマについて事前に考え、講義後にもう一度自分の考えをまとめることが、講義をよく理解するために必要です。それは小論文や試験の際に役に立ちます。</p>						
ワイルド	いつでもいいが、アポイントメントを取ってから来る。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	講義の内容、目的、方法の説明	<p>学問としての哲学的人間学を概観します。哲学的人間学というと、ものものしいのですが、ようするに人間が生きていくときに遭遇するいろいろな問題を、きちんと考えようとする学問です。</p> <p>そこで15回分の講義の内容を概略説明します。</p> <p>それから講義の進め方、ノートの取り方、講義中の積極性、小論文練習の役割、出欠、これらの評価にもとづいて成績をつけるときの基準などを説明します。</p>
2	どうしたら幸せになれるか	<p>おそらくすべての学問は、人間が幸せになることをひとつの目標としています。この回では、哲学的に考えて幸せになるとはどういうことかを、考えてみます。</p> <p>私はチョコレートパフェが好きで、チョコレートパフェをおなか一杯食べると幸せだろうとおもうが、そんなことはできない。ダイエットばかり気にしてるのもストレスがたまって、これまた幸せじゃない。</p> <p>なにが、どういう行為が、どういう精神状態が幸せなのか、これについても哲学は長い時代にわたって、いろいろ考えてきました。</p>
3	赤い花は赤いか	<p>思想や哲学というのは、数学のようにきちんと回答が出るものではありません。しかしそれではただの評論になるので、確実な知識を求めていくと、こういう問題も出てきました。</p> <p>ひとつの赤い花をおおぜいが見ると、座ってる角度や距離によって、おなじ赤でもすこしずつちがって見えている。どうやったらおなじ赤を全員が見ることが出来るのか。赤とはどういう色なのか、などの問題が出てくるわけです。</p> <p>これは屁理屈ではなく、ものごとをきちんと考えようとする、こういう方向に深まっていくというひとつの例なのです。</p>

4	福祉と正義について	<p>社会福祉に財源が必要なのはどうなんなのですか、ほかにもお金がいる分野はある。医療、防衛、経済対策、地震からの復興にもたくさんのお金が必要です。どこにお金を振り分けるべきなのか。電力供給のための発電所の建設か、それとも復興支援が優先するのか、防波堤がいちばん先ではないのか。などの議論です。そういう大きな問題だけでなく、たとえば、この間の地震でも、透析の機械が不足していました。機械がひとつで危篤の患者さんが3人いるときに、どの患者さんに透析するのか。幼い子どもが3人もいる夫のいない母親と、有名な科学者と、働き盛りのおとうさんについて、優先順位の基準はなんなのか。</p> <p>正義とはなにか、こういう問題を考えてみます。</p>
5	論文練習	<p>3～4回に1回くらい、これまでの時間の内容について、論文練習をします。この練習の目的は、学生の側からは、①これまでの講義をどれだけ理解できているかを自分で振り返ってみる。②論文練習をすることで、学期末の試験の練習になる。③採用試験時の筆記試験の対策にもなる。</p> <p>教える側からすると、①なによりだいじな、自分の頭で物事を考えさせる訓練になる、②みんなで答案を検討するので、論文の書き方を具体的に理解させることができる、③教えたことをどれだけ理解しているかを点検できる、などです。</p>
6	哲について	<p>哲学はむずかしいとよく言われます。いろいろ原因はありますが、そのひとつに「哲」という漢字の意味が分からないことがあるようです。この字は、哲夫君とか哲太郎君というように、固有名詞では使いますが、それ以外ではほとんど見ない。女性で哲子さんという名だと、付き合いたくないなあ、というイメージにもなりません。</p> <p>哲学は明治になって西洋から来た学問なので、英語のPhilosophyなどの外国語を訳したのですが、それ以前にも哲学的な考えが日本になかったわけではありません。それで漢字の「哲」の字を当てはめて訳語としたのです。</p> <p>この回は、哲学とはどういうものかという、哲学の一番本質の意味について講義します。</p>
7	ビッグ・アイはなぜあるか	<p>子どものころ、なぜなぞというのか、とんち話というのがありました。大阪城はだれがつくったか。「豊田秀吉」と答えると間違いで、「大工さん」が正解でした。</p> <p>郡山の駅を降りるとビッグ・アイがあります。ビッグ・アイはだれがつくったのか？「大工さん」だけではできない。これに似たことを、紀元前300年も前に、アリストテレスという人が言ってる。この話は、ものがあるのはいったいなぜなのか、どうしてもものがあると言えるのか、など哲学の本格的な課題につながっていきます。</p>
8	人間の尊厳と自己決定権	<p>人間が人間であることの根拠とはどういうことでしょうか。自分の生き方は自分で決めたいのがふつうです。自由という言葉でもいいのですが、これが人間の尊厳の重要な根拠であることは、みんな認めています。</p> <p>でもそう考えない人もいます。自分が末期の癌などと聞きたくない、という患者さんはすくなくありません。また、安楽死は本人が望みさえすれば許されるのでしょうか。家族の気持ちはどうなるのでしょうか。</p> <p>状況がよく分かっていない人、たとえば認知症の老人が言ったことにも、自己決定権を認めるのか。それから、幼児が駄々をこねて言う言葉も自己決定になるのか、などについて考えてみます。</p>
9	論文練習	<p>これまでの3回分について、前回述べた目的で、小論文の練習をします。</p>
10	私は誰か	<p>さまざまなことを考えたり、行動したり、他人と付き合ったりするのは自分です。ここには自分がいるという前提がある。しかし仏教思想では、自分というものさえ本当はないのだ、と語られています。わざわざ仏教思想を持ち出さなくても、諸行無常という言葉に代表される考えは、おおくの日本人が共有しています。</p> <p>この講義は、ほとんどが西洋思想を基礎にしたものですが、今回は東洋思想を中心に自分はだれか、自分はどのようにあるのか、そもそも本当にあるのかなど、自分自身についての問題を考えてみます。</p>

11	最近の社会問題についての哲学・倫理学の見解	<p>栄養学と教育学系の学生がおおいので、その関連のテーマとして、食品問題についての事件と仮想社会を分析してみましょう。食品偽装は一時ほどマスコミは取り上げませんが、あいかわらず起こっていますし、この先もおなじような問題が起こるでしょう。それぞれの事件について車内の指示システムの整備やマニュアルの完備がなされています。それはいいとして、哲学的にはこの問題はどうか考えればいいのでしょうか。</p> <p>またゲームに見られる仮想空間・社会の危険性もしばしば指摘されています。さらに幼児の教育のさいの仮想、たとえば仮想の人から園児に手紙が来るなどの倫理性が、教育学者の間でも議論になることがあります。</p> <p>食品偽装と仮想社会というふたつの問題群は、本質的におなじだと私は考えています。このテーマについて、話してみます。</p>
12	永遠の愛は可能か	<p>むずかしい問題を考えるばかりが哲学ではありません。哲学は、われわれが日常疑問におもっていることを、きちんと考えようとして、だんだん深くなっていっただけです。「永遠の愛は可能か」というテーマは、おそらく古今東西、若者にとって最大の問題のひとつです。ギリシャの哲学者たちもこういう問題を考えた。</p> <p>この問題について、友達と一晩中議論してもなかなか結論は出ない。疲れて寝てしまって、また次の週に同じような議論をしても、やっぱり結論には行きつかない。</p> <p>どうしてそんなことになるのか。それは問題自体を分析してから考えを進めていくことに慣れていないからです。この回は、問題と同時に、哲学的に考える方法について話してみます。</p>
13	家庭とは何か	<p>本学の教育理念は、ドイツの哲学者であり教育学者であるオットー・フリードリッヒ・ボルノー先生の思想の影響を強く受け、先生思想を受け継いでいます。</p> <p>これにもとづいて、本学の教授陣が執筆した『家政哲学』が刊行されています。今回はこの思想を、分かりやすく説明します。</p> <p>個人だけでは人間は生きていけません。それで社会をつくった。社会のなかで生活することで人間は豊かに安心して生きていける。ところが社会では、おたがいの利益が相反する場合があります。社会人としてお互いの利益を守るために、互いの人間性を尊重し、協力し、愛し合うことを、どこで学ぶのか。</p> <p>個人と社会の間にある家庭が、それらの育成のための場所ではないのか。家庭を中心に個人と社会を調和させるところに、本学建学の精神の特徴があります。</p>
14	論文練習	<p>これまでの4回分について、前回述べた目的で、小論文の練習をします。次回が試験なので、試験の対策も考えながら書くことにします。</p>
15	試験	<p>最初の30分で、採点の基準、論文の書き方、参考書の使い方などを説明してから、試験を60分間で実施します。</p>

科目名	倫理学的人間論			講義コード	B110971011	担当教員	小阪 康治
対象	1 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>この講義の目的は、われわれが日常生活で「変だなあ」とか、「間違っているんじゃないかなあ」と思っていることが、正しいかどうかを考えてみることにあります。友達との何気ない会話、家族との議論、恋人との話の中でも、「納得できないなあ」と疑問を持つことはしょっちゅうあるでしょう。個人的な課題だけでなく、国際的問題、地球環境についても、何が正しい解決法で、答えはどうか、実例に即して講義します。</p> <p>【履修カルテの評価項目】</p> <p>①倫理的な知識は身についたか。 ②倫理的な考え方が、どの程度身についたか。 ③倫理的文章を書くことがどの程度出来るようになったか。</p>						
受講資格				成績評価方法	試験 30%。講義時間内の発言 30%。小論文 40%。		
教科書	教室で指示する。						
参考書	教室で指示する。						
学生への要望	受講者自身が考えることが大切です。講義の内容については、受講者と話し合ったり、受講者の反応を見たり、重要な時事問題を取り入れたりするので、いくらか変わることもあります。従って、講義のテーマについて事前に考え、講義後にもう一度自分の考えをまとめることが、講義をよく理解するために必要です。それは小論文や試験の際に役に立ちます。						
オフィス	いつでもいいが、メールでアポイントメントを取ってから来る。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	倫理学について	倫理学という領域を概観します。それから15回分の講義の内容を概略説明します。講義の進め方、ノートを取り方、講義中の積極性、小論文練習の役割、出欠、これらの評価にもとづいて成績を付けるときの基準などを説明します。
2	なぜ嘘をついてはいけないのか	<p>なぜ嘘をついてはいけないのか、なぜ他人のものを盗ってはいけないのか、なぜ人を殺してはいけないのか、こういう当たり前のことも、なぜなのか、とその根拠を訊ねられるとかんたんに答えは出ません。</p> <p>当たり前でしょ、決まってることだから、と言っても、答えにはなっていません。あなたも嘘をつかれたくないでしょ、だから他人にも嘘をついてはいけない、というのは一応の倫理的な回答なのですが、嘘をつかれてもいい、という人もいます。たとえば、末期の癌患者さんのなかには、事実を知りたくないと言う人はすくなくありません。</p> <p>この時間では、こういう倫理問題の基本になる問題群を、分析してみます</p>
3	電車やバスのなかで、お年寄りに席を譲らない若者は悪人か	<p>新聞の読者の声欄には、半年に1度くらいはかならず、近頃の若者はお年寄りに席を譲らなくなった、こんな若者ばかりになったら日本もおしまいだ、という論調の記事が出ます。若者の立場からは、譲らないのは若い者ばかりじゃないとか、こっちは疲れてるんだからという反論もあります。</p> <p>この講義ではふたつの問題を検討します。第1に、なぜ席を譲るのは善いことで、譲らないのは悪いことなのか。その理由はなにか。第2に、人間は本来、善い者なのか、悪い者なのかという問題です。</p>

4 高レベル放射性廃棄物と倫理問題

前任の大学で、この問題について講義をしていたときは、まったく客観的な立場でした。しかし東北・関東大震災による福島原子力発電所の事故に遭遇した後では、この問題は他人事ではなくなりました。

原子力発電の問題は、現代人が快適な生活を送ることとそれによる危険性をどう比較するか、さらに数百万年の後でも有害な物質を後の世代の人類に廃棄することとどう比較するか、という問題になります。

また、関東で使う電力をなぜ福島県で発電するのかも、今回の事故であらためて議論されるでしょう。しかし現実には、原子力発電を止めると、電力の30%以上が使えなくなります。それで人々は納得するのか。

この問題の根本には、われわれ自身が、自分たちの生活の豊かさ、快適さをどの程度まで求めるかという課題があります。とくに若い人たちが自分たちの社会をどうつくっていくかということなのです。

5 論文練習

3～4回に1回くらい、これまでの時間の内容について、論文練習をします。とくにこの講義は、自分の頭で考えることが最終目的ですから、講義を聞いて理解するだけでは、講義の目的には到達しません。

この練習の目的は、学生の側からは、①これまでの講義をどれだけ理解できているかを自分で振り返ってみる。②論文練習をすることで、学期末の試験の練習になる。③採用試験時の筆記試験の対策にもなる。

教える側からすると、①なによりだいじなのは、自分の頭で物事を考える訓練になる、②みんなで答案を検討するので、論文の書き方を具体的に理解させることができる、③教えたことをどれだけ理解しているかを点検できる、などです。

6 捕鯨について、どうして日本人は外国人から非難されるのか

日本の捕鯨は、外国からはたいへん評判が悪い。鯨を食べていけないのなら、豚や牛も食べてはいけないはずだ、と日本人はおもっている。豚や牛だけでなく羊や鶏などを、日本人以上に大量に食べている西欧人から、捕鯨について批判されるいわれはない。これが日本人一般の気もちでしょう。

ところが外国人は、豚や牛を食べるのは構わないけど、鯨はいけないと考えているようだ。変じゃないか、と考えるのは日本人で、外国人は当たり前だとおもっているわけです。

このちがいは、お互いの文化のなかの無意識の倫理観が異なっているからだと考えられます。昨年、ポーランドのワルシャワ大学でこの問題について講演しました。その反応や質疑なども含めて講義します。

7 電車の中の化粧をどう考えるか

電車の中の化粧が、社会問題になっています。都会だけでなく地方都市のローカル線のなかでも見かけました。アンケートなどを見ると、年上の人たちが批判的で、若い女性は車内化粧しない女性でも、肯定的な人がかなりいます。

みっともない、電車のなかは公共の場であって、化粧する場所じゃない。忙しいから電車のなかの時間も有効に使いたい、だって誰にも迷惑かけてないじゃない。

中年の女性でもしてる人を見かけるけれども、この問題にはふたつの面がある。まず世代による倫理意識のちがいでしょう。時代が変化するにつれて、倫理基準も変化します。それを上の世代はどこまで許容するか、否定できるか。もうひとつは、他人への迷惑とは、具体的にどういうことか。どこまでが迷惑で、どこからは黙認されるべきか。そのための基準はあるのか。

8 企業の責任

現在、企業の社会的責任（CSR）が、しばしば問題にされます。これは他人事ではなりません。卒業したら勤めるのは企業体です。自営の人も企業の活動をすることは本質的には同じです。公共の仕事につき場合でも、組織の利益と社会のあり方が矛盾することはしばしばあります。倫理というのは個人の規範だけでなく、会社やその他の組織体もその社会・経済活動のさいに、倫理的であることを求められるのはとうぜんです。

たとえば、環境問題についてのスタッフを置くことができない中小企業が、環境破壊的な事件を起こした場合、この企業は環境に配慮している大企業にくらべて、悪い企業なのか。

有害な恐れがある物質でも、法律の基準に触れなければ、排出することは許されるか。

この講義では、会社や公共団体も含めて、組織の運営と社会倫理の関係を考えます。

9	われわれは子孫に対してどういう責任があるのか	<p>未来の子どもたちや人類にたいして、現在のひとびとは当然責任があります。しかし現在の生活水準も守りたい。そこで両方を満足させるべきだ、という方針を打ち出すのはかんたんです。これを「持続可能な発展」というのですが、この理想を具体的にひとつひとつの実例のなかで考えると、結論を出すのは容易ではありません。</p> <p>たとえば、石油や石炭などの資源はいずれなくなってしまいました。それでは使わないことにするのか、しかし取っておいて誰が使うのか。</p> <p>いい風景は誰もが愛しているものです。ところでそこに工場をつくると地域の発展になる。工場をつくれれば、既得権になるから、将来の世代には、景観の破壊が残る。</p> <p>こんなふうのひとつひとつ考えていくと、今の世代も将来の世代も満足するような解決法や、自然と人間の共生などの標語は、実行がむづかしい。</p> <p>いくつかの例でこの課題を考えてみます。</p>
10	論文練習	<p>これまでの4回のテーマについて、先に述べた目的で、小論文の練習をします。</p>
11	バービーちゃんトリカちゃんが教えていること	<p>アメリカではバービーちゃん、日本ではリカちゃんが一番売れています。アメリカの保守的な大人の男性は、女兒がバービーちゃんを遊ぶのを嫌っています。日本の大人は、子どもにリカちゃんを買い与えるかどうか、悩みはしません。ここにはどういう問題があるのでしょうか。</p> <p>これは単に好き好きによるものではありません。ここには両国社会の文化的、倫理的価値観の現われが見られるのです。本学は教育系の学生もおおくいるので、このテーマで、子どもとおもちゃ、おもちゃと社会の関係について考えてみます。</p>
12	科学と倫理	<p>科学的な判断は正しいということになっている。しかし倫理的に見て疑問であることもたくさんあります。</p> <p>福島原子力発電所をつくるとき、たくさんの人が反対運動をした。しかし最後には、科学的な判断や社会の電力需要を勘案して、同意しました。だから原子力発電所は科学的に見て正確で、何の間違ひもなくつくられていたはずだった。しかし、今ではおおくの人とその科学的判断を信用できなくなっている。</p> <p>われわれは現在でも、科学者の良心を信用しています。しかしそれを超えて、もう一度根本から考えて、社会が共通の認識をもつておかなければならない状況にあります。これは若い世代の問題になるでしょう。</p> <p>先年あった病気の腎臓移植の問題なども、結局はおなじです。医学的には、病気の腎臓を移植するのは危険が高いという医学者の判断が出ました。しかし透析している患者さんたちは、移植して欲しいと言っている。これも科学と倫理の矛盾をどう考えるかを、われわれに突きつけています。</p>
13	説明はなぜ必要か	<p>最近、テレビなどで、説明責任を果たしていない、という議論をときどき聞きます。ところが非難しているほうも、なぜ説明しなければいけないのか、どう説明すればいいのかなど、どこまで説明すれば納得できるのかなど、はっきりしないままに非難ばかりしている。守秘義務というものもあるから、なんでも全部説明すればいいというわけでもありません。</p> <p>これはわれわれ人間の本質的な在り方に関係してくるのです。なんのために説明するのか。われわれ人間の尊厳を守るためです。これはきわめて倫理的に根本的な問題なのです。なぜ東京電力が原子力発電所の事故についてはっきり説明しなければならないのか、政府が震災被害の人びとに原状をきちんと説明すべきなのか、大学の先生はなぜ成績の付け方について学生に説明しなければならないのか、友達同士の説明など、いくつかの事例によってこの問題を考えてみます。</p>
14	論文練習	<p>これまでの3回のテーマについて、小論文の練習をします。</p>
15	試験	<p>最初の30分で、採点の基準、論文の書き方、参考書の使い方などを説明してから、試験を60分間で実施します。</p>

科目名	心理学的人間論			講義コード	B110971013	担当教員	折笠 国康
対象	1年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	本講義では、「人間」がどのような存在であるか心理学の知見をもとに概説する。「社会心理学」「発達心理学」「人格心理学」などの知見を踏まえ、人間についての心理学的な視点から人間を理解することを目標とする。 【履修カルテの評価項目】 ①「自己」に関する心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。 ②認知や感情などの「心の発達」に関する心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。 ③自己と他者のかかわりに関する事柄の心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。						
受講資格				成績評価方法	内容の「60%」以上の理解で合格とするが、「80%程度」の理解を求める。理解度の評価は小レポート30%、定期試験70%で行う。		
教科書	特にしてはいはしない。授業中に資料を配布することがある。						
参考書	必要に応じて紹介する。						
学生への要望	講義への協力的な参加を要望する。 専用のノートを準備すること。						
ウイスタム	授業終了後に確認						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	オリエンテーション、意識と無意識について	この授業の目的と授業方針を理解する。フロイト、ユングの意識と無意識についての考え方を理解する。
2	人間の発達(1) ー発達心理学ー	人間の発達や成長に関して、心理的な知見や理論を学び理解する。
3	自己とは(1) 認知について	認知心理学の基礎を学び、自己に対する認識について理解する。
4	自己とは(2) 認知について	ピアジェの認知の発達に関する理論を学び理解する。
5	自己とは(3) 自我同一性	自我同一性を中心に心理学的な枠組みで自己とは何かを理解する。
6	自己とは(4) 自己概念	心理学的な構成概念としての自己概念の理論的枠組みを理解する。
7	自己とは(5) 自尊感情と自己評価	自尊感情や自己評価に関する心理学的知見を概観し理解する。
8	自己とは(6)	「本当の自分」に関して、心理学的知見から理解する。
9	自己とは(7) 自己受容	ロジャースの理論を用いて、自己受容について理解する。
10	自己とは(8) 防衛機制	A. フロイトによる防衛機制の概念を学び、自己についての理解を深める。
11	自己とは(9) 交流分析	自己についてエゴグラムを用いた交流分析によって理解する。
12	動機づけの理論	内発的動機づけに関する自己決定理論の概略を理解する。
13	人間と社会(1) アドラー心理学	アドラー心理学を概観し、人間の行動に関しての目的について理解する。
14	人間と社会(2) アドラー心理学	アドラー心理学を概観し、人間の行動に関しての目的について理解する。
15	本講義のまとめ	本講義の振り返りを通して、心理学的な人間論を復習する。

科目名	生活学的政治論			講義コード	B110971015	担当教員	影山 彌
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	今日、わが国の政治は、社会の急激な進展によって生じた、次のような課題に対する政策的対応が求められている。生活優先、高齢化、情報化、国際化、自然環境保全、などである。そこで、本講義では、現代政治を理解するために必要なポイントについて学ぶとともに、最近、政治の中心に登場してきた「生活」をめぐるわが国の生活政策について検討する。						
受講資格	人間生活学科（生活総合コース・福祉コース・建築デザインコース）・食物栄養学科			成績評価方法	受講態度（20%）、テスト結果（80%）		
教科書	特になし。 毎時間授業内容のレジュメを配布する。						
参考書	前田繁一編著『現代と政治学』法律文化社						
学生への要望	授業目標を毎回確認すること。						
オフィス	金曜日を除くお昼休み（12:00～12:50）						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	政治化の時代	今日、政治が生活のあらゆる面に深くかかわっていることを事例をとおして理解する。同時に、その結果、生活の管理化が進行していることにも注目する。
2	政治的無関心の問題	政治化の時代でありながら、広く存在している政治的無関心について、H. D. ラスウェルの諸説をとおして考える。
3	政治とは何か	研究者の諸説をとおして、政治は権力、言いかえれば、決定作成にかかわる現象であることを理解する。
4	政治と決定作成	政治の中心である決定作成が、国民に対する諸価値の権威的配分を意味する、政策や法律の作成であることを理解する。
5	立法過程（1）	決定の中心である法律の作成が、個人、圧力団体、政党とどのようにかわりながらなされるかをみる。
6	立法過程（2）	わが国の場合、法律が、立法過程の第2段階である国会審議において、どのような過程をへて成立するかを、委員会制度などを軸に学ぶ。
7	統治過程	法律の執行過程としての行政と司法の現状について、わが国の場合を例としてみることにする。
8	行政の優位	立法と司法に対する行政の優位について、事例をとおしてその現状と背景をとらえ、L. ギューリックの現代行政作用論についてもみる。
9	政治と権力	政治学の中心テーマでありつづける権力について、人間と権力の関係、権力という力の性質、権力の実体的あるいは関係的概念などを理解する。
10	権力構造	権力を誰がどのような形で所有しているか、この政治学の伝統テーマについて、研究者の所説に依って日本とアメリカについてみる。
11	権力の正当性の根拠	「権力が正当である」と承認する場合の、その根拠を問う、という政治学の伝統的テーマについて、M. ウェーバーの所説を端緒として考え、「生活優先」が有効な回答の一つであることを考える。
12	生活と政策（1）	国民の食生活に関わるわが国の農業政策について、低下しつつける食糧自給率、単作経営などに焦点をあてながら、その近代化路線を検討する。

13	生活と政策（2）	今日、家庭や地域で福祉を考える「生活福祉」の観念が強調されているが、この観点から、わが国における老人の在宅福祉対策の現状と問題点を考える。
14	生活と政策（3）	今日、家庭や地域で福祉を考える「生活福祉」の観念が強調されているが、この観点から、わが国における老人の在宅福祉対策の現状と問題点を考える。
15	総まとめ	総まとめを行い総合評価を行う。

科目名	生活学的社会論			講義コード	B110971002	担当教員	橋爪 敏
対象	1 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	社会学的な見方、考え方の基礎を学ぶ。社会学は人間関係を中心として、様々な社会現象を考察する学問／科学であり、生活学の基礎としての意味を持つ。 社会学的思考法を身に着ける。						
受講資格	特に無し			成績評価方法	学期末のペーパーテスト(100%)で評価する。		
教科書	高尾公矢・橋爪 敏編 『社会学の基礎』 犀書房						
参考書	適宜紹介する。						
学生への要望	私語厳禁、学習意欲を持って参加されたい。						
ワイルド	月曜～水曜まで、朝から夕方まで、授業の無いときはいつでも対応します。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	授業の方法の説明、社会学とは何か	授業の方法、内容についての若干の説明および注意 社会学はいかなる学問／科学か。
2	社会学の対象-1	社会学の対象としての人間関係、中根千枝のタテ社会論を例として、全体社会レベルの問題を説明する。
3	社会学の対象-2	制度、集団、組織レベルの問題。マックス・ウエーバーの『プロテスタンティズムと資本主義の精神』を例として。
4	社会学の対象-3	直接的な人間関係の問題。L. vonウィーゼの2人関係、3人関係の問題を例として
5	社会学の方法-1	科学としての社会学、社会科学の特質。 SeinとSollenの問題。
6	社会学の方法-2	客観的知識としての科学。科学の視点、視座。グンナー・ミュルダールの見解に触れて。準拋枠について。
7	社会的人間(論)-1	社会的人間、社会的存在としての人間—人間と社会との密接不可分な関連性について考える。社会名目／唯名論と社会実在論。
8	社会的人間(論)-2	人間(個人)とその行動様式—1) 先天的行動様式。
9	社会的人間(論)-3	2) 後天的行動様式、野生児の問題。社会における成長—C. H. クーリーの第1次集団について。
10	社会的人間(論)-4	第2次集団。社会化概念、3つの社会化概念について。
11	行為論-1	マックス・ウエーバーの行為の概念。
12	行為論-2	T. パーソンズの行為の4要素／条件。AGIL図式について。
13	社会的性格論-1	エーリッヒ・フロムの「社会的性格論」—『自由からの逃走』の問題に触れて。
14	社会的性格論-2	デビット・リースマンの「社会的性格論」—『孤独な群集』の問題に触れて。
15	まとめ	全15回の授業のまとめ。

科目名	生活学的経済論			講義コード	B110971014	担当教員	石田 智宏
対象	1 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>①経済を中心とした社会現象を理論的に解き明かす ②アクティブラーニング：質問される正解の無い問いに対し、自らの解答を探し発言すること ③ディープラーニング：授業で提供される論理と、自分がすでにもっている知識を関連づけること</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕</p> <p>①経済を中心とした現代の社会現象を、意見交換を中心としながら理論的に解き明かしていく ②大きな社会現象：ニュースを中心として、その背後にどんな人間の心理活動が見えるか ③小さな社会現象：商品、企業活動を中心として、その背後にどんな現代社会が見えるか</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕</p> <p>①現代社会の諸問題に関心がもてる ②社会現象の背後関係に自分なりの興味ももてる ③自分の意見を簡潔にまとめそれを表現した。</p>						
受講資格	とくになし			成績評価方法	コメント50点、レポート50点、合計100点		
教科書	教員がプリントを配布する						
参考書	参考書：『生活経済論』（2002）、馬場紀子他、有斐閣アルマ、等						
学生への要望	積極的に発言して下さい						
ワイルドタイム	月・火・木・金の13:00～16:30に経営研究室に来て下さい						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	資源と経済	現代の社会を、自分自身を通して吟味することの意味はなにか。 社会科学を学ぶことで得られるものはなにか。 経済現象とモノの背後に人を見ることについて考える。
2	モラルと経済	社会的事件の背後にはなにがあるのか。 モラルと社会、モラルと経済について考える。 ウチとソトの関係性は、経済現象とどうかかわりがあるのか。
3	支援と経済	経済における利益と厚生バランスについて考える。 他者に敬意を払う、経済行為としての支援を学ぶ。 共感が支える、アダム・スミスの上等な社会について考える。
4	交換と経済	交換は、経済行為の本質のひとつである。 交換と幸せ（厚生・効用）との関係性について考える。 自給自足の経済と交換経済の差異、経済主体の利己心と利他心について考える。
5	信頼と経済	貨幣は、人間が持つ相互信頼から発生している。 また、相互信頼は、職業の分化と経済の拡大を促した。 モノの向こう側にある、人間の信頼・想像力・互酬等の習性について考える。
6	ソーシャル経済	自己の効用（幸せ）を、経済手段を通じて他者の効用にリンクさせる。 同じモノに関して、見方を変えると価値眼が変わる。 企業・消費者の社会的価値志向とソーシャル・ビジネス、フェアトレード等について考える。
7	振り返り	これまでの論点を整理する。 経済は人々の厚生水準を向上させ、貴重な資源を生かすことを目的とした人間の相互依存行為である。 社会を知るとは、人間を知ることである。
8	経済学の思考と論理（2回シリーズ）	経済を中心とした社会現象を理論的に説明することが、経済学の本質である。 この点に関心をもつために、ジョン・ナッシュの思考を紹介する。 経済学と論理、アルゴリズム、数学と経済学

9	経済学の思考と論理（2回シリーズ）	経済を中心とした社会現象を理論的に説明することが、経済学の本質である。 この点に関心をもつために、ジョン・ナッシュの思考を紹介する。 経済学と論理、アルゴリズム、数学と経済学
10	社会現象を解く①くまモンと地域おこし	経済効果、商品のブランディング、地域おこしについて考える キャラクター、マーク、ネーミング、差別化について
11	社会現象を解く②コンビニスイーツと社会トレンド	社会環境の変化とヒット商品の関係性について考える 健康の商品化・娯楽化、ボーダレス化
12	社会現象を解く③女子力消費	男女平等社会下での女子力消費について考える カスタマイズ、シェア、PEST
13	社会現象を解く④	競争社会下での企業の差別化について考える コストリーダーシップ、美味しさの源泉、ビジネスモデル
14	社会現象を解く⑤	変化するマーケットと社会の関係について考える マーケットの創造、時代的差別化
15	まとめと授業評価	講座のまとめをおこなう。 レポートと評価について説明する。 授業評価アンケートを実施する。

科目名	生活生物学			講義コード	B110971007	担当教員	源川 博久
対象	1年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	生活生物学は共通基礎科目として開講されるため、高校では生物や化学といった理系科目を選択しなかった人が、生化学、生理学、基礎栄養学などの専門基礎科目を理解できるように、理系科目の基礎を生物学的観点より理解することを授業の目的とする。そのため、生活生物学では「生物(生命)とは何か」を理解するために、主に「生物の分類」「細胞生理」「エネルギー代謝」「遺伝」について学ぶ。また、これらを理解する上では化学的な知識も必要となるため、生化学の基礎についても取上げる。						
受講資格	特になし			成績評価方法	期末試験(70%)と小テスト(30%)の結果より評価する。欠席は減点の対象とする。		
教科書	資料(パワーポイント)をWLRよりdownloadする。						
参考書	ホートン生化学 第4版、鈴木紘一ら訳、東京化学同人 視覚でとらえる フォトサイエンス 生物図録、鈴木孝仁監修、数研出版						
学生への要望	生活生物学と関係の深い科目と関連付けをして理解を深めることが望ましい。そのため、わからないことは生活生物学に関わらず質問すること						
ワキタム	主に水曜日の午前中、木曜日						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンス	授業の進め方、受講上の注意点、教科書、評価方法などについて理解する。また、生活生物学で取りあげる授業内容について説明する。
2	生命とは	生物学における「生命」の概念を学ぶことで、生物の共通性・多様性について確認する。
3	生命の起源	地球における生命の起源(主な仮説の確認)、生物の進化と大絶滅について確認する。
4	生化学の基礎 I	生物の生命活動を理解するために、糖質とタンパク質の基礎を確認する。
5	生化学の基礎 II	生物の生命活動を理解するために、脂質と核酸の基礎を確認する。
6	生物の分類	ウイルスと生物の比較、生物の分類を学ぶことで、生物の特徴を確認する。
7	原核生物	原核生物の特徴を真核生物との相違点から確認する。
8	真核生物	真核生物の特徴を原動物、真菌類、動物、植物について確認する。
9	細胞の構成	細胞小器官や細胞膜の機能を学ぶことで細胞機能を理解する。
10	エネルギー代謝 I	代謝とエネルギー(ATP)の概念を学び、エネルギー代謝の流れを解説する。
11	エネルギー代謝 II	生物に共通する解糖系と好気呼吸について生化学的に解説する。
12	エネルギー代謝 III	植物のエネルギー代謝である光合成の発見過程と光合成を生化学的に確認する。
13	遺伝 I	セントラルドグマのうちDNAの半保存的複製について学び、遺伝の基礎を理解する。
14	遺伝 II	セントラルドグマのうちタンパク質合成について学び、遺伝の基礎を理解する。
15	遺伝 III	メンデルの法則から遺伝の概念を学び、ヒトの遺伝形質(アルコール耐性、血液型など)を確認する。

科目名	生活化学			講義コード	B110971021	担当教員	関口 晋
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>食物や栄養を理解するためには、どんな物質がどう人体と関係しているかを学ぶ必要があります。一方、化学とは物質及びその性質を理解する学問です。ですから、化学は食物栄養を学ぶにあたって土台となる学問であり、食物栄養学は化学の考え方を身に着けると大変よく理解できます。</p> <p>物質の構造や性質には規則性があり、この規則性を理解することが、化学を理解することにつながります。講義の計画は、化学の一般的な規則の学習を主眼にたてられています。また、化学的な事項が日常現象や生命現象と関連している例を講義内容に盛り込むことで、生活や応用的な学問との連続性を考慮しています。講義は、説明と練習問題で構成され、練習問題によって説明の理解度がある程度確かめられます。</p>						
受講資格	なし			成績評価方法	期末試験100点。(ただし欠席回数に応じて減点)		
教科書	授業ごとにプリントを配布します。						
参考書	「《基礎固め》化学」小島一光著、化学同人、※絶版 「カソウケンへようこそ」内田麻理香著、講談社 「Catch Up 大学の化学講義」杉森彰・富田功著、裳華房						
学生への要望	よく理解できないところは、参考書等を用いて積極的に復習してください。復習の方法としては、研究室まで質問にきたり、同級生などと一緒に勉強することも有効です。						
オフィス	放課後など研究室にいて急用がないときは、いつでも可。前もっての都合は、相談してください。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	原子の構造、周期表	<ul style="list-style-type: none"> ・原子とは ・元素とは ・周期表 ・元素の性質
2	電子殻、電子軌道、点電子則	<ul style="list-style-type: none"> ・電子殻 ・電子軌道 ・点電子式（オクテット則）
3	分子軌道	<ul style="list-style-type: none"> ・電子対反発則 ・メタンの分子軌道（sp³混成軌道） ・エチレンの分子軌道（sp²混成軌道）
4	化学結合	<ul style="list-style-type: none"> ・電気陰性度 ・イオン結合と共有結合 ・水素結合 ・双極子相互作用 ・疎水性相互作用
5	モル	<ul style="list-style-type: none"> ・原子の数え方 ・反応とモル
6	濃度	<ul style="list-style-type: none"> ・濃度の単位 ・重量モル濃度 ・モル濃度 ・沸点上昇、凝固点降下
7	化学反応	<ul style="list-style-type: none"> ・化学反応とは ・化学反応の分類 ・化学量論 ・熱化学方程式（発アルゴン反応、吸エルゴン反応） ・化学平衡 ・質量作用の法則 ・ルシャトリエの法則

8	酸・塩基	<ul style="list-style-type: none"> ・関連する語句 ・アレニウスの定義 ・ブレンステッド・ローリーの定義 ・ルイスの定義 ・酸の強さ ・塩基の強さ ・中和 ・酸の解離 ・水の解離 ・pH ・硬い酸、軟らかい酸 ・緩衝溶液
9	酸化・還元	<ul style="list-style-type: none"> ・定義 ・酸化数 ・酸化還元反応 ・イオン化傾向 ・酸化剤と還元剤 ・半反応 ・酸化還元滴定 ・電池 ・標準電極電位
10	有機化学基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・アルカン ・アルケン ・アルキン ・芳香族 ・複素環
11	命名法	<p>命名法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数詞 ・アルカン ・官能基 ・特別な置換基がある場合 ・多重結合がある場合
12	官能基	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコール ・フェノール ・アルデヒド ・ケトン ・カルボン酸 ・エステル ・アミド ・アミン ・チオール ・エーテル
13	異性体、気体、固体	<ul style="list-style-type: none"> ○異性体 <ul style="list-style-type: none"> ・語句の関係 ・アルカンの立体配座 ・シス・トランス異性 ・光学異性 ○気体 <ul style="list-style-type: none"> ・アボガドロの法則 ・ボイルの法則 ・シャルルの法則 ・気体の状態方程式 ・気体の溶解度 ○固体 <ul style="list-style-type: none"> ・結晶
14	細胞生理	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞内小器官 ・細胞膜 ・細胞周期
15	鉄の化学	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン化傾向と文明（鉄の還元とその反応） ・鉄原子の電子状態 ・鉄の酸化 ・ヘモグロビン ・鉄の体内における貯蔵、運搬等

科目名	総合英語コミュニケーション I		講義コード	B110971020	担当教員	J・ティルマント
対象	1 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数 2
授業目標	このクラスの目的は、実践的なアプローチをとることによって、書く事、話す事、両方において学生に英語を使う上で、自信をもたせることです。学生は、リスニングと読解の学習のみではなく、グループで自分自身の言葉で会話とコミュニケーションを創作します。学生は、これまでのクラスで勉強した英語を、会話の中で、どのように使用するかその方法を学習します。					
受講資格				成績評価方法	合計で100になるように、Class work and listening tests 40% presentations 50% 出席率 10%	
教科書	授業で参考文献を指示する					
参考書	和英一英和辞典					
学生への要望	授業は二つのパートから構成されます。一つはリスニングの練習、A.V.なども使用します。二つの目は会話の練習です。学生はまた独自の英語による会話を創作し発表します。トピックは、自己紹介、趣味、時間と曜日、買い物、外食、旅行、仕事などです。その他として、ビデオ観賞、小テストなどもあります。					
オフィス	金 2:30-5:00 毎日 4:00-5:00 Or any time I am there.					

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	Introduction	授業内容についての説明 / 一般的な発音とコミュニケーションの方法について
2	Nice to Meet You: Listening	リスニング: 自己紹介 (p. 1)
3	Video Clip: Introduce Me	Supplemental learning through use of video clips and game software
4	Favorites: Listening	リスニング: 一番好きなもの (p.5-6)
5	Listening Test	第一回リスニングテスト (p5-6)
6	Communication	会話練習: 私の好きなもの (p.7-8)
7	I Wanna Go To Niles: Listening	リスニング: 時間の尋ね方と答え方 ((p.9-10)
8	Ther's A Great Movie Playing Tonight: Video Clip	Supplemental learning through use of video clips and game software
9	Listening Test	第二回リスニングテスト
10	What Time do You Open: Communication	会話練習: 何時からはじまりますか (何時から開きますか) (p. 11)
11	What's Playing: Communication	会話練習: 今夜の予定はありますか (p. 12)
12	How Much Is This: Listening	リスニング: これはいくらですか (買い物) (p. 19-20)
13	Listening Test	第三回リスニングテスト
14	Communication	会話練習: それをください。 (p15-16)
15	Wrap-up	授業内試験及び解説

科目名	コンピュータ英語			講義コード	B210971013	担当教員	J・ティルマント
対象	2年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	The purpose of this class is to give students the opportunity to learn English usage and skills in computer use, use of the Internet, electronic communication and so forth, which will benefit them in seeking employment, and will be useful in their daily lives as well.						
受講資格				成績評価方法	合計で100になるように、Class Projects (70%) Short typing exercises (25%) 出席率 (5%)		
教科書	授業内で参考文献を指示する						
参考書							
学生への要望	Students will be expected to learn basic English typing skills through extensive practice and usage. You will be asked to prepare various types of business and personal documents and letters, in English. During the second term you will be given project assignments requiring you to gather information from the Internet and other sources, and prepare documents in English using that information. You will also be asked to send and receive English e-mails or other information over the Internet.						
オフィス	金 4:10 - 5:40 毎日: 8:00-8:50 Or any time I am there						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	Introduction	Class introduction and explanation
2	Basic English Typing	Use of English keyboard. Typing practice using game software.
3	Typing Practice	Typing practice using game software.
4	Word Set-up	Basic use of Microsoft Office Word processor, page set-up for writing in English, character selection, sizing, etc.
5	Typing Test	First typing test
6	Transcription	Typing practice using printed material. Input of printed material into Word page. / 1st project: The Weaker Sex
7	Transcription - 2	2nd project: The Haves' and Have Nots'
8	Typing Test	Second typing test: The Single Parent
9	Use of columns	Chart and column lay-outs. Input of data into columns and charts. / 3rd project: The Mommy Track
10	Use of sub-notes	Layout of pages with English and Japanese sub-notes at the bottom of the page. / 4th project: The Asian Diet
11	developing charts	Creation of data charts in English documents. / 5th project: Vitamins
12	Creating charts in documents	Creation of English data charts in documents - title creations. / 6th project: Eating Disorders

13	charts and sub-charts	Creation of data sub-charts / 7th project: Doping
14	Inserting pictures and other media	Methods of inserting pictures, scanned materials and other graphics into Word documents. 8th project: Chikuzen-ni
15	Presentations	Presentation and review of student documents.

科目名	TOEIC I			講義コード	B210971015	担当教員	安田 純子
対象	2年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	近年益々グローバル社会に生きる人間として英語コミュニケーション能力を養うことが必要になってきており、社会的ニーズに答える意味でもそのスキルを向上させることは大切です。 本講座では、主にTOEICのためのリーディングとリスニングの練習を入門編から行い、その技術の向上とともに役立つ英語を目指します。						
受講資格				成績評価方法	平常点（小テストを含む）40%、試験40%、レポートなど20%		
教科書	TOEIC Bridge Lounge (NANUN-DO)						
参考書	英和辞典はできるだけ新しく語彙数と用例の多いものをすすめます。						
学生への要望	Students are advised not to miss any class.						
オフィス	Monday to Friday 8:30 a.m-5:05 p.m (except Thurs)						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	Introduction 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ Explanation (Contents, The meaning of learning of English, Course purpose and exposed goals, Evaluation details)
2	Introduction 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEICとは何か ・ TOEICの特徴と構成 ・ Quiz or Mini Test
3	Lesson1	<ul style="list-style-type: none"> ・ The Weather 「天気」 present/past tense Warm-up Check1 (現在時制、過去時制) Cheak2, Cheak3, Cheak4 Exercises Part1 Photographs, Part2 Question-Response, Part3 Short Conversations, Part4 Incomplete Sentences, Part5 Reading Comprehension
4	Lesson2	<ul style="list-style-type: none"> ・ Meetings & Messages 「ミーティング、メッセージ」 articles/pronouns Warm-up Check1 (冠詞、代名詞) Cheak2, Cheak3, Cheak4 Exercises Part1 Photographs, Part2 Question-Response, Part3 Short Conversations, Part4 Incomplete Sentences, Part5 Reading Comprehension
5	Lesson3	<ul style="list-style-type: none"> ・ Health 「健康」 progressive forms Warm-up Check1 (進行形、進行形にならない動詞) Cheak2, Cheak3, Cheak4 Exercises Part1 Photographs, Part2 Question-Response, Part3 Short Conversations, Part4 Incomplete Sentences, Part5 Reading Comprehension
6	Lesson4	<ul style="list-style-type: none"> ・ Advertising & Sales 「広告、セール」 nouns/numbers Warm-up Check1 (可算名詞と府可算名詞、数や量を表す表現) Cheak2, Cheak3, Cheak4 Exercises Part1 Photographs, Part2 Question-Response, Part3 Short Conversations, Part4 Incomplete Sentences, Part5 Reading Comprehension

7	Lesson5	<ul style="list-style-type: none"> ・ Investment & Office Supplies 「投資、オフィスの備品」 adjectives/adverbs Warm-up Check1 (形容詞と副詞の違い、副詞の位置) Cheak2, Cheak3, Cheak4 Exercises Part1 Photographs, Part2 Question-Response, Part3 Short Conversations, Part4 Incomplete Sentences, Part5 Reading Comprehension
8	Lesson6	<ul style="list-style-type: none"> ・ Telephone Messages 「電話メッセージ」 conjunctions/prepositions Warm-up Check1 (等位接続詞、従属接続詞、命令文の後のandとor、時を表す前置詞) Cheak2, Cheak3, Cheak4 Exercises Part1 Photographs, Part2 Question-Response, Part3 Short Conversations, Part4 Incomplete Sentences, Part5 Reading Comprehension
9	Lesson7	<ul style="list-style-type: none"> ・ Jobs & Promotions 「仕事、昇進」 auxiliary verbs/causative & perceptive verbs Warm-up Check1 (助動詞、使役動詞、知覚動詞) Cheak2, Cheak3, Cheak4 Exercises Part1 Photographs, Part2 Question-Response, Part3 Short Conversations, Part4 Incomplete Sentences, Part5 Reading Comprehension
10	Lesson8	<ul style="list-style-type: none"> ・ Flights & Traveling 「フライト、旅行」 future tense Warm-up Check1 (未来表現、時や条件を表す副詞節では未来のことでも現在形) Cheak2, Cheak3, Cheak4 Exercises Part1 Photographs, Part2 Question-Response, Part3 Short Conversations, Part4 Incomplete Sentences, Part5 Reading Comprehension
11	Lesson9	<ul style="list-style-type: none"> ・ Housing 「住居」 comparisons Warm-up Check1 (比較表現、比較級・最上級の強調) Cheak2, Cheak3, Cheak4 Exercises Part1 Photographs, Part2 Question-Response, Part3 Short Conversations, Part4 Incomplete Sentences, Part5 Reading Comprehension
12	Lesson10	<ul style="list-style-type: none"> ・ New Products & Electrical Appliances 「新製品、電化製品」 to-infinitives/gerunds Warm-up Check1 (to不定詞、動名詞とto不定詞) Cheak2, Cheak3, Cheak4 Exercises Part1 Photographs, Part2 Question-Response, Part3 Short Conversations, Part4 Incomplete Sentences, Part5 Reading Comprehension
13	Lesson11	<ul style="list-style-type: none"> ・ Media 「メディア」 perfect tenses Warm-up Check1 (現在完了、過去完了、未来完了) Cheak2, Cheak3, Cheak4 Exercises Part1 Photographs, Part2 Question-Response, Part3 Short Conversations, Part4 Incomplete Sentences, Part5 Reading Comprehension

14 Lesson12/ Exam Prep

- Ordering & Shipping 「注文、発送」 passive voice
- Warm-up
- Check1 (受動態、感情表現と受動態)
- Cheak2, Cheak3, Cheak4
- Exercises
- Part1 Photographs, Part2 Question-Response, Part3 Short Conversations,
- Part4 Incomplete Sentences, Part5 Reading Comprehension
- Prep session for the Exam planned Week 14
- Review of each lesson Examination

15 Examination / Explanation

- Examination
 - Explanation
-

科目名	運動健康論			講義コード	B110971016	担当教員	佐藤 浩明
対象	1 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>生活の基盤となる『健康なからだづくり』に欠かすことのできない運動の重要性を理解し、生涯にわたり自分の健康や体力に配慮ができ、それらを保持増進していくために必要となる知識や方法について実技、講義を通じて学びます。</p> <p>①運動と健康の関連を理解し、健康の在り方について学びます。 ②スポーツの意義を理解し、人間力について学びます。 ③運動を通して、協調性、コミュニケーション能力、フェアプレーの精神について学びます。 ④運動を通して、基礎体力の維持、向上する方法について学びます。</p> <p>【履修カルテの評価項目】 ①運動と健康の関連を理解し、健康について考え行動に移すことができたか。 ②スポーツの意義を理解し、人間力を高めることができたか。 ③集団の中でコミュニケーション能力を発揮し、互いに協力しながら活動することができたか。 ④基礎体力の維持、向上の方法を理解し、生涯運動を楽しみながら実施できるレベルに達しているか。</p>						
受講資格	家政学部 人間生活学科 (生活総合コース・福祉コース・建築デザ インコース 1年生) 家政学部 食物栄養学科 1年生 ※教職課程履修者は必修			成績評価方法	平常点40点(取組姿勢) 実技試験・レポート60点 ※本科目は実技を含むため、出席、積極的な取組みも重視します。 ※欠席により減点あり		
教科書	特になし(必要に応じて資料等を配布します)						
参考書	「健康・フィットネスと生涯スポーツ:大修館書店」「公認スポーツ指導者テキストⅠ・Ⅱ・Ⅲ:助日本体育協会」 「スポーツトレーニング理論:日本文芸社」「ストレッチメソッド:高橋書店」「メンタルトレーニング:ベース ボールマガジン社」「教養としてのスポーツ科学:大修館書店」						
学生への要望	※積極的に取組み、運動を楽しむこと。 ※実技の場合はタオル、水分は各自で必ず持参すること。 (体調管理・熱中症対策のため) ※自分の生活習慣に興味、関心を持ち、運動する習慣をつけてほしい。						
お支払	火、水、木、の16:00まで						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンス	①授業目的、内容、進め方、評価方法の説明 ②服装、準備物の確認(注意事項含む) ③グループ分け
2	縄跳び①/からだづくりの運動	<p>【テーマ:運動習慣をつける第一歩として、コミュニケーションゲームやレクリエーションで楽しくからだを動かす】</p> <p>【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ(準備運動・動的ストレッチ) ②コミュニケーションゲーム・体ほぐしの運動 ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び(個人およびグループ) ⑥クーリングダウン(静的ストレッチ・からだのケア) ⑦体育館清掃</p>
3	縄跳び②/からだづくりの運動	<p>【テーマ:楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】</p> <p>【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ(準備運動・動的ストレッチ) ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び(個人およびグループ) ⑥クーリングダウン(静的ストレッチ・からだのケア) ⑦体育館清掃</p>

4	ソフトバレーボール①／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
5	ソフトバレーボール②／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
6	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
7	ソフトバレーボール④／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
8	ソフトバレーボール⑤／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
9	フライングディスク①／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>

10	フライングディスク②／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
11	フライングディスク③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
12	ハンドボール①／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ハンドボールはスポーツの基本となる3つの要素（走る・投げる・跳ぶ）を含んだスポーツであり、ボールを使ったエクササイズで基礎体力の維持向上を図ることでスポーツを楽しめる能力を養う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ハンドボール（パス・キャッチ・シュート・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
13	ハンドボール②／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ハンドボールはスポーツの基本となる3つの要素（走る・投げる・跳ぶ）を含んだスポーツであり、ボールを使ったエクササイズで基礎体力の維持向上を図ることでスポーツを楽しめる能力を養う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ハンドボール（パス・キャッチ・シュート・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
14	ハンドボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ハンドボールはスポーツの基本となる3つの要素（走る・投げる・跳ぶ）を含んだスポーツであり、ボールを使ったエクササイズで基礎体力の維持向上を図ることでスポーツを楽しめる能力を養う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ハンドボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
15	実技のまとめ	<p>《まとめとして実技試験を行う》</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②レクリエーションゲーム ③実技試験 ④クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑤体育館清掃</p>

科目名	キャリアデザインⅡ		講義コード	B210201101	担当教員	桑野 聡	
対象	2年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	1
授業目標	<p>本学におけるキャリア教育の一環として、進路選択に向けて社会人として「働く」「生活する」「生きる」ことを主体的に考え、理解を深めることで、間もなく直面する職業キャリアの形成のための基礎を培います。具体的には、社会の第一線で活躍する人々を外部講師に迎え、各人のキャリア形成から働くことの意義や姿勢などについて、それぞれの考えを聞き、これを学生各自がグループ討論を通じて自分のキャリアプラン形成に連携させていくことを目指します。</p>						
受講資格	平成25年度入学生 「科目履修生」の手続きをした2年生以上の学生			成績評価方法	実施授業の2/3以上の出席を評価前提とし、講演・討論毎の4回の小レポートのうち3回セット以上の参加・提出によって「認」評価と判定。		
教科書	なし						
参考書	随時提示する						
学生への要望	<p>学生には以下のような「つくる力」と「かかわる力」の基礎力を身に着けることを心掛けて欲しいと思います。</p> <p>① 各自の職業観を自覚し、自分自身の職業キャリアプランを形成できるように努める（創造力）</p> <p>② 仕事（職業・業界など）に関する情報を正確に収集・分析し、職業選択に活用できるように努める（論理的思考力）</p> <p>③ 講演に対する討論を通じて、仕事に対する自分の認識を口頭および文書で正確かつ魅力的に伝えることが出来るように努める（表現力）</p> <p>④ いま自分自身がすべき役割を把握し、職業選択に向かって踏み出すことが出来る（主体的行動力）</p> <p>⑤ 聴くこと、話すことを通じて円滑な人間関係を築くことができるとともに、疑問に思ったことを積極的に質問し、課題解決に繋げることが出来る（コミュニケーション能力）</p> <p>⑥ 社会人（大人）としてのマナーを理解し、望ましい職業倫理・道徳を備えた労働者になることが出来る（倫理・道徳観）</p>						
ワキタム	授業に関する質問は、キャリア教育推進委員会（代表桑野、各学科専攻の委員）にお願いします。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンス 4月8日	授業内容を説明する。講演者を紹介し、学生の講演に対する希望や質問についてアンケートを実施する。
2	講演① 山崎有理子氏(スポーツ栄養士) 4月15日	福島県国見町の公立藤田総合病院で管理栄養士として活躍すると共に、県内初の「スポーツ栄養士」となった山崎氏より栄養士の役割や働く意義、モチベーションなどについて伺う予定です。
3	討論① 4月22日	講演①について、討論する。討論の形態やテーマについては、受講学生数や講演内容に従って適宜工夫する。
4	講演② 江淵和行氏(ヨークベニマル人事総務室 統括マネージャー) 5月13日	身近な地元の大企業を例に、就職後の社員教育の在り方などから企業が考える人材や働く意味などについて考えたい。地域と企業を繋ぐ上で食や栄養士といった仕事が果たせる役割などを考える機会にして欲しい。
5	討論② 5月20日	講演②について、討論する。討論の形態やテーマについては、受講学生数や講演内容に従って適宜工夫する。
6	講演③ 調整中(JICA) 5月27日	青年海外協力隊の経験者にお話をいただくことで、働くことの価値などについて考えるよい機会になるかもしれません。本学出身の経験者も多数います。現在、日程可能な講演者を依頼調整中です。
7	討論③ 6月3日	講演③について、討論する。討論の形態やテーマについては、受講学生数や講演内容に従って適宜工夫する。
8	講演④ (二本松 玉嶋屋主人) 6月10日	二本松市の老舗菓子店の女性経営者より伝統文化を継承することの意味ややりがいなどについてお話を伺う予定です。
9	討論④	講演④について、討論する。討論の形態やテーマについては、受講学生数や講演内容に従って適宜工夫する。
10	まとめ	今期の授業内容を振り返り、大学で学ぶ意義と3年次からの本格的な就職活動への橋渡しをしたい。

科目名	解剖学			講義コード	B110202004	担当教員	西山 慶治
対象	1年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕 人体の構造（機能）を学び、人体構成の法則を理解する。</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 人体を構成する基本的構造を、細胞、組織、器官並びに系統別レベルで学習する。</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 基本的な解剖学用語と医学用語を学び、その用語を用いて人体の構造を概説できる。</p>						
受講資格	特になし			成績評価方法	中間試験40点、期末試験60点 合計100点		
教科書	プリントを使用						
参考書	シンプル解剖生理学、他						
学生への要望	自らの体で確かめ、解剖学に親しむこと						
ワスタム	木曜IV限の教務部非常勤控室など。不在時にはメモを残しておくこと。						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	解剖学総論	人体とは、自然の法則が人体を借りて具現化されたものである。その法則を人体の基本構造から学ぶ。
2	細胞学	生命の最小単位である細胞について、その構造と機能を学ぶ。
3	組織学総論	人体を構成する上皮組織、支持組織、筋組織並びに神経組織について学ぶ。
4	骨格系 I	人体の支柱である骨格の組織構造と役割、発生、機能・経年変化、骨の連結を学ぶ。
5	骨格系 II	各骨格の名称と形状を学び、各部位での役割を理解して人体の特徴を学ぶ。
6	筋系	骨格筋の概略を学び、運動器としての役割を理解する。
7	消化器系 I	消化器の各部位の構造を学び、消化機能の概略を理解する。
8	消化器系 II	消化器の主要部位の組織構造と機能を学ぶ。
9	呼吸器系	呼吸器の各部位の構造を学び、呼吸機能の概略を理解する。
10	泌尿・生殖器系	尿の生成と排泄を担う器官の構造と機能を学ぶ。 生殖器の構造、性差、発生並びにその機能を学ぶ。
11	脈管系	心臓を中心とした循環器の構造と役割を学ぶ。
12	神経系 I	中枢神経系の脳と脊髄の位置、構造、機能について学ぶ。
13	神経系 II	末梢神経の脳神経と脊髄神経並びに自律神経について学ぶ。
14	感覚器系	人体の情報入力器官である感覚器の構造と機能を学ぶ。
15	発生学	人体の発生と形成を学び、人類の特徴を理解する。

科目名	臨床医学 I			講義コード	B210202003	担当教員	藤原 建樹
対象	2 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>管理栄養士はチーム医療を担う重要な専門職である。</p> <p>管理栄養士に求められる基本的な医学知識を習得する。</p>						
受講資格				成績評価方法	筆記試験による（100%）。		
教科書	<p>疾病の成因・病態・診断・治療—人体の構造と機能および疾病の成り立ち。</p> <p>竹中 優（編集）、第2版、医歯薬出版株式会社</p>						
参考書	なし						
学生への要望	<p>臨床医学の範囲は膨大である。授業に集中し、主要疾患の概要はその授業時間内に習得すること。</p> <p>理解の一助として画像を用いるが、動画の内容を記憶する必要はない。教科書ないしプリントの内容を理解することが最も肝要である。学生の理解度などにより、適宜、スケジュールの変更もあり得る。</p>						
オフィス	火曜日、水曜日の午前中						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	飢餓と栄養障害	タンパク・エネルギー栄養障害 マラスムス型とクワシオルコル型との異同。
2	ビタミン欠乏症	主なビタミン欠病症 脚気 ペラグラ 壊血病 主なミネラル欠乏症 ウィルソン病 亜鉛欠乏症
3	糖尿病 1	糖尿病とは 糖尿病はなぜ怖い I型糖尿病とII型糖尿病（両者の異同）
4	糖尿病 2	糖尿病診断基準 （糖尿病学会ガイドラインに準じた各種の基準値）
5	糖尿病 3	糖尿病の主な合併症 糖尿病の経過 糖尿病治療の原則
6	資質異常症	脂質異常症 高尿酸血症
7	先天代謝異常	先天性代謝異常症
8	消化器 1	胃食道逆流症 胃・十二指腸潰瘍 胃がん ピロリ菌感染症の臨床的意義
9	消化器 2	クローン病と潰瘍性大腸炎との異同 大腸がん 過敏性腸管症候群

10	消化器	3	ウイルス性肝炎（感染経路、自然経過） 肝硬変 肝癌 脂肪肝
11	消化器	4	胆石・胆のう炎 急性膵炎 慢性膵炎
12	循環器	1	動脈血栓症 深部静脈血栓症 塞栓
13	循環器	2	動脈硬化 粥状硬化の機序 高血圧
14	循環器	3	急性冠症候群 狭心症と心筋梗塞の異同
15	循環器	4	心不全（左心不全とう心不全の特長）

科目名	生化学			講義コード	B110202002	担当教員	関口 晋
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>栄養を理解するための基本は、人体がどんな物質のどんな働きによって成り立っているかを知ることにあります。生化学は、生命に関連した化学反応を主体とした学問であり、人体が活動するために不可欠な機構を物質レベルで考えます。つまり、生化学の基礎を知ることなしには、栄養の本当の意味を理解することはできません。人体は、数多くの物質で構成されています。このため生化学を学ぶ際には、多くの単語、それも日常生活ではお目にかからない単語を覚える必要があります。これらの単語についてその意味をよりわかりやすく伝えるために、講義ではなるべく多くの絵や図を用います。また物質の働きについては、人体における役割と関連づけて説明します。基本的な説明をより多くするために、ノートをとる十分な時間がない場合がありますが、それを補うためにプリントが配布されます。</p>						
受講資格	なし			成績評価方法	期末試験90点、レポート点10点。 (ただし、欠席回数に応じて減点)		
教科書	授業ごとにプリントを配布します。						
参考書	「看護学生超入門シリーズ 生化学 栄養学」穂かり 茂、長谷川 正博、小山 岩雄 著、照林社						
学生への要望	<p>よく理解できないところは、参考書等を用いて積極的に復習してください。復習の方法としては、研究室まで質問にきたり、同級生などと一緒に勉強することも有効です。生化学は、理屈ぬきに覚えることが比較的多い学問です。ものを覚えるためには、手で書くという作業が非常に有効です。ノートを書き直して整理するなどの方法で、必要な知識を頭に入れてください。</p>						
ワイルド	放課後など研究室にいて急用がないときは、いつでも可。前もっての都合は、相談してください。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	生化学概観	<ul style="list-style-type: none"> ・糖 ・アミノ酸、タンパク質 ・脂質 ・核酸 ・CHONPS ・エネルギー代謝
2	糖	<ul style="list-style-type: none"> ・定義 ・光学異性体 ・単糖の環状ヘミアセタール構造 ・単糖の酸化・還元 ・天然の糖誘導体 ・二糖類 ・多糖類
3	アミノ酸・タンパク質 1	<ul style="list-style-type: none"> ・アミノ酸とは ・側鎖によるアミノ酸の分類 ・糖原性、ケト原性 ・必須アミノ酸、非必須アミノ酸 ・アミノ酸のイオン構造 ・等電点 ・ペプチド結合
4	アミノ酸・タンパク質 2	<ul style="list-style-type: none"> ・一次構造 ・二次構造 ・三次構造 ・二次構造・三次構造を決める要因 ・四次構造 ・アロステリック
5	油脂とリン脂質	<ul style="list-style-type: none"> ・脂質に関する語句 ・アシルグリセロール ・脂肪酸 ・リン脂質
6	核酸	<ul style="list-style-type: none"> ・核酸とは ・DNAの構造 ・複製 ・転写 ・翻訳

7	酵素	<ul style="list-style-type: none"> ・ 酵素とは ・ 酵素の性質 ・ 補助因子 ・ 酵素の分類 ・ 反応速度：ミカエリス・メンテンの式 ・ 酵素の阻害 ・ 酵素の調節
8	解糖	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代謝、エネルギー代謝、糖代謝 ・ 糖代謝とオルガネラ ・ 二糖類、グリセロール、グリコーゲンと解糖系 ・ 解糖系第一段階 ・ 解糖系第二段階 ・ 解糖系第三段階 ・ 解糖系第四段階 ・ 解糖系第五段階 ・ 解糖系第六段階 ・ NAD⁺、NADH ・ 解糖系第七段階 ・ 解糖系第八段階 ・ 解糖系第九段階 ・ 解糖系第十段階 ・ NAD⁺のリサイクル
9	クエン酸回路 (TCAサイクル)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意義 ・ アセチルCoAの供給 ・ 段階1：アセチルCoAの導入 ・ 段階2：クエン酸の異性化 ・ 段階3：二酸化炭素の脱離とNADHの合成 ・ 段階4：二酸化炭素の脱離とNADHの合成 ・ 段階5：GTPの合成 ・ 段階6：FADH₂の合成 ・ 段階7：フマル酸からリンゴ酸への変形 ・ 段階8：NADHの合成 ・ 収支
10	酸化的リン酸化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子伝達系と酸化的リン酸化 ・ インプットとアウトプット ・ 呼吸 ・ 複合体I ・ 複合体II ・ 複合体III ・ 複合体IV ・ 複合体V
11	糖新生	<ul style="list-style-type: none"> ・ グリコーゲンの分解 ・ 糖新生第一段階 ・ 糖新生第二段階 ・ リンゴ酸シャトル ・ 糖新生第三段階 ・ 糖新生第十段階 ・ 糖新生第十一段階 ・ 糖新生第十二段階
12	ペントースリン酸経路、グルクロン酸経路	<p>ペントースリン酸経路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意義・役割 ・ 経路の構成 ・ NADPとNADPH ・ 酸化反応の段階 ・ 非酸化反応の段階 ・ 収支 ・ グルコース6-リン酸デヒドロゲナーゼ欠損 ・ 還元的ペントースリン酸回路 <p>グルクロン酸経路</p>
13	アミノ酸代謝	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体内におけるアミノ酸の利用 ・ タンパク質の分解 ・ アミノ酸の分解 ・ 尿素回路 ・ 肝臓以外でのアンモニア処理 ・ アミノ酸の合成 ・ アミノ酸からの合成 ・ アミノ酸代謝関連の疾病
14	トリグリセリドの代謝、ケトン体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脂肪酸の合成 ・ トリアシルグリセロールの消化・吸収 ・ トリアシルグリセロールの再合成 ・ トリアシルグリセロールの運搬 ・ β酸化 ・ ケトン体の合成

15 コレステロール、リポタンパク質

- ・コレステロールとは
 - ・コレステロールの合成
 - ・胆汁酸、性ホルモン、副腎皮質ホルモン、ビタミンD
 - ・コレステロールのエステル化
 - ・コレステロールの吸収
 - ・リポタンパク質
-

科目名	解剖学実習			講義コード	B210212110	担当教員	西山 慶治, 中村 真智子
対象	2年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	1
授業目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕 人体を構成している種々の器官について理解を深めるために、様々な標本を用いて学ぶ。</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 人体の組織標本と解剖模型標本の観察・スケッチを行い、人体構造を実感として捉える。</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 人体の構造を自らの体に存在するものとし認識し、その位置を示して働きを概説できる。</p>						
受講資格	特になし			成績評価方法	レポート（スケッチ）50点、期末試験50点、合計100点 欠席は1回5点減点		
教科書	プリントを使用						
参考書	シンプル解剖生理学、他						
学生への要望	自らの体の構造を理解することに努める。						
ワイルド	木曜IV限の教務部非常勤控室など。不在時にはメモを残しておくこと。						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	実習授業の導入	授業計画、注意事項、準備するものなどの説明
2	組織標本の観察 I. 舌	舌乳頭（糸状乳頭、有郭乳頭、葉状乳頭）を光学顕微鏡で観察し、乳頭の構造の特徴と味蕾を確認してスケッチする。
3	II. 唾液腺	唾液腺（耳下腺、顎下腺、舌下腺）を観察して漿液細胞と粘液細胞を同定し、漿液腺と混合腺（半月が特徴）であることを確認する。
4	III. 食道、胃、腸	十二指腸で消化管の一般構造を理解して、食道と胃の特徴的構造を観察する。それらの特徴を機能的に説明できるようにする。
5	IV. 小腸、大腸	小腸（十二指腸、空腸、回腸）と大腸の構造を比較して、その特徴を機能的に説明できるようにする。
6	V. 肝臓、膵臓	肝臓は、機能単位である肝小葉の構造を観察して、門脈と胆道系の流れと肝機能を関連付けて説明できるようにする。膵臓は外分泌系と内分泌系に分けて観察する。
7	VI. 腎臓、甲状腺	腎臓は、尿生成の単位であるネフロンの構造を観察し、その各部位の機能を理解する。 甲状腺は、小胞を観察してコロイド、小胞細胞、旁小胞細胞を同定する。
8	解剖模型の観察 I. 胸部、腹部	トルソの模型を用いて胸部及び腹部内臓を観察し、心臓、肺、胃、肝臓、小腸、大腸、腎臓、膀胱などの臓器を同定して、それら諸臓器の位置関係を把握する。
9	II. 心臓	心臓の模型を用いて、心臓の表面と内部構造を観察してスケッチする。心臓の冠状動脈、4つの部屋、弁膜、刺激伝導系を同定する。
10	III. 呼吸器	呼吸器の模型標本を観察してスケッチする。喉頭と発声の機構、気管、気管分岐部、気管支の分岐、肺葉、肺根を観察してスケッチする。
11	IV. 上部腹部内臓	胃、十二指腸、膵臓、脾臓の模型を観察して、これらの位置関係、並びに腹膜臓器と腹膜後器官を理解してスケッチする。
12	V. 泌尿器	腎臓、尿管、膀胱、尿道の模型を観察して、尿生成から排泄までの経路を理解する。 腎臓は、その断面構造を観察してネフロン構造を想定する。
13	VI. 頭蓋骨、脊柱	頭蓋骨、脊柱、肋骨の体軸を構成する骨格の標本を観察し、支柱の役割及び中枢神経系と呼吸器の保護の役割を理解する。

14	Ⅶ. 四肢骨	上肢帯から自由上肢骨、下肢帯から自由下肢骨までの各骨格を観察して、運動器としての役割を理解してスケッチする。
15	まとめ	観察した標本を復習し、スケッチを完成させて提出する。

科目名	解剖学実習			講義コード	B210222110	担当教員	西山 慶治, 中村 真智子
対象	2年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	1
授業目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕 人体を構成している種々の器官について理解を深めるために、様々な標本を用いて学ぶ。</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 人体の組織標本と解剖模型標本の観察・スケッチを行い、人体構造を実感として捉える。</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 人体の構造を自らの体に存在するものとし認識し、その位置を示して働きを概説できる。</p>						
受講資格	特になし			成績評価方法	レポート（スケッチ）50点、期末試験50点、合計100点 欠席は1回5点減点		
教科書	プリントを使用						
参考書	シンプル解剖生理学、他						
学生への要望	自らの体の構造を理解することに努める。						
ワイルド	木曜IV限の教務部非常勤控室など。不在時にはメモを残しておくこと。						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	実習授業の導入	授業計画、注意事項、準備するものなどの説明
2	組織標本の観察 I. 舌	舌乳頭（糸状乳頭、有郭乳頭、葉状乳頭）を光学顕微鏡で観察し、乳頭の構造の特徴と味蕾を確認してスケッチする。
3	II. 唾液腺	唾液腺（耳下腺、顎下腺、舌下腺）を観察して漿液細胞と粘液細胞を同定し、漿液腺と混合腺（半月が特徴）であることを確認する。
4	III. 食道、胃、腸	十二指腸で消化管の一般構造を理解して、食道と胃の特徴的構造を観察する。それらの特徴を機能的に説明できるようにする。
5	IV. 小腸、大腸	小腸（十二指腸、空腸、回腸）と大腸の構造を比較して、その特徴を機能的に説明できるようにする。
6	V. 肝臓、膵臓	肝臓は、機能単位である肝小葉の構造を観察して、門脈と胆道系の流れと肝機能を関連付けて説明できるようにする。膵臓は外分泌系と内分泌系に分けて観察する。
7	VI. 腎臓、甲状腺	腎臓は、尿生成の単位であるネフロンを観察し、その各部位の機能を理解する。 甲状腺は、小胞を観察してコロイド、小胞細胞、旁小胞細胞を同定する。
8	解剖模型の観察 I. 胸部、腹部	トルソの模型を用いて胸部及び腹部内臓を観察し、心臓、肺、胃、肝臓、小腸、大腸、腎臓、膀胱などの臓器を同定して、それら臓器の位置関係を把握する。
9	II. 心臓	心臓の模型を用いて、心臓の表面と内部構造を観察してスケッチする。心臓の冠状動脈、4つの部屋、弁膜、刺激伝導系を同定する。
10	III. 呼吸器	呼吸器の模型標本を観察してスケッチする。喉頭と発声の機構、気管、気管分岐部、気管支の分岐、肺葉、肺根を観察してスケッチする。
11	IV. 上部腹部内臓	胃、十二指腸、膵臓、脾臓の模型を観察して、これらの位置関係、並びに腹膜臓器と腹膜後器官を理解してスケッチする。
12	V. 泌尿器	腎臓、尿管、膀胱、尿道の模型を観察して、尿生成から排泄までの経路を理解する。 腎臓は、その断面構造を観察してネフロン構造を想定する。
13	VI. 頭蓋骨、脊柱	頭蓋骨、脊柱、肋骨の体軸を構成する骨格の標本を観察し、支柱の役割及び中枢神経系と呼吸器の保護の役割を理解する。

14	Ⅶ. 四肢骨	上肢帯から自由上肢骨、下肢帯から自由下肢骨までの各骨格を観察して、運動器としての役割を理解してスケッチする。
15	まとめ	観察した標本を復習し、スケッチを完成させて提出する。

科目名	食品学 I			講義コード	B210202002	担当教員	広井 勝, 郡司 尚子
対象	2 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	人が健康を維持するためには、身体にとり必要な各種食品をバランスよく摂取せねばならない。そのためには、各種食品の持つ性状についての知見を得る努力が必要である。食品学 I はこうした知見を与えることを目標としている。また、本講義は管理栄養士国家試験のガイドラインで示される「食物と健康」の一部を構成するものである。						
受講資格	特になし			成績評価方法	ペーパーテスト90%、レポート10%で評価する。		
教科書	食品学（共立出版）、新訂原色食品図鑑（建帛社）など						
参考書	食品成分表「改訂最新版」（女子栄養大学出版部）、雑誌「食生活研究」						
学生への要望	食品に関心を持つこと						
ワイルドタイム	講義終了時に対応、これ以外は日程を確認して対応。						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	食品の機能	食品の機能とはなにか、機能性成分、保健機能食品（特定保健用食品、栄養機能食品）などについて解説する。
2	穀類の成分	日本人にとって最も大事な食料である米について、その成分の特徴について学ぶ。
3	穀類の成分	穀類とくに小麦、大麦、トウモロコシ、雑穀などの成分の特徴を学び、米の成分との違いを理解する。
4	いも類の成分ならびに甘味料について	いも類（サツマイモ、ジャガイモ、サトイモ、ヤマノイモ）などの性状と成分の特徴を学ぶ。焼き芋のおいしさの秘密を探る。また、砂糖ならびに砂糖の代わりに開発された各種甘味料の性質を学ぶ。
5	豆類の成分	豆類の成分の特徴ならびに日本人がいかに大豆を上手に加工し食べてきたかを食形態の特徴から学ぶ。
6	豆類の成分	落花生、小豆その他の豆類の性状と成分の特徴を学び、これらの豆類と大豆との成分の違いを理解する。
7	種実類の成分	各種種実類（ごま、ギンナンなど）はナッツとして親しまれているがその成分は木の実の種類で大きく異なることを理解する。
8	野菜類の成分	野菜類はミネラル、ビタミン、食物繊維の給源として大事なものである。葉菜類の成分についてまず学ぶ。
9	野菜類の成分	根菜類（ダイコン、ニンジンなど）、果菜類（トマト、キュウリなど）、花菜類（ブロッコリー、ミョウガなど）の成分の特徴について学ぶ。
10	果実類の成分	果実類の成分と特徴と主要な果実類（リンゴ、ナシ、モモ、ミカンなど）の成分を学び、果物の機能性についても理解する。
11	きのこ類の成分	きのこ類には担子菌類（マツタケ、シイタケなど）と子のう菌類（トリュフ、アミガサタケなど）があることや成分の特徴と機能性について学ぶ。
12	藻類の成分	代表的な藻類であるアサクサノリ、コンブ、ワカメ、アオノリ等成分と特徴について学ぶ。
13	魚介類の成分	日本人は魚介類をよく食べています。これら魚介類の成分の特徴と主要な魚類について学び、魚の利用と健康とのかかわりを考える。
14	魚介類の成分	代表的な魚（マグロ、カツオ、サンマ、イワシ、サバ、タラ、タイなど）の成分の特徴を理解する。また、鮮度の低下しやすい魚とそうでない魚について知ることと、鮮度の判定法についても学ぶ。
15	魚介類の成分	イカ、タコ、貝類、エビ、カニなどの成分の特徴について学ぶ。また合わせて、今期に学んだ食品についてポイントを整理し、知識の確認を行う。

科目名	調理学			講義コード	B110202001	担当教員	菊池 節子
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①おいしさの要因について理解を深める。 ②調理操作の原理、効率的な加熱法、調理器具の使用法、食品の調理特性について理解を深める。 ③調理操作による化学的・物理的变化について理解を深める。 ④献立作成方法の基礎を修得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>食品に様々な調理操作を加えると、食品はおいしくなり、安全になり、消化しやすい食物になる。そのため、各調理法の特徴、食品の調理特性や、その調理過程における化学的・物理的变化を理解することが大切になってくる。これらを踏まえて本講義では、合理的に再現性よく食品を調理する能力が備わるよう、調理学の基礎を学ぶ。</p> <p>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</p> <p>①おいしさの要因について理解できる。 ②調理操作の原理、効率的な加熱法、調理器具の使用法、食品の調理特性について理解できる。 ③調理操作による化学的・物理的变化について理解できる。 ④献立作成方法の基礎を理解できる。</p>						
受講資格	家政学部 食物栄養学科学生			成績評価方法	筆記試験 100点		
教科書	管理栄養士養成課程『栄養管理と生命科学シリーズ』調理の科学 吉田恵子・綾部園子編著 理工図書 3000円+税						
参考書	NEW調理と理論 山崎清子・島田キミエ・渋川祥子・下村道子・市川朝子・杉山久仁子共著 同文書院 コツと科学の調理事典 河野友美 医歯薬出版						
学生への要望	予習をして意欲的に取り組み、終了後は復習をしっかり行い理解の定着を図ること。毎回授業終了時に豆テストを行い、理解の程度を確認する。						
ウェブサイト	月曜V限 No.1調理学研究室 またはskikuchi@koriyama-kgc.ac.jpまで						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	調理の意義と目的・おいしさの要因	調理学とはどんな学問なのか、さらに私達が「おいしい」と感じる時はどんな時なのかを考える。食物の側からの直接要因と人間の側からの間接要因、さらに食情報・食習慣・食文化・過去の経験などの背景要因についておいしさを構成する要素について学ぶ。そこで、「おいしさ」は複数の要素が複雑に関わり合い構成されていることを理解する。
2	食物の味	おいしさの化学的要因である味について学ぶ。味には、甘味、酸味、塩味、苦味、うま味の基本五味と、そのほかの味として渋味、辛味、えぐ味、金属味、こく味などがある。これらの特徴や生理機能としての必要性、相乗効果などの味の相互作用について理解する。さらに、味覚感受性の基礎が作られる胎生期を含め、食味は加齢による身体的・精神的な影響を受けて変化すること、また閾値の変化についても理解する。
3	調理操作(1) 非加熱調理操作	調理操作とは、食品を付加価値を付けた食物にするための一連の操作をいい、食品素材の栄養効果を高め、おいしく、しかも衛生上安全に食べ物を調製することを目的として行なわれる。調理過程は、火を用いない非加熱調理操作と、火を用いる加熱調理操作に大別される。ここでは計量、洗浄、浸漬、切碎、粉碎、混合、圧搾、伸展、冷却、解凍、盛り付けなどの非加熱調理操作について学び、それぞれの調理操作の特徴を理解する。
4	調理操作(2) 加熱調理操作	加熱調理には、ゆでる・煮る・蒸す・炊くの湿式加熱と、焼く・炒める・揚げるの乾式加熱、さらに電磁調理器加熱の誘導加熱（以上外部加熱法）と、電子レンジ加熱の誘電加熱（内部加熱法）がある。また、熱の伝達（移動）には、放射、伝導、対流の3つの形態がある。ここでは、各加熱調理操作の特徴を学ぶとともに、それぞれの熱の伝導様式について理解する。
5	炭水化物を主成分とする食品の調理性(1) 米	米にはうるち米ともち米がある。それぞれの特徴を踏まえた上で、炊飯、強飯などの調理要領について理解する。さらに、うるち米の粉である上新粉、もち米の粉である白玉粉の調理性について理解する。

6	炭水化物を主成分とする食品の調理性(2) 小麦	小麦粉を特徴づけるタンパク質はグリアジンとグルテニンで、水を加えると吸収して絡み合い、網目状の構造を作る。これがグルテンである。グルテン形成に関与する加水量や水温、副材料、調製方法について、さらに小麦粉の膨化調理やルウについて理解する。
7	炭水化物を主成分とする食品の調理性(3) いも類、豆類	いもの種類と適した調理法について学び、マッシュポテトを作る際のポイントやおいしい焼き芋の作り方などを理解する。豆の調理性では、調理過程における豆の物理的、化学的変化を理解した上で、乾燥豆類の吸水・軟化や煮豆のポイント、あんの作り方などの実践について学ぶ。
8	たんぱく質を主成分とする食品の調理性 (1) 肉類、魚介類	肉や魚の組織を学び、加熱や調味料によって、食肉や魚肉タンパク質はどのように変化するかを、成分・テクスチャーの両面から探る。そこから、すね肉・ひき肉・硬い肉の調理や、魚の生食、焼き魚、煮魚などのコツを理解する。
9	たんぱく質を主成分とする食品の調理性 (2) 卵類、牛乳/乳製品、大豆類	卵の構造と成分を理解した上で、調理操作による卵タンパク質の変化(熱凝固、希釈卵液のゲル化、塩・アルカリによる凝固、起泡性、乳化性)について学ぶ。さらに添加材料の影響についても考える。牛乳の調理性では、調理過程における牛乳中成分の変化、生クリームなどの性質について理解する。
10	ビタミン・無機質の給源となる食品の調理性 野菜、果実類他	野菜の生食と加熱による化学的・物理的変化、野菜に含有する色素や栄養成分の性質と、調理操作によるそれらの変化について理解する。あわせて、果実、種実、海藻、きのこ類の調理性について理解する。
11	成分抽出素材の調理性(1) でんぷん、油脂類	でんぷんの糊化と老化、またでんぷんの種類とその性質について理解する。油脂の調理性では、性質(融点、可塑性、疎水性、ショートニング性、クリーミング性)を学び、油脂を用いた調理法と食品の変化について理解する。
12	成分抽出素材の調理性(2) ゲル化食品	動植物性食品の中には物理的・化学的処理や加熱を行うと、さまざまなゲル化素材が得られるものがある。動物性ではゼラチン、植物性では寒天、カラギーナン、ペクチンなどである。ここでは、ゲル化剤により異なる調理性、添加材料の影響などについて理解する。
13	調味料、嗜好飲料の調理性	食塩・しょうゆ・みそ・食酢・砂糖・酒類・うま味調味料などの調味料、また日常飲んでいるお茶・緑茶・中国茶・紅茶・コーヒーなどの嗜好飲料の調理性と機能性について理解する。
14	調理機器	調理器具、機器には非常に多くの種類がある。近年はエネルギー源として、従来の電気コンロとは異なり、電磁誘導加熱方式(IH方式: Induction Heating)が普及してきている。最近の調理機器の情報や、鍋の材質と扱い方などについて理解する。
15	授業の総括	「調理学」のまとめとして、前期の授業を振り返る。授業で行った項目について教科書に目を通し、ノートなどで内容の復習を行う。

科目名	食品学実験 I			講義コード	B210212106	担当教員	広井 勝, 郡司 尚子
対象	2 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	食品に含まれる成分の性質を実験によって確かめる。特にこの実験では炭水化物、たん白質の性質ならびに食品の一般成分の分析を行ない、実験の基本技術を修得する。実験に対して興味を持ってもらうことを大きな目標にしている。						
受講資格	特になし			成績評価方法	授業内容をまとめたノート (70%)、ペーパーテスト (30%) で評価。ただし、授業1回欠席につき5点減点する。		
教科書	食品学実験 (光生館)、五訂増補日本食品成分表						
参考書	特になし						
学生への要望	予習をして実験に望むこと。						
ウェブサイト	講義終了後可能な限り対応する。						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	予定説明	食品学実験 I の目的ならびに実験を行なうに必要な知識の整理。実験の目的ならびに、半期の具体的内容について説明する。
2	ガラス細工	実験室でよく使うガラスの攪拌棒や毛细管などを自分達で作る。そのことによりガラス管やガラス棒を切ったり、曲げたり、伸ばしたりといった簡単な技術を学ぶ。
3	炭水化物の性質と甘味料、特定保健用食品について	次週の実験で使う炭水化物について復習する。また、市販されている各種甘味料の特性や特定保健用食品について実物を見ながら確認する。また、一部ビデオで特定保健用食品や甘味料について学習する。
4	炭水化物の検出	炭水化物に関する実験…単糖類、二糖類、多糖類の定性的な検出法について学んだ後、でん粉の加水分解による変化について酸ならびに酵素を使い比較し、その違いについて考察する。また、未知糖の検出を行なうことにより、糖類全般の化学的性質についてまとめを行なう。
5	デンプンの分解	デンプンを酵素(アミラーゼ)を使って加水分解した場合と、酸(塩酸)を使って加水分解した場合の反応の違いを理解する。
6	未知糖の検出	4 回目の実験で学んだことを整理し、未知の糖液が何であるかを実験により明らかにする。もっとも効率よく作業を行なう行程を図式化して見る。
7	たん白質の検出	たん白質に関する実験…たん白質の基本的性質を知るために組成元素の検出、呈色反応、凝固沈殿反応などを行なう。また、薄層クロマトグラフィーによりアミノ酸の検出、確認を行なう。
8	凝固沈殿反応およびアミノ酸の薄層クロマトグラフィー	たん白質の凝固、沈殿反応とたん白質の変性の関係を理解する。卵白は鉛や水銀の解毒剤として利用されることがあるのはどうしてか考えてみよう。アミノ酸混合物を薄層クロマトグラフィーを使って分離確認する技術を学ぶ。
9	食品分析の説明	食品の一般成分の分析…食品分析法の原理について学んだ後に実際の食品成分分析を行なう。分析試料には凍豆腐を用い、水分、たん白質、脂質、灰分の分析を行ない、炭水化物は差引計算で求める。これらの実験を通じて秤量の概念、規定、モルなどの概念とそれぞれの溶液の作り方などを学ぶ。また、定量操作における反応の原理について、反応式より説明できるようにする。
10	水分の定量	105℃常圧乾燥法を利用し凍豆腐の水分を定量する。
11	脂質の定量	ソックスレーのエーテル抽出法により凍豆腐の脂質を定量する。
12	たん白質の定量	セミクロケルダール法によりたん白質を定量する。求めた窒素をたん白質に変換する窒素-たん白質変換係数について理解する。

13	灰分の定量と炭水化物の計算	550℃灰化法で灰分を定量し差引計算法で炭水化物を求める。
14	まとめ	凍豆腐の一般成分を各班で得られた結果を比較し検討する。各班のバラツキや食品成分表との比較を行ない考察する。
15	食品成分表の説明とテスト	食品成分表に載っている成分の分析方法や数値の取扱い方などについて説明し、献立作成に使う場合の留意点などについて述べる。合わせてテストを行ない授業内容の復習ならびに確認をする。

科目名	食品学実験 I			講義コード	B210222106	担当教員	広井 勝, 郡司 尚子
対象	2 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	食品に含まれる成分の性質を実験によって確かめる。特にこの実験では炭水化物、たん白質の性質ならびに食品の一般成分の分析を行ない、実験の基本技術を修得する。実験に対して興味を持ってもらうことを大きな目標にしている。						
受講資格	特になし			成績評価方法	授業内容をまとめたノート (70%)、ペーパーテスト (30%) で評価。ただし、授業1回欠席につき5点減点する。		
教科書	食品学実験 (光生館)、五訂増補日本食品成分表						
参考書	特になし						
学生への要望	予習をして実験に望むこと。						
ウェブサイト	講義終了後可能な限り対応する。						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	予定説明	食品学実験 I の目的ならびに実験を行なうに必要な知識の整理。実験の目的ならびに、半期の具体的内容について説明する。
2	ガラス細工	実験室でよく使うガラスの攪拌棒や毛细管などを自分達で作る。そのことによりガラス管やガラス棒を切ったり、曲げたり、伸ばしたりといった簡単な技術を学ぶ。
3	炭水化物の性質と甘味料、特定保健用食品について	次週の実験で使う炭水化物について復習する。また、市販されている各種甘味料の特性や特定保健用食品について実物を見ながら確認する。また、一部ビデオで特定保健用食品や甘味料について学習する。
4	炭水化物の検出	炭水化物に関する実験…単糖類、二糖類、多糖類の定性的な検出法について学んだ後、でん粉の加水分解による変化について酸ならびに酵素を使い比較し、その違いについて考察する。また、未知糖の検出を行なうことにより、糖類全般の化学的性質についてまとめを行なう。
5	デンプンの分解	デンプンを酵素(アミラーゼ)を使って加水分解した場合と、酸(塩酸)を使って加水分解した場合の反応の違いを理解する。
6	未知糖の検出	4 回目の実験で学んだことを整理し、未知の糖液が何であるかを実験により明らかにする。もっとも効率よく作業を行なう行程を図式化して見る。
7	たん白質の検出	たん白質に関する実験…たん白質の基本的性質を知るために組成元素の検出、呈色反応、凝固沈殿反応などを行なう。また、薄層クロマトグラフィーによりアミノ酸の検出、確認を行なう。
8	凝固沈殿反応およびアミノ酸の薄層クロマトグラフィー	たん白質の凝固、沈殿反応とたん白質の変性の関係を理解する。卵白は鉛や水銀の解毒剤として利用されることがあるのはどうしてか考えてみよう。アミノ酸混合物を薄層クロマトグラフィーを使って分離確認する技術を学ぶ。
9	食品分析の説明	食品の一般成分の分析…食品分析法の原理について学んだ後に実際の食品成分分析を行なう。分析試料には凍豆腐を用い、水分、たん白質、脂質、灰分の分析を行ない、炭水化物は差引計算で求める。これらの実験を通じて秤量の概念、規定、モルなどの概念とそれぞれの溶液の作り方などを学ぶ。また、定量操作における反応の原理について、反応式より説明できるようにする。
10	水分の定量	105℃常圧乾燥法を利用し凍豆腐の水分を定量する。
11	脂質の定量	ソックスレーのエーテル抽出法により凍豆腐の脂質を定量する。
12	たん白質の定量	セミクロケルダール法によりたん白質を定量する。求めた窒素をたん白質に変換する窒素-たん白質変換係数について理解する。

13	灰分の定量と炭水化物の計算	550℃灰化法で灰分を定量し差引計算法で炭水化物を求める。
14	まとめ	凍豆腐の一般成分を各班で得られた結果を比較し検討する。各班のバラツキや食品成分表との比較を行ない考察する。
15	食品成分表の説明とテスト	食品成分表に載っている成分の分析方法や数値の取扱い方などについて説明し、献立作成に使う場合の留意点などについて述べる。合わせてテストを行ない授業内容の復習ならびに確認をする。

科目名	調理学実習Ⅱ			講義コード	B210212108	担当教員	菊池 節子, 本間 杏菜
対象	2年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①応用的な知識・技術の習得 ②管理栄養士として役立つ実践能力の養成 ③社会人基礎力（チームワーク、状況把握力、課題発見力）の養成 ④健康な生活を送るための方法ならびに豊かな感性の習得</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>調理学ならびに調理学実習Ⅰで学んだ基礎的知識および技術をさらに発展させ、応用的な知識・技術を学ぶとともに、管理栄養士として役立つ実践能力を養う。</p> <p>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</p> <p>①管理栄養士に必要な知識・技術を習得できる。 ②献立作成、調理、盛り付けの一連の作業の計画・実施ができる。 ③実習を通して、社会人基礎力や感性を身に付けることができる。</p>						
受講資格	調理学、調理学実習Ⅰ履修学生			成績評価方法	①授業態度 20点 ②提出物 40点 (10,30点) ③筆記試験 30点 ④実技試験 10点 (1回欠席で2点減点)		
教科書	「新調理学実習 一般調理から大量調理その基礎と応用」宮下朋子編著 同文書院 2500円+税						
参考書	「食品成分表2014」女子栄養大学出版部 「調理のためのベーシックデータ」第4版 女子栄養大学出版部 1800円+税						
学生への要望	予習をして意欲的に取り組み、実習後は復習をしっかりと行い、理解の定着を図ること。また、日頃から食に関心を持ち、積極的に調理に携わること。						
ウェブサイト	木曜V限 加工・調理実習室 またはskikuchi@koryama-kgc.ac.jpまで						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	オリエンテーション、調理学実習Ⅰ試験解説	オリエンテーションとして授業の進め方について説明する。また調理学実習Ⅰ期末試験の解説を通して既習内容の復習を行う。さらに献立の内容について学び、日本料理の基本である一汁三菜の配膳や調味パーセントについて理解する。
2	食事の設計（1）	まず食事摂取基準を理解し、個人、集団での目標量を把握する。その後、食品構成表ならびに献立作成法について学び、食事をどのように設計したらよいかについて学ぶ。さらに食品成分表を用いて、可食部、廃棄部、栄養価計算、ナトリウムからの食塩量への換算方法などについて学び、栄養計算の実際について理解を深める。
3	日本料理（1）	季節の食材であるたけのこの扱い方、炊き込みご飯の要領、混合だしの取り方、飾り切り、上新粉の調理性について学ぶ。 *実習：たけのこご飯（参照p.39）、若竹汁（p.33）、いかときゅうりの黄身酢和え（p.82）、みたらし団子（参照p.89）
4	日本料理（2）	すし飯、焼き物、汁物、甘酢漬の要領、乾物の戻し方と戻し倍率について学ぶ。 *実習：巻き寿司（p.43）、魚の照り焼き（p.67）、菊花かぶの甘酢漬（p.85）、吉野鶏のすまし汁（p.31）
5	日本料理（3）+西洋料理（1）	あじを用いて、代表的な魚のおろし方である三枚おろしについて学び、日本料理と西洋料理に展開する。また、ブラマンジェのでんぷん濃度ならびにでんぷんの糊化について学ぶ。 *実習：あじの酢醤油かけ（p.30）、あじのフライ（参照p.131）、ブラマンジェ（p.163）
6	西洋料理（2）	蒸気圧による小麦粉の膨化、カスタードクリーム、コーヒー・紅茶の入れ方について学ぶ。また、ゼラチンの種類と扱い方・調理性について学ぶ。 *実習：シュークリーム（p.157）、ゼリー（p.161）、アイスティー（p.166）
7	食事の設計（2）	個人の3日間の食事調査の栄養価計算を行い、栄養計算の復習を行うとともに、自分の給与目標エネルギー・栄養素量の把握を行う。
8	食事の設計（3）	先週に引き続き、食事調査結果から、3日間の摂取献立の見直し、たんぱく質、脂質、糖質エネルギー比等の栄養比率の算出を行い、自分の食生活を振り返る。

9	食事の設計（４）	献立作成にあたり必要となる、乾物の戻し倍率や器に対する盛り付け量、調味パーセントについて学び、実践できる能力を養う。 献立作成：乾物の戻し方と戻し倍率、調味パーセントを考慮したグループ献立
10	食事の設計（５）	献立作成にあたり必要となる、乾物の戻し倍率や器に対する盛り付け量、調味パーセントについて学び、実践できる能力を養います。 *実習：先週作成したグループ献立の実習と発表
11	実験（１）砂糖の調理性	砂糖の加熱による変化についての実験を行い、砂糖の調理性について学ぶ。
12	日本料理（４）	麺の種類とゆで方、乾物に対するゆで上がり倍率、揚げ物の種類と天ぷらの要領、寒天の種類と扱い方・調理性、ほうじ茶の入れ方について学ぶ。 *実習：冷やしそうめん（p.49）、天ぷら（p.73）、水ようかん（p.87）、ほうじ茶（p.91）
13	中国料理（１）	中国料理の献立構成と内容、調理法、マナーについて学ぶ。また、粥の要領、白玉粉の調理性について学ぶ。 *実習：凉拌茄子（p.178）、芙蓉蟹（p.191）、乾焼明蝦（p.180）、粥（参照p.203）、蜜汁元宵（p.213）
14	日本料理（５）＋五味の識別テスト	もち米の調理性、小豆の煮方、和え物の要領について学ぶ。また、調理学実習Ⅰに引き続き五味の識別テストを行う。一年間調理学実習を行った後の、味覚の閾値の変化について学ぶ。 *実習：強飯（赤飯）（p.40）、小松菜のゆず浸し（p.78）
15	まとめ・調理実習室の整備	半期を振り返り調理学実習Ⅱで学んだ内容のより一層の定着を図る。また、実習室の整備の仕方について学ぶ。

科目名	調理学実習Ⅱ			講義コード	B210222108	担当教員	菊池 節子, 本間 杏菜
対象	2年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①応用的な知識・技術の習得 ②管理栄養士として役立つ実践能力の養成 ③社会人基礎力（チームワーク、状況把握力、課題発見力）の養成 ④健康な生活を送るための方法ならびに豊かな感性の習得</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>調理学ならびに調理学実習Ⅰで学んだ基礎的知識および技術をさらに発展させ、応用的な知識・技術を学ぶとともに、管理栄養士として役立つ実践能力を養う。</p> <p>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</p> <p>①管理栄養士に必要な知識・技術を習得できる。 ②献立作成、調理、盛り付けの一連の作業の計画・実施ができる。 ③実習を通して、社会人基礎力や感性を身に付けることができる。</p>						
受講資格	調理学、調理学実習Ⅰ履修学生			成績評価方法	①授業態度 20点 ②提出物 40点 (10, 30点) ③筆記試験 30点 ④実技試験 10点 (1回欠席で2点減点)		
教科書	「新調理学実習 一般調理から大量調理その基礎と応用」宮下朋子編著 同文書院 2500円+税						
参考書	「食品成分表2014」女子栄養大学出版部 「調理のためのベーシックデータ」第4版 女子栄養大学出版部 1800円+税						
学生への要望	予習をして意欲的に取り組み、実習後は復習をしっかりと行い、理解の定着を図ること。また、日頃から食に関心を持ち、積極的に調理に携わること。						
ウェブサイト	木曜V限 加工・調理実習室 またはskikuchi@koryama-kgc.ac.jpまで						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	オリエンテーション、調理学実習Ⅰ試験解説	オリエンテーションとして授業の進め方について説明する。また調理学実習Ⅰ期末試験の解説を通して既習内容の復習を行う。さらに献立の内容について学び、日本料理の基本である一汁三菜の配膳や調味パーセントについて理解する。
2	食事の設計（1）	まず食事摂取基準を理解し、個人、集団での目標量を把握する。その後、食品構成表ならびに献立作成法について学び、食事をどのように設計したらよいかについて学ぶ。さらに食品成分表を用いて、可食部、廃棄部、栄養価計算、ナトリウムからの食塩量への換算方法などについて学び、栄養計算の実際について理解を深める。
3	日本料理（1）	季節の食材であるたけのこの扱い方、炊き込みご飯の要領、混合だしの取り方、飾り切り、上新粉の調理性について学ぶ。 *実習：たけのこご飯（参照p.39）、若竹汁（p.33）、いかときゅうりの黄身酢和え（p.82）、みたらし団子（参照p.89）
4	日本料理（2）	すし飯、焼き物、汁物、甘酢漬の要領、乾物の戻し方と戻し倍率について学ぶ。 *実習：巻き寿司（p.43）、魚の照り焼き（p.67）、菊花かぶの甘酢漬（p.85）、吉野鶏のすまし汁（p.31）
5	日本料理（3）+西洋料理（1）	あじを用いて、代表的な魚のおろし方である三枚おろしについて学び、日本料理と西洋料理に展開する。また、ブラマンジェのでんぷん濃度ならびにでんぷんの糊化について学ぶ。 *実習：あじの酢醤油かけ（p.30）、あじのフライ（参照p.131）、ブラマンジェ（p.163）
6	西洋料理（2）	蒸気圧による小麦粉の膨化、カスタードクリーム、コーヒー・紅茶の入れ方について学ぶ。また、ゼラチンの種類と扱い方・調理性について学ぶ。 *実習：シュークリーム（p.157）、ゼリー（p.161）、アイスティー（p.166）
7	食事の設計（2）	個人の3日間の食事調査の栄養価計算を行い、栄養計算の復習を行うとともに、自分の給与目標エネルギー・栄養素量の把握を行う。
8	食事の設計（3）	先週に引き続き、食事調査結果から、3日間の摂取献立の見直し、たんぱく質、脂質、糖質エネルギー比等の栄養比率の算出を行い、自分の食生活を振り返る。

9	食事の設計（４）	献立作成にあたり必要となる、乾物の戻し倍率や器に対する盛り付け量、調味パーセントについて学び、実践できる能力を養う。 献立作成：乾物の戻し方と戻し倍率、調味パーセントを考慮したグループ献立
10	食事の設計（５）	献立作成にあたり必要となる、乾物の戻し倍率や器に対する盛り付け量、調味パーセントについて学び、実践できる能力を養います。 *実習：先週作成したグループ献立の実習と発表
11	実験（１）砂糖の調理性	砂糖の加熱による変化についての実験を行い、砂糖の調理性について学ぶ。
12	日本料理（４）	麺の種類とゆで方、乾物に対するゆで上がり倍率、揚げ物の種類と天ぷらの要領、寒天の種類と扱い方・調理性、ほうじ茶の入れ方について学ぶ。 *実習：冷やしそうめん（p.49）、天ぷら（p.73）、水ようかん（p.87）、ほうじ茶（p.91）
13	中国料理（１）	中国料理の献立構成と内容、調理法、マナーについて学ぶ。また、粥の要領、白玉粉の調理性について学ぶ。 *実習：凉拌茄子（p.178）、芙蓉蟹（p.191）、乾焼明蝦（p.180）、粥（参照p.203）、蜜汁元宵（p.213）
14	日本料理（５）＋五味の識別テスト	もち米の調理性、小豆の煮方、和え物の要領について学ぶ。また、調理学実習Ⅰに引き続き五味の識別テストを行う。一年間調理学実習を行った後の、味覚の閾値の変化について学ぶ。 *実習：強飯（赤飯）（p.40）、小松菜のゆず浸し（p.78）
15	まとめ・調理実習室の整備	半期を振り返り調理学実習Ⅱで学んだ内容のより一層の定着を図る。また、実習室の整備の仕方について学ぶ。

科目名	基礎栄養学実習			講義コード	B210212109	担当教員	源川 博久, 善方 美千子
対象	2年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	基礎栄養学実習は、厚生労働省指定の管理栄養士養成課程で専門分野の教育内容として開講される。栄養素を適切に摂取して良好な栄養状態を保つための栄養管理は、ヒトの健康維持のみならず健康増進やQOL(人生の質)の向上のために大変重要である。栄養管理のためには個人の栄養状態がどのような状況にあるのかを評価し、栄養上の問題があれば問題の解決をはかる必要がある。この授業では個人の栄養状態を評価するための方法(栄養アセスメント法)について実習を通して学ぶ。身体計測、尿の生化学的検査を自分自身についておこない、これらの結果に基づいて各自の栄養状態を判定する。結果について生化学や栄養学の知見に基づいて解釈することにより、栄養素の代謝や必要量について理解することを目的とする。						
受講資格	特になし。			成績評価方法	実習ノート(50%)と期末試験(50%)の結果より評価する。また、欠席は減点の対象とする。		
教科書	授業で配布するプリント 日本人の食事摂取基準 2010年版、第一出版						
参考書	栄養学各論Ⅰ、生化学、基礎栄養学、生化学実験の教科書及びプリント						
学生への要望	実習のノートを作成し、実験目的・方法など必要事項を予習すること。 実習ノートの結果・考察はすみやかにおこない、ノートをためないようにする。 期末試験後に実習ノートを提出すること(採点后に返却)。 わからないことはどんなことでも質問すること。						
ワキタム	主に水曜日 午前中、木曜日						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンス	授業の進め方、受講上の注意点、教科書、評価方法などについて理解する。また、基礎栄養学実習で取りあげる授業内容について説明する。また、栄養マネジメント(管理)の重要性と管理栄養士の役割について確認する。
2	栄養スクリーニング	栄養スクリーニングについて確認し、自分自身について栄養スクリーニングをおこなう。栄養スクリーニングは病院と介護保険施設で用いられている方法についておこなう。
3	身体計測Ⅰ	栄養アセスメントにおける身体計測の意義と方法について確認し、身長と体重を測定する。また、体格指数(BMI)を算出し、BMIから体格について考察する。
4	身体計測Ⅱ	インピーダンス法により体脂肪率を測定し、自分の体脂肪率とBMIから、体格と栄養状態を確認する。
5	身体計測Ⅲ	キャリパーを用いた上腕三頭筋皮下脂肪厚ならびに肩甲骨下端部皮下脂肪厚を測定し、皮下脂肪厚から体脂肪率を確認する。
6	身体計測Ⅳ	メジャーを用いた上腕周囲長、下腿周囲長、腹囲を測定し、上腕周囲長と上腕三頭筋皮下脂肪厚から上腕筋周囲長と上腕筋面積を求め、筋肉量と脂肪量を確認する。
7	身体計測Ⅴ	立位身長測定が困難な場合の測定方法を学び、膝高より身長を推定する。
8	骨量評価	超音波式骨量計による骨量を測定し、骨量の状況について考察する。
9	生化学的検査Ⅰ	栄養アセスメントにおける尿の生化学的検査の意義について学び、24時間尿の採尿方法に関して理解し、準備をする。
10	生化学的検査Ⅱ	24時間尿を採尿し、尿量計測、分析準備をおこなう。
11	生化学的検査Ⅲ	栄養アセスメントにおける尿中クレアチニンについて説明し、24時間尿中クレアチニン濃度を測定する。その結果から、クレアチニンクリアランスや筋肉量について考察する。
12	生化学的検査Ⅳ	原子吸光法による24時間尿中ナトリウム量を測定し、食事摂取基準のナトリウム摂取基準と比較して考察する。
13	生化学的検査Ⅴ	原子吸光法による24時間尿中カリウム量を測定し、食事摂取基準のカリウム摂取基準と比較して考察する。

14	食事調査	カルシウムの摂取量について食事調査をおこない、カルシウム摂取の状態を考察する。
15	まとめと試験	これまでの実習の総括をおこない、試験にて理解度を確認する。

科目名	基礎栄養学実習			講義コード	B210222109	担当教員	源川 博久, 善方 美千子
対象	2年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	1
授業目標	基礎栄養学実習は、厚生労働省指定の管理栄養士養成課程で専門分野の教育内容として開講される。栄養素を適切に摂取して良好な栄養状態を保つための栄養管理は、ヒトの健康維持のみならず健康増進やQOL(人生の質)の向上のために大変重要である。栄養管理のためには個人の栄養状態がどのような状況にあるのかを評価し、栄養上の問題があれば問題の解決をはかる必要がある。この授業では個人の栄養状態を評価するための方法(栄養アセスメント法)について実習を通して学ぶ。身体計測、尿の生化学的検査を自分自身についておこない、これらの結果に基づいて各自の栄養状態を判定する。結果について生化学や栄養学の知見に基づいて解釈することにより、栄養素の代謝や必要量について理解することを目的とする。						
受講資格	特になし。			成績評価方法	実習ノート(50%)と期末試験(50%)の結果より評価する。また、欠席は減点の対象とする。		
教科書	授業で配布するプリント 日本人の食事摂取基準 2010年版、第一出版						
参考書	栄養学各論Ⅰ、生化学、基礎栄養学、生化学実験の教科書及びプリント						
学生への要望	実習のノートを作成し、実験目的・方法など必要事項を予習すること。 実習ノートの結果・考察はすみやかにおこない、ノートをためないようにする。 期末試験後に実習ノートを提出すること(採点后に返却)。 わからないことはどんなことでも質問すること。						
ウェブサイト	主に水曜日 午前中、木曜日						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンス	授業の進め方、受講上の注意点、教科書、評価方法などについて理解する。また、基礎栄養学実習で取りあげる授業内容について説明する。また、栄養マネジメント(管理)の重要性と管理栄養士の役割について確認する。
2	栄養スクリーニング	栄養スクリーニングについて確認し、自分自身について栄養スクリーニングをおこなう。栄養スクリーニングは病院と介護保険施設で用いられている方法についておこなう。
3	身体計測Ⅰ	栄養アセスメントにおける身体計測の意義と方法について確認し、身長と体重を測定する。また、体格指数(BMI)を算出し、BMIから体格について考察する。
4	身体計測Ⅱ	インピーダンス法により体脂肪率を測定し、自分の体脂肪率とBMIから、体格と栄養状態を確認する。
5	身体計測Ⅲ	キャリパーを用いた上腕三頭筋皮下脂肪厚ならびに肩甲骨下端部皮下脂肪厚を測定し、皮下脂肪厚から体脂肪率を確認する。
6	身体計測Ⅳ	メジャーを用いた上腕周囲長、下腿周囲長、腹囲を測定し、上腕周囲長と上腕三頭筋皮下脂肪厚から上腕筋周囲長と上腕筋面積を求め、筋肉量と脂肪量を確認する。
7	身体計測Ⅴ	立位身長測定が困難な場合の測定方法を学び、膝高より身長を推定する。
8	骨量評価	超音波式骨量計による骨量を測定し、骨量の状況について考察する。
9	生化学的検査Ⅰ	栄養アセスメントにおける尿の生化学的検査の意義について学び、24時間尿の採尿方法に関して理解し、準備をする。
10	生化学的検査Ⅱ	24時間尿を採尿し、尿量計測、分析準備をおこなう。
11	生化学的検査Ⅲ	栄養アセスメントにおける尿中クレアチニンについて説明し、24時間尿中クレアチニン濃度を測定する。その結果から、クレアチニンクリアランスや筋肉量について考察する。
12	生化学的検査Ⅳ	原子吸光法による24時間尿中ナトリウム量を測定し、食事摂取基準のナトリウム摂取基準と比較して考察する。
13	生化学的検査Ⅴ	原子吸光法による24時間尿中カリウム量を測定し、食事摂取基準のカリウム摂取基準と比較して考察する。

14	食事調査	カルシウムの摂取量について食事調査をおこない、カルシウム摂取の状態を考察する。
15	まとめと試験	これまでの実習の総括をおこない、試験にて理解度を確認する。

科目名	栄養学各論 I			講義コード	B210202005	担当教員	源川 博久
対象	2 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>栄養学各論 I は、厚生労働省指定の管理栄養士養成課程で専門分野の教育内容として開講される。そのため、「身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の考え方を理解すること」が授業の目的となる。そのため、栄養学各論 I では、栄養マネジメント(管理)の考え方と方法について学ぶ。特に、栄養マネジメントにおいて重要な栄養アセスメント(評価・判定)の基本的な考え方を理解する。続いて、栄養アセスメントに用いる「日本人の食事摂取基準」の基本的概念、活用について学ぶ。さらに、ヒトでは加齢、発育や妊娠などライフステージや状況により人体の構造や機能の変化に伴い生理的变化もおこるため、状況に応じた栄養管理が重要となる。応用栄養学 I では、成長や発達による身体の変化や妊娠期について取上げ、生化学・生理学的特徴ならびに栄養学的特徴を学ぶ。</p>						
受講資格	特になし。			成績評価方法	<p>期末試験(60%)と小テスト(40%)の結果より評価する。また、欠席は減点の対象とする。</p>		
教科書	健康・栄養科学シリーズ「応用栄養学」改訂第4版、戸谷誠之ら編、南江堂						
参考書	日本人の食事摂取基準 2010年版、第一出版						
学生への要望	<p>応用栄養学と関係のある科目(基礎栄養学、生化学など)と関連付けをして理解を深めることが望ましい。そのため、わからないことは栄養学各論 I に関わらず質問すること。</p>						
ワキタム	主に水曜日 午前中、木曜日						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンス	授業の進め方、受講上の注意点、教科書、評価方法などについて理解する。また、栄養学各論 I で取りあげる授業内容について説明する。
2	日本人の食事摂取基準 I	日本人の食事摂取基準の基本的概念として、策定の基礎理論について確認する。
3	日本人の食事摂取基準 II	食事摂取基準で示されている推定エネルギー必要量について、策定理論や指標の意味について解説する。
4	日本人の食事摂取基準 III	食事摂取基準で示されている推定平均必要量・推奨量・目安量について、策定理論や指標の意味について解説する。
5	日本人の食事摂取基準 IV	食事摂取基準で示されている耐容上限量・目標量について、策定理論や指標の意味について解説する。
6	日本人の食事摂取基準 V	食事摂取基準の活用における留意点(過少申告・過大申告・日間変動・優先順)について解説する。
7	日本人の食事摂取基準 VI	食事摂取基準の活用について、確率法・カットポイント法にてエネルギーや栄養素の不足の確率の考え方について解説する。
8	まとめ I ・小テスト I	食事摂取基準についてまとめ、理解度を小テストにて確認する。
9	栄養アセスメント I	栄養マネジメントや栄養スクリーニングの目的・方法について解説する。
10	栄養アセスメント II	栄養アセスメントの分類(静的評価法・動的評価法)について解説する。
11	栄養アセスメント III	栄養アセスメントの4種類のうち、臨床検査と身体計測による栄養状態の評価方法を解説する。
12	栄養アセスメント IV	栄養アセスメントの4種類のうち、生化学的検査と食事調査による栄養状態の評価方法を解説する。
13	まとめ II ・小テスト II	栄養アセスメントについてまとめ、理解度を小テストにて確認する。
14	妊娠期 I	妊娠期の生化学・生理的变化(妊娠と分娩)と栄養学的特徴について解説する。
15	妊娠期 II	妊娠期の栄養学的問題点と望ましい栄養摂取について解説する。

科目名	食文化・食行動論			講義コード	B110202005	担当教員	先崎 和子
対象	4年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>人間の食生活の機能や意義を、動物と人間の食行動の違い、なぜ食べるのかという視点から考え、食生活の構造や食生活を変容させる多様な要因を視野に入れ、食生活を総合的にとらえ、心身の健康増進と豊かな人間形成をめざした食生活環境、食文化について理解する。</p> <p>具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> 食品表示、食の安心・安全、生活習慣病、食育など食の諸問題を理解することができる。【知識・理解】 これからの食教育・健康教育のありかたを考え、提案することができる。【意欲・態度】 郷土の食文化の魅力を発見し、効果的な発信方法を考え、プレゼンテーションすることができる。【技能・表現】 						
受講資格	特になし			成績評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 【知識・理解】については、テスト 70点 【意欲・態度】については、ノート 10点 【技能・表現】については、プレゼンテーション 20点 欠席は減点 		
教科書	食文化論 建帛社						
参考書							
学生への要望	<ul style="list-style-type: none"> 欠席しないこと 授業で出される課題に積極的に取り組むこと どんな小さな疑問、質問もそのままにしないこと 						
オフィス	月 I、IIコマ 木 III、IVコマ						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	食文化・食行動論を学ぶ意義	「なぜこの授業を学ぶのか」「この授業の目指すところ」を本学のキャリア教育の2つの柱「つくる力」「かかわる力」と照らし合わせながら、明確に示す。また、本授業の15回の概説と評価方法について説明する。第1回目は、食生活の概念について取り上げる。
2	グローバルな視点で食文化を見る 世界の食生活史	世界の国々の食材を紹介し、食卓の様子から食文化の多様性を知る。
3	世界の食生活史 文化を反映する食習慣	宗教から見た世界の食事様式や世界の行事食について解説する。
4	日本の食生活史 わが国の日常食の始まり	稲作の伝来と米の主食化、魚介類、や野菜の副食化について解説する。
5	日本の食生活史 わが国の新たな日常食の確立と定着	開発途上国型食生活からの脱出と新たな日常食（日本型食生活）の確立について解説する。
6	食生活の変貌と地域の食材	現代人のライフ・スタイルと食文化の変貌や現代生活における特産の料理について学び、地産地消における道の駅や第6次産業について解説する。
7	年中行事のおもてなしと食文化	年中行事のおもてなしと食文化や五節句と冠婚葬祭のおもてなしについて解説する。
8	食のしきたり 郷土料理と年中行事	各自が、興味のある郷土料理の由来について調べ、まとめ、プレゼンテーションする。（全員が発表）
9	食のしきたり 郷土料理と年中行事	各自が、興味のある郷土料理の由来について調べ、まとめ、プレゼンテーションする。（全員が発表）
10	よりよい食行動を目指して 果物	外国からの輸入果物も含めると、1年を通してさまざまな果物を購入できる時代になった。果物をどれくらい食べたらよいかを実感するために、糖度計で糖度の測定実験を行う。また、世界のめずらしい果物を紹介する。

11	よりよい食行動を目指して お菓子	嗜好食品その①	全国の銘菓についての認知度調査を行う。また、おやつの問題点として挙げられる脂質、油分、糖分、塩分などについて、実際の表示を見ながら学ぶ。
12	よりよい食行動を目指して アルコール	嗜好食品その②	アルコール（お酒）の歴史を振り返りながら、世界の地域に根ざした酒の種類と生成法を学ぶ。また、お酒のリスクと健康管理について知り、自己管理に役立てる。
13	よりよい食行動を目指して	食行動異常	若い女性のやせ問題、若年層の肥満や小児糖尿病など生活習慣に関連した問題について理解を深める。味覚テストを実施して、栄養の偏りからくる味覚障害について考える。
14	よりよい食行動を目指して	食行動異常	偏食、過食、拒食の食行動について脳科学や心理学の分野における研究論文を紹介し、理解を深める。
15	よりよい食行動を目指して	食行動異常	「こしょく」や食べ方の悪い癖など、次世代を担う子どもたちが描いた「食卓の風景」を考察し、より良い食行動のありかたを考えると同時に、この授業を選択した学生に、「食文化の伝統継承」や「新たな食文化の創出」の担い手として社会において活躍が期待されていることを伝え、総括とする。

科目名	給食管理学			講義コード	B210202004	担当教員	亀田 明美
対象	2年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	健康増進法に基づいた特定給食施設における、「栄養・食事管理」を中心に学修し、給食運営とそれにかかわる資源を総合的に判断して、栄養面、安全面、経済面全般のマネジメントを行えることを目標とする。						
受講資格				成績評価方法	授業態度 15% 提出物・小テスト25% 筆記試験 60%		
教科書	韓 順子 大中佳子著 サクセス管理栄養士講座給食経営管理論 第一出版						
参考書	鈴木久乃共著「給食経営管理論」南江堂発行 赤羽正之他著「献立作成マニュアル」医歯薬出版						
学生への要望	管理栄養士国家試験にかかわる範囲の復習をおこなうこと。						
オフィス	授業終了後						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	給食の概念①	オリエンテーション 給食の概要 給食を提供する施設と関連法規① 健康増進法における特定給食施設の位置づけについて理解する
2	給食の概念②	給食を提供する施設と関連法規② 特定給食施設における給食管理 医療施設 国家試験の過去問を解きながら解説する
3	給食の概念③	給食を提供する施設と関連法規③ 高齢者・介護福祉施設 国家試験の過去問を解きながら解説する
4	給食の概念④	給食を提供する施設と関連法規③ ・児童福祉施設 ・障害者福祉施設 ・学校 ・事業所 各施設の特性について、調べ発表する 小テスト①の実施
5	栄養・食事管理①	栄養・食事のアセスメント 給食利用者のアセスメント情報に基づいた栄養・食事管理の目標を立てる
6	栄養・食事管理②	栄養・食事の計画 食事摂取基準を活用した給与栄養目標量の設定方法について学ぶ
7	栄養・食事管理③	栄養・食事計画の実施、評価、改善 利用者の状況に応じた食事の提供とPDCAサイクル・栄養教育教材としての給食の役割について学ぶ 小テスト②の実施
8	栄養・食事管理業務の実際①	学校給食における栄養・食事管理業務の実際 事業所給食における栄養・食事管理業務の実際 課題①献立作成と試作
9	給食の品質	給食の品質の標準化、評価、改善 給食の品質管理の意義、献立や調理工程、作業工程の標準化について学ぶ
10	栄養・食事管理業務の実際②	高齢者・介護福祉施設における栄養・食事管理業務の実際 課題②献立作成と試作
11	給食の生産(調理)①	原価、食材 給食の原価、食材料の流通・購入・管理方法について学ぶ

12	給食の生産（調理）②	生産（調理）と提供 給食のオペレーション（生産とサービス）、調理工程・作業工程、 大量調理の特性について学ぶ 小テスト③の実施
13	給食の安全・衛生①	安全・衛生の意義と目的 給食施設における安全・衛生管理の意義と目的について学ぶ
14	給食の安全・衛生②	安全・衛生の実際 給食におけるHACCPシステムの運用について学ぶ 大量調理施設衛生管理マニュアル 事故・災害時対策
15	給食の施設・設備	生産（調理）施設・設備計画 食事環境の設計と設備 小テスト④の実施

科目名	家政学原論 I			講義コード	B210972009	担当教員	石堂 常世
対象	2 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>家政学原論 (Principles Home Economics) は、家政学の研究分野のうちもっとも基礎となる領域です。家政学とは、「家庭生活を中心とした人間生活における人と環境の相互作用について、人的・物的両面から、自然・社会・人文の諸科学を基盤として研究し、生活の向上とともに人類の福祉に貢献する実践的総合科学である」(日本家政学会 1984年)と定義されています。</p> <p>このような家政学の科学としてのあり方を研究し、「家政学とは何か」を明らかにするのが家政学原論の役割です。「原論」とは、一般的に、ある科学の本質・根本原理 (Principles) をいい、ときにはその学問の哲学 (Philosophy) を意味します。</p> <p>生活を扱う科学は他にも多くありますが、家政学の独自性は、人間生活を環境との関わりでホリスティック (全方的) な視点で総合的に捉えることと、生活上の課題に対して解決策を提案することにその特色があります。本授業では、家政学入門の意味合いも大切にして、このような家政学への誘いをし、専門的研究の道づけをしていきます。他の観点から、家政学原論は、「学問論」、「人間論」、「生活論」の3つの柱で構成される、ともいわれられています。</p> <p>「学問論」では、家政学の定義 (目的・対象・方法・独自性・体系) や家政学史、社会的役割などを取扱います。「人間論」では、生活を営む主体としての人間をどのようにとらえたらよいか、人間の価値観や行動様式をもとに「生活者」としての人間のあり方について研究します。</p> <p>「生活論」では、家庭生活を中心とした生活の概念・機能、生活史などをテーマとすることによって、生活のあり方や「質の高い生活」の意味を探求することをめざします。</p> <p>以上の3面を土台として、家政学原論では、家政史 (家政学の歴史) や主要国における家政学の起源と発展と実態を学ぶ比較家政学を含め、まず家政学の研究の目的・対象、研究の原理を学ぶことと、次いで家政学の理論を学びます。こうした学びの上に、家庭生活においてもっとも基本的な子育てという機能のあり方、さらには人間形成における家庭の役目を、今日的な社会変化を把握しながら究明することが重要になっています。後者においては、まず、家庭生活や家事統括の歴史的推移の把握を的確に行える能力を養い、次いで、調和のとれた家庭生活の原理の考察ならびに家庭をめぐる今日的崩壊現象を究明し、最後に、家庭や親子関係の中核を占める「いえ (家)」の意義について、認識を新たにしていきます。</p> <p>授業の総括テーマを、「時代変化の中で家政学の意義を再認識する」とします。</p> <p>評価項目は、以下の通りです。</p> <p>①家政学の発祥と展開について、とくに日本に関して、先駆的人物の時代との葛藤の苦労や活躍も含めてよく理解できたか。</p> <p>②今日の家庭生活の変貌を、利便性と効率の横行する社会的変化との関わりの中で見つめ直し、衣・食・住・子育てのあり方の角度から日常生活を顧みて、真の豊かさとは何かについて見解を深めることができたか。</p> <p>③家政学が扱うさまざまな領域を見つめ直し、それら各領域ごとに現れてきている今日的諸課題に気づき、あるべき家庭とその管理維持について主体的・発展的取り組みの必要性に気づいたか。</p>						
受講資格	家政学部人間生活学科生活総合コース 2年 家政学部人間生活学科福祉コース 2年 家政学部人間生活学科建築デザインコース 2年 家政学部食物栄養学科2年		成績評価方法	15回の授業において、小レポートを2~3回とり、最終回に筆記試験を課す。 筆記試験は80%、レポートは20%の配点で、さらに、授業態度が特段に熱心で積極的であった場合には合計点に加算し、反対に欠席が多かったり隣人のおしゃべりなど授業態度に問題があった場合は合計点から減点する。			
教科書	原則として毎回、その日の授業に関わるレジュメを配布するやり方をとる。						
参考書	授業中に参考書や資料名を挙げる。中には絶版の資料や書籍もあるが、簡単に購入可能な場合には、購入を勧める場合もある。現時点で、関口富左編著『人間守護の家政学』家政教育社、1999を挙げておく。						
学生への要望	<p>授業は暗記ではなく考察であって、調べて考えていく力を養う場である。したがって、課題が出れば、図書館やインターネット等で調べをなし、さらには新聞を熟読して常に今日的課題についての知識を新たにしていくことが求められる。</p> <p>家政学という学問を通して、人智への練磨を自らに習慣づけていくことができるよう、自主的に楽しく考察を深めていって欲しい。</p> <p>授業態度については学生としての本分を貫き、飲食等の行為、隣人のおしゃべり、所有物のいじくり行為などから心身を離し、講義の内容に集中することが肝要である。</p>						
オフィス	前期は、火曜の4時限、木曜の1~2時限とする。それ以外でも、受け入れは可能であるが、但し、メールで確認のاپをとること。 ishidoh@koriyama-kgc.ac.jp 場所は、創学館5階の左奥、副学長室						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	はじめに 家政学への接近	<p>ガイダンス 本授業の構成、授業の進め方、その他の説明、同時に受講生の確認</p> <p>導入 家庭生活の機能と家事概念、子供の成長・人格形成の場についての考察</p>

2	家政学入門1 家政学の構造と内容	<p>学説 - 家政学の定義、学説に関する研究。および研究目的、研究対象など</p> <p>思想 - 家政学の思想に関する研究</p> <p>研究方法 - 家政学の研究方法についての研究、家政学方法論</p> <p>国際家政学 - 国際的な家政学についての研究、これを比較家政学と称す</p> <p>家政学史 - 家政学の世界的歴史、国別歴史、日本における家政学の歴史についての研究（家政史という）。</p> <p>その他の家政学原論の項目 - 上記に含まれない家政学原論の内容。</p>
3	家政学入門2 歴史的考察（1）	<p>ヨーロッパ近世～近代社会における「家政」の意味</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性における家政の責任 資料解読による実例の研究
4	家政学入門3 歴史的考察（2）	<p>日本における家政の歴史的位置づけと特色</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「家訓」の考察 ②「女大学」の考察 ③山川菊枝の『武家の女性』 『日本の民主化と女性』
5	家政学入門4 歴史的考察（3）	<p>明治期から昭和前期における家政学の進展（1）</p> <p>家政学の樹立に寄与した女流教育者たちをさぐる</p> <p>女子教育を通しての新しい家庭観・家事の科学、家政学の誕生</p> <p>時代変化の中で模索した女性の新しい教養とは</p> <p>堀越千代（和裁、被服）</p> <p>下田歌子（新時代における女性の教養から生活の改善を）</p> <p>大妻コタカ（手芸、裁縫、母性の涵養）</p>
6	家政学入門5 歴史的考察（4）	<p>明治期から昭和期における家政学の出現と進展（2）</p> <p>大江スミ（社会の基礎としての家庭生活の意義、英国流の実学的家政学、技術と徳性）</p> <p>羽仁もと子（賢く合理的な家政、家庭経営の原理、聖書に基づいた人生観と女性の生き方）</p> <p>付言：本学創学者、関口富左に息づく羽仁もと子の精神</p>
7	学校教育制度史の中での家政学の進展	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の学校制度の考察： 江戸期～明治期～昭和前期～戦後の学制の流れにみる女子・女性の位置 ・女子、女性の教育を受ける権利の保障と家政学の位置 ・戦後の学制改革の中の家政学の新生 アメリカのホームエコノミクス教育の影響 職業教育の一端としての解釈 「家庭」に関する学科としての家庭科教育
8	家庭生活の国際比較と家政学	<p>儒教を伝統にもつ国の家政学と、西洋諸国の違い</p> <p>主要国の事例研究：伝統と変革の葛藤</p>
9	社会変化と家庭の変化は家政学にどう影響したか	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の社会進出と家政の概念変化 ・家族構成の変化と家政の位置 ・合理的な生活様式の波及と家事の変化 ・親と子の関係の変化 ①母親と子の変化、②父親の在り方の変化、父権の失墜
10	調べ作業：社会変化と家庭の機能	<p>厳格性・自由放任・大人にしていく、個性を育てることの教育的意味</p> <p>今日の社会と青少年問題</p> <p>→家庭生活の変化と問題点をさぐる。→何が欠落してきたのか</p> <p>手法：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『子ども年鑑』など、統計資料を用いての考察 ・新聞記事から家庭の問題をさぐる。
11	「現代」という時代は家庭生活にどのような変化をもたらしたか	<p>科学技術の高度発展と物質文明の洪水の中で「生きる」ということ</p> <p>→衣・食・住・子育てがどう変わってきたか</p> <p>各自が、上記それぞれの領域における具体的な問題点を提起し、健全な家政の難しさを認識する。</p> <p>事例：「食育」と言う言葉はなぜ生まれ、なぜ法律（食育基本法）まで制定されたか。</p>

12	課題探究：衣・食・住・子育てがどう変わってきたか	生産者から消費者への変貌：利便性と創出の文化の葛藤 <ul style="list-style-type: none"> ・食物の生産、食物の調理 ・コンビニの発達は生活者に何を提起するか ・ベビーシッター事件から考える今日の子育て問題
13	子どもを巡る家庭の問題を洗う	統計資料と関連論文から学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・虐待と犠牲になる子どもたち ・崩壊した家庭と子ども ・非行に走る子どもの背景 家庭の役割を再考する。
14	学びに値する家事管理と子育ての研究	成長した子どもたちはどのような親の育て方を評価し感謝しているか 大学生たちの作文にさぐる家庭生活の本質 日常生活に展開する親の役目の重要性 →家政学への示唆
15	結論 実践的総合科学としての家政学の位相	家政学は、もはや家庭内テーマ学習ではない。 人間はいかに生きるかを学ぶ家政学→学際学としての生活総合科学 <ul style="list-style-type: none"> ・住環境を心身の健康面から構成する「人と空間」のあり方 ・地球の問題に開かれた食生活の改善と救援活動 ・子育てを地域社会で共に見ていく相互扶助のコミュニティーづくり ・社会の動向に流されない生活観の確立 興味ある分野、自負できる分野、将来に生かすことのできる分野を見つけて考察を深めよう。

科目名	生活経営学 I			講義コード	B210972003	担当教員	深谷 笑子, 大泉 由美
対象	2 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>『人間守護』(人間を護る)の理念に基づき、人と物の関わりにおいて、人間を中心とし、人間の生活を守り、一層向上させるため様々な分野の学問研究をも駆使し、健全な生活を築くために多面的に考え方を展開させるものです。</p> <p>『人間守護』の理念に基づく家庭(内部空間)と社会(外部空間)の調和ある生活は、価値観の多様化傾向が時間の経過と共に広がる現代社会には不可欠な課題です。そこで、経営の基本的要因である『人・物・財貨(金)・時間』を中心に内部・外部の両空間の調和ある望ましい生活経営の在り方を考えます。</p> <p>【履修カルテ】</p> <p>①内部空間と外部空間が密接不利であることが理解できたか。</p> <p>②私たちは、組織の中にいることが理解できたか。</p> <p>③家庭経済の仕組みが理解できたか。</p>						
受講資格	人間生活学科・食物栄養学科2年以上		成績評価方法	テスト(60)レポート等提出物(20)発表(20)出席状況・授業態度により減点			
教科書	教科書はありません。参考書として『新しい生活経営学』関口富左・関口修共著 家政教育社出版、『家政 哲学』関口富左著 家政教育社、『組織の中の人間行動』三村敏子ほか著 有斐閣、『家族・保育・家政科 福祉情報専攻・経済』石川 実編 家政教育社、『人間と空間』O・F ポルノー著 大塚恵一ほか訳 せりか書房 等々。						
参考書	上記、教科書の欄を参照して下さい。関口富左 編著の参考文献は、図書館にあります。その他の参考文献は、担当者のところでいつでも貸し出しをいたします。						
学生への要望	<p>毎時間、学生2名がインターネット、または新聞等で[今日のニュース]を生活とのかかわりで発表する。そこから生活の中で何故ニュースが重要なのかを考える。また、内部空間と外部空間が密接不利な関係になっているかを理解する。</p> <p>発表するときは、よく聞こえるように、分かりやすく発表する。聞く側も、耳を傾けて聞きましょう。</p> <p>多くの生活体験をすること。</p>						
ウェブサイト	月曜日 8:30~12:00						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	オリエンテーション	<p>授業の進め方、パソコンの活用の仕方、パソコンの使用程度等のアンケート調査。パソコンを有効に活用しながら今後の授業の進め方について話します。毎回、「本日のニュース」をとり上げ、生活とのかかわりの中で話します。また、学生は毎回、2名ぐらいずつ当日の朝、新聞やTVのニュースを見て、生活とのかかわりで発表する。</p>
2	人間の生活する空間について	<p>本日のニュースの発表。</p> <p>人間が生活するためには家庭(内部空間)と社会(外部空間)は密接不離な関係にあります。両者の関係が如何に重要な関係にあるかを構造的に基本テーマとして学ぶ。これを中心的概念として生活経営学の授業が一年間展開されます。</p>
3	組織体について その1	<p>本日のニュースの発表。</p> <p>人間が社会生活を行うことは現代社会に於いては、組織体を形成して様々な活動が行われますが、その組織体とはどのようなものであるかを知ることは、社会生活を知る基礎的な課題であるので、組織体とは何かということについて歴史的経過を踏まえつつ学習します。</p> <p>※組織とは何かについて学生は予め調べておきましょう。</p>
4	組織体について その2	<p>本日のニュースの発表。</p> <p>現代社会の組織体は、組織体の目的が多様であることから、様々な組織体が存在するが、基本的考え方は全て同じです。組織体の管理・運営はどのように行われているのかを知り、その基本的な要因を内部空間の健全なる発展に活用することを前提として、組織体の管理・運営を学ぶが、併せて外部空間の組織的構成についてもその意義を考えます。具体的に、企業の目標を達成するために組織各部署の役割を理解し、家庭の目的とどのように異なっているかを理解します。学生は、一般会社、学校等の組織を調べ、組織図を書いてみましょう。</p>

5	理解度確認	<p>本日のニュースの発表。 前回に引き続き、組織体の管理・運営の方法を具体的に学習し、生活への活用について一層理解を深めるものです。 ※これ迄学習した内容について授業の終わりに簡単なレポートの提出をしていただきます。課題は、本授業でお知らせします。</p>
6	計画について	<p>本日のニュースの発表。 私たち人間は、日々の生活を何らかの計画(予定)に基づいて行動していますが、具体的な計画の内容についてはあまり知らないで過ごしてきています。計画とは何かを具体的に知ることは内部空間の安定確保と更なる発展を図るためにも不可欠な課題です。ここでは計画の基本的な内容(意義)について学習します。計画の中には長期計画と短期計画があることを学び、また計画と予定の意味をも理解します。</p>
7	計画の限界について	<p>本日のニュースの発表。 前回に引き続き、計画について学習しますが、ここでは計画の限界を知り、如何にして計画を是正するかを考えると共に計画を内部空間の管理・運営に如何に活用するかについても学習します。特に、今日の社会においては、自然災害等により、絶対に起こらないということがなくなり、何を信じてよいか分からない。このような状況の中では、計画をしても限界があるので、そんなときに、情報を多く持っていることが大切であることも理解しましょう。</p>
8	統制について	<p>本日のニュースの発表。 人間は常に何らかの自己統制(管理)を行い周囲の人々との調和を図りつつ生活をしていますが、組織体の健全な運営のためには意識的(規則・規程)に統制(管理)を行わなければなりません。内部空間にあっても理性的な自己規制をはじめとして色々な約束事(規則・規程)があります。人間が集団化し何らかの行為を行うには統制を図らねばなりません。そこで、統制とはなにかと云うことについて基礎的な知識を理解し活用出来るようにしましょう。</p>
9	理解度確認	<p>本日のニュースの発表。 これまで学習した基礎的な内容を更に深めるため、経営の要因である人・物・財貨・時間について統制の在り方を項目別及び、それらを総合的に学習します。 ※ここ迄の学習の理解度を承知するためレポートの提出を求めます。</p>
10	指導について、リーダーシップについて	<p>本日のニュースの発表。 人間が生まれ育つ過程では常に何らかの指導が行われています。即ち、家庭教育や学校教育・社会教育が例示されますが、外部空間の組織体にあっても組織体の目的を達成するため指導(教育)は重要な課題です。そこで私達の生活に必要な指導とは、どのような事なのかを基礎的に学習します。リーダーシップは外部空間の組織体ばかりでなくあらゆる生活において大切な事柄です。ここでは、リーダーシップとは何かと云うことを学びます。そして、もっとも身近な家庭のリーダーシップ、地域社会のリーダーシップについて考えます。また、リーダーの成立、リーダーの資質、リーダーの影響力等多様な価値観が増幅される現代社会での指導的役割を果たすリーダーの重要性について考えます。 ※内容について簡単な理解度テストを行います。</p>
11	人間と時間、生活と時間について	<p>本日のニュースの発表。 私たちにとって、時間は何物にもかえがたいほどの関わりがありますが、それにもかかわらず重要視されていないのは何故でしょうか。そこで、人間と時間、生活と時間について学びます。</p>
12	家庭経済について	<p>本日のニュースの発表。 家計は、一般には単に「1世帯の生活にかかわる収入と支出」を意味するものと考えられています。しかし、その収入を得ることと支出を行うことは1つの経済単位であることも考えられます。そこで家庭経済の仕組みとして家計、家庭経済及び国民経済について学びます。家計を、企業とのかかわりで見ることや、政府とのかかわりで見たりして家計をいろいろな角度からとらえてみましょう。</p>
13	家計の構造について	<p>本日のニュースの発表。 家計の構造を収入、支出、収支のバランスについて学びます。収入の内訳は、総務省の『家計調査』によれば、実収入、実収入以外の収入、繰入金金の3つに分類されること、また支出は実支出、実支出、実支出以外の支出に分類されることを学びます。</p>
14	家計簿のつけ方	<p>本日のニュースの発表。 親から離れている学生、親元から通学している学生が、それぞれ自分が生活するために、どれだけの支出をしているかを記載することで把握できるので、家計簿のつけ方を学びながら具体的にお金の管理を学びます。</p>

本日のニュースの発表。
消費生活の現状と課題。経済の高度成長と大量消費生活、「消費者」の登場と消費者保護、消費のサービス化と情報革命等について学び、生活者としてよりよい生活の在り方を学びます。

科目名	栄養教諭論 I			講義コード	B210202001	担当教員	菊池 節子, 泉 政子
対象	2 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①栄養教諭の使命や職務内容を理解する。 ②教育に関する専門性および栄養に関する専門性を習得する。 ③児童・生徒を取り巻く現状を把握し、問題点を見つける。 ④児童・生徒の健全な食習慣確立と心身の健康の保持増進のために必要な教育を行うための知識や技術を習得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>栄養教諭の使命や職務内容の重要性を理解し、教育に関する専門性および栄養に関する専門性を身に付けるとともに、児童・生徒を取り巻く課題を踏まえ、児童・生徒の健全な食習慣確立と心身の健康の保持増進のために必要な教育を行うための知識や技術を習得することを目的とする。 (泉、菊池が同時に担当)</p> <p>【履修カルテの評価項目(到達目標)】</p> <p>①栄養教諭の職務内容と位置づけ、期待される役割について理解できたか。 ②子どもの体位体格を知り、食生活の大切さを考えることができたか。 ③食に関する指導の全体計画について理解できたか。</p>						
受講資格	食物栄養学科 2 年			成績評価方法	①筆記試験 50点 ②レポート・発表 30点 ③授業態度 20点		
教科書	なし						
参考書	食に関する指導の手引 ー第一次改定版ー 文部科学省 東山書房						
学生への要望	日頃から食育に関心を持ち、子どもの食生活や食習慣の現状とその問題点に関する情報収集を行うこと。						
オフィス	月曜 II 限終了後 No.1調理学研究室						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	栄養教諭の制度と役割①	学校栄養職員の歴史と栄養教諭制度創設までの経緯について理解する。
2	栄養教諭の制度と役割②	栄養教諭の職務が食に関する指導と給食の管理であることを理解し、栄養教諭に期待される役割について理解する。
3	学校給食の意義と役割	学校給食の歴史を振り返り、学校給食の教育的な意義と役割、栄養教諭の学校における位置づけ等について理解する。
4	食文化の変遷と学校教育①	学校給食の食事内容の推移、食器具も含めた食事環境の変化を通して、日本人の食生活と学校給食のかかわりについて理解する。
5	食文化の変遷と学校教育②	米飯給食から始まったといわれる郷土食や地場産物の活用と、学校給食の食文化の変遷について理解する。
6	子どもの発達と食生活	現在の児童・生徒の体位、体力、健康状態、栄養素摂取の状況、食生活の実態、さらに不登校や摂食障害など心の健康問題について理解し、それらを正しく説明できる知識を習得する。併せて、他職種と協力しての栄養教諭の対応について考える。
7	「食に関する指導」の全体計画①	食に関する指導は、学校教育や学校給食の目標、児童・生徒の実態を把握し、さらに食に関する指導目標や学校給食管理の基本方針を踏まえたうえで、全体的な計画を立案してすすめられていることを理解する。
8	「食に関する指導」の全体計画②	食に関する指導は、給食の時間をはじめとして、関連教科などに幅広くかかわるものであるため、指導の計画と給食管理との有機的連携を図った食に関する指導の年間指導計画が作成されていることを理解する。
9	「食に関する指導」の全体計画③	特別支援学校にはさまざまな障害を持つ児童・生徒がおり、その障害の重度や対象年齢も幅広い。そこで、特別支援学校における食に関する指導は、全体指導から個人指導と、きめ細やかな指導が必要であることを理解する。
10	「食に関する指導」の全体計画④	学校給食年間指導計画の一例から、食に関する指導は学校の教育活動全体を通して行われていること、さらには、学校以外の家庭や地域社会と連携していることを理解する。

11	「食に関する指導」の全体計画⑤	栄養教諭の特性を生かした年間指導計画の作成方法、実施後の評価方法ならびに評価結果の次年度への反映方法等を習得する。
12	「食に関する指導」の展開①	食に関する指導を行うにあたっては、その効果をあげるために、子どもや家庭の実態、学校や地域の様子などについて十分に把握しておく必要がある。そこで、子どもの実態に応じて指導するためのカリキュラム作成方法について理解する。
13	「食に関する指導」の展開②	食に関する指導を行う際の、教科や特別活動と絡めた具体的な指導計画の作成方法について理解する。
14	「食に関する指導」の展開③	食に関する指導のさまざまな実践と、それに対する成果および評価のあり方について理解する。
15	まとめ	半期を振り返り、栄養教諭論 I で学んだ内容のより一層の定着を図る。

科目名	教職論			講義コード	B210973027	担当教員	山本 裕詞
対象	2年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	教職の意義や役割、具体的な職務内容等についての理解を深め、さらには、社会的使命についての認識を通して、教職を目指す者としての意欲を高めることを目指す。 (履修カルテの評価項目) ①学校教育の機能とその制度的基盤について、どの程度理解できたか。 ②教師の教育活動と教師に望まれる資質について理解するとともに、教職を目指す意欲を高めることができたか。 ③現代教育の課題については、学習権を保障するにあたっての具体的課題を中心に、どの程度理解することができたか。						
受講資格	卒業年度に教員採用試験の受験を予定している者で、教職に就くことを希望している者。			成績評価方法	①定期試験50%、レポートと小テスト50%の割合で総合評価し、60点以上の者を合格とする。 ②レポートや小テストを提出しない者は、定期試験の受験資格を失う。		
教科書	使用しないが、最新の教育小六法を用意すること。また、授業中に適宜プリント等を配布する。 『教育小六法2014』学陽書房、 『必修学校小六法2015』協同出版など						
参考書	窪田真二・小川友次著『平成26年度教育法規便覧』学陽書房(2014) 土屋基規編『現代教育制度論』ミネルヴァ書房(2011) 教職問題研究会編『教職論〈第2版〉—教員を志すひとへ—』ミネルヴァ書房(2009) 教職課程研究会『教職必修新教職論 改訂版』実教(2009)						
学生への要望	教育を受ける立場から、教育を行う立場に変わることを意識した主体的な学びを心がけて欲しい。						
ワスタム	特定しないが、授業終了後の他、通常は教務事務室にいますので、必要に応じて声をかけて欲しい。質問等に対応する。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	オリエンテーション	・年間計画の解説および評価方法の案内。 ・二つの教育モデルから教師のあり方を考察する。
2	学校教育の機能 1	○学校教育の目的 〈1〉学校の種類 〈2〉学校の設置者 〈3〉教育行政と学校管理
3	学校教育の機能 2	学校教育の目的を、日本国憲法を頂点とする教育関連法令の内容に注目して理解を深める。
4	学校教育の機能 3	学校教育の制度基盤を、「中央教育行政」と「地方教育行政」に分けて学び、その全体像を把握する。
5	教職員とその職務1	教職員の名称と定義、資格、職務内容等について規定を確認し、その性格について考察する。
6	教職員とその職務2	教職員の身分と義務・研修等についての諸規定を学び、公務員法制における教育公務員の意義について理解を深める。
7	教職員とその職務3	教員の労働基本権と政治的活動の制限の関係について、その法令制定経緯とそれに係わる諸議論を学び、考察を深める。
8	教職員とその職務4	学校経営概念とその広がりについて学び、そこに一般的な校務分掌のあり方を位置付けながら、職務内容についての具体的理解を深める。また、学校への役割期待の拡大に伴って増加している教師のバーン・アウトについても考察する。
9	教員の資質と使命1	戦前・戦中の教員養成史にみる教師聖職観について、「小学校教員心得」、「師範学校令」、森有礼文部大臣の演説内容、「教育勅語」、「小説 教育者」等を材料に学び、理解を深める。
10	教員の資質と使命2	戦後の教師観について、戦前・戦中のそれと比較する視点から「米国教育施設団報告書」、「旧教育基本法」、「教師の倫理綱領」、「教師の地位に関する勸告」等を材料に考察する。
11	教員の資質と使命3	教育職員免許法改定の歴史を学び、教職への要請事項の変化と、その背景について理解を深める。

12	教員の資質と使命4	現代公教育改革と生涯学習社会への移行の動向を踏まえ、教職の不易と流行について考察する。
13	現代教育の課題1	同和教育やいじめ・不登校等の教育問題について学び、討論を通して理解を深める。
14	現代教育の課題2	特殊教育から特別支援教育へ移行するに伴い、新たに必要となる教職専門性について学ぶ。
15	新しい学習指導要領の概要と教職の課題・まとめ	新学習指導要領の概要を学び、それに対応するにあたっての課題について考察するとともに、これまでの授業内容を振り返り、「今日における教職の意義」のまとめとする。

科目名	教育思想			講義コード	B210973007	担当教員	石堂 常世
対象	2 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>教育思想は、教育の意味・目的に関する哲学的考察（イデアリズム、経験論etc.）から始まったが、時代の推移とともに幼児教育論、カリキュラム構成論、教授法、教育方法論、学校論、学校開放論、子ども論、発達心理学論、教育機能論、教育行政論、生涯学習論にまで多岐にわたるようになり、今日に至っている。</p> <p>20世紀の前半までは、教育学とは教育思想を学ぶことに等しかったが、教育の大衆化が始まった20世紀後半からは教育に関する実証的研究が盛んになり、思想研究の比重それ自体は小さくなってきている。しかし「人間的成長」や「学校」・「教育制度」のよりよいあり方を考察しようとするならば、過去の優れた教育思想を学ぶことは、教育の本質や目的を考えるうえで必要である。そのことは、自己体験や時代の傾向に流されやすい私たちの教育の見方の狭さに気づかせてくれる。教職をめざす場合は、必須の教養である。</p> <p>以上を踏まえると、評価項目は以下ようになる。</p> <p>【履修カルテの評価項目】</p> <p>①人間の成長・発達を、思想の観点から学び理解できたか。 ②世界的に知られている古典的教育思想の系譜とそれぞれの系譜の代表的な思想について、思想家の思索と主張、彼の教育実践、後世への影響を理解できたか。 ③思想が生まれる背景には必ずその時代の教育の実態に疑義を提起する背景がある。思想から、各時代の学校教育の問題や、科学の進歩や社会の矛盾に気づくことができたか。 ④教職に就いた場合、子どもの成長をみつめる深い教養と温かな心をもって教育実践に望める基盤を得ることができたか。</p>						
受講資格	家政学部人間生活学科生活総合コース2年2単位 家政学部人間生活学科福祉コース2年2単位 家政学部食物栄養学科2年2単位選択 短期大学部音楽家2年2単位選択 短期大学部生活芸術科2年2単位選択		成績評価方法	①授業中に1～2回レポートを課し、次回の授業で発表・意見交換を行う。レポートの評価が20%、②学期末筆記試験の結果が80%。 この総合点に、授業中の積極性が見られた場合は加算、欠席等が多い場合は減点措置をとる。			
教科書	教科書は使用しない。 毎授業で、授業内容のレジュメを配布す。このレジュメをファイルして教科書とし、しっかり理解すること。						
参考書	安彦・石堂『最新教育原理』が役にたつ。勁草書房、2010。 その他、授業で取り上げる教育思想・教育思想家それぞれについて、多くの文献（古典）があるので、授業中に紹介するので、図書館で参照するのが望ましい。						
学生への要望	<p>授業中に出てくる思想家、哲学者、教育実践家については、可能な限り図書館の教育学辞典や世界人名事典、あるいはインターネットで調べて確認し、コピーを保持して知識を深めよう。</p> <p>教育の思想には、系譜と基本的な相互対立がある。その対立関係の思想構造を知ったうえで各思想の特徴を掴むならば、教育思想が生き生きとよってくるであろう。主体的に学んでいこう。</p> <p>授業には清新な気持ちで臨み、毎回、新しい自分を作り上げてほしい。 授業の前後の挨拶を忘れず、授業が始まるに当たり机の上に飲み物や食べ物を出しておかないように心がけること。</p>						
ワイルドタイム	前期は、火曜の4時限、木曜の1～2時限とする。面談希望の場合、メールで確認のアポをとること。 ishidoh@koriyama-kgc.ac.jp 場所は、創学館5階の受付から左奥、副学長室						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	導入：教育思想とは何か	<p>1 ガイダンス 授業の進め方 教職課程科目の中の原理論としての教育思想 ①哲学史、学校史、子ども史、学問史を基盤にして理解すること。 ②社会発展や学問の進化にしたがって、教育をみる観点が変化してきたことを理解すること。 ③教職に就いた場合に、学校、子ども、教材を深いところから見るができるようにすること。</p> <p>2 教育についての考察・理論・言説 人間の成長や学校教育制度、教え方、学習メカニズム等をめぐる教育思想の意義</p> <p>課題1（レポート）：私を育ててくれた家庭の力（教育思想への導き） 親から何を得心かについて改めて考察してみよう。</p>

2	1-1 古典的教育思想の課題とは	<p>前回の課題1の発表・相互ディスカッション（教育実践と思想の関係に家庭教育から入る）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子どもをよくしたいと願う親の教育（しつけ）の取り組み いくつもの事例からよりよい育て方への論理が導出されよう。 2 1を基礎とし、そこから出る「教育の定義」：「教育とは何か」への問い 人間一般の教育論、家庭での教育、学校教育での教育、生涯学習論 単なる成長でなく、人間的成長の意味を問うことが思想を生む カント「教育とは、人間が人間になることである」（前と後の人間の違い）
3	1-2 古典的教育思想の2大領域	<p>認識論と倫理学（さらに加えるならば、美学・宗教性の考察もある） これらの省察が、私たちに教えてくれること。 実態への疑問や学校教育のあり方をめぐる紛争のあるところに教育思想が発祥</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人間の認識の誤謬と修正の連続についての論理 2 学校制度や教授法の化石化、教条化への批判から生まれる教育思想 3 美しさ、人間を超えた存在の意味への憧憬から生まれる教育思想
4	2-1 教育思想の潮流を歴史的に探求する：古典的教育思想の潮流（1）	<p>ギリシャの哲学者たちの教育思想 ソクラテス、プラトン、アリストテレスの教育思想（教育思想の基盤） ・それぞれの著作の中に展開する教育論（教学哲学）に触れて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人間の不完全性」の基本的認識→認識論の基礎 ・「アレテー」（人間的卓越性）→倫理学の基礎
5	2-2 古典的教育思想の潮流（2）	<p>古典的教育思想の近代的展開および現代的展開について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16世紀以降：懐疑の精神の意味、知識量よりも判断力の重要性を問う教育論 自然の秩序をいかに取り入れるかで変化する教育思想 モンテーニュ、デカルト、18世紀半ばのルソー、他 ・18世紀以降：無知からの脱出と民衆への知識の普及 フランス革命期に噴出した公教育論 コンドルセ、とその周辺 教会でなく国家が行う教育の主張とカリキュラム刷新の時代要求 科学技術の発達と学校教育の整合性を求める。
6	2-3 教育思想の潮流（3）：20世紀前半の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術の発展と教育思想の展開 ・国民国家成立後の教育論と学校教育論 ・20世紀のイデアリズムの代表：アラン ・20世紀の実証主義と国民教育論 デュルケイムにみる教育社会学の思想拠点 ・20世紀の行動論的教育思想：デューイの経験主義教育思想 <p>①アラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育学的人間学の開拓とイデアリズムの系譜 マックス・シェラーの階層的人間像の統合性
7	2-4 教育思想の潮流：経験論的教育思想(4)	<ol style="list-style-type: none"> 1 古典的には17世紀のロック「人間白紙説」と18世紀のエルヴェシウスの環境決定論 さらにはドルバックの「人間機械論」 →唯物論の現代的展開は、学習心理学の基礎となったS-R論へ 現代的には、スキナーの教育工学的学習論にみる人間像へ 2 医学と教育学の合流から障害児へのまなざしと感覚論的教育論の貢献 さらには、発達心理学と教育心理学を生んだ新教育論へ モンテッソリー、

8	2-5 教育思想の潮流：キリスト教の教育思想（5）	<ul style="list-style-type: none"> ・信仰心、神学の権威は教育にどのように関わったか アウグスティヌス（4世紀）、トマス・ア・ケンピス（12世紀） ペスタロッチ（19世紀）フレーベルの4人をどう読むか <p>神の存在の絶対的信仰、信仰による人間形成論 敬虔という教育的価値</p> <p>19世紀以降の宗教的教育思想は、新教育の系譜につながる ペスタロッチ、フレーベル 児童への愛とキリスト教的慈愛の心の統合 →新教育論の誕生 こどもの感覚、興味、関心、活動性、経験の重視 教える教育という解釈から内発的に伸びる教育という解釈への 転換 幼児教育論の源流となる。</p> <p>一部にみる反権力的教育観としての新教育活動の展開 フレネ、ニールなど</p>
9	2-6 アメリカの教育思想：新教育論の強力な基盤ともなる。	<p>デューイの教育思想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19世紀アメリカの進展とプラグマティズムの発祥 ・ヨーロッパ文化からの独立 ・ジェームスからデューイへ ・経験主義とは何か ・行動主義とは何か ・道具主義とは何か ・結果主義とは何か <p>デューイの経験主義教育思想の現代性とそこで失われたもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ者の経験の更新を「教育」と読んだデューイ ・児童中心主義の一角をなすが、学習者と環境との相互交流に強い重点を置くために、 単純な児童中心主義ではない。 ・教える者の姿が見えない教育思想 ・教育における「権威」の問題は枠外に置かれる。 <p>・日本への影響関係</p>
10	4-1 戦後日本の教育改革とデューイの教育思想	<p>戦後の教育改革（日本の刷新と新教育）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修身の停止 ・社会科の導入と経験主義の普及 ・教科学習よりも経験・体験学習の重視 ・子どもの成長発達とデューイの教育思想の関係 ・儒教の伝統をもつ日本、さらには受験学習の隆盛のなかでの20世紀後半にあって、デューイの教育思想の定着は、生活科や総合学習の勧めに向けられた。
11	4-2 古典からみた日本の教育観（1）	<p>江戸時代に広まった人生観としての生き方の説諭</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 『実語教』の教え 2 二宮尊徳の教え 3 貝原益軒の教育思想 4 『女大学』の教え 4 武士の子弟の教え：「什の掟」
12	4-3 明治時代以降の作品に見る生き方の理想像（2）	<ol style="list-style-type: none"> 1 福澤諭吉の『学問のすすめ』の意味 2 高村光太郎の「道程」から 3 宮沢賢治の「雨ニモマケズ」から 4 吉野源三郎『君たちはいかに生きるか』から <p>課題2：日本人の思想と生き方への示唆</p>
13	5-1 課題発表	<p>西洋と日本の教育思想からもっとも印象深いと思った思想を取り上げ、何が心に残るかをもとめてくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が発表し、取り上げられた思想家や思想について理解を深める確認する。 ・子どもの成長に関わっていく者として、上記のまとめ、発表と質疑応答から、人間成長に関する何らかの確信を得ること。
14	5-2 義務教育の確立期から義務教育体制開放の教育思想	<ul style="list-style-type: none"> ・義務としての学校教育から権利としての教育観へ ・就学期間の教育観から生涯にわたる教育観へ ・生涯教育論 ポール・ラングラン ・学校破壊論と脱学校論の思想 イリッチ、ペライター

- 15 結論：教育思想の категория とおもしろさについて
- A 時代性と教育思想
普遍性と教育思想
 - B 国民性と教育思想
国境を越えた人間形成の時代に挑む教育思想
 - C 哲学としての教育思想
科学としての教育思想
 - D 個としての人間教育論
体制としての教育思想
-

科目名	教育心理			講義コード	B210973011	担当教員	垣花 真一郎
対象	2年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>教育心理学とは、心理学で明らかにされてきた知見を教育実践に生かすことを目指す学問である。ただし、心理学にはさまざまな立場があり、教育心理学ではさまざまな立場を場面に応じて用いているのが実情である。本講義では、従来、教育心理学で主流であった行動主義の心理学に加え、認知主義の立場も紹介し、さらに臨床心理学の諸理論も紹介する。</p> <p>本科目では、第一に行動主義理論、認知主義理論、精神分析理論といった主要理論の考え方を理解すること、第二に教育心理学で用いられる用語を正しく用いることができるようになること、第三に教育実践の具体的場面を本授業で習得した知識を用いて解釈できるようになること、を目標とする。</p> <p>〔履修カルテの評価項目〕</p> <p>① 主な心理学理論（行動主義、認知主義など）の考え方をどの程度理解できたか。</p> <p>② 教育心理学で用いられる用語をどの程度正しく用いることができるようになったか。</p> <p>③ 教育実践上の問題を本授業で習得した知識を用いて、どの程度説明できるようになったか。</p>						
受講資格	教職課程履修者			成績評価方法	レポート15点、平常点15点（欠席1回ごとに3点減点）、中間テスト20点、期末テスト50点		
教科書	指定しない						
参考書	授業中に随時紹介する。						
学生への要望	実習等のやむを得ない場合を除いて、毎回出席すること。実習等の予定がわかっている場合は、事前に連絡すること。						
オフィス	火曜1、2限目。 事前に連絡することが望ましい。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	教育心理学とは	教育心理学とは、心理学の応用分野のひとつである。心理学には、行動主義、認知主義、精神分析学など様々な系統があるが、教育心理学は教育・学習を対象とした学問という意味でひとつの主義、流派に偏った学問ではない。説明の対象となる場面に依りて様々な主義、流派の説明が適用される。本授業ではそのような教育心理学の立ち位置を学ぶ。
2	知的発達 I	人間が人間らしく思考するようになるのは、どのようなことが必要か。これまで行動主義的な説明の仕方と、構成主義的な説明の仕方が主に存在してきた。ここでは行動主義の考え方を理解する。
3	知的発達 II	ピアジェの構成主義的発達理論を理解し、行動主義理論との対比について考察する。
4	性格の発達 I	人間の性格は生得的な気質が中核なのか、親との愛情関係が中核なのか。ここでは、気質論と愛着理論を見ながら、両者の関係性を理解する。
5	性格の発達 II	ここでは第4回で取り上げなかった性格理論である精神分析、社会的学習理論、行動遺伝学の性格論を紹介するとともに、性格の測定法について紹介する。
6	児童期・青年期	ギャング・エイジと呼ばれるように、児童期には子どもは独特の集団を形成し、友人関係が広がりを見せるようになる。また、青年期には自分と何かといった課題の解決に迫られる。本授業では児童期・青年期の子どもの心理的特徴について学ぶ。
7	教室という社会	教室は小さな社会である。そこでは人が人と知り合い、集団を形成していく。本授業では社会心理学で明らかになった印象形成や集団における心理的特徴について学ぶ。
8	中間テスト	1～7回までの内容についてのテスト。後半は第7回で紹介した構成的グループ・エンカウターの実習を行う。
9	動機付け	人がやる気になるのはどのようなときか。あるいはやる気をまったく起こさない人にはどのような背景があるのか。本授業では動機付けのメカニズムについて学ぶ。

10	記憶	記憶には、「今・ここ」の情報である短期記憶と、過去の情報である長期記憶がある。また、それらに対応した脳の部位も明らかになりつつある。本授業ではそういった記憶の仕組みについて学ぶ。
11	教育評価	知能とはなにか。学力と何か。またそれらを測定することは教育上どのような意味があるのか。本授業では、教育評価の方法とその意味について学ぶ。
12	発達障害 1 – その症状と定義	発達障害とは乳幼児期に現れる発達の遅れ、偏りのことである。本授業では発達障害の種類、それぞれの症状について学ぶ。具体的には広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害を扱う。
13	発達障害 2 – 療育の手法	本授業では、専門の療育機関で用いられている手法と通常の教室での対処の仕方の両面から、発達障害児との向き合い方を学ぶ。具体的には広汎性発達障害児の療育手法のひとつであるTEACCH、行動療法などを中心に学ぶ。
14	心理療法 I	心理療法とは心理学の理論を心の問題の解決に役立てようとする心理学の応用分野のひとつである。今回は来談者中心療法の考え方と、その実習を行う。
15	心理療法 II	今回は精神分析理論、行動療法、認知理論について学ぶ。

科目名	宗教学的人間論			講義コード	B110971019	担当教員	福島 寅太郎
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>①本学の建学精神を理解するために必要な教養的知識を習得させる。</p> <p>②教養のある現代人として宗教に関する必要な知識を身につけさせる。</p> <p>〔授業の概要〕</p> <p>本講義は本学の建学精神に基づいた全学科・専攻の必修科目である。</p> <p>宗教は人間生活のあるところ、どの時代にもどの場所にも影響を及ぼしており、現在の私たちもまた日常生活の中で常にそれらと関わっている。グローバル化が進み、異文化間の相互理解が求められる現代において、宗教は果たしてどのような役割を果たすことができるのであろうか。</p> <p>本講義は、諸宗教の思想や信仰、特に現代日本およびアジアの諸宗教におけるさまざまな事例を取り上げ、宗教学的観点から探ることを目的とする。授業への理解を深めるために、アニメなどの映像を数多く取り扱う予定である。ちなみに「トトロはオスですか、それともメスですか」。素朴な疑問が学問への重要な一歩である。</p> <p>本年度は、本学の学問の特徴である「生活学」に焦点を当てて、宗教と生活との関わりを考えてみたい。具体的には、当該問題に関連した最新の研究書を教科書として用い、当該教科書の読解を通じて理解を深めていきたいと考えている。</p> <p>〔到達目標〕</p> <p>①宗教学的“ものの見方”を理解する。</p> <p>②宗教が身近な存在であることを再確認し、「宗教」に対する偏りのない理解ができることを目指す。</p> <p>③紹介された諸事例を通じて、「宗教」と「宗教的なもの」との異同を理解する。</p>						
受講資格	特になし			成績評価方法	試験成績(60点以上)、出席状況(60%以上)、授業態度、提出物等。理解度8割で、合とする。		
教科書	『生活禅のすすめ』（浄慧著、東京・山喜房佛書林、2012年）。						
参考書							
学生への要望	ノートをこまめにとること。						
ワキタイム	昼休みの時(12時～12時40分)。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンス	授業の進み方、建学精神との関連について述べるとともに、テストや成績評価などについて紹介する。教科書についても案内する予定である。
2	生活と宗教（1）～アップル製品は何故シンプルか～	具体的には禅を取り上げる。禅の歴史や基本的な教えについて、教科書に沿って述べる。アップルの創始者・ジョブズ氏は敬虔な禅の実践者である。シンプルさを追求したアップル製品を話題にしなが、生活における禅の役割を考える。
3	生活と宗教（2）～今どうして禅なのか～	前回の続き。教科書に沿って、禅とは何かを、身近な話題を通して考える。
4	生活と宗教（3）～今はどうして生活禅なのか～	「生活禅」とは何か。教科書を通して学びながら、一緒に考えてみる。
5	生活と宗教（4）～ダルマとは誰か～	「達磨さんが転んだ」という鬼ごっこをみんなは一度ぐらい遊んだことがある。ここに出てくる達磨さんとは誰のことであろうか。歴史上の達磨さんと民間信仰のそれとの異同を明らかにしてみたい。
6	生活と宗教（5）～般若心経とはどんな教えを説いているのか～	『般若心経』と生活禅について述べる。日常生活の中で、『般若心経』に触れる場面があると思う。ここでは教科書を用いながら『般若心経』とはどんなお経なのかを学ぶと共に、生活禅との関係を理解する。
7	生活と宗教（6）～心の三次元～	心とは何か。宗教は人間の不可視的なものを可視的にする文化的装置である。ここでは宗教から見た人間の心とは何かを、禅における心のとらえ方を通して理解する。
8	生活と宗教（7）～心の成長物語～	前回の続き。具体的には『十牛図』という最古のマンガを通して理解を深める。
9	生活と宗教（8）～悩みはどこから来るのか～	悩みとは何か。禅における悩みの対処法を、教科書を通して理解する。

10	生活と宗教（9）～特別授業～	気分転換のために、アニメにおける宗教的要素について考察する。具体的には『となりのトトロ』を取り上げる。ちなみに、トトロの性別はオスか、それともメスか。素朴な疑問が学問への重要な第一歩である。
11	生活と宗教（10）～特別授業～	前回の続き。
12	生活と宗教（11）～生活と宗教との関わり～その一	再び教科書に戻る。「生活の中で修行し、修行の中で生活する」という教科書の著者の言葉を理解しながら、生活と宗教との関わりを考える。
13	生活と宗教（12）～生活と宗教との関わり～その二	前回の続き。
14	生活と宗教（13）～まとめ～	これまでの授業の全体についてまとめると共に、期末テストについて説明する。
15	最終回（試験）	

科目名	哲学的人間論			講義コード	B110971012	担当教員	小阪 康治
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>この講義の目的は、人間のあり方について、人間のいちばん本質的なところから、自分で考えてみることにあります。哲学の長い歴史の過程で、なにが善なのか、なにが本当のことなのか、なにが理想なのか、などの問題が出てきました。それで講義は、具体的な事例を説明することを中心とします。理屈ばかりの話は、哲学本来のものではありません。実際の生活に基づいて、それと理論との関係は話しますが、一番重要なのは、受講者が自分自身で、人間や人間社会について考えることなので、この練習もします。</p> <p>【履修カルテの評価項目】</p> <p>① 哲学的な知識は身についたか。 ② 哲学的な考え方についてどの程度理解できたか。 ③ 哲学的に考えを書くことがどの程度理解できたか。</p>						
受講資格				成績評価方法	試験 30%。講義時間内の発言 30%。小論文 40%。		
教科書	受講者と相談して決める。						
参考書	受講者と相談して決める。						
学生への要望	<p>現在の社会は、積極性のある人材を望んでいるので、なによりも積極的に発言し、ときどき課す小論文などでも、前向きな思考法身につけるつもりで講義に臨んで欲しい。</p> <p>講義への反応、学生諸君の興味、関心などを考え合わせ、また社会状況におうじて、講義のテーマや内容は、変えることもありますので、シラバス通りにはならないこともあります。</p> <p>講義は、分かりやすく、面白く、ためになるようにやります。なので、ノートをきちんと取る、自分の頭で考えることを要望します。</p> <p>従って、講義のテーマについて事前に考え、講義後にもう一度自分の考えをまとめることが、講義をよく理解するために必要です。それは小論文や試験の際に役に立ちます。</p>						
ワイルド	いつでもいいが、アポイントメントを取ってから来る。						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	講義の内容、目的、方法の説明	<p>学問としての哲学的人間学を概観します。哲学的人間学という、ものものしいのですが、ようするに人間が生きていくときに遭遇するいろいろな問題を、きちんと考えようとする学問です。</p> <p>そこで15回分の講義の内容を概略説明します。</p> <p>それから講義の進め方、ノートの取り方、講義中の積極性、小論文練習の役割、出欠、これらの評価にもとづいて成績をつけるときの基準などを説明します。</p>
2	どうしたら幸せになれるか	<p>おそらくすべての学問は、人間が幸せになることをひとつの目標としています。この回では、哲学的に考えて幸せになるとはどういうことかを、考えてみます。</p> <p>私はチョコレートパフェが好きで、チョコレートパフェをおなか一杯食べると幸せだろうとおもうが、そんなことはできない。ダイエットばかり気にしてるのもストレスがたまって、これまた幸せじゃない。</p> <p>なにが、どういう行為が、どういう精神状態が幸せなのか、これについても哲学は長い時代にわたって、いろいろ考えてきました。</p>
3	赤い花は赤いか	<p>思想や哲学というのは、数学のようにきちんと回答が出るものではありません。しかしそれではただの評論になるので、確実な知識を求めていくと、こういう問題も出てきました。</p> <p>ひとつの赤い花をおおぜいが見ると、座ってる角度や距離によって、おなじ赤でもすこしずつちがって見えている。どうやったらおなじ赤を全員が見ることができなのか。赤とはどういう色なのか、などの問題が出てくるわけです。</p> <p>これは屁理屈ではなく、ものごとをきちんと考えようとする、こういう方向に深まっていくというひとつの例なのです。</p>

4	福祉と正義について	<p>社会福祉に財源が必要なのはどうなんなのですか、ほかにもお金がいる分野はある。医療、防衛、経済対策、地震からの復興にもたくさんのお金が必要です。どこにお金を振り分けるべきなのか。電力供給のための発電所の建設か、それとも復興支援が優先するのか、防波堤がいちばん先ではないのか。などの議論です。そういう大きな問題だけでなく、たとえば、この間の地震でも、透析の機械が不足していました。機械がひとつで危篤の患者さんが3人いるときに、どの患者さんに透析するのか。幼い子どもが3人もいる夫のいない母親と、有名な科学者と、働き盛りのおとうさんについて、優先順位の基準はなんなのか。</p> <p>正義とはなにか、こういう問題を考えてみます。</p>
5	論文練習	<p>3～4回に1回くらい、これまでの時間の内容について、論文練習をします。この練習の目的は、学生の側からは、①これまでの講義をどれだけ理解できているかを自分で振り返ってみる。②論文練習をすることで、学期末の試験の練習になる。③採用試験時の筆記試験の対策にもなる。</p> <p>教える側からすると、①なによりだいじな、自分の頭で物事を考えさせる訓練になる、②みんなで答案を検討するので、論文の書き方を具体的に理解させることができる、③教えたことをどれだけ理解しているかを点検できる、などです。</p>
6	哲について	<p>哲学はむずかしいとよく言われます。いろいろ原因はありますが、そのひとつに「哲」という漢字の意味が分からないことがあるようです。この字は、哲夫君とか哲太郎君というように、固有名詞では使いますが、それ以外ではほとんど見ない。女性で哲子さんという名だと、付き合いたくないなあ、というイメージにもなりません。</p> <p>哲学は明治になって西洋から来た学問なので、英語のPhilosophyなどの外国語を訳したのですが、それ以前にも哲学的な考えが日本になかったわけではありません。それで漢字の「哲」の字を当てはめて訳語としたのです。</p> <p>この回は、哲学とはどういうものかという、哲学の一番本質の意味について講義します。</p>
7	ビッグ・アイはなぜあるか	<p>子どものころ、なぜなぞというのか、とんち話というのがありました。大阪城はだれがつくったか。「豊田秀吉」と答えると間違いで、「大工さん」が正解でした。</p> <p>郡山の駅を降りるとビッグ・アイがあります。ビッグ・アイはだれがつくったのか？「大工さん」だけではできない。これに似たことを、紀元前300年も前に、アリストテレスという人が言ってる。この話は、ものがあるのはいったいなぜなのか、どうしてもものがあると言えるのか、など哲学の本格的な課題につながっていきます。</p>
8	人間の尊厳と自己決定権	<p>人間が人間であることの根拠とはどういうことでしょうか。自分の生き方は自分で決めたいのがふつうです。自由という言葉でもいいのですが、これが人間の尊厳の重要な根拠であることは、みんな認めています。</p> <p>でもそう考えない人もいます。自分が末期の癌などと聞きたくない、という患者さんはすくなくありません。また、安楽死は本人が望みさえすれば許されるのでしょうか。家族の気持ちはどうなるのでしょうか。</p> <p>状況がよく分かっていない人、たとえば認知症の老人が言ったことにも、自己決定権を認めるのか。それから、幼児が駄々をこねて言う言葉も自己決定になるのか、などについて考えてみます。</p>
9	論文練習	<p>これまでの3回分について、前回述べた目的で、小論文の練習をします。</p>
10	私は誰か	<p>さまざまなことを考えたり、行動したり、他人と付き合ったりするのは自分です。ここには自分がいるという前提がある。しかし仏教思想では、自分というものさえ本当はないのだ、と語られています。わざわざ仏教思想を持ち出さなくても、諸行無常という言葉に代表される考えは、おおくの日本人が共有しています。</p> <p>この講義は、ほとんどが西洋思想を基礎にしたものですが、今回は東洋思想を中心に自分はだれか、自分はどのようにあるのか、そもそも本当にあるのかなど、自分自身についての問題を考えてみます。</p>

11	最近の社会問題についての哲学・倫理学の見解	<p>栄養学と教育学系の学生がおおいので、その関連のテーマとして、食品問題についての事件と仮想社会を分析してみましょう。食品偽装は一時ほどマスコミは取り上げませんが、あいかわらず起こっていますし、この先もおなじような問題が起こるでしょう。それぞれの事件について車内の指示系統の整備やマニュアルの完備がなされています。それはいいとして、哲学的にはこの問題はどうか考えればいいのでしょうか。</p> <p>またゲームに見られる仮想空間・社会の危険性もしばしば指摘されています。さらに幼児の教育のさいの仮想、たとえば仮想の人から園児に手紙が来るなどの倫理性が、教育学者の間でも議論になることがあります。</p> <p>食品偽装と仮想社会というふたつの問題群は、本質的におなじだと私は考えています。このテーマについて、話してみます。</p>
12	永遠の愛は可能か	<p>むずかしい問題を考えるばかりが哲学ではありません。哲学は、われわれが日常疑問におもっていることを、きちんと考えようとして、だんだん深くなっていっただけです。「永遠の愛は可能か」というテーマは、おそらく古今東西、若者にとって最大の問題のひとつです。ギリシャの哲学者たちもこういう問題を考えた。</p> <p>この問題について、友達と一晩中議論してもなかなか結論は出ない。疲れて寝てしまって、また次の週に同じような議論をしても、やっぱり結論には行きつかない。</p> <p>どうしてそんなことになるのか。それは問題自体を分析してから考えを進めていくことに慣れていないからです。この回は、問題と同時に、哲学的に考える方法について話してみます。</p>
13	家庭とは何か	<p>本学の教育理念は、ドイツの哲学者であり教育学者であるオットー・フリードリッヒ・ボルノー先生の思想の影響を強く受け、先生思想を受け継いでいます。</p> <p>これにもとづいて、本学の教授陣が執筆した『家政哲学』が刊行されています。今回はこの思想を、分かりやすく説明します。</p> <p>個人だけでは人間は生きていけません。それで社会をつくった。社会のなかで生活することで人間は豊かに安心して生きていける。ところが社会では、おたがいの利益が相反する場合があります。社会人としてお互いの利益を守るために、互いの人間性を尊重し、協力し、愛し合うことを、どこで学ぶのか。</p> <p>個人と社会の間にある家庭が、それらの育成のための場所ではないのか。家庭を中心に個人と社会を調和させるところに、本学建学の精神の特徴があります。</p>
14	論文練習	<p>これまでの4回分について、前回述べた目的で、小論文の練習をします。次回が試験なので、試験の対策も考えながら書くことにします。</p>
15	試験	<p>最初の30分で、採点の基準、論文の書き方、参考書の使い方などを説明してから、試験を60分間で実施します。</p>

科目名	倫理学的人間論			講義コード	B110971011	担当教員	小阪 康治
対象	1 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>この講義の目的は、われわれが日常生活で「変だなあ」とか、「間違っているんじゃないかなあ」と思っていることが、正しいかどうかを考えてみることにあります。友達との何気ない会話、家族との議論、恋人との話の中でも、「納得できないなあ」と疑問を持つことはしょっちゅうあるでしょう。個人的な課題だけでなく、国際的問題、地球環境についても、何が正しい解決法で、答えはどのようなか、実例に即して講義します。</p> <p>【履修カルテの評価項目】</p> <p>①倫理的な知識は身についたか。 ②倫理的な考え方が、どの程度身についたか。 ③倫理的文章を書くことがどの程度出来るようになったか。</p>						
受講資格				成績評価方法	試験 30%。講義時間内の発言 30%。小論文 40%。		
教科書	教室で指示する。						
参考書	教室で指示する。						
学生への要望	受講者自身が考えることが大切です。講義の内容については、受講者と話し合ったり、受講者の反応を見たり、重要な時事問題を取り入れたりするので、いくらか変わることもあります。従って、講義のテーマについて事前に考え、講義後にもう一度自分の考えをまとめることが、講義をよく理解するために必要です。それは小論文や試験の際に役に立ちます。						
オフィス	いつでもいいが、メールでアポイントメントを取ってから来る。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	倫理学について	倫理学という領域を概観します。それから15回分の講義の内容を概略説明します。講義の進め方、ノートの取り方、講義中の積極性、小論文練習の役割、出欠、これらの評価にもとづいて成績を付けるときの基準などを説明します。
2	なぜ嘘をついてはいけないのか	<p>なぜ嘘をついてはいけないのか、なぜ他人のものを盗ってはいけないのか、なぜ人を殺してはいけないのか、こういう当たり前のことも、なぜなのか、とその根拠を訊ねられるとかんたんに答えは出ません。</p> <p>当たり前でしょ、決まってることだから、と言っても、答えにはなっていません。あなたも嘘をつかれたくないでしょ、だから他人にも嘘をついてはいけない、というのは一応の倫理的な回答なのですが、嘘をつかれてもいい、という人もいます。たとえば、末期の癌患者さんのなかには、事実を知りたくないと言う人はすくなくありません。</p> <p>この時間では、こういう倫理問題の基本になる問題群を、分析してみます</p>
3	電車やバスのなかで、お年寄りに席を譲らない若者は悪人か	<p>新聞の読者の声欄には、半年に1度くらいはかならず、近頃の若者はお年寄りに席を譲らなくなった、こんな若者ばかりになったら日本もおしまいだ、という論調の記事が出ます。若者の立場からは、譲らないのは若い者ばかりじゃないとか、こっちは疲れてるんだからという反論もあります。</p> <p>この講義ではふたつの問題を検討します。第1に、なぜ席を譲るのは善いことで、譲らないのは悪いことなのか。その理由はなにか。第2に、人間は本来、善い者なのか、悪い者なのかという問題です。</p>

4 高レベル放射性廃棄物と倫理問題

前任の大学で、この問題について講義をしていたときは、まったく客観的な立場でした。しかし東北・関東大震災による福島原子力発電所の事故に遭遇した後では、この問題は他人事ではなくなりました。

原子力発電の問題は、現代人が快適な生活を送ることとそれによる危険性をどう比較するか、さらに数百万年の後でも有害な物質を後の世代の人類に廃棄することとどう比較するか、という問題になります。

また、関東で使う電力をなぜ福島県で発電するのかも、今回の事故であらためて議論されるでしょう。しかし現実には、原子力発電を止めると、電力の30%以上が使えなくなります。それで人々は納得するのか。

この問題の根本には、われわれ自身が、自分たちの生活の豊かさ、快適さをどの程度まで求めるかという課題があります。とくに若い人たちが自分たちの社会をどうつくっていくかということなのです。

5 論文練習

3～4回に1回くらい、これまでの時間の内容について、論文練習をします。とくにこの講義は、自分の頭で考えることが最終目的ですから、講義を聞いて理解するだけでは、講義の目的には到達しません。

この練習の目的は、学生の側からは、①これまでの講義をどれだけ理解できているかを自分で振り返ってみる。②論文練習をすることで、学期末の試験の練習になる。③採用試験時の筆記試験の対策にもなる。

教える側からすると、①なによりだいじなのは、自分の頭で物事を考える訓練になる、②みんなで答案を検討するので、論文の書き方を具体的に理解させることができる、③教えたことをどれだけ理解しているかを点検できる、などです。

6 捕鯨について、どうして日本人は外国人から非難されるのか

日本の捕鯨は、外国からはたいへん評判が悪い。鯨を食べていけないのなら、豚や牛も食べてはいけないはずだ、と日本人はおもっている。豚や牛だけでなく羊や鶏などを、日本人以上に大量に食べている西欧人から、捕鯨について批判されるいわれはない。これが日本人一般の気もちでしょう。

ところが外国人は、豚や牛を食べるのは構わないけど、鯨はいけないと考えているようだ。変じゃないか、と考えるのは日本人で、外国人は当たり前だとおもっているわけです。

このちがいは、お互いの文化のなかの無意識の倫理観が異なっているからだと考えられます。昨年、ポーランドのワルシャワ大学でこの問題について講演しました。その反応や質疑なども含めて講義します。

7 電車の中の化粧をどう考えるか

電車の中の化粧が、社会問題になっています。都会だけでなく地方都市のローカル線のなかでも見かけました。アンケートなどを見ると、年上の人たちが批判的で、若い女性は車内化粧しない女性でも、肯定的な人がかなりいます。

みっともない、電車のなかは公共の場であって、化粧する場所じゃない。忙しいから電車のなかの時間も有効に使いたい、だって誰にも迷惑かけてないじゃない。

中年の女性でもしてる人を見かけるけれども、この問題にはふたつの面がある。まず世代による倫理意識のちがいでしょう。時代が変化するにつれて、倫理基準も変化します。それを上の世代はどこまで許容するか、否定できるか。もうひとつは、他人への迷惑とは、具体的にどういうことか。どこまでが迷惑で、どこからは黙認されるべきか。そのための基準はあるのか。

8 企業の責任

現在、企業の社会的責任（CSR）が、しばしば問題にされます。これは他人事ではなりません。卒業したら勤めるのは企業体です。自営の人も企業の活動をするには本質的には同じです。公共の仕事につき場合でも、組織の利益と社会のあり方が矛盾することはしばしばあります。倫理というのは個人の規範だけでなく、会社やその他の組織体もその社会・経済活動のさいに、倫理的であることを求められるのはとうぜんです。

たとえば、環境問題についてのスタッフを置くことができない中小企業が、環境破壊的な事件を起こした場合、この企業は環境に配慮している大企業にくらべて、悪い企業なのか。

有害な恐れがある物質でも、法律の基準に触れなければ、排出することは許されるか。

この講義では、会社や公共団体も含めて、組織の運営と社会倫理の関係を考えます。

9	われわれは子孫に対してどういう責任があるのか	<p>未来の子どもたちや人類にたいして、現在のひとびとは当然責任があります。しかし現在の生活水準も守りたい。そこで両方を満足させるべきだ、という方針を打ち出すのはかんたんです。これを「持続可能な発展」というのですが、この理想を具体的にひとつひとつの実例のなかで考えると、結論を出すのは容易ではありません。</p> <p>たとえば、石油や石炭などの資源はいずれなくなってしまいました。それでは使わないことにするのか、しかし取っておいて誰が使うのか。</p> <p>いい風景は誰もが愛しているものです。ところでそこに工場をつくると地域の発展になる。工場をつくれれば、既得権になるから、将来の世代には、景観の破壊が残る。</p> <p>こんなふうのひとつひとつ考えていくと、今の世代も将来の世代も満足するような解決法や、自然と人間の共生などの標語は、実行がむづかしい。</p> <p>いくつかの例でこの課題を考えてみます。</p>
10	論文練習	これまでの4回のテーマについて、先に述べた目的で、小論文の練習をします。
11	バービーちゃんトリカちゃんが教えていること	<p>アメリカではバービーちゃん、日本ではリカちゃんが一番売れています。アメリカの保守的な大人の男性は、女兒がバービーちゃんを遊ぶのを嫌っています。日本の大人は、子どもにリカちゃんを買い与えるかどうか、悩みはしません。ここにはどういう問題があるのでしょうか。</p> <p>これは単に好き好きによるものではありません。ここには両国社会の文化的、倫理的価値観の現われが見られるのです。本学は教育系の学生もおおくいるので、このテーマで、子どもとおもちゃ、おもちゃと社会の関係について考えてみます。</p>
12	科学と倫理	<p>科学的な判断は正しいということになっている。しかし倫理的に見て疑問であることもたくさんあります。</p> <p>福島の原子力発電所をつくるとき、たくさんの人が反対運動をした。しかし最後には、科学的な判断や社会の電力需要を勘案して、同意しました。だから原子力発電所は科学的に見て正確で、何の間違ひもなくつくられていたはずだった。しかし、今ではおおくの人とその科学的判断を信用できなくなっている。</p> <p>われわれは現在でも、科学者の良心を信用しています。しかしそれを超えて、もう一度根本から考えて、社会が共通の認識をもっておかなければならない状況にあります。これは若い世代の問題になるでしょう。</p> <p>先年あった病気の腎臓移植の問題なども、結局はおなじです。医学的には、病気の腎臓を移植するのは危険が高いという医学者の判断が出ました。しかし透析している患者さんたちは、移植して欲しいと言っている。これも科学と倫理の矛盾をどう考えるかを、われわれに突きつけています。</p>
13	説明はなぜ必要か	<p>最近、テレビなどで、説明責任を果たしていない、という議論をときどき聞きます。ところが非難しているほうも、なぜ説明しなければいけないのか、どう説明すればいいのかなど、どこまで説明すれば納得できるのかなど、はっきりしないままに非難ばかりしている。守秘義務というものもあるから、なんでも全部説明すればいいというわけでもありません。</p> <p>これはわれわれ人間の本質的な在り方に関係してくるのです。なんのために説明するのか。われわれ人間の尊厳を守るためです。これはきわめて倫理的に根本的な問題なのです。なぜ東京電力が原子力発電所の事故についてはっきり説明しなければならないのか、政府が震災被害の人びとに原状をきちんと説明すべきなのか、大学の先生はなぜ成績の付け方について学生に説明しなければならないのか、友達同士の説明など、いくつかの事例によってこの問題を考えてみます。</p>
14	論文練習	これまでの3回のテーマについて、小論文の練習をします。
15	試験	最初の30分で、採点の基準、論文の書き方、参考書の使い方などを説明してから、試験を60分間で実施します。

科目名	心理学的人間論			講義コード	B110971013	担当教員	折笠 国康
対象	1年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>本講義では、「人間」がどのような存在であるか心理学の知見をもとに概説する。「社会心理学」「発達心理学」「人格心理学」などの知見を踏まえ、人間についての心理学的な視点から人間を理解することを目標とする。</p> <p>【履修カルテの評価項目】</p> <p>①「自己」に関する心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。</p> <p>②認知や感情などの「心の発達」に関する心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。</p> <p>③自己と他者のかかわりに関する事柄の心理学的な基本概念をどの程度理解できたか。</p>						
受講資格				成績評価方法	内容の「60%」以上の理解で合格とするが、「80%程度」の理解を求める。理解度の評価は小レポート30%、定期試験70%で行う。		
教科書	特にしてはいはしない。授業中に資料を配布することがある。						
参考書	必要に応じて紹介する。						
学生への要望	講義への協力的な参加を要望する。 専用のノートを準備すること。						
ウイスタム	授業終了後に確認						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	オリエンテーション、意識と無意識について	この授業の目的と授業方針を理解する。フロイト、ユングの意識と無意識についての考え方を理解する。
2	人間の発達(1) ー発達心理学ー	人間の発達や成長に関して、心理的な知見や理論を学び理解する。
3	自己とは(1) 認知について	認知心理学の基礎を学び、自己に対する認識について理解する。
4	自己とは(2) 認知について	ピアジェの認知の発達に関する理論を学び理解する。
5	自己とは(3) 自我同一性	自我同一性を中心に心理学的な枠組みで自己とは何かを理解する。
6	自己とは(4) 自己概念	心理学的な構成概念としての自己概念の理論的枠組みを理解する。
7	自己とは(5) 自尊感情と自己評価	自尊感情や自己評価に関する心理学的知見を概観し理解する。
8	自己とは(6)	「本当の自分」に関して、心理学的知見から理解する。
9	自己とは(7) 自己受容	ロジャースの理論を用いて、自己受容について理解する。
10	自己とは(8) 防衛機制	A. フロイトによる防衛機制の概念を学び、自己についての理解を深める。
11	自己とは(9) 交流分析	自己についてエゴグラムを用いた交流分析によって理解する。
12	動機づけの理論	内発的動機づけに関する自己決定理論の概略を理解する。
13	人間と社会(1) アドラー心理学	アドラー心理学を概観し、人間の行動に関しての目的について理解する。
14	人間と社会(2) アドラー心理学	アドラー心理学を概観し、人間の行動に関しての目的について理解する。
15	本講義のまとめ	本講義の振り返りを通して、心理学的な人間論を復習する。

科目名	生活学的政治論			講義コード	B110971015	担当教員	影山 彌
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	今日、わが国の政治は、社会の急激な進展によって生じた、次のような課題に対する政策的対応が求められている。生活優先、高齢化、情報化、国際化、自然環境保全、などである。そこで、本講義では、現代政治を理解するために必要なポイントについて学ぶとともに、最近、政治の中心に登場してきた「生活」をめぐるわが国の生活政策について検討する。						
受講資格	人間生活学科（生活総合コース・福祉コース・建築デザインコース）・食物栄養学科			成績評価方法	受講態度（20%）、テスト結果（80%）		
教科書	特になし。 毎時間授業内容のレジュメを配布する。						
参考書	前田繁一編著『現代と政治学』法律文化社						
学生への要望	授業目標を毎回確認すること。						
オフィス	金曜日を除くお昼休み（12:00～12:50）						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	政治化の時代	今日、政治が生活のあらゆる面に深くかかわっていることを事例をとおして理解する。同時に、その結果、生活の管理化が進行していることにも注目する。
2	政治的無関心の問題	政治化の時代でありながら、広く存在している政治的無関心について、H. D. ラスウェルの諸説をとおして考える。
3	政治とは何か	研究者の諸説をとおして、政治は権力、言いかえれば、決定作成にかかわる現象であることを理解する。
4	政治と決定作成	政治の中心である決定作成が、国民に対する諸価値の権威的配分を意味する、政策や法律の作成であることを理解する。
5	立法過程（1）	決定の中心である法律の作成が、個人、圧力団体、政党とどのようにかかわりながらなされるかをみる。
6	立法過程（2）	わが国の場合、法律が、立法過程の第2段階である国会審議において、どのような過程をへて成立するかを、委員会制度などを軸に学ぶ。
7	統治過程	法律の執行過程としての行政と司法の現状について、わが国の場合を例としてみることにする。
8	行政の優位	立法と司法に対する行政の優位について、事例をとおしてその現状と背景をとらえ、L. ギューリックの現代行政作用論についてもみる。
9	政治と権力	政治学の中心テーマでありつづける権力について、人間と権力の関係、権力という力の性質、権力の実体的あるいは関係的概念などを理解する。
10	権力構造	権力を誰がどのような形で所有しているか、この政治学の伝統テーマについて、研究者の所説に依って日本とアメリカについてみる。
11	権力の正当性の根拠	「権力が正当である」と承認する場合の、その根拠を問う、という政治学の伝統的テーマについて、M. ウェーバーの所説を端緒として考え、「生活優先」が有効な回答の一つであることを考える。
12	生活と政策（1）	国民の食生活に関わるわが国の農業政策について、低下しつつける食糧自給率、単作経営などに焦点をあてながら、その近代化路線を検討する。

13	生活と政策（2）	今日、家庭や地域で福祉を考える「生活福祉」の観念が強調されているが、この観点から、わが国における老人の在宅福祉対策の現状と問題点を考える。
14	生活と政策（3）	今日、家庭や地域で福祉を考える「生活福祉」の観念が強調されているが、この観点から、わが国における老人の在宅福祉対策の現状と問題点を考える。
15	総まとめ	総まとめを行い総合評価を行う。

科目名	生活学的社会論			講義コード	B110971002	担当教員	橋爪 敏
対象	1 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	社会学的な見方、考え方の基礎を学ぶ。社会学は人間関係を中心として、様々な社会現象を考察する学問／科学であり、生活学の基礎としての意味を持つ。 社会学的思考法を身に着ける。						
受講資格	特に無し			成績評価方法	学期末のペーパーテスト(100%)で評価する。		
教科書	高尾公矢・橋爪 敏編 『社会学の基礎』 犀書房						
参考書	適宜紹介する。						
学生への要望	私語厳禁、学習意欲を持って参加されたい。						
オフィス	月曜～水曜まで、朝から夕方まで、授業の無いときはいつでも対応します。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	授業の方法の説明、社会学とは何か	授業の方法、内容についての若干の説明および注意 社会学はいかなる学問／科学か。
2	社会学の対象-1	社会学の対象としての人間関係、中根千枝のタテ社会論を例として、全体社会レベルの問題を説明する。
3	社会学の対象-2	制度、集団、組織レベルの問題。マックス・ウエーバーの『プロテスタンティズムと資本主義の精神』を例として。
4	社会学の対象-3	直接的な人間関係の問題。L. vonウィーゼの2人関係、3人関係の問題を例として
5	社会学の方法-1	科学としての社会学、社会科学の特質。 SeinとSollenの問題。
6	社会学の方法-2	客観的知識としての科学。科学の視点、視座。グンナー・ミュルダールの見解に触れて。準拠枠について。
7	社会的人間(論)-1	社会的人間、社会的存在としての人間—人間と社会との密接不可分な関連性について考える。社会名目／唯名論と社会実在論。
8	社会的人間(論)-2	人間(個人)とその行動様式—1) 先天的行動様式。
9	社会的人間(論)-3	2) 後天的行動様式、野生児の問題。社会における成長—C. H. クーリーの第1次集団について。
10	社会的人間(論)-4	第2次集団。社会化概念、3つの社会化概念について。
11	行為論-1	マックス・ウエーバーの行為の概念。
12	行為論-2	T. パーソンズの行為の4要素／条件。AGIL図式について。
13	社会的性格論-1	エーリッヒ・フロムの「社会的性格論」—『自由からの逃走』の問題に触れて。
14	社会的性格論-2	デビット・リースマンの「社会的性格論」—『孤独な群集』の問題に触れて。
15	まとめ	全15回の授業のまとめ。

科目名	生活学的経済論			講義コード	B110971014	担当教員	石田 智宏
対象	1 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>①経済を中心とした社会現象を理論的に解き明かす ②アクティブラーニング：質問される正解の無い問いに対し、自らの解答を探し発言すること ③ディープラーニング：授業で提供される論理と、自分がすでにもっている知識を関連づけること</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕</p> <p>①経済を中心とした現代の社会現象を、意見交換を中心としながら理論的に解き明かしていく ②大きな社会現象：ニュースを中心として、その背後にどんな人間の心理活動が見えるか ③小さな社会現象：商品、企業活動を中心として、その背後にどんな現代社会が見えるか</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕</p> <p>①現代社会の諸問題に関心がもてる ②社会現象の背後関係に自分なりの興味ももてる ③自分の意見を簡潔にまとめそれを表現した。</p>						
受講資格	とくになし			成績評価方法	コメント50点、レポート50点、合計100点		
教科書	教員がプリントを配布する						
参考書	参考書：『生活経済論』（2002）、馬場紀子他、有斐閣アルマ、等						
学生への要望	積極的に発言して下さい						
ワイルドタイム	月・火・木・金の13:00～16:30に経営研究室に来て下さい						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	資源と経済	現代の社会を、自分自身を通して吟味することの意味はなにか。 社会科学を学ぶことで得られるものはなにか。 経済現象とモノの背後に人を見ることについて考える。
2	モラルと経済	社会的事件の背後にはなにがあるのか。 モラルと社会、モラルと経済について考える。 ウチとソトの関係性は、経済現象とどうかかわりがあるのか。
3	支援と経済	経済における利益と厚生バランスについて考える。 他者に敬意を払う、経済行為としての支援を学ぶ。 共感が支える、アダム・スミスの上等な社会について考える。
4	交換と経済	交換は、経済行為の本質のひとつである。 交換と幸せ（厚生・効用）との関係性について考える。 自給自足の経済と交換経済の差異、経済主体の利己心と利他心について考える。
5	信頼と経済	貨幣は、人間が持つ相互信頼から発生している。 また、相互信頼は、職業の分化と経済の拡大を促した。 モノの向こう側にある、人間の信頼・想像力・互酬等の習性について考える。
6	ソーシャル経済	自己の効用（幸せ）を、経済手段を通じて他者の効用にリンクさせる。 同じモノに関して、見方を変えると価値眼が変わる。 企業・消費者の社会的価値志向とソーシャル・ビジネス、フェアトレード等について考える。
7	振り返り	これまでの論点を整理する。 経済は人々の厚生水準を向上させ、貴重な資源を生かすことを目的とした人間の相互依存行為である。 社会を知るとは、人間を知ることである。
8	経済学の思考と論理（2回シリーズ）	経済を中心とした社会現象を理論的に説明することが、経済学の本質である。 この点に関心をもつために、ジョン・ナッシュの思考を紹介する。 経済学と論理、アルゴリズム、数学と経済学

9	経済学の思考と論理（2回シリーズ）	経済を中心とした社会現象を理論的に説明することが、経済学の本質である。 この点に関心をもつために、ジョン・ナッシュの思考を紹介する。 経済学と論理、アルゴリズム、数学と経済学
10	社会現象を解く①くまモンと地域おこし	経済効果、商品のブランディング、地域おこしについて考える キャラクター、マーク、ネーミング、差別化について
11	社会現象を解く②コンビニスイーツと社会トレンド	社会環境の変化とヒット商品の関係性について考える 健康の商品化・娯楽化、ボーダレス化
12	社会現象を解く③女子力消費	男女平等社会下での女子力消費について考える カスタマイズ、シェア、PEST
13	社会現象を解く④	競争社会下での企業の差別化について考える コストリーダーシップ、美味しさの源泉、ビジネスモデル
14	社会現象を解く⑤	変化するマーケットと社会の関係について考える マーケットの創造、時代的差別化
15	まとめと授業評価	講座のまとめをおこなう。 レポートと評価について説明する。 授業評価アンケートを実施する。

科目名	生活生物学			講義コード	B110971007	担当教員	源川 博久
対象	1年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	生活生物学は共通基礎科目として開講されるため、高校では生物や化学といった理系科目を選択しなかった人が、生化学、生理学、基礎栄養学などの専門基礎科目を理解できるように、理系科目の基礎を生物学的観点より理解することを授業の目的とする。そのため、生活生物学では「生物(生命)とは何か」を理解するために、主に「生物の分類」「細胞生理」「エネルギー代謝」「遺伝」について学ぶ。また、これらを理解する上では化学的な知識も必要となるため、生化学の基礎についても取上げる。						
受講資格	特になし			成績評価方法	期末試験(70%)と小テスト(30%)の結果より評価する。欠席は減点の対象とする。		
教科書	資料(パワーポイント)をWLRよりdownloadする。						
参考書	ホートン生化学 第4版、鈴木紘一ら訳、東京化学同人 視覚でとらえる フォトサイエンス 生物図録、鈴木孝仁監修、数研出版						
学生への要望	生活生物学と関係の深い科目と関連付けをして理解を深めることが望ましい。そのため、わからないことは生活生物学に関わらず質問すること						
ワキタム	主に水曜日の午前中、木曜日						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンス	授業の進め方、受講上の注意点、教科書、評価方法などについて理解する。また、生活生物学で取りあげる授業内容について説明する。
2	生命とは	生物学における「生命」の概念を学ぶことで、生物の共通性・多様性について確認する。
3	生命の起源	地球における生命の起源(主な仮説の確認)、生物の進化と大絶滅について確認する。
4	生化学の基礎Ⅰ	生物の生命活動を理解するために、糖質とタンパク質の基礎を確認する。
5	生化学の基礎Ⅱ	生物の生命活動を理解するために、脂質と核酸の基礎を確認する。
6	生物の分類	ウイルスと生物の比較、生物の分類を学ぶことで、生物の特徴を確認する。
7	原核生物	原核生物の特徴を真核生物との相違点から確認する。
8	真核生物	真核生物の特徴を原生動物、真菌類、動物、植物について確認する。
9	細胞の構成	細胞小器官や細胞膜の機能を学ぶことで細胞機能を理解する。
10	エネルギー代謝Ⅰ	代謝とエネルギー(ATP)の概念を学び、エネルギー代謝の流れを解説する。
11	エネルギー代謝Ⅱ	生物に共通する解糖系と好気呼吸について生化学的に解説する。
12	エネルギー代謝Ⅲ	植物のエネルギー代謝である光合成の発見過程と光合成を生化学的に確認する。
13	遺伝Ⅰ	セントラルドグマのうちDNAの半保存的複製について学び、遺伝の基礎を理解する。
14	遺伝Ⅱ	セントラルドグマのうちタンパク質合成について学び、遺伝の基礎を理解する。
15	遺伝Ⅲ	メンデルの法則から遺伝の概念を学び、ヒトの遺伝形質(アルコール耐性、血液型など)を確認する。

科目名	生活化学			講義コード	B110971021	担当教員	関口 晋
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>食物や栄養を理解するためには、どんな物質がどう人体と関係しているかを学ぶ必要があります。一方、化学とは物質及びその性質を理解する学問です。ですから、化学は食物栄養を学ぶにあたって土台となる学問であり、食物栄養学は化学の考え方を身に着けると大変よく理解できます。</p> <p>物質の構造や性質には規則性があり、この規則性を理解することが、化学を理解することにつながります。講義の計画は、化学の一般的な規則の学習を主眼にたてられています。また、化学的な事項が日常現象や生命現象と関連している例を講義内容に盛り込むことで、生活や応用的な学問との連続性を考慮しています。講義は、説明と練習問題で構成され、練習問題によって説明の理解度がある程度確かめられます。</p>						
受講資格	なし			成績評価方法	期末試験100点。(ただし欠席回数に応じて減点)		
教科書	授業ごとにプリントを配布します。						
参考書	「《基礎固め》化学」小島一光著、化学同人、※絶版 「カソウケンへようこそ」内田麻理香著、講談社 「Catch Up 大学の化学講義」杉森彰・富田功著、裳華房						
学生への要望	よく理解できないところは、参考書等を用いて積極的に復習してください。復習の方法としては、研究室まで質問にきたり、同級生などと一緒に勉強することも有効です。						
オフィス	放課後など研究室にいて急用がないときは、いつでも可。前もっての都合は、相談してください。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	原子の構造、周期表	<ul style="list-style-type: none"> ・原子とは ・元素とは ・周期表 ・元素の性質
2	電子殻、電子軌道、点電子則	<ul style="list-style-type: none"> ・電子殻 ・電子軌道 ・点電子式（オクテット則）
3	分子軌道	<ul style="list-style-type: none"> ・電子対反発則 ・メタンの分子軌道（sp³混成軌道） ・エチレンの分子軌道（sp²混成軌道）
4	化学結合	<ul style="list-style-type: none"> ・電気陰性度 ・イオン結合と共有結合 ・水素結合 ・双極子相互作用 ・疎水性相互作用
5	モル	<ul style="list-style-type: none"> ・原子の数え方 ・反応とモル
6	濃度	<ul style="list-style-type: none"> ・濃度の単位 ・重量モル濃度 ・モル濃度 ・沸点上昇、凝固点降下
7	化学反応	<ul style="list-style-type: none"> ・化学反応とは ・化学反応の分類 ・化学量論 ・熱化学方程式（発アルゴン反応、吸エルゴン反応） ・化学平衡 ・質量作用の法則 ・ルシャトリエの法則

8	酸・塩基	<ul style="list-style-type: none"> ・関連する語句 ・アレニウスの定義 ・ブレンステッド・ローリーの定義 ・ルイスの定義 ・酸の強さ ・塩基の強さ ・中和 ・酸の解離 ・水の解離 ・pH ・硬い酸、軟らかい酸 ・緩衝溶液
9	酸化・還元	<ul style="list-style-type: none"> ・定義 ・酸化数 ・酸化還元反応 ・イオン化傾向 ・酸化剤と還元剤 ・半反応 ・酸化還元滴定 ・電池 ・標準電極電位
10	有機化学基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・アルカン ・アルケン ・アルキン ・芳香族 ・複素環
11	命名法	<p>命名法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数詞 ・アルカン ・官能基 ・特別な置換基がある場合 ・多重結合がある場合
12	官能基	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコール ・フェノール ・アルデヒド ・ケトン ・カルボン酸 ・エステル ・アミド ・アミン ・チオール ・エーテル
13	異性体、気体、固体	<ul style="list-style-type: none"> ○異性体 <ul style="list-style-type: none"> ・語句の関係 ・アルカンの立体配座 ・シス・トランス異性 ・光学異性 ○気体 <ul style="list-style-type: none"> ・アボガドロの法則 ・ボイルの法則 ・シャルルの法則 ・気体の状態方程式 ・気体の溶解度 ○固体 <ul style="list-style-type: none"> ・結晶
14	細胞生理	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞内小器官 ・細胞膜 ・細胞周期
15	鉄の化学	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン化傾向と文明（鉄の還元とその反応） ・鉄原子の電子状態 ・鉄の酸化 ・ヘモグロビン ・鉄の体内における貯蔵、運搬等

科目名	総合英語コミュニケーション I		講義コード	B110971022	担当教員	ポール バーナミィ	
対象	1 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>〔授業全体の内容の概要〕 GOALS OF THIS CLASS:</p> <p>1. The main focus will be to enhance speaking and language proficiency. 2. Additionally, required quizzes and homework will incorporate listening tasks to evaluate overall comprehension. There will be a cumulative final exam.</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 PREREQUISITES FOR THIS CLASS: Students will have completed high school English. Students should be able to understand and use language concerning familiar, everyday topics, such as likes and dislikes. They also should be able to give basic personal and family information.</p> <p>〔履修カルテの評価項目〕</p> <p>① You should be able to give a detailed self-introduction. ② You should be able to read clearly and talk about a short passage. ③ You should be able to do basic grammar in the context of spoken and written form.</p>						
受講資格	大学 1 年			成績評価方法	1. Participation, Attitude (10%) 2. Quizzes, Homework (40%) 3. Final Cumulative Test (50%)		
教科書	Impact Conversation 1						
参考書	Pearson Longman						
学生への要望	Don' t miss class. Do regular CD listening and homework.						
オフィス	Monday to Friday 8:30 a.m. to 5:05 p.m.						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	Introduction	Unit 1 Guess Where I' m From Pages 9-12, 81 CD 2-8 Explain Textbook, Tests, Quiz, Homework, Attendance, etc.
2	Unit 1	Unit 1 Let' s Talk About It: Who are you? Pages 9-12, 81 CD 2-8
3	Unit 2	Unit 2 Comfy Seats Pages 13-16, 82 CD 9-15 Quiz
4	Unit 2/3	Unit 2 Entertainment: Watching movies Pages 13-16, 82 CD 9-15 Quiz
5	Unit 3	Unit 3 A Trip To The Art Gallery Pages 17-20, 83 CD 16-22 Quiz
6	Unit 3/4	Unit 3 Hobbies: Which one do you like? Pages 17-20, 83 CD 16-22 Quiz
7	Unit 4	Unit 4 My Quirky Family Pages 21-24, 84 CD 23-29 Quiz
8	Unit 4/5	Unit 4 Families: What' s your family like? Pages 21-24, 84 CD 23-29 Quiz
9	Unit 5	Unit 5 Scaredy Cat Pages 25-28, 85 CD 30-36 Quiz
10	Unit 5/6	Unit 5 Personality: Are you scared? Pages 25-28, 85 CD 30-36 Quiz
11	Unit 6	Unit 6 The Commute Pages 29-32, 86 CD 37-44 Quiz
12	Unit 6/7	Unit 6 Work: Getting to work. Pages 29-32, 86 CD 37-44 Quiz
13	Unit 7/8	Unit 7 A Close Shave: Experiences Pages 33-36, 87 CD 45-49

14	Unit 8	Unit 8 Excuses, Excuses: Health Pages 37-40, 88 CD 50-56
15	Test Review	Textbook Summary, CD Review, Quiz Review, Test Preparation & Review

科目名	総合英語コミュニケーション I		講義コード	B110971023	担当教員	ダニエル ホーナー	
対象	1 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>〔授業全体の内容の概要〕 GOALS OF THIS CLASS:</p> <p>1. The main focus will be to enhance speaking and language proficiency. 2. Additionally, required quizzes and homework will incorporate listening tasks to evaluate overall comprehension. There will be a cumulative final exam.</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 PREREQUISITES FOR THIS CLASS: Students will have completed high school English. Students should be able to understand and use language concerning familiar, everyday topics, such as likes and dislikes. They also should be able to give basic personal and family information.</p> <p>〔履修カルテの評価項目〕</p> <p>① You should be able to give a detailed self-introduction. ② You should be able to read clearly and talk about a short passage. ③ You should be able to do basic grammar in the context of spoken and written form.</p>						
受講資格	大学 1 年			成績評価方法	1. Participation, Attitude (10%) 2. Quizzes, Homework (40%) 3. Final Cumulative Test (50%)		
教科書	Impact Conversation 1						
参考書	Pearson Longman						
学生への要望	Don' t miss class. Do regular CD listening and homework.						
オフィス	Monday to Friday 8:30 a.m. to 5:05 p.m.						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	Introduction	Unit 1 Guess Where I' m From Pages 9-12, 81 CD 2-8 Explain Textbook, Tests, Quiz, Homework, Attendance, etc.
2	Unit 1	Unit 1 Let' s Talk About It: Who are you? Pages 9-12, 81 CD 2-8
3	Unit 2	Unit 2 Comfy Seats Pages 13-16, 82 CD 9-15 Quiz
4	Unit 2/3	Unit 2 Entertainment: Watching movies Pages 13-16, 82 CD 9-15 Quiz
5	Unit 3	Unit 3 A Trip To The Art Gallery Pages 17-20, 83 CD 16-22 Quiz
6	Unit 3/4	Unit 3 Hobbies: Which one do you like? Pages 17-20, 83 CD 16-22 Quiz
7	Unit 4	Unit 4 My Quirky Family Pages 21-24, 84 CD 23-29 Quiz
8	Unit 4/5	Unit 4 Families: What' s your family like? Pages 21-24, 84 CD 23-29 Quiz
9	Unit 5	Unit 5 Scaredy Cat Pages 25-28, 85 CD 30-36 Quiz
10	Unit 5/6	Unit 5 Personality: Are you scared? Pages 25-28, 85 CD 30-36 Quiz
11	Unit 6	Unit 6 The Commute Pages 29-32, 86 CD 37-44 Quiz
12	Unit 6/7	Unit 6 Work: Getting to work. Pages 29-32, 86 CD 37-44 Quiz
13	Unit 7/8	Unit 7 A Close Shave: Experiences Pages 33-36, 87 CD 45-49

14	Unit 8	Unit 8 Excuses, Excuses: Health Pages 37-40, 88 CD 50-56
15	Test Review	Textbook Summary, CD Review, Quiz Review, Test Preparation & Review

科目名	運動健康論			講義コード	B110971016	担当教員	佐藤 浩明
対象	1年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>生活の基盤となる『健康なからだづくり』に欠かすことのできない運動の重要性を理解し、生涯にわたり自分の健康や体力に配慮ができ、それらを保持増進していくために必要となる知識や方法について実技、講義を通じて学びます。</p> <p>①運動と健康の関連を理解し、健康の在り方について学びます。 ②スポーツの意義を理解し、人間力について学びます。 ③運動を通して、協調性、コミュニケーション能力、フェアプレーの精神について学びます。 ④運動を通して、基礎体力の維持、向上する方法について学びます。</p> <p>【履修カルテの評価項目】 ①運動と健康の関連を理解し、健康について考え行動に移すことができたか。 ②スポーツの意義を理解し、人間力を高めることができたか。 ③集団の中でコミュニケーション能力を発揮し、互いに協力しながら活動することができたか。 ④基礎体力の維持、向上の方法を理解し、生涯運動を楽しみながら実施できるレベルに達しているか。</p>						
受講資格	家政学部 人間生活学科 (生活総合コース・福祉コース・建築デザ インコース 1年生) 家政学部 食物栄養学科 1年生 ※教職課程履修者は必修			成績評価方法	平常点40点(取組姿勢) 実技試験・レポート60点 ※本科目は実技を含むため、出席、積極的な取組みも重視します。 ※欠席により減点あり		
教科書	特になし(必要に応じて資料等を配布します)						
参考書	「健康・フィットネスと生涯スポーツ:大修館書店」「公認スポーツ指導者テキストⅠ・Ⅱ・Ⅲ:助日本体育協会」 「スポーツトレーニング理論:日本文芸社」「ストレッチメソッド:高橋書店」「メンタルトレーニング:ベース ボールマガジン社」「教養としてのスポーツ科学:大修館書店」						
学生への要望	※積極的に取組み、運動を楽しむこと。 ※実技の場合はタオル、水分は各自で必ず持参すること。 (体調管理・熱中症対策のため) ※自分の生活習慣に興味、関心を持ち、運動する習慣をつけてほしい。						
お支払	火、水、木、の16:00まで						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	ガイダンス	①授業目的、内容、進め方、評価方法の説明 ②服装、準備物の確認(注意事項含む) ③グループ分け
2	縄跳び①/からだづくりの運動	<p>【テーマ:運動習慣をつける第一歩として、コミュニケーションゲームやレクリエーションで楽しくからだを動かす】</p> <p>【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ(準備運動・動的ストレッチ) ②コミュニケーションゲーム・体ほぐしの運動 ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び(個人およびグループ) ⑥クーリングダウン(静的ストレッチ・からだのケア) ⑦体育館清掃</p>
3	縄跳び②/からだづくりの運動	<p>【テーマ:楽しくからだを動かしながらコーディネーショントレーニングで、からだの調整力を養う】</p> <p>【到達目標】 *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る</p> <p>①ウォーミングアップ(準備運動・動的ストレッチ) ②コーディネーショントレーニング ③レクリエーションゲーム ④からだづくりの運動 ⑤縄跳び(個人およびグループ) ⑥クーリングダウン(静的ストレッチ・からだのケア) ⑦体育館清掃</p>

4	ソフトバレーボール①／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
5	ソフトバレーボール②／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（パス・レーシーブ・アタック・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
6	ソフトバレーボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
7	ソフトバレーボール④／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
8	ソフトバレーボール⑤／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ソフトバレーボールを通じてフェアプレーを学びコミュニケーション発揮し楽しみながらグループで行う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ソフトバレーボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
9	フライングディスク①／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>

10	フライングディスク②／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
11	フライングディスク③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ニュースポーツのフライングディスクで動きながら二つの動作ができる能力を養う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④フライングディスク（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
12	ハンドボール①／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ハンドボールはスポーツの基本となる3つの要素（走る・投げる・跳ぶ）を含んだスポーツであり、ボールを使ったエクササイズで基礎体力の維持向上を図ることでスポーツを楽しめる能力を養う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ハンドボール（パス・キャッチ・シュート・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
13	ハンドボール②／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ハンドボールはスポーツの基本となる3つの要素（走る・投げる・跳ぶ）を含んだスポーツであり、ボールを使ったエクササイズで基礎体力の維持向上を図ることでスポーツを楽しめる能力を養う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ハンドボール（パス・キャッチ・シュート・ミニゲーム） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
14	ハンドボール③／からだづくりの運動	<p>【テーマ：ハンドボールはスポーツの基本となる3つの要素（走る・投げる・跳ぶ）を含んだスポーツであり、ボールを使ったエクササイズで基礎体力の維持向上を図ることでスポーツを楽しめる能力を養う】</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> *スポーツ種目に必要な技術を習得する *コミュニケーションを発揮しスポーツ種目の楽しさを知る <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②からだづくりの運動 ③レクリエーションゲーム ④ハンドボール（グループ対抗戦） ⑤クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑦体育館清掃</p>
15	実技のまとめ	<p>《まとめとして実技試験を行う》</p> <p>①ウォーミングアップ（準備運動・動的ストレッチ） ②レクリエーションゲーム ③実技試験 ④クーリングダウン（静的ストレッチ・からだのケア） ⑤体育館清掃</p>

科目名	解剖学			講義コード	B110202004	担当教員	西山 慶治
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕 人体の構造（機能）を学び、人体構成の法則を理解する。</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 人体を構成する基本的構造を、細胞、組織、器官並びに系統別レベルで学習する。</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 基本的な解剖学用語と医学用語を学び、その用語を用いて人体の構造を概説できる。</p>						
受講資格	特になし			成績評価方法	中間試験 40 点、期末試験 60 点 合計 100 点		
教科書	プリントを使用						
参考書	シンプル解剖生理学、他						
学生への要望	自らの体で確かめ、解剖学に親しむこと						
ワスタム	木曜Ⅳ限の教務部非常勤控室など。不在時にはメモを残しておくこと。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	解剖学総論	人体とは、自然の法則が人体を借りて具現化されたものである。その法則を人体の基本構造から学ぶ。
2	細胞学	生命の最小単位である細胞について、その構造と機能を学ぶ。
3	組織学総論	人体を構成する上皮組織、支持組織、筋組織並びに神経組織について学ぶ。
4	骨格系Ⅰ	人体の支柱である骨格の組織構造と役割、発生、機能・経年変化、骨の連結を学ぶ。
5	骨格系Ⅱ	各骨格の名称と形状を学び、各部位での役割を理解して人体の特徴を学ぶ。
6	筋系	骨格筋の概略を学び、運動器としての役割を理解する。
7	消化器系Ⅰ	消化器の各部位の構造を学び、消化機能の概略を理解する。
8	消化器系Ⅱ	消化器の主要部位の組織構造と機能を学ぶ。
9	呼吸器系	呼吸器の各部位の構造を学び、呼吸機能の概略を理解する。
10	泌尿・生殖器系	尿の生成と排泄を担う器官の構造と機能を学ぶ。 生殖器の構造、性差、発生並びにその機能を学ぶ。
11	脈管系	心臓を中心とした循環器の構造と役割を学ぶ。
12	神経系Ⅰ	中枢神経系の脳と脊髄の位置、構造、機能について学ぶ。
13	神経系Ⅱ	末梢神経の脳神経と脊髄神経並びに自律神経について学ぶ。
14	感覚器系	人体の情報入力器官である感覚器の構造と機能を学ぶ。
15	発生学	人体の発生と形成を学び、人類の特徴を理解する。

科目名	生化学			講義コード	B110202002	担当教員	関口 晋
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>栄養を理解するための基本は、人体がどんな物質のどんな働きによって成り立っているかを知ることにあります。生化学は、生命に関連した化学反応を主体とした学問であり、人体が活動するために不可欠な機構を物質レベルで考えます。つまり、生化学の基礎を知ることなしには、栄養の本当の意味を理解することはできません。人体は、数多くの物質で構成されています。このため生化学を学ぶ際には、多くの単語、それも日常生活ではお目にかからない単語を覚える必要があります。これらの単語についてその意味をよりわかりやすく伝えるために、講義ではなるべく多くの絵や図を用います。また物質の働きについては、人体における役割と関連づけて説明します。基本的な説明をより多くするために、ノートをとる十分な時間がない場合がありますが、それを補うためにプリントが配布されます。</p>						
受講資格	なし			成績評価方法	期末試験90点、レポート点10点。 (ただし、欠席回数に応じて減点)		
教科書	授業ごとにプリントを配布します。						
参考書	「看護学生超入門シリーズ 生化学 栄養学」穂かり 茂、長谷川 正博、小山 岩雄 著、照林社						
学生への要望	<p>よく理解できないところは、参考書等を用いて積極的に復習してください。復習の方法としては、研究室まで質問にきたり、同級生などと一緒に勉強することも有効です。生化学は、理屈ぬきに覚えることが比較的多い学問です。ものを覚えるためには、手で書くという作業が非常に有効です。ノートを書き直して整理するなどの方法で、必要な知識を頭に入れてください。</p>						
ワイルド	放課後など研究室にいて急用がないときは、いつでも可。前もっての都合は、相談してください。						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	生化学概観	<ul style="list-style-type: none"> ・糖 ・アミノ酸、タンパク質 ・脂質 ・核酸 ・CHONPS ・エネルギー代謝
2	糖	<ul style="list-style-type: none"> ・定義 ・光学異性体 ・単糖の環状ヘミアセタール構造 ・単糖の酸化・還元 ・天然の糖誘導体 ・二糖類 ・多糖類
3	アミノ酸・タンパク質 1	<ul style="list-style-type: none"> ・アミノ酸とは ・側鎖によるアミノ酸の分類 ・糖原性、ケト原性 ・必須アミノ酸、非必須アミノ酸 ・アミノ酸のイオン構造 ・等電点 ・ペプチド結合
4	アミノ酸・タンパク質 2	<ul style="list-style-type: none"> ・一次構造 ・二次構造 ・三次構造 ・二次構造・三次構造を決める要因 ・四次構造 ・アロステリック
5	油脂とリン脂質	<ul style="list-style-type: none"> ・脂質に関する語句 ・アシルグリセロール ・脂肪酸 ・リン脂質
6	核酸	<ul style="list-style-type: none"> ・核酸とは ・DNAの構造 ・複製 ・転写 ・翻訳

7	酵素	<ul style="list-style-type: none"> ・ 酵素とは ・ 酵素の性質 ・ 補助因子 ・ 酵素の分類 ・ 反応速度： ミカエリス・メンテンの式 ・ 酵素の阻害 ・ 酵素の調節
8	解糖	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代謝、エネルギー代謝、糖代謝 ・ 糖代謝とオルガネラ ・ 二糖類、グリセロール、グリコーゲンと解糖系 ・ 解糖系第一段階 ・ 解糖系第二段階 ・ 解糖系第三段階 ・ 解糖系第四段階 ・ 解糖系第五段階 ・ 解糖系第六段階 ・ NAD⁺、NADH ・ 解糖系第七段階 ・ 解糖系第八段階 ・ 解糖系第九段階 ・ 解糖系第十段階 ・ NAD⁺のリサイクル
9	クエン酸回路 (TCAサイクル)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意義 ・ アセチルCoAの供給 ・ 段階 1 : アセチルCoAの導入 ・ 段階 2 : クエン酸の異性化 ・ 段階 3 : 二酸化炭素の脱離とNADHの合成 ・ 段階 4 : 二酸化炭素の脱離とNADHの合成 ・ 段階 5 : GTPの合成 ・ 段階 6 : FADH₂の合成 ・ 段階 7 : フマル酸からリンゴ酸への変形 ・ 段階 8 : NADHの合成 ・ 収支
10	酸化的リン酸化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子伝達系と酸化的リン酸化 ・ インプットとアウトプット ・ 呼吸 ・ 複合体 I ・ 複合体 II ・ 複合体 III ・ 複合体 IV ・ 複合体 V
11	糖新生	<ul style="list-style-type: none"> ・ グリコーゲンの分解 ・ 糖新生第一段階 ・ 糖新生第二段階 ・ リンゴ酸シャトル ・ 糖新生第三段階 ・ 糖新生第十段階 ・ 糖新生第十一段階 ・ 糖新生第十二段階
12	ペントースリン酸経路、グルクロン酸経路	<p>ペントースリン酸経路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意義・役割 ・ 経路の構成 ・ NADPとNADPH ・ 酸化反応の段階 ・ 非酸化反応の段階 ・ 収支 ・ グルコース6-リン酸デヒドロゲナーゼ欠損 ・ 還元的ペントースリン酸回路 <p>グルクロン酸経路</p>
13	アミノ酸代謝	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体内におけるアミノ酸の利用 ・ タンパク質の分解 ・ アミノ酸の分解 ・ 尿素回路 ・ 肝臓以外でのアンモニア処理 ・ アミノ酸の合成 ・ アミノ酸からの合成 ・ アミノ酸代謝関連の疾病
14	トリグリセリドの代謝、ケトン体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脂肪酸の合成 ・ トリアシルグリセロールの消化・吸収 ・ トリアシルグリセロールの再合成 ・ トリアシルグリセロールの運搬 ・ β酸化 ・ ケトン体の合成

15 コレステロール、リポタンパク質

- ・コレステロールとは
 - ・コレステロールの合成
 - ・胆汁酸、性ホルモン、副腎皮質ホルモン、ビタミンD
 - ・コレステロールのエステル化
 - ・コレステロールの吸収
 - ・リポタンパク質
-

科目名	調理学			講義コード	B110202001	担当教員	菊池 節子
対象	1 年	開講期	前期	必・選	必修	単位数	2
授業目標	<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>①おいしさの要因について理解を深める。 ②調理操作の原理、効率的な加熱法、調理器具の使用法、食品の調理特性について理解を深める。 ③調理操作による化学的・物理的变化について理解を深める。 ④献立作成方法の基礎を修得する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>食品に様々な調理操作を加えると、食品はおいしくなり、安全になり、消化しやすい食物になる。そのため、各調理法の特徴、食品の調理特性や、その調理過程における化学的・物理的变化を理解することが大切になってくる。これらを踏まえて本講義では、合理的に再現性よく食品を調理する能力が備わるよう、調理学の基礎を学ぶ。</p> <p>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</p> <p>①おいしさの要因について理解できる。 ②調理操作の原理、効率的な加熱法、調理器具の使用法、食品の調理特性について理解できる。 ③調理操作による化学的・物理的变化について理解できる。 ④献立作成方法の基礎を理解できる。</p>						
受講資格	家政学部 食物栄養学科学生			成績評価方法	筆記試験 100点		
教科書	管理栄養士養成課程『栄養管理と生命科学シリーズ』調理の科学 吉田恵子・綾部園子編著 理工図書 3000円+税						
参考書	NEW調理と理論 山崎清子・島田キミエ・渋川祥子・下村道子・市川朝子・杉山久仁子共著 同文書院 コツと科学の調理事典 河野友美 医歯薬出版						
学生への要望	予習をして意欲的に取り組み、終了後は復習をしっかりと行い理解の定着を図ること。毎回授業終了時に豆テストを行い、理解の程度を確認する。						
ウェブサイト	月曜V限 No.1調理学研究室 またはskikuchi@koriyama-kgc.ac.jpまで						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	調理の意義と目的・おいしさの要因	調理学とはどんな学問なのか、さらに私達が「おいしい」と感じる時はどんな時なのかを考える。食物の側からの直接要因と人間の側からの間接要因、さらに食情報・食習慣・食文化・過去の経験などの背景要因についておいしさを構成する要素について学ぶ。そこで、「おいしさ」は複数の要素が複雑に関わり合い構成されていることを理解する。
2	食物の味	おいしさの化学的要因である味について学ぶ。味には、甘味、酸味、塩味、苦味、うま味の基本五味と、そのほかの味として渋味、辛味、えぐ味、金属味、こく味などがある。これらの特徴や生理機能としての必要性、相乗効果などの味の相互作用について理解する。さらに、味覚感受性の基礎が作られる胎生期を含め、食味は加齢による身体的・精神的な影響を受けて変化すること、また閾値の変化についても理解する。
3	調理操作(1) 非加熱調理操作	調理操作とは、食品を付加価値を付けた食物にするための一連の操作をいい、食品素材の栄養効果を高め、おいしく、しかも衛生上安全に食べ物を調製することを目的として行なわれる。調理過程は、火を用いない非加熱調理操作と、火を用いる加熱調理操作に大別される。ここでは計量、洗浄、浸漬、切碎、粉碎、混合、圧搾、伸展、冷却、解凍、盛り付けなどの非加熱調理操作について学び、それぞれの調理操作の特徴を理解する。
4	調理操作(2) 加熱調理操作	加熱調理には、ゆでる・煮る・蒸す・炊くの湿式加熱と、焼く・炒める・揚げるの乾式加熱、さらに電磁調理器加熱の誘導加熱（以上外部加熱法）と、電子レンジ加熱の誘電加熱（内部加熱法）がある。また、熱の伝達（移動）には、放射、伝導、対流の3つの形態がある。ここでは、各加熱調理操作の特徴を学ぶとともに、それぞれの熱の伝導様式について理解する。
5	炭水化物を主成分とする食品の調理性(1) 米	米にはうるち米ともち米がある。それぞれの特徴を踏まえた上で、炊飯、強飯などの調理要領について理解する。さらに、うるち米の粉である上新粉、もち米の粉である白玉粉の調理性について理解する。

6	炭水化物を主成分とする食品の調理性(2) 小麦	小麦粉を特徴づけるタンパク質はグリアジンとグルテニンで、水を加えると吸収して絡み合い、網目状の構造を作る。これがグルテンである。グルテン形成に関与する加水量や水温、副材料、調製方法について、さらに小麦粉の膨化調理やルウについて理解する。
7	炭水化物を主成分とする食品の調理性(3) いも類、豆類	いもの種類と適した調理法について学び、マッシュポテトを作る際のポイントやおいしい焼き芋の作り方などを理解する。豆の調理性では、調理過程における豆の物理的、化学的変化を理解した上で、乾燥豆類の吸水・軟化や煮豆のポイント、あんの作り方などの実践について学ぶ。
8	たんぱく質を主成分とする食品の調理性 (1) 肉類、魚介類	肉や魚の組織を学び、加熱や調味料によって、食肉や魚肉タンパク質はどのように変化するかを、成分・テクスチャーの両面から探る。そこから、すね肉・ひき肉・硬い肉の調理や、魚の生食、焼き魚、煮魚などのコツを理解する。
9	たんぱく質を主成分とする食品の調理性 (2) 卵類、牛乳/乳製品、大豆類	卵の構造と成分を理解した上で、調理操作による卵タンパク質の変化(熱凝固、希釈卵液のゲル化、塩・アルカリによる凝固、起泡性、乳化性)について学ぶ。さらに添加材料の影響についても考える。牛乳の調理性では、調理過程における牛乳中成分の変化、生クリームなどの性質について理解する。
10	ビタミン・無機質の給源となる食品の調理性 野菜、果実類他	野菜の生食と加熱による化学的・物理的変化、野菜に含有する色素や栄養成分の性質と、調理操作によるそれらの変化について理解する。あわせて、果実、種実、海藻、きのこ類の調理性について理解する。
11	成分抽出素材の調理性(1) でんぷん、油脂類	でんぷんの糊化と老化、またでんぷんの種類とその性質について理解する。油脂の調理性では、性質(融点、可塑性、疎水性、ショートニング性、クリーミング性)を学び、油脂を用いた調理法と食品の変化について理解する。
12	成分抽出素材の調理性(2) ゲル化食品	動植物性食品の中には物理的・化学的処理や加熱を行うと、さまざまなゲル化素材が得られるものがある。動物性ではゼラチン、植物性では寒天、カラギーナン、ペクチンなどである。ここでは、ゲル化剤により異なる調理性、添加材料の影響などについて理解する。
13	調味料、嗜好飲料の調理性	食塩・しょうゆ・みそ・食酢・砂糖・酒類・うま味調味料などの調味料、また日常飲んでいるお茶・緑茶・中国茶・紅茶・コーヒーなどの嗜好飲料の調理性と機能性について理解する。
14	調理機器	調理器具、機器には非常に多くの種類がある。近年はエネルギー源として、従来の電気コンロとは異なり、電磁誘導加熱方式(IH方式: Induction Heating)が普及してきている。最近の調理機器の情報や、鍋の材質と扱い方などについて理解する。
15	授業の総括	「調理学」のまとめとして、前期の授業を振り返る。授業で行った項目について教科書に目を通し、ノートなどで内容の復習を行う。

科目名	食文化・食行動論			講義コード	B110202005	担当教員	先崎 和子
対象	1年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>人間の食生活の機能や意義を、動物と人間の食行動の違い、なぜ食べるのかという視点から考え、食生活の構造や食生活を変容させる多様な要因を視野に入れ、食生活を総合的にとらえ、心身の健康増進と豊かな人間形成をめざした食生活環境、食文化について理解する。</p> <p>具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> 食品表示、食の安心・安全、生活習慣病、食育など食の諸問題を理解することができる。【知識・理解】 これからの食教育・健康教育のありかたを考え、提案することができる。【意欲・態度】 郷土の食文化の魅力を発見し、効果的な発信方法を考え、プレゼンテーションすることができる。【技能・表現】 						
受講資格	特になし			成績評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 【知識・理解】については、テスト 70点 【意欲・態度】については、ノート 10点 【技能・表現】については、プレゼンテーション 20点 欠席は減点 		
教科書	食文化論 建帛社						
参考書							
学生への要望	<ul style="list-style-type: none"> 欠席しないこと 授業で出される課題に積極的に取り組むこと どんな小さな疑問、質問もそのままにしないこと 						
オフィス	月 I、IIコマ 木 III、IVコマ						

－ 授業内容とスケジュール －

回	授業計画項目	授業計画項目
1	食文化・食行動論を学ぶ意義	「なぜこの授業を学ぶのか」「この授業の目指すところ」を本学のキャリア教育の2つの柱「つくる力」「かかわる力」と照らし合わせながら、明確に示す。また、本授業の15回の概説と評価方法について説明する。第1回目は、食生活の概念について取り上げる。
2	グローバルな視点で食文化を見る 世界の食生活史	世界の国々の食材を紹介し、食卓の様子から食文化の多様性を知る。
3	世界の食生活史 文化を反映する食習慣	宗教から見た世界の食事様式や世界の行事食について解説する。
4	日本の食生活史 わが国の日常食の始まり	稲作の伝来と米の主食化、魚介類、や野菜の副食化について解説する。
5	日本の食生活史 わが国の新たな日常食の確立と定着	開発途上国型食生活からの脱出と新たな日常食（日本型食生活）の確立について解説する。
6	食生活の変貌と地域の食材	現代人のライフ・スタイルと食文化の変貌や現代生活における特産の料理について学び、地産地消における道の駅や第6次産業について解説する。
7	年中行事のおもてなしと食文化	年中行事のおもてなしと食文化や五節句と冠婚葬祭のおもてなしについて解説する。
8	食のしきたり 郷土料理と年中行事	各自が、興味のある郷土料理の由来について調べ、まとめ、プレゼンテーションする。（全員が発表）
9	食のしきたり 郷土料理と年中行事	各自が、興味のある郷土料理の由来について調べ、まとめ、プレゼンテーションする。（全員が発表）
10	よりよい食行動を目指して 果物	外国からの輸入果物も含めると、1年を通してさまざまな果物を購入できる時代になった。果物をどれくらい食べたらよいかを実感するために、糖度計で糖度の測定実験を行う。また、世界のめずらしい果物を紹介する。

11	よりよい食行動を目指して お菓子	嗜好食品その①	全国の銘菓についての認知度調査を行う。また、おやつの問題点として挙げられる脂質、油分、糖分、塩分などについて、実際の表示を見ながら学ぶ。
12	よりよい食行動を目指して アルコール	嗜好食品その②	アルコール（お酒）の歴史を振り返りながら、世界の地域に根ざした酒の種類と生成法を学ぶ。また、お酒のリスクと健康管理について知り、自己管理に役立てる。
13	よりよい食行動を目指して	食行動異常	若い女性のやせ問題、若年層の肥満や小児糖尿病など生活習慣に関連した問題について理解を深める。味覚テストを実施して、栄養の偏りからくる味覚障害について考える。
14	よりよい食行動を目指して	食行動異常	偏食、過食、拒食の食行動について脳科学や心理学の分野における研究論文を紹介し、理解を深める。
15	よりよい食行動を目指して	食行動異常	「こしょく」や食べ方の悪い癖など、次世代を担う子どもたちが描いた「食卓の風景」を考察し、より良い食行動のありかたを考えると同時に、この授業を選択した学生に、「食文化の伝統継承」や「新たな食文化の創出」の担い手として社会において活躍が期待されていることを伝え、総括とする。

科目名	情報処理演習			講義コード	B110202003	担当教員	山口 猛, 古山 幹雄
対象	1 年	開講期	前期	必・選	選択	単位数	2
授業目標	<p>パソコンの普及及びネットワーク化の急激な進展を踏まえ、今後必要となる情報処理技術であるコンピュータ、ネットワーク及びオフィスソフトの基礎技術を学ぶ。とくに本演習では Operating System の基本操作・メールや Web の利用方法・文書作成について学習する。</p> <p>達成目標（履修カルテの評価項目）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Operating System の基本的な操作ができること。 2. Web とメールを利用した情報収集および情報伝達ができること。 3. 文書作成・表計算ソフトウェアを利用し、必要な情報を盛り込んだ文書を作成することができること。 						
受講資格	なし。			成績評価方法	<p>達成目標の到達度合いは課題により評価する。内容の区切りで課題を提示し演習と確認を行う。評価の比率は課題 1 を 20%、課題 2 を 40%、課題 3 を 40% とする。</p> <p>欠席 1 回につき 3 点を減じる。遅刻・早退はそれぞれ 1 点を減じる。</p>		
教科書	学生のための Office2013&情報モラル、noa 出版						
参考書	なし。						
学生への要望	授業内容を反復して練習すること。						
オフィスタイム	月曜日Ⅲ・Ⅳ限目						

- 授業内容とスケジュール -

回	授業計画項目	授業計画項目
1	イントロダクション	この演習の目的・内容・単位数・教科書・成績評価についてについて説明する。また演習を始めるにあたり、オリエンテーション時の内容を復習し、Webメールを利用、Windowsの基本操作ができるようにする。
2	ブラウザと検索	World Wide Web (WWW) を利用するために、ブラウザ・文字コード・Uniform Resource Locator・プロトコルなどのネットワークを利用する上での基礎事項を学習する。またインターネットの普及を踏まえた上で、インターネットを利用する上での注意事項について触れる。
3	Email	Email のアドレスの構造やメール転送の仕組みを学ぶ。メールアドレスの管理やメールのフィルタリング、To, CC (Carbon Copy), BCC (Blind Carbon Copy) 違いなどメールの基本について学ぶ。また、安全に Email を利用する方法やまたローカルコンピュータ上のメーラーだけでなく、Gmail を用いて Web 上のメールの用法も理解する。
4	課題1	インターネット（ブラウザ・メールなど）の用法について、正しく利用できるか確認をする。 教材のダウンロード http://www.noa-prolab.co.jp/shp/download/
5	Wordによる文書作成1	Word を用いた文章作成について学ぶ。Word の画面構成と名称を学び、書式の意味とその設定を行う。また文章中での表の作成・挿入などの方法を学ぶ。
6	Wordによる文書作成2	表作成の操作として、列幅や行幅の変更・セルの結合・スタイルの設定等について学ぶ。さらにワードアートを始めとした図の挿入方法とその際の各種設定方法について学ぶ。
7	Wordによるレポート作成	レポート作成時に必要となる基本的な設定方法について学ぶ。また文章内に表やグラフを挿入する際に必要となる Excel の基礎知識、脚注や引用などについても学ぶ。
8	課題2	これまでの学習内容を踏まえ、提示された課題について一定時間での文章作成を行う。作成した文章については Web を通じて指定箇所に提出することで、一連の学習状況の確認を行う。
9	Excelによる表計算の基礎	Excel を用いて表計算ソフトを学ぶ。表計算ソフトの基本画面構成・文字と数値の扱い・データ削除方法などの基本操作のほか、計算を行う上での数学とコンピュータ上の規約の差異などを学ぶ。

10	データ入力とアドレス	効率なデータ入力を行うためのフィルハンドルの用法を学び、具体的な数列の作成練習を行う。また表計算を行う上で重要な相対アドレス・絶対アドレス・混合アドレスの差異を学ぶ。
11	関数	コンピュータ上での関数について学ぶ。基本的な関数である SUM 関数および AVERAGE 関数を用い、表計算ソフト上での関数の扱いについて学ぶ。
12	論理	実用的な計算を行う上で重要な論理計算を行う関数について学ぶ。具体的には IF 関数や COUNTIF 関数などの用法などについて学ぶ。
13	表とグラフ	表計算ソフトでの表の書式設定を学び、作成した表からグラフを作成する方法について学ぶ。またグラフに関する基本的な設定を行う。
14	課題 3	これまでの学習内容を踏まえ、提示された課題について一定時間での Excel で処理を行う。処理したファイルは Web を通じて指定箇所に提出する。これにより学習状況の確認を行う。
15	プレゼンテーション	プレゼンテーションソフトを用いたプレゼンテーションの基本やスライド作成の注意点、スライド作成の基本機能について学ぶ